# 札幌医科大学医学部麻酔科学講座

# 教授就任10周年 記錄集

2019年12月



札幌医科大学シンボルマーク

楕円(枠組み):宇宙の調和 1945:本学の創基年(女子医専が開講した年) 七光星:道章および道旗の原型,北海道を象徴

> 羽:本学の一層の発展と活躍 柏の葉:英知と質実を象徴

杖:医学のシンボルであるアスクレピオスの杖 ヘビ:健康,不老不死を象徴,かつ札幌医科大学の頭文字S

# 山蔭 道明

# 札幌医科大学医学部麻酔科学講座

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目291番地
Tel: 011-611-2111 (内線35700), 011-688-9662 (教授室直通)
Fax: 011-614-8430



#### 札幌医科大学医学部麻酔科学講座のロゴ

青と緑は広大な空と大地を意味し、白文字は白衣と医師としての純白な気持ちを意味します。1957年は当講座 開講の年であり、日本の麻酔科学講座の中でも早く独立した講座の一つです。

初代高橋長雄が30年間,二代並木昭義先生が22年間,教室を主宰されました。高橋長雄先生は文部科学大臣賞ならびに勲三等旭日中綬章を受賞され,並木先生は日本麻酔科学会理事長を務められました。



# 札幌医科大学医学部麻酔科学講座 同門会のロゴ

開講60周年を記念し、教室員と同門会員に同門会の名称を公募し、第二代教授(札幌医科大学名誉教授)の並木昭義先生が考えられた"赤富士会"が採用されました。「赤富士」とは、主に晩夏から初秋のかけての早朝に、雲や霧や朝陽との関係から富士山が赤く染まって見える現象をいいます。一年のうち決まった時にしか、また気象条件が揃った時にしか見ることができないため、昔から縁起がいいとされてきました。小生が並木先生の古希祝いの際に贈った赤富士の絵からヒントを得られたと聞いています。

このロゴは、教室員の関根利佳先生のご尊父で書道家だった長沼透石氏にお願いして書いていただいたものです。

# 目 次

謝 辞		2
略 歴		3
巻頭言		4
研究費・奨学金		12
学位指導論文		13
業績目録	著書	17
	総説	21
	原著	23
	その他	35
学会発表	国際学会	39
	全国学会	50
	地方会・研究会	64
教育活動	学内担当	78
	参加・研修等	78
	その他教育活動	79
	学外の教育活動	80
学会・社会活動	審議会・委員会等への就任状況(学内)	81
	学会・学術団体への貢献(学外)	82
	その他の社会貢献	84
	その他:座長,司会,モデレータなど	86
	論文の査読	95
ν10 <i></i>		0.4
	♪の回りの出来事	
※2020年,2021	年に行う学会のポスター	97

# 謝辞

まず、無事に当講座を10年間主宰させていただけたことに関して、すべての関係者に心からお礼を申し上げたい。先代教授からは教授就任時に、「辛いことも苦しいことも含めて、教授でなければ経験できないことがある。それらも含めて感謝しながら仕事をすることだ。」と言われた。この10年間はまさにその繰り返しであった。今でも"正夢か?"と思うような現実的な悪夢で眠れない日もある。一方で多くの仲間が同じ志を持って集まり、臨床、研究、そして教育に従事してきたことは、私にとって何より大切な宝物である。

教室の大きな節目には、講座の軌跡を示すためにも55周年、60周年記念誌など寄稿文や業績をまとめたものを発刊してきた。一教授の節目に記念誌を作ることには積極的ではなかったし、教室員の労力を使ってまで作成するものではないと思ってきた。そのため、本記念誌?は自分自身ですべて編集して、またあまりお金をかけないで作成してみた。安っぽい出来上がりではあるが、小生の身の丈に合ってそれはそれでいい。業績編集にあたっては、私の名前がないもの、あるいは大きく関わっていないものは削除した。

「10年間でこんなものか」とご批判いただき、今後の10年間のご指導、ご鞭撻のための資料?にしていただければ幸いである。

最後に、教室員、ご家族、そして関係者のご健勝を心よりお祈り申し上げる。

2019年12月吉日

札幌医科大学医学部麻酔科学講座 教授 山蔭 道明

/ ※業績集・記念誌を作成するにあたり,なる べく読んでいただこうと,作成上のその時々でつ 、ぶやいて(tweet)みた。

#### 略歴

# 【経 歴】

1982年03月	私立清真学園高等学校 卒業
1988年03月	札幌医科大学 卒業
1988年04月	札幌医科大学麻酔学講座 研究生
1988年10月	旭川赤十字病院麻酔科 研修医
1989年04月	札幌医科大学大学院 入学
1993年03月	札幌医科大学大学院 修了
1993年04月	北海道立小児総合保健センター麻酔科 医員
1994年01月	米国Johns Hopkins大学医学部麻酔学講座 研究員
	(日本学術振興会 平成6年度海外特別研究員)
1996年02月	札幌医科大学医学部麻酔学講座 助手
2000年08月	札幌医科大学医学部麻酔学講座 講師
2009年09月~	札幌医科大学医学部麻酔科学講座 教授
※兼務	
2010年09月	3~現在 南檜山周産期医学講座 教授

#### 【資格】

2010年05月~現在 緩和医療学推進講座 教授

2012年04月~2017年03月 集中治療医学 教授

1988年06月	医師免許証(第318029号)
1991年01月	麻酔科標榜医(第5511号)
1994年04月	麻酔科専門医(第3258号)
1999年04月	麻酔科指導医(第3258号)
2002年01月	臨床修練指導医(第2341号)
2004年01月	医療安全推進者(第0310648号)
2005年03月	ペインクリニック専門医(第20050150号)
2006年11月	ボトックス®注使用許可認定
2012年04月	心臓血管麻酔暫定専門医(第238号)
2015年08月	BLS/ACLS Healthcare Provider認定

# 【学会役職】

日本麻酔科学会:代議員

日本臨床麻酔学会:常務理事,評議員 日本心臓血管麻酔学会:常務理事,評議員 日本ペインクリニック学会:評議員

日本蘇生学会:評議員 日本手術医学会:評議員 日本循環制御学会:評議員

日本臨床モニター学会:理事,事務局長

日本静脈麻酔学会:理事,評議員 日本老年麻酔学会:評議員

日本区域麻酔学会:評議員

日本神経麻酔集中治療学会:評議員 日本Awake Craniotomy学会:評議員

International Anesthesia Research Society : Affiliate Member American Society of Anesthesiologists : Affiliate Member European Society of Anaesthesiology : Affiliate Member

# 【学内役職】

2009年~現在	医学部同窓会 常任幹事
2017~2018年	附属病院 手術部部長(2年間)
2019年~現在	医学部 副医学部長(教務委員長)



昭和38年(1963年)04月04日生まれ(56歳) 出生地 北海道 室蘭市 (2018年アメリカ麻酔学会参加時撮影)

# 【主催学会】

第26回北海道ペインクリニック学会	2010年11月27日
第12回麻酔科学ウィンターセミナー	2012年02月10-12日
第19回日本静脈麻酔学会	2012年09月29日
第29回北海道ペインクリニック学会	2013年09月21日
日麻北海道東北支部第4回学術集会	2014年09月13日
第15回麻酔科学ウィンターセミナー	2015年02月06日-08日
第26回日本臨床モニター学会	2015年05月15-16日
第32回北海道ペインクリニック学会	2016年09月17日
第20回北海道緩和医療研究会	2016年09月24日
第33回体液·代謝管理研究会年次学術集会	2018年01月27日
第5回急性輸液管理研究会	2019年08月03日
第35回北海道ペインクリニック学会	2019年09月28日
日麻北海道東北支部第10回学術集会	2020年09月05日
第25回日本心臓血管麻酔学会学術大会	2020年09月20-22日
第25回日本神経麻酔集中治療学会	2021年06月19日
第21回日本Awake Craniotomy学会	2021年06月20日
日本臨床麻酔学会第41回学術大会	2021年11月04-06日

#### 【受賞】

1994-1996年	日本学術振興会 海外特別研究員
2000年	上原記念生命科学財団 研究奨励
2001年	臨床薬理研究財団 研究助成
2002年	日本麻酔科学会 山村記念賞 受賞
2003年	北海道麻酔学会 高橋賞 受賞
2003年	日本医師会 医学研究助成
2008年	武田科学振興財団 医学系研究助成
2013年	北海道医師会賞・北海道知事賞 受賞

#### 【編集委員】

1998-2004	Anesthesiology, Associate Editor
2002-2010	LiSA 編集協力委員
2004-2011	Journal of Anesthesia, Editorial Board
2011~現在	医学のあゆみ 編集協力委員
2012-2016	Journal of Anesthesia, Section Editor
2017	JA Clinical Reports, Editor-in-Chief
2018~現在	Journal of Anesthesia, Editor-in-Chief

# 教室員の先生方へ「無題」

毎年の業績集を教室員に送るにあたり、巻頭言を書いてきた。ここにまとめてみる。

前略

日々の診療、研究、そして教育活動に忙しくされていると拝察します。

遅くなりましたが、2009年の業績集が出来上がりました。今年からは、論文業績と診療業績に加え、いろいろな教育活動等についてもご報告いただき、教育関連病院を広く、また正当に評価し合うことができる材料にしたいと考えています。今年の業績集を見ていただき、「そういう内容まで報告していいなら、私だってある」と思われる先生方も大勢いらっしゃると思います。是非、そういった活動を記録に残していただき、来年からは積極的に報告いただければと思います。また、各施設の紹介の欄も設けました。そのため、各施設の事情はこの欄に書いていただき、他の施設の教室員が評価・判断し、また若手の教室員が異動希望の材料としたいと思っています。これに伴って、年に二回行われる教育関連病院のスタッフ会議では、従来のような施設の事情報告を簡単に済ませていただき、今後の教育関連病院のあり方や再編について、論議を交わしていきたいと思っています。

さて、昨年の業績を見ますと、主任教授が長く不在となり、また大学のメンバーが激減した中、ある程度の業績を挙げられたことは、当講座の底力を感じるとともに、教室員の努力に敬服する次第です。一方、当講座の伝統と実力からすれば、自分自身も含め、不本意な業績に終わったことも否めません。そのため、留学や大学院生の募集を積極的に行い、大学の臨床・研究・教育体制を整えるとともに、教育関連病院の充実も図っていかなければなりません。今後の大学と教育関連病院とのさらなる強固な連携が鍵を握っていると思います。今後とも、よろしくお願いします。

業績集とは何のために作るのかを改めて考えてみました。教授の自己満足なのか?他科や他大学麻酔科へのアピールなのか?私はどちらでもないと考えています。今思うことは、1年に1度でいいから教室員にゆっくりと業績集を見ていただき、お互いが同僚の活動を認識し、自分の立ち位置を確認し、そして今後の活動に生かしていただく材料と考えています。従って、今年から、毎年の業績集を他大学の麻酔科や麻酔科以外の診療科の先生方にお配りするのを止めようと考えています。

業績集もそうかもしれませんが、外に向かってアピールするものでないものに"自戒"というものがあります。自戒とは自分を戒めるための格言や概念を指し、決して他に対して説くものではありません。この使い方を誤った現首相は、施政方針演説でガンディーの「7つの社会的罪Seven Social Sins」を引用し、大顰蹙を買いました。実は、ここ5年、私は毎朝、机の引き出し内に貼ってあるガンディーの「7つの社会的罪」を読み上げて、手術室でのカンファレンスに向かうようにしています。あくまでも自分への戒めです。

理念なき政治 Politics without Principles 労働なき富貴 Wealth without Work 良心なき快楽 Pleasure without Conscience Knowledge without Character 道徳なき商売 Commerce without Morality 人性なき科学 Science without Humanity 献身なき宗教 Worship without Sacrifice

臨床医であるわれわれ麻酔科医はどんな自戒があるでしょうか?

- 1) 思いやりと科学に基づく臨床(Clinical work with thoughtfulness and EBM)
- 2) 探求心のある研究(Research with search mind)
- 3) 熱意のある教育 (Education with enthusiasm)

といったところでしょうか?これからの業績集がこのような理念を感じられるものに少しでも近づけるように、自らが先頭に立って努力すると決意する次第です。教室員の今後の活躍と健康を心からお祈りします。

# 教室員の先生方へ「無題」

#### 前略

日々の診療、研究、そして教育活動に忙しくされていると拝察します。

遅くなりましたが、2010年の業績集が出来上がりました。昨年からお願いしていますが、論文業績や診療業績に加え、今年は多くの教育・社会活動等に関して報告してもらいました。多くの先生方がそれぞれの地域や立場で種々の仕事をしていることが分かると思います。各教育関連病院や18名の新入教室員の紹介も充実していて、単なる論文の列挙ではない読み応えのある業績集冊子に仕上がっていると思います。是非、よく読んでいただき、当講座ならびに教育関連病院の活動を確認してください。

さて、上記のように、われわれ麻酔科医の活動は、学術や診療のみならず、多くの教育・社会活動にも広がっています。そのため、そのような活動も記載してもらい教室員同士で情報を共有することによって、お互いに納得した人材配置の材料にしてもらえればと思っています。しかし、その一方で150名にも上る教室員を抱える当講座としては、バランスの取れた指導者を多数輩出する義務があります。そのためには、診療や教育活動の傍ら、質と量を兼ねた研究・学術活動を突き進めなければなりません。その視点から業績集を見ますと、留学した人や特定の人による数少ない英文論文と和文論文を見るのみであり、決してその分野の活動が盛んであるとは言い難いのが現状です。大学を含め、教育関連病院で指導する立場にある先生方はこの点を十分にご理解いただき、若手には学会発表や臨床研究の場を提供し、中堅には英文論文を含め論文作成を指導し、そして臨床から出た疑問や興味を大学院で追求するチャンスを与えていただきますよう、くれぐれもお願いします。

私をはじめ大学のスタッフは、多くの人材を集める努力はもちろんですが、有限な人材をいかに育て、いかに活躍し、そして麻酔科医療をどのように提供し、麻酔科学の発展にどのように寄与するかを日々考えて指導しています。人事異動のたびに、教育関連病院には若手の教育をお願いしているところですが、彼らが医療人として立派な麻酔科医となるよう、ご指導をお願いします。

明るい話題もあります。平成23年度も何とか10名以上の新入教室員を迎えることができそうです。新入ではないですが教室員に加わる指導医・専門医の先生が現時点で少なくとも2名おり,また平成23年度には5名の大学院生が入学し,総勢10名の大学院生が研究生活に入ります。さらに,4月から麻酔科医を目指して初期研修を数ヶ月以上大学で麻酔科を研修するものが7名います。日麻の学術集会やASAをはじめとする国際学会にも多くの演題が採用されているのも明るい材料です。マンパワーの充実を図りながらも,これら学術発表や研究内容も最近いくつか投稿されはじめています。

今回は、先代の名誉教授並木先生からいただいた言葉をあらためてここに銘記し、自ら先頭に立って精進するつもりです。 教室員ならびにご家族のご健勝とさらなる活躍を心からお祈りします。

先代教授からいただいた言葉

# 仁道究明

人には思いやりをもって道と成し、学問には厳しい目をもって追求するべし

#### 2011

#### 「萌し」

# 前略

日々の診療、研究、教育活動、そして地域社会活動に忙しくされていると拝察します。

さて、遅くなりましたが2011年の当講座業績集が出来上がりました。私が教授に就任して以来、いわゆる論文業績だけではなく、診療活動や教育活動、さらには社会活動をすべて提出していただき、それを教室員が閲覧することでお互いの医療活動を評価しあえるような業績集にしたいと考え、作成してもらっています。是非、よく読んでいただき、当講座ならびに教育関連病院の活動を確認し、自分たちのあるいは教育関連病院の立ち位置を確認してくれればと思います。

2011年度は最終的に9名の新入教室員を迎えました。大学院には5名が入学し、以前のような活気ある研究活動を行うようになっています。その一方で、やむを得ない事情による離職者が数名おり、教育関連病院には迷惑をかけると同時に、最終的には毎年のように大学のマンパワーを削って麻酔科診療を支えているのが実情です。そのため、業績集を見ると分かるように当講座の規模と伝統からいって決して満足のいく活動とは言い難いのも事実です。そんな中、明るい萌しも見られるようになりました。例えば、①科学研究費の取得が多くなった、②当科が編集執筆した著書を2冊発刊した、③英文論文が質量ともに増加した、④アメリカ麻酔学会への演題採用が増え、当講座始まって以来のoral presentationが採用された、⑤日麻や臨麻の

学術集会で多くの演題が採用された上,講演やシンポジウムで講演するスタッフがいた,⑥各種学会等で優秀賞を多く取得した,などでしょうか。2012年度も明るい萌しは続く予感がします。4月には8名の新入教室員と1名の麻酔科指導医を迎えるとともに大学院生が3名入学する予定,大学附属病院が心臓麻酔認定施設(暫定)になり,5月にバイタルサインセミナーを主催,6月の日麻学術集会でも多くの教室員が発表予定,ESAには4題の演題が採用,9月には北海道緩和研究会と日本静脈麻酔学会を主催,2013年3月には大学院生が2名博士号を取得する予定です。また,いくつかの多施設共同研究が大学院生を中心に行われるのも特筆すべきことと思います。このような"萌し"が兆しだけで終わらず,当教室にふさわしい大輪を咲かすことができるように,教授はもちろんスタッフが先頭に立って働きますので,教室員の先生方は是非それを踏み台にして日本でそして世界で活躍できるよう,挑戦してみてください。

最後に、教育関連病院の再編について報告です。ご承知のように、毎年多くの教室員を迎える一方、道内の基幹となる教育 関連病院では手術件数の増加のみならず、集中治療や救急医療に加え、ペインクリニックや緩和医療への関与など、業務が増 加、多様化してきています。そんな中、講座の目的や目標を理解いただき、本当に頑張っていてくれると思います。一方で教 室員は無尽蔵に増えるわけでもありません。従って、教育関連病院の集約と再編はこれからも続いていくと思います。講座に とって、教室員にとって、さらにその地域医療にとって、どのような人員の配置と再編が最適化を考えていきますので、ご理 解とご協力をお願いします。

毎年のこの業績集がただの論文の羅列ではなく、教室員にとって少しでも温かみのあるものになるよう期待しています。今年は当講座開講55周年を迎えます。

#### 2012

# 開講55周年に添えて

~この年は当講座開講55年にあたり,記念誌 ~ への寄稿文をもって巻頭言に代えさせていただ .ました。

当講座は、高橋長雄名誉教授が1957年に教授に就任し、開講した、全国で4番目に開講した伝統ある講座である、30年とい う長期主宰の間,多くの教室員が当講座で学び、実に十数名の教授を輩出した。1987年、二代目教授となる並木昭義名誉教 授がそれを引き継ぎ、22年間当教室を牽引した、22年間に及ぶこれも長期政権下にあって、当講座は多くの教室員が集ま り,教育関連病院の充実,学術活動の飛躍,そして多くの主催学会があったことは私の医師人生と一致する.この間,旭川医 科大学麻酔・蘇生学講座の岩崎寛教授、岡山大学医学部救急医学講座の氏家良人教授、金沢医科大学麻酔・蘇生学講座の土田 英昭教授、そして信州大学医学部麻酔蘇生学講座の川真田樹人教授を輩出した。2009年9月、当講座三代目教授として小生山 蔭道明が教授に就任し、昨年2012年6月で開講55周年を迎えた、確かに教授が替わるということは、会社でいうところの社長 が替わることを意味し、つまりは当講座の方針や方向性も教授の考えで変わっていくものである。従って、教授就任○周年記 念誌あるいは業績集なるものも、その会社の業績を振り返り、また方向性を再考する上で重要なものとなるのであろう、初代 はもちろん、先代の並木名誉教授もタイミングよく、教室の歴史とご自分の教授歴が節目にあったため、その都度講座とご自 分の記念誌なるものを発刊,記録として残してきた.私は,定年時には確かに記録として残させていただくかもしれないが, それまでは自分の節目ではなく当講座の節目として記念誌(寄稿誌)・業績集を作成するつもりである.したがって,現在教 授就任3年半という自分自身としては中途半端な時期ではあるが、ここに講座としての記録集を残すこととする。さて、この5 年間を振り返ってみると、自分自身にもそして教室にとっても多くの出来事があった時期である。2007年には並木名誉教授が 日本麻酔科学会の理事長に就任し、川真田樹人講師が信州大学の教授として赴任した。2009年3月に並木名誉教授が定年さ れ,教授選延長の末,同年9月に私が三代目教授に就任した.同年11月には筑波大学准教授であった同門の宮部雅幸准教授が 三重大学臨床麻酔学分野の教授に就任した。2011年には旭川医科大学准教授であった同門の藤田智准教授が同大救急医学講 座の講座に就任した、そして、昨年2012年には札幌医科大学准教授であった教室員の成松英智准教授が同大救急医学講座の 教授に就任した.同門・教室員の栄転や昇任はもちろん講座の名誉である一方,多くの優秀な人材が他講座へ流出するジレン マを負う、この5年間、若手医師を教育し、北海道の麻酔科医療を支え、そして研究基盤を整えるのに、まさに馬車馬のよう に働いた感がある、講座のスタッフをはじめ教室員がその状況を理解し、一所懸命働いてくれたことに深く感謝する、講座内 では、7名(2008年)、7名(2009年)、18名(2010年)、9名(2011年)、9名(2012年)と、この5年間で計50名の新入 教室員が仲間となり,寝食を忘れるがごとく臨床麻酔に従事してくれていることも,当講座の勢いを失速させずに社会貢献で きていることは、大変喜ばしいことである、教授が交代を迎える時期はどうしても学術活動が停滞しがちとなる、2009年には アメリカ麻酔学会の演題数が3題まで落ち込んだ、しかし、その後の教室員の頑張りにより、私が教授就任3年目の昨年2012 年度は37題が採用された. 現在は、忙しい臨床活動や教育活動の中、研究基盤が整えつつあり、優秀なスタッフや大学院生が 伸びてきている時期と認識している.講座の業績を推し量るのに英文論文が最も分かりやすい指標であるが,私が教授になっ てからは、論文業績以外に教育や臨床、そして社会貢献も活動業績として大いに重要視している。その勢いをこの業績集から 感じ取っていただければ幸いである

さて、講座の舵取りとしての教授としては、今後の講座の方針というものを示す義務がある。健康等に問題がなく定年まで 教授を全うしたとして、後16年間の舵取りをするわけであるが、当講座の方向性としては、古い伝統と抱えている教室員の数 からいっても、北海道はもちろん日本そして世界の麻酔科学の一翼を担う気概が必要であり、私自身もそのつもりで先頭に立って努力を続ける次第である。そのためには、より多くの教室員が集まり、育て、そして彼らが成長し、かつ研鑽する場を提供することが重要である。そしてそれを実現するためには、教室員自身が共通の認識の下、臨床・教育・研究する気持ちを絶えず持ち続けることが大切であり、さらに教育関連病院や関係機関のさらなるご指導とご鞭撻が必須である。

平成25年度は、寄稿文を書いている現時点で11名の新入教室員が仲間となり、数名が産休や休職から復帰、そして6名の大学院生が入学する予定である。彼らが高い技術と患者を思いやる気持ちをもった麻酔科専門医になれるよう、熱く教育、指導をする一方、臨床に役立つ多くの臨床・基礎研究が盛んに行われ、質の高い論文という形で世界に発信できるのを切望している。進取の気概が大切である。

教室員が健康に恵まれ、幸せを感じながら麻酔科医として誇りをもって北海道医療に従事し、当講座の60周年、70周年を一緒に祝うことができることを願ってやまない。

#### 2013

# 午のごとく飛翔の時!

私自身は今年で教授就任5周年を迎えます。教授就任以来,18名,9名,9名,11名,そして13名と,5年目を迎えた時点で計60名の新入教室員を迎え、産休や出産等の事情はあるにせよ、現時点でそのほとんどが北海道の地域医療に従事しつつ,自分自身の麻酔科専門医に向けての研鑽を日々積んでいることに大変頼もしく感じます。

当科もこの5年間に大きく変貌を遂げました。同門では、藤田 智先生が旭川医大救急医学講座の教授に、宮部雅幸先生が三重大学臨床麻酔科学講座の教授に、そして川股知之先生が和歌山県立医科大学麻酔科学講座の教授に就任しています。当講座からは、成松英智先生が当大学医学部救急医学講座の教授に、山内正憲先生が東北大学医学部麻酔科学講座の教授に、そして今泉 均先生が東京医科大学麻酔科学講座集中治療部門の教授に就任しています。多くの優秀な人材が当科から離れていくことは診療・教育・研究活動を行う上で大きな損失となることは確実ですが、このような形で教室員・同門会員が栄転異動することは、当科にとってもプラスに影響していると確信しています。2014年度の時点で全国で11名の同門教授が活躍していることになります。

さて、当講座のモットーは「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医師の育成」です。この理想をもとに、この5年間同僚とととも臨床・研究・教育をバランスよく進めてきたつもりです。 その結果、私が教授を拝命してから初めての大学院生が3名、優秀な研究内容をもって無事修了することができました。現大学院生も各自自分の科学研究費を取得し、また研究内容が学術集会でも賞といい形で評価され始めました。臨床力もバランスよく伸びてきていると思います。経食道エコーや神経ブロックなどトレンドも十分に取り入れながらも、患者の安全と診療の質向上のためには、常に新しい医療技術や診療行為を導入し、かつ検証、発表し続けています。そのような当科の活動が評価され、既にいくつかの学会や研究会を主催してきましたが、2014年には9月に日本麻酔科学会北海道・東北支部第4回学術集会を札幌で、2015年2月には2度目となる第15回麻酔科学ウィンターセミナーをニセコで、そして2015年5月には第26回日本臨床モニター学会を札幌で主催します。これらの学会活動を介して、当科教室員がさらに成長することを祈念しています。

教授に就任してあっという間の5年間でしたが、既に一つ目のターニングポイントに差し掛かっていることを認識する必要があります。上記のようにこのマンパワーと人材を活かし、当科の北海道における麻酔科診療活動に拍車をかける一方、さらに多くの人材を獲得するべく教育活動をいっそう充実させ、そして世界に通用する研究活動をさらに推し進める必要があります。教授はもちろんスタッフ・大学院生が先頭に立って働き、さらに当科の発展に努めることを期待します。

遅くなりましたが、ここに昨年の業績集ができましたので、一度目を通してみてください。十分な業績というには道半ばの感が否めませんが、それを反省する材料とするとともに、道内各地で活躍している教室員の活動を客観的に評価してみてください。次年度は、より充実した結果として報告できることを期待するとともに、自ら馬車馬のごとく牽引していく気持ちを強くする次第です。

#### 2014

# 「基礎固め」

教室員の皆さん、忙しい中、日々の臨床、教育、そして研究業務に取り組まれていると思います。ご苦労様です。ここに、 昨年の教室員の頑張りを集めた業績集をお届けします。いつも言うことですが、教室としての業績を他に知らしめるというよ りも、お互いの業績を認め合うことによって、他施設を尊重し、そして自らの励みにしてほしい意味から毎年作成していま す

20年弱ある講座長として早5年が過ぎたことになり、中期計画とすると第1期が終了したことになります。これは5周年記念講演時でも述べたことですが、この間に60名の新入教室員を迎え、6名の同門・教室員が教授として教室から巣立ち、そしてアメリカ麻酔学会での多くの発表がなされるようになり、そして研究業績が認められ科学研究費が2,000万円/年を得るまでに成長しました。それらの努力の結果、この業績集にもあるように多くの研究や症例の内容が英文論文として掲載されるようになったことは、教授として大変誇りに思います。スタッフも成長してきており、私が教授になってからの大学院生も次々に博士号を取得し、その中にはスタッフに加わるものもおり非常に頼もしく感じています。つまり、教授になって5年が経過した今、時期的にも内容的にも建築用語で言うところの一つの"基礎固め"を終えたことになります。次に、この基礎固めした土台にどのようなやぐらを建てていくかが問われています。方向を見誤ってはいけないと思っています。

一方,大学附属病院を含め,教育関連病院に勤務している教室員は感じていることと思いますが,一向に充足することのない麻酔科診療に関しても,新たなブレイクスルーをもたらす必要があります.それが,ひと言で言うところの「集約化」であるかどうかは別として,少子高齢化,人口減少,そして膨れあがる医療費に対しても真摯に取り組む時代にやってきました.皆で考え,有限な人材の配置をさらに検討する必要があると思っています.当教室の使命はこの他にも,北海道のみならず日本の麻酔科医療の牽引や世界の研究分野での活躍もあります.小生は2015年度から,日本麻酔科学会の常任理事(学術委員会),日本臨床麻酔学会,日本心臓血管麻酔学会,そして日本ペインクリニック学会の理事を兼ねます.教室員にもそれに付随した多くの実務をお願いすることになりますが,その過程から勉強し成長する要素は多く転がっています.時間を有効に使い,忙しさを理由にせずにさらに羽ばたいてほしいと考えています.

いつも考えていることですが、同じ志をもって北海道の麻酔科医療に貢献しようと当科の教室員になった先生方には、「流石に札幌医大麻酔科は違いますね」と言われるような専門医になるよう、今後も教育には全力をもって指導していくつもりです。また、教室員ならびにその家族が幸せを感じ、医療に取り組んでいることがとても大事です。教室員、ご家族、そして関係者のご健康を心よりお祈りして、2014年業績集の巻頭言といたします。

#### 2015

# 「進展」

教室員の皆さん、忙しい中、日々の臨床、教育、そして研究業務に取り組まれていると思います。ここに、昨年の教室員の頑張りを集めた業績集をお届けします。お互いの業績を認め合うことによって、他施設を尊重し、そして自らの励みにしてほしいと考えています。さて、私も教授に就任し、早7年目を迎えることになります。昨年書かせていただいたように、第1期にあたる「基礎固め」の5年は過ぎ、第2期にあたる「継承」の時期に入っています。継承とは、基礎固めで築いたものをまさに引き継ぐことを意味しますが、当科にとってそれはふさわしくないと考えています。そのため、「進展」とさせていただきましたが、当科としては最初の5年間で築いた礎をさらに発展させたいと思います。そのような観点から、昨年の業績を眺めてみると、残念なことにその中に「進展」を見いだすことは難しいのが現状です。科学研究費、新入教室員の人数、寄付金額、臨床治験、そして質の高い論文、それら全てが減少しています。もちろん、その全ては講座長である私に責任があることは重々承知しています。一方で、スタッフならびに大学院修了者のさらなる努力にも期待したいところです。昨年から、私自身、多くの学会の理事等を兼ねることにより、大学内の業務以外にも、私の講座外業務が格段に増えたことは事実です。ですが、それを踏み台にして、スタッフや教室員の学会における役割、発表、活躍のチャンスを増やしてきたことも事実です。彼らには、それを多忙の理由とせず、それを裏付ける臨床研究ならびに基礎研究を弛まずに継続・発展させてほしいと考えています。

さて、昨年あたりから、教育関連病院の科長が退任し、入れ替わり始めています。今後数年は大きな関連病院の科長も定年し、人材が大きく入れ替わることが予想されます。そのような中、大学でもようやく集中治療医学の教授選が始まろうとしています。小生が数年教授を兼任してきましたが、当大学の規模からいけば、集中治療医学は臨床はもちろん、独立拡充し、そして発展しなければならないと考えています。そのためにも、兼任教授ではなく、独立した診療科としての教授選は好ましいことです。その一方で、侵襲制御医学である麻酔科学は、集中治療医学と切っても切れない関係にあります。独立後も十分に連携して診療・教育・研究を発展させていくために、麻酔科学、もちろん当科出身の医師が教授になることが好ましいことは言うまでもありません。これは手術部にも関連しています。現在大学では、外科系教授が年功序列で2年2期の手術部長を兼任していますが、その時々で運営方針が変わるのは全くもって発展性がありません。30年前の手術室をどのように現代の急性期医療にあった形態に発展させていくのか、やはりここにも麻酔科出身で長期展望をもった先生が独立して手術室運営をしていくことが理想と考えています。新病院が建築中で、数年後に手術室・集中治療部の改革が見込まれている今、その重要性も新体制の上層部に働きかけたいと思っています。

科長退任の話をしましたが、大学でもスタッフの入れ替わりや昇任が数名あります。昇任だけが全てではありませんが、人事が滞ることなく、全てのスタッフにあらゆるチャンスを与えたいと考えています。基礎固めした土台にどのようなやぐらを

建てていくかが問われています。教室員一人一人のさらなる活躍に期待しています。

先日,道内他大学の新任外科系教授と会食する機会がありました。彼が外勤先で手術をする際,「ずいぶんと今日は手術がし易いし,麻酔科の先生ともコミュニケーションがし易いな」と感じたとき,その全てが札幌医大麻酔科の教室員だった,というエピソードを聞かされました。多少お世辞だったとしても,とても嬉しく感じたとともに,それが当科の持ち味であり,伝統です。教室員の先生方にはその気持ちに誇りとプライドをもって,しかし奢ることなくさらに自己研鑽を積んでいってほしいと思います。

個人的なことですが、昨年末から今年にかけて、考えられる人間ドック全てを7年ぶりに受けました。教室員の先生方ならびにそのご家族も、健康があっての家庭ならびに仕事です。健康には十分留意され、業務に励んでいただくようお願いします。昨年も言いましたが、教室員ならびにその家族が幸せを感じ、医療に取り組んでいることがとても大事です。教室員、ご家族、そして関係者のご健康を心よりお祈りして、2015年業績集の巻頭言といたします。

# 2016

#### 札幌医科大学医学部麻酔科学講座 開講60周年記念祝賀会 挨拶

三代目教授をさせていただいております麻酔科の山蔭道明と申します。本日は本当にお忙しい週末日曜日の中、このように多くの方々に来ていただきまして、本当に感謝しております。このように多くの方々にご出席いただいておりますと、非常に期待されているという想いもありますが、一方でもっと働けという激励もいただいていると責務を感じているところであります。

私が教授にさせていただいてから早8年になりますが、新山先生の講演にもありましたように、その間に100名近くの新たな教室員が集まり、臨床・教育・研究のバランスを取りながら道内の主要な関連病院に配置してきたつもりです。ですが、本日も森田先生にご出席ただいておりますが、森田先生のいつものお言葉で、「麻酔科は一度たりとも充足したことがない」というお言葉と同じように、ここにいらっしゃる先生方、関係者の方々はきっと、"麻酔科医が増えている"とか、あるいは"足りている"ということを北海道内で感じたことがないかもしれません。実は北海道は人口あたり、都道府県別では東京都に次いで麻酔科医の多い都道府県の1つです。ですけどもそれにも関わらず足りているという感じがしないのは、やはり麻酔科の業務が臨床麻酔のみならず、救急・ICUはもちろん、緩和医療やその他管理職にも広がってきているからではないかと考えます。そういった業務の拡大にも対応できるように、これからも多くの人材を集め、道民のために提供していきたいと思います。

また一方、当教室の責務として全国で活躍できるリーダーを育てるということもあります。私が教授となってから8年の間に、同門の先生を含め教室内外から7名の先生が全国の教授になっていきましたが、それはもちろん喜ばしいことである一方、優秀な人材からどんどん教室から離れていくという事実でもあります。当教室はそういった人材提供にも対応できるくらいの多くの多くの人材の確保と育成を課されていると認識しております。

最後に、60周年というのは、実は甲乙丙丁の十干と子丑寅卯の十二支が一回転して、60年で回帰するという意味があるそうです。現在60周年にあたって高橋長雄先生からの業績をすべてまとめているところでありますが、それを振り返ることによってわれわれももう一度原点に立ち返り今後の60年を見据えた計画を立てていきたいと考えております。本日お集まりいただいた方々には、日頃のご指導に感謝するとともに、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。はなはだ簡単ではありますが、本日式典の主催者側の挨拶と代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました.

#### 当講座60周年を迎えるにあたって一記念誌寄稿文

#### 1) 沿革

当講座は1957年に高橋長雄先生が主任教授に就任し、全国の中でも早く麻酔学講座を開講した。初代教授が30年教授職を務める中、全国から多くの同志が集まり、1984年に日本麻酔学会学術集会を主催し、そして2代目教授の並木先生を含め16名が教授となった。1987年、並木先生が2代目教授に就任し、翌1988年に私山蔭が講座の門を叩いた。小生が麻酔科に興味をもったのは、故田宮恵子先生の「小児麻酔」の授業であったことは今でも覚えている。並木先生が教授を務める中、1998年に高橋名誉教授は勲三等旭日中緩章を受賞し、1999年に並木先生は日本麻酔学会学術集会を主催し、2007年には日本麻酔学会理事長となっている。並木先生が22年教授を務める中、私を含め9名が教授となった。2009年9月、私が教授になってから早8年が経過したが、その間に93名もの新入教室員を迎え、また同門も含め7名が教授となった。現時点で私は日本麻酔科学会の常務理事、Journal of Anesthesiaの編集長を務めている。

#### 2) 教室の評価

上記のように多くの教授を輩出したことや,主要な学術集会を主催あるいは学会の要職に就くことは,その講座を評価する

のに分かりやすい尺度であろう。それ以外に、学術活動としての英文論文発表や国際学会での発表に加え、優秀な論文や発表に与えられる賞、さらに科学研究費の取得額や取得数もその評価に加えられると思われる。そのため、科を問わずどの教授も上記のことに目標の重点に置き、毎年あるいは教室の節目に業績集なるものを作成しては、広く配布しているのであろう。もちろんそれらは教室の重要な活動の一つであり、「患者さんのためにより良いことができないだろうか?」という医学の原点ともいえる疑問や考え方から発生するものであり、それが優秀な論文という形になって、患者さんのQOLに繋がっている。決して誰彼に"評価されたい"という欲求から発生するものであってはならないと常に考えるべきである。当講座の業績に関しては、本記念誌と同時に作成した60周年業績集を閲覧いただきたい。

さて、教室の評価は、分かりやすいあるいは手っ取り早いため、上記のような評価が用いられることが多いが、果たしてそれを支えるものは何であろうか?それは、臨床の現場で患者さんのために臨床麻酔をはじめとする急性期医療に従事している "教室員"に他ならない、彼らが寝る時間も惜しんで臨床に従事しているからこそ、その活動が広く認められ、ひいては教室が臨床に加えて、教育や研究活動にも多くの時間を割くことができるものと考えられる。この場を借りて、同じ志をもって北海道の急性期医療に従事している教室員に最大の感謝の意を表したい。

都道府県別の人口あたりの麻酔科専門医数が発表されている。平均は6.0名(10万人あたり)であるが、北海道は8.2名で、東京の8.4名に次いで多い。これは当科のみならず、北海道内で急性期医療に従事している同士のお蔭である。北海道内で医療に従事していると、全くもって麻酔科医が充足しているなどと感じることはないが、他都府県よりも北海道内に麻酔科医が多い事実については、かえって他大学から当大学に赴任されてきた外科系教授の、あるいは当大学外科系教授が学会などに行かれて他大学の外科事情を聞いた感想から、当科の特徴でもある"断らない麻酔"というのがいかに評価されているかを知ることになる。私自身、実はAnesthesiology誌に論文が1編掲載されるよりも、このような評価を受けている方が嬉しく思う。

#### 3) 今後の方針

小生が当講座の主任教授をさせていただいてから丸8年が経過した。その間に100名弱の新入教室員を迎え、教育・研究・臨床のバランスを考えながら、北海道の急性期医療に応えようと努力してきたつもりである。しかし、当科のこの60年を振り返っても、一時でも麻酔科医が足りている、あるいは増えている、という印象はない。その原因の一つとして、手術件数の増加、集中治療や救急医療はもちろん緩和医療を含む周辺関連領域や管理職への従事があると考える。私の責務としては、今後もより多くの人材を集め、全道で活躍する麻酔科医を増やすことはもちろん、私の任期の後半は行政や地域医療を担う拠点病院と密に連携しながら、人口減少や超高齢化社会における急性期病院のあり方を共に考え、行動に移していきたい。

その一方で、当講座に与えられた使命として、日本中で活躍できる人材の育成、さらに世界に発信できる研究をさらに推し進めていくことが挙げられる。私のいままでの8年という在任期間中にも7名の教室員・同門会員が教授となった。大変喜ばしいことである一方、貴重な人材の流出でもある。それに耐えうるだけの人材確保も当科に課された使命である。"どんな症例も断らないで受けてくれる"、それに応えられるようなマンパワーと人材を今後も確保していきたい。

さて、60年というのは甲乙丙丁ではじまる十支と子丑寅卯ではじまる十二支のそれぞれの干支が回帰する重要な数字といわれている。人生回帰と重ねて人生の再出発(還暦)と考える意味もある。当講座の60年の業績を振り返り、ここで一度原点に戻ることによって今後我々がやるべき、進むべき道というのもさらに見えてくるかと思う。当科に直接間接を問わず関わりのある方々には、この場を借りて日頃のご指導に感謝申し上げるとともに、今後も益々のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、当講座3代目教授としての寄稿としたい。

#### 2017

#### Around the Corner

当講座は、昨年の2017年に開講60周年を迎え、無事に式典も終了することができた。先日、教室員や同門会の先生をはじめ600名の関係者に、60年の業績・式典の模様・寄稿文集を送ったところである。それには2017年の業績が含まれていないため、ここにあらためて2017年業績集を送る次第である。いつも述べていることであるが、論文のみならず、それぞれの教室員の臨床・教育・研究活動を見ていただき、今後の活動の参考にしてほしいと思う。

さて、私は2009年9月に教授に就任したが、当科の特徴でもある臨床・教育・研究のバランスを考えながら、先代の教授達が築き上げた当科の伝統をさらに推し進めるべく、がむしゃらに突っ走ってきたと自負している。そのためには、当科内にとどまった臨床・教育・研究にばかり目を向けていてはさらなる発展は望めず、大学内、北海道内、全国学会の庶務や役割はもちろん、世界での役割の一端を担うことによって、ひいては教室員の臨床・教育・研究活動の底上げになると信じている。

今回の業績集を編集していて嬉しかったことは、科研費の取得や海外学会での発表、あるいは賞という形で評価を受けた研究内容が、ここにきて多く英文論文として形になってきたことである。懸念材料は、逆にここ1~2年減少している科研費の取得件数やその額、さらにアメリカ麻酔学会への演題投稿数の減少が今後の研究業績に影響をきたさないか心配している。これは、主任教授としての私の責任であり、反省するとともに、臨床・教育活動を低下させずに、スタッフや大学院生にどれだけ

多くの研究機会を与えることが出来るのか、さらに先頭に立って努力したいと考えている.

実は、ここ1~2年で私にとって教授人生の半分を終えることになる。いわゆるレースで言うところの折り返し地点(Around the Corner)である。同僚達が自分にちゃんとついてきてくれているのかを振り返りながらも、その速度は落とすことなく走っていくことに変わりはない。忙しいという人に限って時間の使い方が悪いと言われる。私も昨年からJournal of Anesthesiaの編集長を引き受け、また今年から学内で教務委員長(副医学部長)を務めることになった。課題も多く、解決しなければならないことは山ほどある。幸い2018~2019年度には主催すべき学会等がないためそれらの業務に多くの時間を割くことになるが、その後日本心臓血管麻酔学会など多くの学会主催を控えている。もちろん、教室員の協力がなければ成功するものではないが、教室員一人一人がそのような主催イベントにどのように関与していくべきかを常々考え、そしてそれを自分自身の飛躍のチャンスと捉えてほしい。

最後に、健康に自信のあった私だが、緊急手術を含め2月に二度も手術を受けることになった、健康の有り難み、家族の有り難み、そして仲間の有り難みを改めて知ることとなった。また、1週間横になっていただけで体重は減り、以前出来ていたことが出来るまでに数か月を要した。教室員の先生方には自分のためにはもちろん、ご家族や患者さんのためにもくれぐれも自分の健康には留意してほしい。

また、来年、元気で働く教室員に立派な業績集を送ることが出来るよう、さらに努力を重ねていきたいと思う。

#### 2018

# 「Decade (10年間)」

お待たせしました。昨年の教室員の業績集が出来たのでお届けします。以前からも伝えているように、当科業績集は他科や他大学麻酔科には一切送っておらず、教室員が1年間を振り返って反省したり、鼓舞したり、お互いの活動を知るために送っているものです。また、関連病院で勤務している場合、私の関与度によっては論文に小生の名前が載らず、自分では検索することが出来ません。そのためにも、1年に一度はこのような作業を行い、教室員の活動を把握することも編集の意味があります。論文や学会発表などの"学術活動"は、「新たな発見や興味深い症例を日本や世界に発信し、麻酔の質や安全性の向上に貢献する」という意味合いから最も重要視している活動の一つです。日常の忙しい臨床活動の中、このような活動を行い、論文という形で完結することは並大抵の努力では出来ません。しかし、教室員にはその意義を十分に認識して学術活動に励んで欲しいと思います。

一方,当科が開講当時から大事にしてきたものに、外科からそして病院から信頼される"臨床活動"があります。現在では、単に症例数や受診数、あるいは入院数などでその活動の重み付けをすることは難しくなってきました。その理由として、以前は臨床麻酔が主の業務でありましたが、現在では病院の特長を活かした救急医療、緩和医療、ペインクリニック診療、さらに集中治療など多岐にわたる業務が増えてきたこと、さらに院長や副院長などの管理者になる教室員も多くなり、そのような業務も検討しながら人材を配置しなければなりません。そのような指標の一つになる材料としても、麻酔症例数のみならず多くの臨床業務内容を記載してもらっています。是非他の関連病院の内容も確認してみてください。

さて、上記の学術活動ならびに臨床活動を支える重要な活動に、"教育活動"があります。当科がしっかりとした学術・臨床活動を行ってくることができた理由として、重要な活動といえます。教育力を支えるものとして技量が50%、そして熱意が50%とよく言われます。技量はセミナー・講義やテキストで得ることが出来ますが、熱意だけは個々人がもっている素質とも関係してきます。是非、教室員においては信頼関係をもってしっかりとした教育体制を取ってもらいたいと思います。そのような活動はなかなか活字や数字にすることは難しいですが、業績集にもその活動が分かるようになるべく記載しています。是非、ご覧ください。私も教授となって今年で10年(Decade)となります。過去の業績集も見返して自分自身の反省の材料とし、そして今後の10年の活動に活かしたいと思います。超高齢化社会に突入した現在、自分の健康はもとより、ご家族、ご両親、ご親族の健康状態や経済状況によって、自分自身の生活環境を変えることが余儀なくされるかもしれません。そんな時、緩い関係ではあっても教室として何か出来ることがあるかと思います。私を含め、科長やスタッフには、教室員が相談しやすい環境を整えて欲しいと思います。

最後になりますが、教室員の先生方においては、心身ともに健康で仕事に生きがいを感じ、そして地域住民の健康と福祉に 貢献することを祈念しています。

> 巻頭言は,全て前年の業績に対する内容である ため,示した年と内容が1年ずれている。

#### 研究費および奨学金:(教授本人に限ったもの)

#### <国費等研究助成金>

1995-1995	日本学術振興会	海外特別研究員	10,170,000円
1998-1999	文科省科学補助金	奨励研究	2,000,000円
2000-2002	文科省科学補助金	基盤研究C	3,400,000円
2003-2005	文科省科学補助金	基盤研究C	3,200,000円
2006-2008	文科省科学補助金	基盤研究B	9,500,000円
2007	厚労省科学補助金	特別研究指定:副	2,400,000円
2009-2011	文科省科学補助金	基盤研究C	3,300,000円
2012-2014	文科省科学補助金	若手研究B:副	3,200,000円
2012-2015	文科省科学補助金	基盤研究B	13,600,000円
2013-2015	文科省科学補助金	挑戦的萌芽	2,900,000円
2016-2018	文科省科学補助金	基盤研究C	3,300,000円
2017-2018	厚労省科学補助金	地域推進研究:副	5,000,000円
2019-2021	文科省科学補助金	基盤研究C	3,100,000円

# 計 65,070,000円

、留学中の国費はありがたかった。帰国後,2度の 不採択を経たが,その後は現在まで継続して助成が あるのは研究を遂行する上で大変ありがたい。

#### <民間財団等研究助成金>

1998	秋山記念生命科学 奨励助成	500,000円
1999	ホクサイテック財団 若手補助金	350,000円
2000	伊藤医薬学術交流財団助成	200,000円
2000	上原記念生命科学財団 研究助成	2,000,000円
2001	臨床薬理研究振興財団 研究助成	1,000,000円
2002	日本麻酔科学会 山村記念賞助成金	1,000,000円
2003	北海道麻酔科学会 高橋賞助成金	100,000円
2003	日本医師会医学研究助成費	1,000,000円
2006	伊藤医薬学術交流財団助成	150,000円
2008	武田科学振興財団 医学究奨励金	2,000,000円
2013	北海道医師会賞・北海道知事賞 副賞	200,000円
2017-2018	次世代イノベーション助成事業	4,800,000円

# 計 13,300,000円

### <札幌医科大学学術振興会,他>

1998	札幌医大学術振興会	研究助成	420,000円
1998	札幌医大学術振興会	交流助成	320,000円
1998	札幌医大学術振興会	備品助成	490,000円
2000	札幌医大学術振興会	交流助成	220,000円
2001	札幌医大学術振興会	交流助成	360,000円
2002	札幌医大学術振興会	交流助成	340,000円
2003	北海道国際学術調査即	か成	250,000円
2003	札幌医大学術振興会	研究助成	500,000円
2004	札幌医大学術振興会	研究助成:副	500,000円
2005	札幌医大学術振興会	交流助成	230,000円
2006	札幌医大学術振興会	研究助成:副	500,000円
2009	札幌医大学術振興会	研究助成	200,000円
2009	札幌医大学術振興会	がん研究助成	1,000,000円
2009	札幌医大学術振興会	基礎研究助成	1,000,000円
2010	札幌医大学術振興会	研究助成:副	330,000円
2017	札幌医大学術振興会	研究助成:副	400,000円

 2017
 札幌医大学術振興会
 学会助成
 200,000円

 2017
 札幌医大学術振興会
 学会助成
 150,000円

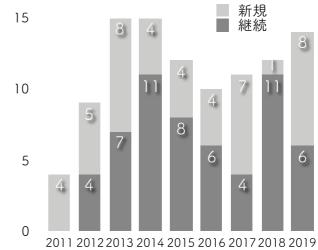
 2019
 札幌医大学術振興会
 研究助成
 200,000円

計 7,600,000円

| 民間の研究費や大学内の研究費も少額ながら積 | み重ねていけば、研究を行う上で大きな力となる。 教授就任年の2009年以降に少ないのは、チャンスを 、同僚に割り振っているからである。

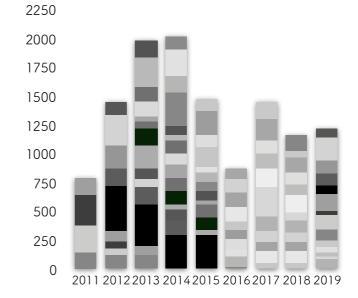
#### 教室員の科学研究費の推移(2011年以降)

獲得件数(件)



2011 2012 2010 2011 2010 2017 2010 2

獲得金額 (万円)



当講座が担当した臨床治験, 市販後調査, 受託研究, 治験調整医師担当等については割愛した。

#### 札幌医科大学大学院医学研究科博士課程(甲課程)

1. 紅露 伸司 平成08年(1996年)03月31日

博士(医学)

甲第1600号

「ヒト血小板凝集に及ぼすハロセンの直接的抑制機序」

Kohro S, Yamakage M: Direct inhibitory mechanisms of halothane on human platelet aggregation. Anesthesiology 1996; 85(1): 96-106.

2. 本間 康之 平成11年(1999年)03月31日

博士 (医学)

甲第1852号

「神経因性疼痛モデルにおける後根神経節のカルシウム・カリウムチャネル活動に及ぼす交感神経刺激の影響」

Honma Y, Yamakage M, Ninomiya T: Effects of adrenergic stimulus on the activities of Ca<sup>2+</sup> and K+ channels of dorsal root ganglion neurons in a neuropathic pain model. Brain Res 1999; 832: 195-206.

3. 鎌田 康宏 平成15年(2003年)03月31日

博士(医学)

甲第2136号

「ラット心筋から得られたβ2cサブユニットで再構築したL型カルシウムチャネルのシングルチャネル活動」

Kamada Y, Yamada Y, Yamakage M, Nagashima M, Tsutsuura M, Kobayashi T, Seki S, Namiki A, Tohse N: Single-channel activity of L-type  $Ca^{2+}$  channel reconstituted with the  $\beta_{2C}$  subunit cloned from the rat heart. Eur J Pharmacol 2004; 487(1-3): 37-45.

4. 服部 淳一 平成16年(2004年)03月31日

博士 (医学)

甲第2194号

「ラットのリンパ管活動抑制に関する麻酔薬プロポフォールとセボフルランの作用機序」

Hattori J-I, Yamakage M, Seki S, Okazaki K, Namiki A: The inhibitory effects of the anesthetics propofol and sevoflurane on lymphatic vessel activity in rats. Anesthesiology 2004; 101(3): 687-94.

5. 卯月 みつる 平成17年(2005年)03月31日

博士 (医学)

甲第2299号

「敗血症時の横隔膜の収縮性に対するドブタミン,テルブタリン,プロカテロールの効果」

Uzuki M, Yamakage M, Fujimura N, Namiki A: Preferable inotropic action of procaterol, a potent bronchodilator, on impaired diaphragmatic contractility in an intra-abdominal septic model. J Anesth 2006; 20(2): 145-8.

Uzuki M, Yamakage M, Fujimura N, Namiki A: Direct inotropic effect of the beta-2 receptor agonist terbutaline on impaired diaphragmatic contractility in septic rats. Heart Lung 2007; 36(2): 140-7.

6. 岩崎 創史 平成18年(2006年)03月31日

博士(医学)

甲第2374号

「急性喘息ならびに慢性閉塞性肺疾患モデルにおける気道平滑筋収縮に対する吸入麻酔薬セボフルランの抑制作用の相違」

Iwasaki S, Yamakage M, Satoh J-I, Namiki A: Different inhibitory effects of the volatile anesthetic sevoflurane on airway smooth muscle contractility in acute asthmatic and chronic obstructive pulmonary disease models. Anesthesiology 2006; 105(4): 753-63.

7. 杉野 繁一 平成20年(2008年)03月31日

博士 (医学)

甲第2489号

 $\lceil \mu$ オピオイド作動薬(DAMGO)投与に対するマウス延髄腹内側痛覚需要ニューロン反応の系統差」

Sugino S, Namiki A, Yamakage M: Strain differences in the response of rostral ventromedial medulla neurons to DAMGO in inbred mouse strains. Neurosci Lett 2012; 517: 107-12.

8. 佐藤 順一 平成21年(2009年)03月31日

博士(医学)

甲第2547号

「セボフルランでは認められないデスフルランによる肺抵抗の上昇はタキキニン経路を介して起こる」

Satoh J-I, Yamakage M, Kobayashi T, Tohse N, Watanabe H, Namiki A: Desflurane but not sevoflurane can increase lung resistance via tachykinin pathways. Br J Anaesth 2009; 102(5): 704-13.

9. 木谷 友洋 平成22年(2010年)03月31日

博士(医学)

甲第2606号

「パクリタキセル誘起末梢神経障害における後根神経節外套細胞由来L-セリンの役割」

Kiya T, Kawamata T, Namiki A, Yamakage M: Role of satellite cell-derived L-serine in the dorsal root ganglion in paclitaxel-induced painful peripheral neuropathy. Neurosci 2011; 174: 190-9.

10. 周 静 平成25年(2013年)03月31日

博士(医学)

甲第2705号

「ホスホジエステラーゼ4阻害薬ロフルミラストは、感作気道におけるセボフルランの弛緩作用を増強する」

Zhou J, Iwasaki S, Yamakage M: Phosphodiesterase 4 inhibitor roflumilast improves the bronchodilative effect of sevoflurane in sensitized airway. Anesthesiology 2014; 120(5): 1152-9.

11. 水上 奈穂美 平成25年(2013年)03月31日 博士(医学) 甲第2706号

「中高催吐性化学療法誘発性悪心嘔吐に対するオランザピンの制吐効果についてのランダム化二重盲検プラセボ対照試験」

Mizukami N, Yamauchi M, Koike K, Watanabe A, Hirayama Y, Mihara H, Terui T, Yamakage M: Olanzapine for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving highly or moderately emetogenic chemotherapy: a randomized, double-blind, placebo-controlled study. J Pain Symptom Manag 2014; 47(3): 542-50.

12. 澤田 敦史 平成26年(2014年)03月31日 博士(医学) 甲第2774号

「骨髄ミクログリアの扁桃体への集積抑制は,坐骨神経部分結紮モデルマウスにおける神経障害性疼痛による不安行動を改善する」 Sawada A, Niiyama Y, Ataka K, Nagaishi K, Yamakage M, Fujimiya M: Suppression of bone marrow-derived microglia in the amygdala improves the anxiety-like behavior induced by chronic partial sciatic nerve ligation in mice. Pain 2014; 155(9): 1762-72.

13. 橘 信子 平成26年(2014年)03月31日 博士(医学) 甲第2778号

「標的濃度自動調節持続静注法(target controlled infusion: TCI)によるプロポフォール投与を行う際,肥満が予測血中濃度と実測血中濃度の解離に与える影響」

Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Evaluation of bias for predicted and measured concentrations of propofol during target-controlled infusion in obese Japanese patients: open-label, non-comparative study. Eur J Anaesthesiol 2014; 31(12): 701-7.

14. 早瀬 知 平成26年(2014年)03月31日 博士(医学) 甲第2779号

「エストラジオールは嘔吐中枢におけるTACR1遺伝子の発現を増大させ,術後悪心嘔吐における精査に関与する」

Hayase T, Sugino S, Moriya H, Yamakage M: TACR1 gene polymorphism is associated with gender differences in postoperative nausea and vomiting. Anaesthesia 2015; 70(10): 1148-59.

Hayase T, Tachibana S, <u>Yamakage M</u>: Effect of sevoflurane anesthesia on the comprehensive mRNA expression profile of the mouse hippocampus. Med Gas Res 2016; 6(2): 70-6.

15. 丸山 大介 平成27年(2015年)03月31日 博士(医学) 甲第2819号

「亜硝酸塩はコネキシン43蛋白の脱リン酸化を防ぎ、ラット虚血誘発性不整脈を抑制する」

Maruyama D, Hirata N, Tokinaga Y, Kawaguchi R, Yamakage M: Nitrile attenuates ischemia-induced ventricular arrhythmias by protecting against connexin 43 dephosphorylation in rats. Anesth Analg 2016; 122(2): 410-7.

16. 高田 幸昌 平成27年(2015年)03月31日 博士(医学) 甲第2832号

「ラット海馬スライスにおけるパラオキソン誘発性てんかんの促進および抑制因子の検討」

Takada Y, Narimatsu E, Takahashi K, Niiya T, Yamakage M: Elevation and suppression of paraoxon-induced epileptic activity in the rat hippocampus. Sapporo Med J 2017; 85(Suppl.): 121-32.

17. 高橋 和伸 平成27年(2015年)03月31日 博士(医学) 甲第2837号

「ラット横隔膜において,重症筋無力症の重症度は終板電位のrun-downの変化により,四連反応比と単収縮力の相関関係に影響する」

Takahashi K, Niiya T, Takada Y, Narimatsu E, Yamakage M: Severity of myasthenia gravis influences the relationship between TOF ratio and twitch tension, and run-down of rat endplate potentials. Anesthesiology 2016; 124(2): 369-77.

18. 宮下 龍 平成27年(2015年)03月31日 博士(医学) 甲第2838号

「ラット急性出血性ショックに対する蘇生補液が血行動態と末梢臓器機能に及ぼす影響:膠質液と晶質液による違い」

Miyashita R, Hirata N, Kawaguchi R, Yoshikawa Y, Yamakage M: Different effects of colloid and crystalloid solutions for fluid resuscitation on hemodynamics and peripheral organ functions in acute hemorrhagic shock rats. Sapporo Med J 2017; 85(Suppl.): 133-45.

19. 佐々木英昭 平成27年(2015年)03月31日 博士(医学) 甲第2839号

「ソナゾイド®を用いた造影超音波検査によって、神経ブロック施行時の薬液拡散が正確に把握できる」

Sasaki H, Yamauchi M, Ninomiya T, Tatsumi H, Yamakage M: Possible utility of contrast-enhanced ultrasonography for detecting spread of local aesthetic in nerve block. J Anesth 2017; 31(3): 365-73.

20. 川口 亮一 平成28年(2016年)03月31日 博士(医学) 甲第2892号

「敗血症ラットモデルにおけるNitriteの有用性の検討」

Kawaguchi R, Hirata N, Tokinaga Y, Hayashi S, Inoue S, Watanabe N, Yamakage M: Nitrite administration improves sepsis-induced myocardial and mitochondrial dysfunction by modulating stress signal responses. J Anesth 2017; 31(6): 885-94.

21. 室内 健志 平成29年(2017年)03月31日 博士(医学) 甲第2918号

「各種腹部末梢神経ブロックにおける有用性と安全性の検討(集成論文)」

Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Chronological changes in ropivacaine and analgesic effects between transversus abdominis plane block and rectus sheath block. Reg Anesth Pain Med 2015; 40(5): 568-71.

Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Quadratus lumborum block: analgesic effects and chronological ropivacaine concen-

trations after laparoscopic surgery. Reg Anesth Pain Med 2016; 41(2): 146-50.

22. 吉川 裕介 平成29年(2017年)03月31日 博士(医学) 甲第2930号

「高血圧ラット心筋におけるデクスメデトミジンの心保護作用の機序解明」

Yoshikawa Y, Hirata N, Kawaguchi R, Tokinaga Y, Yamakage M: Dexmedetomidine maintains its direct cardioprotective effect against ischemia/reperfusion injury in hypertensive hypertrophied myocardium. Anesth Analg 2018; 126(2): 443-52.

23. 千原 伸也 平成29年(2017年)03月31日 博士(医学) 甲第2934号

「高血圧ラット心筋におけるデクスメデトミジンの心保護作用の機序解明」

Chihara S, Masuda Y, Yamakage M: Experimental and clinical evaluation of pre-dilution and post-dilution continuous venovenous hemofiltration on clearance characteristics. ASAIO J 2017; 63(2): 229-34.

Chihara S, Masuda Y, Tatsumi H, Yamakage M: Evaluation of pre- and post-dilution continuous veno-venous hemofiltration on leukocyte and platelet function in patients with sepsis. Int J Artif Organs 2019; 42(1): 9-16.

24. 君島 知彦 平成29年(2017年)03月31日 博士(医学) 甲第2952号

「日本人に適した声門上器具の試作」

Kimijima T, Edanaga M, Yamakage M: Superior sealing effect of a three-dimentional printed modified supraglottic airway copmpared with the i-gel in a three-dimentional printed airway model. J Anesth 2018 32(5): 655-62.

25. 数馬 聡 平成30年(2018年)03月31日 博士(医学) 甲第3028号

「吸入麻酔薬デスフルランはセボフルランと異なり血管内皮のNO産生を抑制することで内皮依存性の血管拡張を抑制する」

Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Azumaguchi R, Kimizuka M, Hayashi S, Yamakage M: Desflurane inhibits endothelium-dependent vasodilation more than sevoflurane with inhibition of endothelial nitric oxide by different mechanisms. Biochem Biophys Res Commun 2018; 495(1): 217-22.

26. 進藤ゆかり 平成30年(2018年)03月31日 博士(医学) 甲第2986号

「非がん慢性疼痛患者におけるオピオイドの使用状況とそれに対する患者受け入れの変容観察」

Shindo Y, Iwasaki S, Yamakage M: Efficacy and practicality of opioid therapy in Japanese chronic non-cancer pain patients. Pain Manag Nurs 2019; 20(3): 222-31.

Shindo Y, Koyanagi M, Iwasaki S, Yamakage M: Patients with chronic non-cancer pain receiving opioid therapy. Clin Nurs Res (under review)

27. 表 雅仁 平成30年(2018年)03月31日 博士(医学) 甲第3020号

「日本人により適切な標的濃度調節持続静注法の検討」

Omote M, Tachibana S, Tokinaga Y, Yamakage M: A new pharmacokinetic model of propofol for Japanese patients. Open J Anesthesiol 2019; 9: 179-88.

28. 本間 広則 平成30年(2018年)03月31日 博士(医学) 甲第3016号

「根釧地区における急性冠症候群患者の搬送におけるヘリコプター移送の有用性の検討」

Honma H, Niiyama Y, Sonoda H, Himuro N, Yamakage M: The impact of air transport for acute coronary syndrome patients. Air Med J 2019; 38(2): 73-7.

29. 立花 俊祐 平成30年(2018年)03月31日 博士(医学) 甲第3015号

「老齢ラット手術モデルにおける術後認知機能に及ぼすデクスメデトミジンの遺伝子解析を用いた作用機序の解明」

Tachibana S, \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

「プロポフォール溶媒である脂肪製剤は,骨格筋障害と脂質過酸化反応を誘導する」

Chaki T, Hirata N, Yoshikawa Y, Tachibana S, Tokunaga Y, Yamakage M: Lipid emulsion, but not propofol, induces skeletal muscle damage and lipid per oxidation. J Anesth 2019; in press

# 研究歴博士課程(乙課程)

1. 辻口 直紀 平成13年(2001年)11月14日 博士(医学) 乙第2023号(札幌医科大学)

「妊娠ラット子宮平滑筋収縮に対するプロポフォールの直接抑制機序」

Tsujiguchi N, Yamakage M, Namiki A: Mechanisms of direct inhibitory action of propofol on uterine smooth muscle contraction in pregnant rat. Anesthesiology 2001; 95(5): 1245-55.

2. 陳 向東 平成14年(2002年)03月29日 博士(医学) 乙第2071号(札幌医科大学)

「ブタ気管・気管支平滑筋のカリウム・クロライド電流に及ぼす吸入麻酔薬の抑制作用」

Chen X, Yamakage M, Namiki A: Inhibitory effects of volatile anesthetics on K+ and Cl- channel currents in porcine tracheal and bronchial smooth muscle. Anesthesiology 2002; 96(2): 458-66.

3. 今井 祐介 平成22年(2010年) 10月01日

博士 (医学)

(山梨大学医学部)

「等容量性血液希釈はウサギのシバリング閾値を低下させる」

Imai Y, Yamakage M, Sato H, Okuyama K, Ishiyama T, Matsukawa T: Isovolaemic haemodilution decreases the shivering threshold in rabbits. Eur J Anaesthesiol 2008; 25(6): 450-3.

4. 樽見 葉子 平成25年(2013年)02月19日

博士 (医学)

乙第2707号(札幌医科大学)

「急性期病院緩和医療にコンサルトされる患者の予後予測の評価へのパリアテイブプログノステイックスコア(PaP)とルーチン臨床 データの有用性の検討」

Tarumi Y, Watanabe SM, Lau F, Yang J, Quan H, Sawchuk L: Evaluation of the palliative prognostic score (PaP) and routinely collected clinical data in prognostication of survival for patients referred to a palliative care consultation service in an acute care hospital. J Pain Symptom Manage 2011; 42(3): 419-31.

5. 守屋 寛之 平成26年(2014年)03月14日

博士 (薬学)

(北海道薬科大学)

「薬剤師業務におけるゲノム情報に基づいた個別化医療の発展に関する研究」

Moriya H, Saito K, Helsby N, Sugino S, Yamakage M, Takasaki M, Kato H, Kurosawa N: The association between heterozygosity for UGT1A1\*6, UGT1A1\*28, and variation in the serum total-bilirubin level in healthy young Japanese adults. Genet Test Mol Biomarkers 2013; 17(6): 464-9.

Moriya H, Saito K, Helsby N, Hayashi N, Sugino S, Yamakage M, Sawaguchi T, Takasaki M, Takahashi M, Kurosawa N: Single nucleotide polymorphisms and copy number variations at the FCGR2A and FCGR3A genes in healthy Japanese subjects. Biomed Rep 2014; 2(2): 265-9.

Moriya H, Saito K, Helsby N, Sugino S, Yamakage M, Sawaguchi T, Takasaki M, Kato H, Kurosawa N: Association between the low-dose irinotecan regimen-induced occurrence of grade 4 neutropenia and genetic variants of UGT1A1 in patients with gynecologic cancers. Oncol Lett 2014; 7(6): 2035-40.

6. 西川 幸喜 平成29年(2017年)05月30日

博士(医学)

乙第2971号(札幌医科大学)

「電気痙攣療法における有用かつ効果的な麻酔法の検討(集成論文)」

Nishikawa K, Higuchi M, Kawagishi T, Shimodate Y, Yamakage M: Effect of divided supplementation of remifentanil on seizure duration and hemodynamic responses during electroconvulsive therapy under propofol anesthesia. J Anesth 2011; 25(1): 29-33.

Nishikawa K, Yamakage M: Effects of the concurrent use of a reduce dose of propofol with divided supplemental remifentanil and moderate hyperventilation on duration and morphology of electroconvulsive therapy-induced electroencephalographic seizure activity: A randomized controlled trial. J Clin Anesth 2017; 37(2): 63-6.

このように整理してみると、私の力不足が見えてきます。文科省の強い指導 により、掲載予定の学位論文なき学位審査を認めない形となり、掲載雑誌のレベルを下げたり、あるいは研究期間を延長しての学位取得が多くなってきています。現在投稿中の論文、現在学位審査を控えている学生、今後いい研究をしようと張り切っている学生や入学予定者には、その希望に添えるようなアイディア、研究費、研究の機会を与えられるようにさらに精進します。

現在,研究期間を延長しているもの2名,4年次2名,3年次2名,1年次3 、名,来年入学予定者が3名です。

上記,樽見先生の学位論文は私が共著者になっていません。Canadaで行った研究論文を当大学で学位取得した際に主査をした関係上,指導論文に掲載しました。一方,臨床研究で協力したために他講座の学位論文に共著者になっている2論文に関しては,研究指導もしていませんので,ここに掲載はしていません。

# 業績目録

2009年教授に就任して以降のみを記載

# 【著書】

#### <編集・監修>

- 1. PCA:患者自己調節鎮痛法. 山蔭道明監修, 山内正憲編集. 克誠堂, 東京, 2011.
- 2. 周術期の体温管理:For Professional Anesthesiologists. 山蔭道明編. 克誠堂出版, 東京. 2011.
- 3. 必携:麻酔科初期研修マニュアル(改訂第3版). 山蔭道明, 枝長充隆編. 真興交易(株)医書出版部, 東京. 2014.
- 4. 吸入麻酔:Inhalation Anesthesia For Professional Anesthesiologists. 山蔭道明,平田直之編. 克誠堂出版,東京. 2014.
- 5. PBLDに学ぶ麻酔科危機管理〜麻酔科医がコマンダーとなって冷静に行動する〜. 山蔭道明監修. 新山幸俊, 平田直之編. 克誠堂出版, 東京. 2015.
- 6. 今さら聞けない麻酔科の疑問108-基本事項から専門医が知っておきたい知識・テクニックまで.山蔭道明監修.枝長充隆,平田直之 編.文光堂,東京.2017.
- 7. すべての医療従事者が知りたい!医学系研究,論文投稿上のQ&A. 浅井 隆,廣田和美,山蔭道明編. 日本医事新報社,東京. 2017.
- 8. 日めくり麻酔科エビデンスアップデート~1日1つ,3カ月で100の知見を得る~. 山蔭道明監修,新山幸俊編. 克誠堂出版,東京. 2017
- 9. 最新主要文献とガイドラインでみる麻酔科レビュー2018. 山蔭道明,廣田和美監修. 総合医学社,東京. 2018.
- 10. ~エビデンスと麻酔科医の本音に基づいた~術式対応"わがまま"術後鎮痛マニュアル. 山蔭道明監修, 新山幸俊編集. 克誠堂出版, 東京. 2018.
- 11. 最新主要文献とガイドラインでみる麻酔科レビュー2019. 山蔭道明, 廣田和美監修. 総合医学社, 東京. 2019.

、 来年,再来年に控えている主催学会(日本心臓血管麻酔学会,日本臨床麻 酔学会)に合わせて,教室員と一緒に編集する著書を検討しています。

#### <分担執筆>

- 12. 山蔭道明:超短時間作用性麻薬性鎮痛薬:レミフェンタニル、土肥修司編、麻酔科学UPDATE-学術の進歩と臨床麻酔の安全性、医歯薬出版株式会社、東京、2009; p. 90-8.
- 13. 山蔭道明:15. 体温管理. II. 麻酔の技術. 創刊号「麻酔の現況と展望ー研修医からの質問300-」. 麻酔科学レクチャー. 「麻酔科学レクチャー」編集委員会編. 総合医学社, 東京. 2009, p. 102-10.
- 14. Namiki A, Yamakage M: Japan Facilities and Equipment The Modern Period: The Essentials of Modern Anesthesia Around the World. Chapter 3. The International Scope and Practice of Anesthesiology. Miller's Anesthesia (7th edition), Edited by Miller RD, Elsevier Inc., New York, 2009, p. 60-1.
- 15. 山蔭道明,澤田敦史:6. 整形外科背部(胸椎,腰椎)手術における麻酔管理. レミフェンタニル麻酔の実際~100マス(麻酔)チャート~. 森田 潔編. 克誠堂出版(株),東京. 2009, p. 65-75.
- 16. 山蔭道明:概説、I. 催眠鎮静薬、社団法人日本麻酔科学会編、医薬品等適正使用推進施行事業-麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン-(改訂第3版)、2009,p. 5.
  - 山蔭道明:エプタゾシン臭化水素酸塩eptazocine hydrobromide. II. 鎮痛薬・拮抗薬. 社団法人日本麻酔科学会編. 医薬品等適正使用推進施行事業-麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン-(改訂第3版). 2009, p. 43-4.

- 17. 佐藤順一,山蔭道明: VI.記号,略語とその解説.よくわかる人工呼吸管理テキスト(改訂第5版)並木昭義,氏家良人,升田好樹編. 南江堂,東京,2010,p.269-80.
- 18. 澤田敦史,山蔭道明:37.経管栄養。リトルICUブック(翻訳:The Little ICU Book)、稲田英一監訳。メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京。2010, p. 469-79.
  澤田敦史,山蔭道明:38.静脈栄養。リトルICUブック(翻訳:The Little ICU Book)、稲田英一監訳。メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京。2010, p. 481-9.
- 19. 山内正憲,山蔭道明:XII. 代謝の生理学. 第10章:基礎的生理学とモニタリング. 周術期管理チームテキスト. 日本麻酔科学会編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2010,p. 279-81. 山内正憲,山蔭道明:XIII. 体温測定. 第10章:基礎的生理学とモニタリング. 周術期管理チームテキスト. 日本麻酔科学会編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2010,p. 282-4.
- 20. 木谷友洋,山蔭道明:Q-87.シバリングの原因と対処方法.これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ & A(第2版). Vol. 33. 天羽敬祐,川村隆枝編.総合医学社,東京. 2010,p. 190-1. 及川慶浩,山蔭道明:Q-93.感染症患者の術後の手術室の清掃.これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ & A(第2版). Vol. 33. 天羽敬祐,川村隆枝編.総合医学社,東京. 2010,p. 202-3. 及川慶浩,佐藤順一,山蔭道明:Q-94.四肢手術時の患者の衣服.これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ & A(第2版). Vol. 33. 天羽敬祐,川村隆枝編.総合医学社,東京. 2010,p. 206-7. 平田直之,山蔭道明:Q-96.並列麻酔の危険性.これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ & A(第2版). Vol. 33. 天羽敬祐, 川村隆枝編.総合医学社,東京. 2010,p. 210-1.
- 21. 早瀬 知,山蔭道明:3.体温.第6章:モニタリング.麻酔科研修ノート.診断と治療社,東京.2010,p.168-70. 早瀬 知,山蔭道明:5.輸液・輸血の加温法.第7章:静脈路.麻酔科研修ノート.診断と治療社,東京.2010,p.206-7.
- 22. 山蔭道明:第39章. ガス交換の生理学的基本原理. 肺胞膜を介した酸素と二酸化炭素の拡散. ガイトン生理学(第11版翻訳). 「Textbook of Medical Physiology. 11th edition. ed. by Guyton AC, and Hall JE, WB Saunders, 2005」. エルゼビア・ジャパン, 東京, 2010, p. 515-25.
- 23. 山内正憲,山蔭道明:17. Ca<sup>2+</sup>チャネルブロッカー.1章:有望な鎮痛カスケードの開発動向.4部:治療・臨床を意識したこれからの 疼痛治療薬開発動向.慢性疼痛における薬剤選定と治療薬開発.(株)技術情報協会編,東京.p.394-9,2010.
- 24. 澤田敦史,山蔭道明:3. セボフルランの特性と麻酔の導入,覚醒. セボフルランー基礎を知れば臨床がわかる. 稲田英一編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2010, p. 23-40. 山蔭道明:8. セボフルランの呼吸器系に及ぼす影響. セボフルランー基礎を知れば臨床がわかる. 稲田英一編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2010, p. 107-23.
- 25. 宮下 龍,山蔭道明:3-2. 高圧空気と合成空気. 第3章:医療ガスと関連機器. 医療ガスー知識と管理,教育・実践のガイドライン. 医療ガス学会教育委員会編. 真興交易(株)医書出版部,東京. 2011, p. 71-5.
- 26. 宮下 龍,山蔭道明:245. シバリングがある. 第2部:術中・術後. X:中枢・末梢神経系. 麻酔科トラブルシューティングAtoZ. 高崎真弓他編. 文光堂,東京. 2011, p. 562-3. 宮下 龍,山蔭道明:259. 体温が上昇してきた. 第2部:術中・術後. XIII: 医療機器・安全管理. 麻酔科トラブルシューティング AtoZ. 高崎真弓他編. 文光堂,東京. 2011, p. 609-11. 宮下 龍,山蔭道明:260. 長時間麻酔で術中低体温になった. 第2部:術中・術後. XIII: 医療機器・安全管理. 麻酔科トラブルシューティングAtoZ. 高崎真弓他編. 文光堂,東京. 2011, p. 612-3.
- 27. 山蔭道明:第19章. 術後管理, 術後鎮痛. 第Ⅲ編. 麻酔管理. 標準麻酔科学(第6版). 弓削孟文監修, 古家 仁, 稲田英一, 後藤隆久編. 医学書院, 東京, 2011, p. 194-205. (執筆協力:新山幸俊)
- 28. 岩崎創史,山蔭道明:8. 麻酔の深度と麻酔からの覚醒. 第1章. 麻酔管理の必須テクニック. イラストでわかる麻酔科必須テクニック (改訂版). 土肥修司編. 羊土社,東京. 2011, p. 30-1.
- 29. 澤田敦史,山蔭道明:基礎. 8. 気化器の原理と種類. デスフルランの使い方. 武田純三編. 真興交易(株)医書出版部,東京. 2011, p. 78-90.
- 30. 及川慶浩,山蔭道明、II. 周術期の体温管理:2. 体温測定法-その利点とピットフォール-. 周術期の体温管理:For Professional Anesthesiologists. 山蔭道明編. 克誠堂出版,東京. 2011, p. 26-43. 山蔭道明、II. 周術期の体温管理:5. 手術中の体温変化、B. 高齢者の体温調節とその管理. 周術期の体温管理:For Professional Anesthesiologists. 山蔭道明編. 克誠堂出版,東京. 2011, p. 89-104.
- 31. 川岸俊也,山蔭道明:7. 術前と術中の輸液管理. A. ベイシック編. 「わかりやすい輸液管理Q & A-研修医からの質問398-(第2版)」岡元和文編. 総合医学社,東京. 2012, p. 39-45.

- 32. 吉田真一郎, 山蔭道明:4-5) 輸血製剤の使用法.4章: 術中輸液・輸血の考え方.《新戦略に基づく周術期管理》「麻酔科医のための循環管理の実際」.横山正尚編.中山書店,東京.2013,p.107-15. 岩崎創史,山蔭道明:5.各種病態での周術期呼吸管理の新戦略.シリーズ《新戦略に基づく周術期管理》「周術期循環管理の実際と新たな提言」.廣田和美編.中山書店,東京.2013,p.209-34.
- 33. 時永泰行,山蔭道明:第川章.人工呼吸器管理で使用される記号,略語とその解説.よくわかる人工呼吸管理テキスト(改訂第6版) 並木昭義,氏家良人,升田好樹編.南江堂,東京,2014,p.313-24.
- 34. 佐々木英昭,山蔭道明:5. 手術室外での麻酔と鎮静. VIII. 特殊な病態や状態下での麻酔・鎮静. For Professional Anesthesiologists. 静脈麻酔. 稲垣喜三編. 克誠堂出版,東京. 2014, p. 314-24. 佐々木英昭,山蔭道明: 6. 集中治療部での鎮静. VIII. 特殊な病態や状態下での麻酔・鎮静. For Professional Anesthesiologists. 静脈麻酔. 稲垣喜三編. 克誠堂出版,東京. 2014, p. 325-34.
- 35. 早瀬 知,山蔭道明:3.体温.第6章:モニタリング.麻酔科研修ノート(改訂第2版).診断と治療社,東京.2014, p.190-2. 早瀬 知,山蔭道明:5.輸液・輸血の加温法.第7章:静脈路.麻酔科研修ノート(改訂第2版).診断と治療社,東京.2014, p.230-1.
- 36. 平田直之,山蔭道明:3. 輸液製剤の選択、I. 総論. 症例で学ぶ新しい周術期の輸液管理. 松永 明編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2014, P. 20-8.
- 37. Yamakage M, Hirata N: Chapter 2: International Scope, Practice, and Legal Aspects of Anesthesia. Miller's Anesthesia (8th edition), Edited by Miller RD, Elsevier Inc., New York, 2014, p. 10-47.
- 38. 岩崎創史,山蔭道明: 5. 気道管理・呼吸器系. 麻酔科学文献レビュー2015~2016. 学研メディカル秀潤社,東京. 2015, p. 75-85.
- 39. 山蔭道明:低体温. 南山堂大辞典(第20版). 南山堂, 東京. 2015, p. 1675.
- 40. 岩崎創史,杉目史行,山蔭道明:第3章「幻肢痛のメカニズムから探る薬物治療と治療薬開発の展望」.第12節「神経障害性疼痛(末 梢神経障害/神経痛)【最新の治療から導き出す】痛みのメカニズムと疼痛治療薬開発.(株)技術情報協会,東京.2015,p.197-202.
- 41. 数馬 聡, 山蔭道明: 48. 経管栄養、XIV: 栄養と代謝、ICUブック(第4版翻訳)、稲田英一監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京、2015, p. 701-12. 数馬 聡, 山蔭道明: 49. 静脈栄養、XIV: 栄養と代謝、ICUブック(第4版翻訳)、稲田英一監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京、2015, p. 713-22.
- 42. 新山幸俊,山蔭道明:A. アップグレードのための準備. IV. マルチモーダル鎮痛を心がけていますか?ポケット版術後痛サービス(POPS)マニュアル. POPS研究会編,大阪,2015, p. 18-21. 新山幸俊,山蔭道明:B. アップグレードの実践:手術室. II. PONVにハイリスク患者でiv-PCAを成功させるには?ポケット版術後痛サービス(POPS)マニュアル. POPS研究会編,大阪,2015, p. 64-7.
- 43. 室内健志,山蔭道明:6-3. 最近の話題. 6. 硬膜外ブロックUp-to-Date. 《新戦略に基づく麻酔・周術期医学》麻酔科医のための区域麻酔スタンダード. 中山書店,東京. 2015, p. 221-8.
- 44. 吉川裕介,山蔭道明:3. ミダゾラム/他のベンゾジアゼピン. II. 麻酔薬,麻酔関連薬. B 静脈麻酔薬.麻酔科医のための周術期の薬物使用法.シリーズ《新戦略に基づく麻酔・周術期医学》.森田 潔監修,川真田樹人編.中山書店,東京. 2015,p.521-3.
- 45. 山蔭道明:8. 麻酔前投薬と術前評価. 麻酔科学レビュー2016-最新主要文献集-. 澄川耕二,岩崎 寛編. 総合医学社,東京. 2016, p. 48-54.
- 46. 立花俊祐,山蔭道明:(1)深部体温計. VI. 体温. 麻酔科医のための周術期のモニタリング《新戦略に基づく麻酔・周術期管理》. 廣田和美編. 中山書店,東京. 2016, p. 216-26.
- 47. 立花俊祐,山蔭道明:(2)末梢温測定. VI. 体温. 麻酔科医のための周術期のモニタリング《新戦略に基づく麻酔・周術期管理》. 廣田和美編. 中山書店,東京. 2016, p. 227-9.
- 48. 早瀬 知,山蔭道明: A. テント上腫瘍. 2. 脳・脊髄腫瘍の麻酔管理. XII. 各論・麻酔管理. 神経麻酔. 内野博之,川口昌彦編. 克誠堂出版(株),東京,2016,p. 197-202.
- 49. 枝長充隆,山蔭道明:B. テント下腫瘍(小脳橋角部腫瘍も含む). 2. 脳・脊髄腫瘍の麻酔管理. XII. 各論・麻酔管理. 神経麻酔. 内野博之,川口昌彦編. 克誠堂出版(株),東京,2016,p.203-7.
- 50. 室内健志,山蔭道明:65. 低体温の有害作用にはどのようなものがあるか。11章:体温管理.麻酔科クリニカルクエスチョン101. 稲田英一編. (株)診断と治療社,東京. 2016, p. 148-9.

- 51. 山蔭道明: V「呼吸管理の生理学」, VI「パルスオキシメトリ」, VII「カプノメトリ」. 12章『基礎的生理学とモニタリング』周術期管理チームテキスト第3版. 日本麻酔科学会編, 日本麻酔科学会,神戸. 2016, p. 292-306. 山蔭道明: II「呼吸管理」. 20章『麻酔の維持』周術期管理チームテキスト第3版. 日本麻酔科学会編,日本麻酔科学会,神戸. 2016, p. 529-41.
- 52. 立花俊祐,山蔭道明:94. 新鮮ガス流量を変化させるとどのようなことが起こるか. 新 麻酔科研修の素朴な疑問に答えます. 稲田英一編. メディカル・サイエンス・インターナショナル,東京. 2016, 299-303.
- 53. 山蔭道明:特集にあたって、特集「体温管理:どうして必要?どうすればいい?にお答えします」、「オペナース誌」手術ナーシング (3巻2号)、山蔭道明監、(株)医学出版、東京、2016, p. 6. 及川慶浩、山蔭道明:2. 目的にかなった手術中の体温測定部位はどこか?特集「体温管理:どうして必要?どうすればいい?にお答えします」、「オペナース誌」手術ナーシング(3巻2号)、(株)医学出版、東京、2016, p. 11-21.
- 54. 高橋和伸,山蔭道明:(1) 始業点検の要点.(2) 麻酔器具の維持管理.6.機器管理のポイント.I. 周術期の安全対策・危機管理の基本.シリーズ《新戦略に基づく麻酔・周術期医学》「麻酔科医のための周術期危機管理と合併症への対応」.森田 潔監修,横山正尚編.中山書店,東京.2016,p.269-80.
- 55. 山蔭道明: 8. 麻酔前投薬と術前評価. 麻酔科学レビュー2017-最新主要文献集-. 澄川耕二,岩崎 寛編. 総合医学社,東京. 2017, p. 47-50.
- 56. 山蔭道明:序. 今さら聞けない麻酔科の疑問108-基本事項から専門医が知っておきたい知識・テクニックまで. 山蔭道明監修. 枝長充隆,平田直之編. 文光堂,東京, 2017. iii-iv. 山蔭道明:Q1. 麻酔科ってどんな学問ですか?今さら聞けない麻酔科の疑問108-基本事項から専門医が知っておきたい知識・テクニックまで. 山蔭道明監修. 枝長充隆,平田直之編. 文光堂,東京, 2017. P. 2-3. 山蔭道明:Q2. 麻酔薬ってどう聞くのですか?今さら聞けない麻酔科の疑問108-基本事項から専門医が知っておきたい知識・テクニックまで. 山蔭道明監修. 枝長充隆,平田直之編. 文光堂,東京, 2017. P. 4-5.
- 57. 山蔭道明,新山幸俊:序文. 日めくり麻酔科エビデンスアップデート~1日1つ,3ヵ月で100の知見を得る~. 山蔭道明監修,新山幸俊編. 克誠堂出版,東京. 2017. v.
- 58. 時永泰行,山蔭道明:7. 術前と術中の輸液管理. A. ベイシック編. 救急・集中治療のための輸液管理Q & A (第3版) 研修医からの質問365-」 岡元和文編. 総合医学社,東京. 2017, p. 39-45.
- 59. 山蔭道明,澤田敦史: Q2. なぜ論文を各必要があるのですか?:基礎研究者の場合.第1部「医学系論文の意義を知ろう!」.すべての医療従事者が知りたい!医学系研究,論文投稿上のQ&A. 浅井 隆,廣田和美,山蔭道明.日本医学新報社,東京. 2017, p. 3-4.山蔭道明,澤田敦史: Q19. 研究費用の獲得先にはどのような種類がありますか?第2部「研究を計画するまでにすべきことを知ろう!」.すべての医療従事者が知りたい!医学系研究,論文投稿上のQ&A.浅井 隆,廣田和美,山蔭道明.日本医学新報社,東京. 2017, p. 52-4.
  - 山蔭道明,澤田敦史: Q20. 科学研究費などを獲得する秘訣は何ですか?第2部「研究を計画するまでにすべきことを知ろう!」. すべての医療従事者が知りたい! 医学系研究, 論文投稿上のQ&A. 浅井 隆, 廣田和美, 山蔭道明. 日本医学新報社, 東京. 2017, p. 55-7
  - 山蔭道明,澤田敦史:Q21. 研究をする資格は何かありますか?第2部「研究を計画するまでにすべきことを知ろう!」. すべての医療 従事者が知りたい!医学系研究,論文投稿上のQ&A. 浅井 隆,廣田和美,山蔭道明. 日本医学新報社,東京. 2017, p. 58-9.
- 60. 山蔭道明:第17章. 術後鎮痛. 第川編. 麻酔管理総論. 標準麻酔科学(第7版). 古家 仁監修,稲田英一,森崎 浩,西脇公俊編. 医学書院,東京,2018,p.201-212. (執筆協力:新山幸俊)
- 61. 赤塚正幸,山蔭道明: 1. 集中治療のモニタリング. II. 集中治療における検査・技術. 集中治療医学レビュー:最新主要文献と解説 (2018-′19). 総合医学社,東京. 岡元和文監修,大塚将秀,佐藤直樹,松田直之編集. 2018, p. 98-102.
- 62. 山蔭道明:序文. 最新主要文献とガイドラインでみる麻酔科レビュー2018. 山蔭道明, 廣田和美監修. 総合医学社, 東京. 2018, p. 1.
- 63. 山蔭道明,新山幸俊:緒言. ~エビデンスと麻酔科医の本音に基づいた~術式対応"わがまま"術後鎮痛マニュアル. 山蔭道明監修,新山幸俊編集. 克誠堂出版,東京. 2018, p. 1.
- 64. 立花俊祐,山蔭道明:3.体温. 第6章 モニタリング. 麻酔科研修ノート(改訂第3版). 稲田英一編. 診断と治療社,東京. 2018, p. 188-90.
  - 立花俊祐,山蔭道明:5. 輸液・輸血の加温法. 第7章 静脈路. 麻酔科研修ノート(改訂第3版). 稲田英一編. 診断と治療社,東京. 2018, p. 239-40.

#### 【総 説】

- 1. 山蔭道明,田村岳士:Restricted fluid therapy:麻酔中の輸液管理,徹底分析「周術期の輸液管理」. LiSA 2009, 16(1): 20-3.
- 2. 山下 淳,山蔭道明:小児周術期輸液の考え方の変遷. 徹底分析「輸液管理:病態と輸液剤の選択」. LiSA 2009, 16(2): 112-3. 澤田 敦,山蔭道明:肝不全患者の輸液管理. 徹底分析「輸液管理:病態と輸液剤の選択」. LiSA 2009, 16(2): 142-5. 高橋和伸,山蔭道明:消化管大手術の輸液管理. 徹底分析「輸液管理:病態と輸液剤の選択」. LiSA 2009, 16(2): 146-9.
- 3. 山蔭道明:気道-喫煙の基礎医学. 治療学 2009; 43(2): 157-62.
- 4. 山蔭道明: Hydroxyethyl starch製剤の現状と今後の展望. Anesthesia 21 Century 2009; 11: 38-52.
- 5. 及川慶浩, 山蔭道明:9. 目的にかなった手術中の体温測定部位はどこか?「臨床麻酔誌上セミナー'09」. 臨床麻酔(臨時増刊号) 2009; 33(3): 399-411.
- 6. 山蔭道明:新しい局所麻酔薬レボブピバカイン概要. 日本臨床麻酔学会誌 2009; 29(3): 275-89.
- 7. 山蔭道明: 2. いまなぜ手術室に薬剤師が必要なのか?. 2) 麻酔科医の立場から、特集「周術期患者の薬学管理ーはじめの一歩」、薬局 2010: 61(4): 20-6.
- 8. 山蔭道明,本間広則,並木昭義:4. 手術による生体侵襲. 特集「急性生体侵襲と主要臓器管理Q&A」. 松田直之編. 救急・集中治療 2008; 20(9·10): 1129-34.
- 9. 山蔭道明, 澤田敦史:吸入麻酔薬の最近の知見. 日本臨床麻酔学会誌 2010; 30(3): 342-55.
- 10. 山蔭道明, 岩崎創史:麻酔の深度と手術患者の覚醒. 特集「麻酔の質と手術患者の覚醒」. 医学のあゆみ 2010; 234(2): 131-5.
- 11. 山内正憲,山蔭道明:整形外科疾患に対するペインクリニック. 誌上シンポジウム「整形外科領域における痛み」. 北海道整形災害外科学会雑誌 2010; 52(1): 20-4.
- 12. 宮下 龍,山蔭道明:術後に高熱を出した患者.症例検討「麻酔歴に問題がある患者のインフォームド・コンセントと麻酔3」. LiSA 2010; 17(10): 992-6.
- 13. Niemi TT, Miyashita R, Yamakage M: Colloid solutions: a clinical update. J Anesth 2010; 24(6): 913-25.
- 14. 山内正憲,山蔭道明:II. 各施設の慢性疼痛に対するオピオイド使用戦略:札幌医科大学附属病院-当科における経緯と展望. 特集「慢性疼痛に対するオピオイドの使用戦略」. ペインクリニック 2011; 32(3): 336-44.
- 15. 早瀬 知,山蔭道明:周術期輸液と予後、特集「周術期輸液・輸血管理のup-to-date」. ICUとCCU 2011; 35(4): 307-12.
- 16. 宮下 龍,山蔭道明: 1. 周術期輸液管理の新戦略. 特集「周術期の体液代謝管理」. 臨床麻酔 2011; 35(6): 916-27.
- 17. 平田直之,山蔭道明:講座「デスフルランー臨床使用におけるコツとポイントー」.臨床麻酔2011; 35(12): 1817-23.
- 18. 山内正憲, 山蔭道明:講座「痛みの評価」. ペインクリニック2012; 33(2): 271-9.
- 19. 枝長充隆,山蔭道明:特集2「周術期における麻酔管理の極意-呼吸抑制・循環抑制・体温管理」. 実践安全手術看護2012; 5(6): 26-8.
- 20. 枝長充隆, 山蔭道明: 「これだけは知っておきたい麻酔の知識」全身麻酔薬の種類と留意事項. JOHNS 2012; 28(11): 1728-30.
- 21. 山内正憲,山蔭道明:学生・初期臨床研修医が理解と興味を持つペインクリニック教育-札幌医科大学医学部-「特集:ペインクリニック教育の課題と展望」.ペインクリニック2012; 33(3): 335-42.
- 22. 橘 信子, 杉野繁一, 周 静, 澤田敦史, 早瀬 知, 高橋和伸, 高田幸昌, 丸山大介, 岩崎創史, 佐々木英昭, 平川由佳, 立花俊祐, 大須田倫子, 玉城啓史, 新山幸俊, 渡邉昭彦, 山内正憲, 山蔭道明: 誌上抄読会「デスフルラン」. 臨床麻酔2012; 36(4): 637-43.
- 23. 枝長充隆, 山蔭道明:薬剤が引き起こす急変と投与時の観察ポイント. 急変キャッチ達人ナース 2011; 33(1): 16-23.
- 24. 新山幸俊,山蔭道明:小児にデスフルランを積極的に使用すべきか?気管挿管下に十分な麻酔深度を保ちつつ,オピオイドの併用が必要.徹底分析シリーズ「デスフルラン1」. LiSA 2013; 20(1): 42-6.

- 25. 枝長充隆,高田幸昌,畠山陽介,山蔭道明:カプノグラムに代わる新しい呼吸数モニタリングとしてのRRa®(Acoustic Respiration Rate). 臨床麻酔 2013: 37(1): 41-8.
- 26. 杉野繁一,早瀬 知,山蔭道明:麻酔科学へのオミクス研究の導入と臨床麻酔での可能性.特集「麻酔学領域の基礎研究の臨床応用」.麻酔2013;62(3):296-303.
- 27. 橘 信子, 新山幸俊, 山蔭道明:TCI (Target-Controlled Infusion) のUp to Date. 臨床麻酔 2013; 37(4): 661-6.
- 28. 岩崎創史,山蔭道明:体温調節のメカニズム. 1. 体温総論. 特集「体温;測定から管理まで」. 救急医学 2013; 37: 991-5.
- 29. 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均, 千原伸也, 澤田理加, 中野皓太, 山本恭輔, 菅原康介, 吉田真一郎, 後藤京子, 高橋科那子, 山蔭道明: 電解質異常を伴う急性期重症患者に対応するCHDFの置換液の調整 日急性血浄化会誌 2013: 4(1): 17-22.
- 30. 山蔭道明:講座「デスフルラン:やはり覚醒の質は高かった」. 日臨麻会誌 2013; 33(7): 939-46.
- 31. 巽 博臣, 今泉 均, 升田好樹, 吉田真一郎, 坂脇英志, 後藤京子, 高橋科那子, 山蔭道明, 大川牧生, 国元文生. 「今知りたい!集中治療の最新論点-Pro & Conディベート-」栄養: 栄養管理に中心静脈栄養法は不要である? 救急・集中治療 2013; 25(9-10): 1194-200.
- 32. 巽 博臣,後藤京子,今泉 均,升田好樹,吉田真一郎,坂脇英志,高橋科那子,山蔭道明,貝沼関志. 「今知りたい!集中治療の最新論点-Pro & Conディベート-」院内システム/教育:ICUは初期研修医が主義を行う格好の場である??救急・集中治療 2013; 25(9-10): 1211-21.
- 33. 新山幸俊,山蔭道明:脊椎外科手術後鎮痛—麻酔科からの視点.特集「術後疼痛管理の最前線」.整形・災害外科 2013; 56(13): 1571-5
- 34. 岩崎創史,山蔭道明:平熱,発熱,高体温,低体温.特集「体温の異常―診かた・考えかた」. 小児内科 2014; 46(3): 301-4.
- 35. 新山幸俊,山蔭道明:周術期管理.特集「高齢者に対する癌治療ベストプラクティス」.消化器外科 2014; 37(9): 1371-81.
- 36. 新谷知久,山蔭道明:最近のペインクリニック. 特集「最新の腰痛・膝関節痛の診療」.月刊「臨牀と研究」.2014;91(11):1465-8.
- 37. 平田直之,山蔭道明:自発呼吸と人工呼吸の循環生理学的な違い:血圧,心拍出量の変化.徹底分析シリーズ「研修医の素朴な疑問に答えます:周術期管理」. LiSA 2014; 21(11): 1042-3.
- 38. 渡邊昭彦,山蔭道明:緩和医療「緩和医療に使用する薬剤」. 北海道外科雑誌 2014; 58(2): 127-32.
- 39. 枝長充隆, 高田幸昌, 山蔭道明:新たな呼吸数モニタリングの可能性. 日臨麻会誌 2015; 35(2): 250-6.
- 40. 新山幸俊,山蔭道明:麻酔科領域での使用法:術後痛管理というメイクアップにおけるファンデーション. 特集「アセトアミノフェン」. LiSA 2015; 22(9): 884-8.
- 41. 新山幸俊,山蔭道明:術後マルチモーダル鎮痛におけるアセトアミノフェンの立ち位置.臨床麻酔(臨時増刊号) 2016; 40(3): 373-81.
- 42. 平田直之, 茶木友浩, 山蔭道明: Oxygen Reverse Index: 新しい酸素化モニターの可能性. 臨床麻酔 2016; 40(10): 1391-7.
- 43. 時永泰行, 数馬 聡, 山蔭道明: 4. 内皮グリコカリックス障害が発生する?一今後の輸液戦略のキーワードー. II. 微小循環障害からみたショックの病態. 特集「ショック管理ーショックと臓器障害関連のメカニズムー」 救急・集中治療 2017; 29(5.6): 327-32.
- 44. 岩崎創史, 高橋和伸, 山蔭道明: 【痛み関連の医療連携】がん性疼痛のチーム医療:アミノ基-炭素鎖-芳香環の構造式からみる札幌医科大学附属病院の痛み診療. ペインクリニック 2017; 38(8): 1039-46.
- 45. Hirota K, Yamakage M, Hashimoto S, Asai T, Isono S: Perioperative respiratory complications: current evidence and strategy discussed in 2017 JA symposium. J Anesth 2018; 32(1): 132-6.
- 46. 時永泰行,数馬 聡,山蔭道明: 3. 血管透過性と内皮グリコカリックス. I. 知っておきたいショックの病態生理と臓器障害. 特集「エキスパートに学ぶショック管理のすべて」 救急・集中治療 2018; 30(3): 343-8.
- 47. 山蔭道明:未来に求められる麻酔薬-近未来の全身麻酔方法-. 麻酔 2019; 68(8): 852-60.

<sup>7</sup> 分担執筆あるいは総説に関しては,教授就任後,なるべく教室員にチャンス 、を与えるべく,自分での執筆は控えている。

- 1. Yamakage M, Iwasaki S, Jeong S-W, Satoh J-I, Namiki A: Beta-1 selective adrenergic antagonist landiolol and esmolol can be safely used in patients with airway hyperreactivity. Heart Lung 2009; 38(1): 48-55.
- 2. Yamashita J, Yamakage M, Kawana S, Namiki A: Two cases of Menkes disease: airway management and dental fragility. Anaesth Intensive Care 2009; 37(2): 332-3.
- 3. Yamakage M, Takahashi K, Takahashi M, Satoh J-I, Namiki A: Performance of four carbon dioxide absorbents in experimental and clinical settings. Anaesthesia 2009; 64(3): 287-92.
- 4. Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Masamune T, Ishiyama T, Matsukawa T: Intravenous famotidine does not always change the core and peripheral temperatures during general anesthesia. J Anesth 2009; 23(1): 151-3.
- 5. Satoh J-I, Yamakage M, Kobayashi T, Tohse N, Watanabe H, Namiki A: Desflurane but not sevoflurane can increase lung resistance via tachykinin pathways. Br J Anaesth 2009; 102(5): 704-13.
- 6. 加藤佐智,山蔭道明,新山幸俊,高橋和伸,並木昭義:覚醒遅延をきたした慢性腎不全,心不全患者の1症例. 臨床麻酔 2009; 33(5): 888-90.
- 7. Sato H, Yamakage M, Okuyama K, Imai Y, Iwashita H, Ishiyama T, Matsukawa T: Forced-air warming effectively recovers midazolam-induced core hypothermia in volunteers. Eur J Anaesthesiol 2009: 26(7): 566-71.
- 8. Yamakage M, Takahashi M, Tsukigase N, Takahashi K, Namiki A. Usefulness of Endoflex® endotracheal tube for oral and nasal tracheal intubation. Eur J Anaesthesiol 2009; 26(8): 661-5.
- 9. 望月宏樹,山蔭道明,吉田真一郎,古瀬晋吾,山内正憲,並木昭義:ロクロニウムにアナフィラキシー反応を示した心臓外科手術の1 症例. 臨床麻酔 2009; 33(6): 1051-3.
- 10. 福岡英子,山内正憲,水上奈穂美,山蔭道明,渡辺廣昭,並木昭義:バルーン式ディスポーザブル持続注入器の投与速度に及ぼす温度と抵抗圧の影響. 臨床体温 2009; 27(1): 50-3.
- 11. 山蔭道明, 山本みえ子: 体温マッサージ療法が老化性色素斑(しみ)に与える影響. 臨床体温 2009; 27(1): 55-9.
- 12. Yamauchi M, Kawaguchi R, Sugino S, Yamakage M, Honma E, Namiki A: Ultrasound-aided unilateral epidural block for single lower-extremity pain. J Anesth 2009; 23(4): 605-8.
- 13. Satoh J-I, Yamakage M. Desflurane induces airway contraction mainly by activating transient receptor potential A1 of sensory C-fibers. J Anesth 2009; 23(4): 620-3.

- 14. 川端一裕,千田典史,山内正憲,山蔭道明:エアウェイスコープ®とカフインフレーション法で経鼻挿管に成功した開口障害の1例. 日本歯科麻酔学会誌 2010; 38(3): 311-2.
- 15. 東口 隆,山下 淳,宮下 龍,渡辺昭彦,山蔭道明:巨大卵巣腫瘍切除術の麻酔経験.臨床麻酔 2010; 34(4): 739-41.
- 16. Hirata N, Miyashita R, Watanabe A, Yamakage M. Low-dose continuous infusion of landiolol can reduce adrenergic response during tracheal intubation in elderly patients with cardiovascular disease. J Anesth 2010; 24(5): 786-8.
- 17. 新谷知久,山内正憲,水上奈穂美,新山幸俊,大曽根順平,本間広則,川股知之,山蔭道明,廣瀬總明.肩関節術後痛に対する鎖骨上 アプローチでの持続腕神経叢ブロックの効果.麻酔 2010; 59(11): 1385-90.
- 18. Narimatsu E, Niiya T, Kawamata T, Kawamata M, Yamakage M: Effects of atropine and pralidoxime on neuronal actions of paraoxon in rat hippocampal slices. Neurosci Res 2010; 68: 276-84.

19. 高橋三佳,山内正憲,渡辺昭彦,高橋和伸,水上奈穂美,新谷知久,山蔭道明:癌患者および慢性疼痛患者の下肢冷感に対する漢方薬の有用性. 臨床体温 2010: 28(1): 22-6.

- 20. Kawaguchi R-I, Yamauchi M, Sugino S, Yamakage M: Ultrasound-aided ipsilateral-dominant epidural block for total hip arthroplasty: a randomised controlled single-blinded study. Eur J Anaesthesiol 2011; 28(2): 137-40.
- 21. Kiya T, Kawamata T, Namiki A, Yamakage M: Role of satellite cell-derived L-serine in the dorsal root ganglion in paclitaxel-in-duced painful peripheral neuropathy. Neurosci 2011; 174: 190-9.
- 22. Nishikawa K, Higuchi M, Kawagishi T, Shimodate Y, Yamakage M: Effect of divided supplementation of remifentanil on seizure duration and hemodynamic responses during electroconvulsive therapy under propofol anesthesia. J Anesth 2011; 25(1): 29–33.
- 23. Nishikawa K, Fukuoka E, Kawagishi T, Shimodate Y, Yamakage M. Efficacy of the Airtraq® laryngoscope with a fiberoptic bronchoscope compared with that of Airtraq® alone for tracheal intubation: a manikin study. J Anesth 2011; 25(1): 93-7.
- 24. Zhou J, Iwasaki S, Watanabe A, Yamakage M: Synergic bronchodilator effects of a phosphodiesterase 3 olprinone with a volatile anaesthetic sevoflurane in ovalbumin-sensitized guinea pigs. Eur J Anaesthesiol 2011; 28(7): 519-24.
- 25. 松岡伸悦,新山幸俊,浦濱 聡,山蔭道明:脊髄くも膜下麻酔施行後に異常疼痛を呈した後天性無痛症の麻酔経験.臨床麻酔 2011; 35(6):1020-2.
- 26. 山下 淳, 山内正憲, 山蔭道明:帝王切開術後の硬膜外自家血注入における超音波画像の有用性. 麻酔 2011; 60(7): 870-2.
- 27. Masamune T, Yamauchi M, Wada K, Iwashita H, Okuyama K, Ino H, Yamakage M, Ishiyama T, Matsukawa T: The usefulness of an earphone-type infrared tympanic thermometer during cardiac surgery with cardiopulmonary bypass: clinical report. J Anesth 2011; 25(4): 576-9.
- 28. Watanabe A, Yamakage M: Intrathecal neurolytic block in a patient with refractory cancer pain. J Anesth 2011; 25(4): 603-5.
- 29. Yamauchi M, Suzuki D, Niiya T, Honma H, Tachibana N, Watanabe A, Fujimiya M, Yamakage M: Ultrasound-guided cervical nerve root block: spread of solution and clinical effect. Pain Med 2011; 12(8): 1190-5.
- 30. 吉田 司,新谷知久,山内正憲,成松英智,山蔭道明:外傷性多発骨折に対する緊急手術の麻酔終了直後に発症した脂肪塞栓症候群の 1例. 臨床麻酔 2011; 35(8): 1294-6.
- 31. 松岡伸悦, 小林 巌, 南波 仁, 四十物摩呼, 住田臣造, 山蔭道明: 腹部大動脈瘤破裂術後にEarly Goal-Directed Therapy (EGDT) を指標とした循環管理により救命し得た 1 症例. 臨床麻酔 2011; 35(9): 1430-2.
- 32. 澤田敦史, 宮下 龍, 枝長充隆, 山蔭道明:総腸骨動脈バルーン遮断を用いた前置癒着胎盤合併帝王切開術の麻酔経験. 麻酔2011; 60(12):1401-4.
- 33. Iwasaki S, Zhow J, Ichinose H, Yamamoto S, Nakabayashi K, Yamakage M: A case of respiratory arrest and laryngeal edema resulting from glycyrrhizin-induced severe hypokalemic myopathy. Anesth Resus 2011; 47(3): 65-8.
- 34. Edanaga M, Azumaguchi R, Ohsuda M, Yamakage M: A suspected case of amniotic fluid embolism rescued by ABO-incompatible blood transfusion and operation for a massive obstetric hemorrhage. Anesth Resus 2011; 47(3): 73-5.
- 35. 岩本喜久子,工藤悦子,福田三奈子,山蔭道明:若年成人女性のノーマルグリーフから回復過程を振り返る:本人主体の遺族支援.緩和ケア2011;21(5):549-53.
- 36. 高崎真弓,山本 健,齊藤洋司,山蔭道明,栗原将人,佐伯 茂,河西 稔,天野 勝,水谷 光:長時間作用性局所麻酔薬レボブピバカイン塩酸塩 (MR8A2)の伝達麻酔 (腕神経叢ブロック)における推奨用量の検討-第川相臨床試験-. 麻酔と蘇生2011;47(増刊号):77-91.
- 37. 高崎真弓,山本 健,齊藤洋司,山蔭道明,河西 稔,河井秀夫,本多信雅:長時間作用性局所麻酔薬レボブピバカイン塩酸塩 (MR8A2)5.0 mg/mLの伝達麻酔(腕神経叢ブロック)における臨床評価-第Ⅲ相臨床試験-.麻酔と蘇生2011; 47(増刊号): 109-18.

- 38. 松岡伸悦, 井上 光, 岡崎加代子, 澤下泰明, 山蔭道明:スガマデクスによるアナフィラキシーショックが疑われた 1 症例. 臨床麻酔 2012; 36(1): 95-6.
- 39. 大須田倫子, 枝長充隆, 御村光子, 中山禎人, 桐田亜紀則, 紅露伸司, 山谷和雄, 栗原将人, 山蔭道明: 術中頻脈性不整脈に対するランジオロール使用の現状-多施設アンケート調査-. 麻酔2012; 61(2): 159-63.
- 40. 枝長充隆,御村光子,東口 隆,木村倫子,山蔭道明:超音波ガイド下橈骨動脈穿刺の有用性-脈拍触知法との比較検討-.麻酔 2012;61(2):221-4.
- 41. Tachibana N, Yamauchi M, Sugino S, Watanabe A, Yamakage M: Utility of longitudinal paramedian view of ultrasound imaging for middle thoracic epidural anesthesia in children. J Anesth 2012; 26(2): 242-5.
- 42. Sawada A, Kii N, Yoshikawa Y, Yamakage M: Epidrum®: a new device to identify the epidural space with an epidural Tuohy needle. J Anesth 2012; 26(2): 292-5.
- 43. 澤田敦史,吉川裕介,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明:1%ブドウ糖加酢酸リンゲル液は手術中の脂肪・タンパク異化を抑制する.麻酔2012;61(4):358-63.
- 44. Sugino S, Ishioka Y, Tachibana S-S, Hayase T, Yamakage M: Clinical performance of a novel portable epoc™ analyzer for arterial blood gas and electrolyte testing in operating rooms. Med Equipments Insights 2012; 4: 1-4.
- 45. 河村真衣子,黒田浩光,渋川圭介,鎌田康宏,山内正憲,山蔭道明:呼吸不全と敗血症ショックを呈した患者の体外膜型人工肺補助下での縦隔洗浄ドレナージの麻酔経験. 臨床麻酔2012; 36(4): 607-10.
- 46. Sugino S, Namiki A, Yamakage M: Genetic differences in response properties of rostral ventromedial medulla neurons to intracere-broventricular injection of a μ-opioid receptor agonist DAMGO in mouse inbred strains. Neurosci Letter 2012; 517: 107-12.
- 47. 澤下泰明, 井上 光, 岡崎加代子, 松岡伸悦, 山蔭道明: 特発性脊髄硬膜外血腫の1例. 臨床麻酔2012; 36(5): 739-42.
- 48. 茶木友浩, 時永泰行, 丸山大介, 高橋和伸, 山蔭道明: 観血的動脈圧ライン留置が困難であったsegmental arterial mediolysis患者の麻酔管理. 臨床麻酔2012; 36(5): 787-8.
- 49. 山内正憲,新谷知久,大沼 淳,水口亜紀,渡邊昭彦,山蔭道明:腰部硬膜外穿刺における各種画像検査による距離の予測. 日本ペインクリニック学会誌 2012; 19(2): 81-5.
- 50. 水上奈穂美,新谷知久,山内正憲,橘 信子,高橋三佳,山蔭道明:肩甲帯離断術後の幻肢痛・幻肢感覚に対してガバペンチンが奏功した3症例.日本ペインクリニック学会誌2012;19(2):111-4.
- 51. 茶木友浩, 枝長充隆, 田辺美幸, 山蔭道明:手術終了後に急性心筋梗塞を疑うも, 左脚ブロックと確定診断された1症例. 麻酔と蘇生 2012; 48(2): 37-9.
- 52. 高橋科那子, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 後藤京子, 君島知彦, 吉田真一郎, 喜屋武玲子, 安井 寛, 池田 博, 林 敏昭, 石田 禎夫, 山蔭道明:迅速かつ早期の治療開始により救命された悪性リンパ腫に対する化学療法後の重症敗血症の 1 例. 麻酔と蘇生2012; 48(2): 33-6.
- 53. 枝長充隆,東口 隆,大須田倫子,御村光子,山蔭道明:てんかん発作の既往をもつ若年患者に対する体外衝撃波結石破砕術の麻酔経験、麻酔2012;61(6):617-20.
- 54. 川口亮一,住田臣造,小林 巌,難波 仁,四十物摩呼,大塚尚実,木村慶信,山蔭道明:経過中にST上昇を認めた毒素性ショック症 候群の1症例.日集中医誌2012; 19: 384-8.
- 55. 松岡伸悦, 井上 光, 岡崎加代子, 澤下泰明, 山蔭道明:低用量(500mg/日)のメトホルミン内服により急性腎不全, 急産アシドーシスを発症し, 心停止に至った 1 症例. ICUとCCU 2012; 36(7): 527-31.
- 56. Kimura Y, Yamauchi M, Inoue H, Kimura S, Yamakage M, Aimono M, Sumita S: Risk factors for gastric distension in patients with acute appendicitis: a retrospective cohort study. J Anesth 2012; 26(4): 574-8.
- 57. Edanaga M, Azumaguchi R, Yamakage M: Ultrasound-guided and radiographic monitoring-assisted peripheral inserted central venous catheterization. J Anesth 2012; 26(4): 623-4.

- 58. Narimatsu E, Niiya T, Takahashi K, Yamauchi M, Yamakage M: Pralidoxime time-dependency inhibits paraoxon-induced depression of neuromuscular blocking actions of rocuronium. Am J Emerg Med 2012; 30(6): 901-7.
- 59. 宇野あゆみ,新山幸俊,橘 信子,山内正憲,渡辺昭彦,山蔭道明:重度の拘束性呼吸障害を合併した脊髄性進行性筋萎縮症患者の麻酔経験、麻酔2012;61(8):830-3.
- 60. Yamauchi M, Sasaki H, Yoshida T, Niiya T, Mizuno E, Narimatsu E, Yamakage M: Ultrasound-guided supraclavicular central venous catheterization in patients with malignant hematologic diseases. J Anesth 2012; 26(5): 775-8.
- 61. 水上奈穂美,山内正憲,渡邊昭彦,團塚恵子,佐藤明美,大森克哉,中田英雄,小池和彦,山蔭道明:頭頸部がん治療に伴う重症粘膜炎の痛み治療の質についての検討. Palliative Care Res 2012; 7(2): 408-14
- 62. Yamakage M, Bepperling F, Wargenau M, Miyao H: Pharmacokinetics and safety of 6 % hydroxyethyl starch 130/0.4 in healthy male volunteers of Japanese ethnicity after single infusion of 500 ml solution. J Anesth 2012; 26(6): 851-7.
- 63. Hirata N, Miyashita R, Maruyama D, Kawaguchi R, Shimizu H, Yamakage M: Heart rate variability during abdominal surgical manipulation under general anesthesia. J Anesth 2012; 26(6): 900-4.
- 64. 並木正伸, 山内正憲, 山蔭道明: プレガバリン内服治療中のふらつきから小脳腫瘍が発見された 1 症例. ペインクリニック 2012; 19(4): 88-9.
- 65. 澤田敦史, 枝長充隆, 宮下 龍, 山蔭道明:成人心臓外科手術におけるModified Ultrafiltrationの有用性. 循環制御 2012; 33(3): 199-203.

- 66. 佐々木英昭, 山内正憲, 山蔭道明, 山本みえ子: デコルテマッサージがアトピー・アレルギー性皮膚炎に与える影響. 臨床体温 2013; 30(1): 3-7.
- 67. 室内健志,山内正憲,魏 慧玲,高田幸昌,水口亜紀,山蔭道明,藤宮峯子:超音波ガイド下中腋窩線および肋骨弓下腹横筋膜面ブロック:Thiel遺体を用いた薬液の広がりの検討.麻酔 2013; 62(1): 60-3.
- 68. 長谷川宙希,山岸昭夫,遠山裕樹,飛世史則,一宮尚裕,山蔭道明:人工心肺を使用した心臓手術における入室時AT-Ⅲ測定の試み. 臨床麻酔 2013; 37(1): 33-5.
- 69. 鈴木麻里絵,新山幸俊,名和由布子,山蔭道明: Metatropic dysplasia患児の麻酔経験. 麻酔 2013; 62(2): 220-2.
- 70. 枝長充隆, 山内正憲, 山蔭道明:手術麻酔における X線透視下硬膜外カテーテル留置術. 麻酔 2013; 62(4): 488-94.
- 71. Takeda J, Namiki A, Ozaki M, Fukuda K, Morita K, Kanmura Y, Yamakage M, Komatsu T, Inada E, Kawate R, Kanazawa M, Sakamoto A, Uezono S, Sato S, Nishiwaki K, Miyamoto Y, Nakatsuka H, Yasuda N, Baxter BLM-240 Study Team: A prospective randomized multicenter comparative study of BLM-240 (desflurane) versus sevoflurane in Japanese patients. J Anesth 2013; 27(3): 468-71.
- 72. 高田幸昌,川岸俊也,木井菜摘,樋口美沙子,山内正憲,山蔭道明:胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術中にアデノシン三 リン酸(ATP)誘発性気管支痙攣を生じた3症例.麻酔 2013; 62(4): 402-5.
- 73. 澤下泰明, 時永泰行, 山蔭道明:薬剤性横紋筋融解症を合併した統合失調症患者に対しロクロニウムトスガマデクスを用いて修正型電気痙攣療法を行った 1 症例. 臨床麻酔 2013; 37(6): 957-8.
- 74. Maruyama D, Hirata N, Miyashita R, Kawaguchi R, Yamakage M: Substrate-dependent modulation of oxidative phosphorylation in isolated mitochondria following in vitro hypoxia and reoxygenation injury. Exp Clin Cardiol 2013; 18(2): 158-60.
- 75. 東口 隆, 枝長充隆, 御村光子, 山蔭道明:経胸壁・経食道心エコー所見が手術術式に有用であった冠動脈瘻の 1 症例. 麻酔 2013; 62(3): 318-21.
- Yoshida S-I, Masuda Y, Imaizumi H, Kimijima T, Goto K, Kyan R, Tatsumi H, Yamakage M: Effects of storage temperature of the blood on erythrocyte metabolism and platelet function. Anesth Resus 2013; 49(2): 53-5.
- 77. Moriya H, Saito K, Helsby N, Sugino S, Yamakage M, Takasaki M, Kato H, Kurosawa N: The association between heterozygosity for UGT1A1\*6, UGT1A1\*28, and variation in the serum total-bilirubin level in healthy young Japanese adults. Genet Test Mol Biomarkers 2013; 17(6): 464-9.

- 78. 佐々木英昭,久米田幸弘,宇野あゆみ,中林賢一,山蔭道明:顎関節脱臼抑制に頸椎用牽引具を用いた1例. ICUとCCU 2013; 37(6): 481-3
- 79. 大須田倫子, 枝長充隆, 高田幸昌, 丸山大介, 御村光子, 山蔭道明: Hetzer法による三尖弁形成術を施行した成人期エプスタイン奇形の麻酔経験. 麻酔 2013; 62(5): 600-3.
- 80. Masuda Y, Yoshida S-I, Imaizumi H, Yamakage M: Regional anesthesia for a pregnant patient with symptomatic hypothyroidism. Anesth Resus 2013; 49(3): 81-3.
- 81. Morioka N, Ozaki M, Yamakage M, Morimatsu H, Suzuki Y, Bepperling F, Miyao H, Namiki A, Morita K: The volume effect and safety of 6% hydroxyethyl starch 130/0.4 in patients undergoing major elective surgery: an uncontrolled, open-labeled, multi-center study. Open J Anesthesiol 2013; 3: 326-37.
- 82. 田辺美幸, 杉野繁一, 宮下 龍, 君島知彦, 成松英智, 山蔭道明: 非侵襲的全ヘモグロビン濃度測定が有効であった脳死下臓器提供の 1 症例. 麻酔 2013; 62(6): 699-701.
- 83. Narimatsu E, Niiya T, Takada Y, Takahashi K, Yamauchi M, Yamakage M: Blockers of adenosine A1, but not muscarinic acetylcholine, receptors improve excessive extracellular glutamate-induced synaptic depression. Neurosci Res 2013; 75(2): 103-11.
- 84. Edanaga M, Hayashi H, Yamakage M: Usefulness of Flotrac/Vigileo<sup>™</sup> combined with transesophageal echocardiography under abdominal hysterectomy for a patient complicated with moyamoya disease and hypertrophic cardiomyopathy. Anesth Resus 2013; 49(4): 101-3.
- 85. Nishikawa K, Ito T, Tsuchiya S, Shimodate Y, Yamakage M: Acute liver injury developed during the clinical course of non-exertional heart stroke following a hot spring bath. J Jpn Soc Intensive Care Med 2013; 20(3): 415-6.
- 86. 救仁郷達也,西川幸喜,戸ノ崎拓哉,土屋滋雄,下舘勇樹,山蔭道明:エアトラック単独およびエアトラックと気管支ファイバーの併用による気管挿管の比較—挿管人形および臨床使用における検討。市立室蘭総合病院医誌 2013; 38(1): 30-2.
- 87. 鈴木那央, 新山幸俊, 時永泰行, 山蔭道明: 頭頸部アスファルト熱傷患者の麻酔経験. 麻酔 2013; 62(10): 1250-2.

- 88. 小泉智弥,平田直之,丸山大介,山蔭道明:炭酸水素ナトリウム腹腔内洗浄中に重篤な代謝性アルカローシスを呈した腹膜偽粘液腫の 1 症例. 臨床麻酔 2014; 38(1): 31-4.
- 89. Wada T, Yamauchi M, Oki G, Sonoda T, Yamakage M, Yamashita T: Efficacy of brachial plexus nerve block in elbow arthroscopic surgery: a randomized trial. J Shoulder Elbow Surg 2014; 23(3): 291-6.
- 90. 杉目史行,山内正憲,新谷知久,岩崎創史,山蔭道明:MMPIが介入方針の補助となった対照的な慢性痛の2症例.日本ペインクリニック学会誌 2014; 21(1): 40-4.
- 91. 澤下泰明, 時永泰行, 山蔭道明:スガマデクスの残存が疑われた慢性腎不全症例. 臨床麻酔 2014; 38(1): 83-4.
- 92. Moriya H, Saito K, Helsby N, Hayashi N, Sugino S, Yamakage M, Sawaguchi T, Takasaki M, Takahashi M, Kurosawa N: Single nucleotide polymorphisms and copy number variations at the FCGR2A and FCGR3A genes in healthy Japanese subjects. Biomed Rep 2014; 2(2): 265-9.
- 93. Masuda Y, Tatsumi H, Imaizumi H, Gotoh K, Yoshida S-I, Chihara S, Takahashi K, Yamakage M: Effect of prone positioning on cannula function and impaired oxygenation during extracorporeal circulation. J Artif Organs 2014; 17(1): 106-9.
- 94. Moriya H, Saito K, Helsby N, Sugino S, Yamakage M, Sawaguchi T, Takasaki M, Kato H, Kurosawa N: Association between the low-dose irinotecan regimen-induced occurrence of grade 4 neutropenia and genetic variants of UGT1A1 in patients with gynecologic cancers. Oncol Lett 2014; 7(6): 2035-40.
- 95. 室内健志, 田中清高, 菊池智春, 佐藤 紀, 岩崎創史, 山蔭道明: 術中のフェンタニル使用は術後の初回食事摂取量を減少させる. 臨床麻酔 2014; 38(4): 605-8.
- 96. Miyashita R, Hirata N, Sugino S, Mimura M, Yamakage M: Improved noninvasive total hemoglobin measurements after in vivo adjustment program. Anaesthesia 2014; 69(7): 752-6. (第26回日本臨床モニター学会総会奥秋記念賞受賞)
- 97. Kii N, Yamauchi M, Takahashi K, Yamakage M, Wada T: Differential axillary nerve block for hand or forearm soft-tissue surgery. J Anesth 2014; 28(4): 549-53.

- 98. Masuda Y, Tatsumi H, Goto K, Imaizumi H, Yoshida S-I, Kimijima T, Yamakage M: Treatment of life-threatening hypercapnea with inhalation anesthetics in an infant with status asthmatics. J Anesth 2014; 28(4): 610-2.
- 99. Mizukami N, Yamauchi M, Koike K, Watanabe A, Ichihara K, Masumori N, Yamakage M: Olanzapine for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving highly or moderately emetogenic chemotherapy: a randomized, double-blinded, placebo-controlled study. J Pain Symptom Manag 2014; 47(3): 542-50.
- 100. Yoshikawa Y, Kamikubo Y, Sonoda H, Yamakage M: Unexpectedly resolved multiple mobile thrombi in a normal thoracic aorta associated with colorectal cancer and protein C deficiency. J Cardiothorac Vasc Anesth 2014; 28(3): 714-7.
- 101. 高橋科那子, 升田好樹, 巽 博臣, 後藤京子, 今泉 均, 山蔭道明:長期間の気管挿管後に生じた気道狭窄の小児例. 臨床麻酔 2014; 38(7): 1-77-8.
- 102. Zhou J, Iwasaki S, Yamakage M: Phosphodiesterase 4 inhibitor roflumilast improves the bronchodilative effect of sevoflurane in sensitized airways. Anesthesiology 2014; 120(5): 1152-9.
- 103. Sawada A, Niiyama Y, Ataka K, Nagaishi K, Yamakage M, Fujimiya M: Suppression of bone marrow-derived microglia in the amygdala improves the anxiety-like behavior induced by chronic partial sciatic nerve ligation in mice. Pain 2014; 155(9): 1762-72.
- 104. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Evaluation of bias for predicted and measured concentrations of propofol during target-controlled infusion in obese Japanese patients: open-label, non-comparative study. Eur J Anaesthesiol 2014; 31(12): 701-7.
- 105. Gi E, Yamauchi M, Yamakage M, Kikuchi C, Shimizu H, Okada Y, Kawamura S, Suzuki T: Effects of local infiltration analgesia for posterior knee pain after total knee arthroplasty: comparison with sciatic nerve block. J Anesth 2014; 28(5): 696-701.
- 106. 武田純三,岩崎 寛,山蔭道明,尾崎 眞,川眞田美和子,畑埜義雄,萬屋敏博,宮川博司,上村裕一:スガマデクスナトリウム (MK-8616, Org 25969) の筋弛緩拮抗作用ー浅い筋弛緩状態からの回復 . 麻酔 2014; 63(10): 1075-82.
- 107. 救仁郷達也, 時永泰行, 山蔭道明: イヌサフラン誤食によるコルヒチン中毒患者の麻酔管理. 臨床麻酔 2014; 38(10): 1413-6.
- 108. 高橋科那子, 升田好樹, 巽 博臣, 数馬 聡, 後藤京子, 山田奨人, 島田朋和, 中野皓太, 千原伸也, 今泉 均, 山蔭道明: カテコラミン不応性の敗血症性ショックに対してPMX-DHPが著効したミクリッツ病の1例. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2014; 18(1): 191-6.
- 109. 戸ノ崎拓哉,西川幸喜,土屋滋雄,下舘勇樹,山蔭道明:小児鼻腔異物に対する麻酔導入法の検討. 麻酔 2014; 63(11): 1254-6.
- 110. 赤塚正幸, 新山幸俊, 早瀬 知, 山蔭道明:輸血拒否患者の再開心術に対する麻酔経験. 臨床麻酔 2014; 38(12): 1741-3.
- 111. 千原伸也, 今泉 均, 升田好樹, 山田奨人, 中野皓太, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 後藤京子, 巽 博臣, 山蔭道明: 敗血症性ショックに対する大量置換CHDFの新しい離脱方法の検討. 日本急性血液浄化学会雑誌 2014; 5(2): 127-32.
- 112. Samala KB, Uchiyama Y, Tokinaga Y, Niiyama Y, Iwasaki S, Yamakage M: Endotracheal intubation through I gel® for emergency Cesarean section with multidrug hypersensitivity a new technique. Case Rep Anesthesiol 2014;2014:245752. doi: 10.1155/2014/245752.

- 113. 本間舞子,岩崎創史,杉野繁一,室内健志,山蔭道明:レミフェンタニルと糖添加輸液により管理したコントロール不良糖尿病合併小児開頭術の1症例. 麻酔 2015; 64(1): 87-91.
- 114. 数馬 聡, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣,後藤京子,高橋科那子,今井富裕,山蔭道明:神経伝達検査により診断した術後横隔神経麻痺の2症例. 日集中医誌 2015; 22(1): 49-50.
- 115. 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均,後藤京子,高橋科那子,数馬 聡,山蔭道明:経管投与可能な粘度調整流動食アキュアVF-EのICUにおける使用経験. 日集中医誌 2015; 22(1): 59-60.
- 116. Kimura Y, Kimura S, Sumita S, Yamakage M: Predictors of hypofibrinogenemia in blunt trauma patients on admission. J Anesth 2015; 29(2): 242-8.
- 117. 宇野あゆみ, 田中 悟, 菅野麻琴, 石岡慶己, 渡辺政徳, 山蔭道明: 超音波診断装置による内頚静脈と椎骨動脈の解剖学的位置関係の 検討. 麻酔 2015; 64(4): 383-7.
- 118. 菅野麻琴,枝長充隆,水上奈穂美,時永泰行,新山幸俊,山蔭道明:ヘパリン起因性血小板減少症患者に対し,ヘパリン使用で安全に

- 管理できた開心術の1症例. 麻酔 2015; 64(4): 449-52.
- 119. 立花俊祐,平田直之,酒井 渉,山蔭道明:機器製品紹介「深部温測定装置SpotOn™(スポットオン)の有用性」. 臨床麻酔 2015; 39(6): 917-20.
- 120. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Incidence of cannot intubate-cannot ventilate (CICV): results of a 3-year retrospective multicenter clinical study in a network of university hospitals. J Anesth 2015; 29(3): 326-30. (This paper was picked up by the Editorials; Liu EH & Asai T: Cannot intubate cannot ventilate focus on the 'ventilate'. J Anesth 2015; 29(3): 323-5.)
- 121. Takahashi S, Ichihara K, Hashimoto K, Hiyama Y, Muranaka T, Hashimoto J, Fukuta F, Kobayashi K, Niiyama Y, Yamakage M, Masumori N: Serum antimicrobial concentrations for surgical antimicrobial prophylaxis in radical nephrectomy and radical prostatectomy. J Infec Chemother 2015; 21(6): 464-7.
- 122. 池島まりこ,枝長充隆,室内健志,山蔭道明:□唇裂手術後にデクスメデトミジンで鎮静したピエール・ロバン症候群の1症例. 臨床麻酔 2015; 39(4): 645-6.
- 123. 高橋科那子, 升田好樹, 巽 博臣, 数馬 聡, 後藤京子, 山田奨人, 島田朋和, 中野皓太, 千原伸也, 今泉 均, 山蔭道明: カテコラミン不応性の敗血症性ショックに対してPMX-DHPが著効したミクリッツ病の1例. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2015; 18(1): 191-6.
- 124. 茶木友浩, 枝長充隆, 川口亮一, 山蔭道明:経食道心エコーにより同定し得た巨大冠動脈瘤を伴う先天性冠動脈右室瘻閉鎖術の麻酔経験. 臨床麻酔 2015; 39(4): 609-12.
- 125. Maruyama D, Chaki T, Omote M, Hirata N, Yamauchi M, Yamakage M: Movements of the double-lumen endotracheal tube due to lateral position with head rotation and tube fixation: a Thiel-embalmed cadaver study. Surg Rediol Anat 2015; 37(7): 841-4.
- 126. Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Chronological changes in ropivacaine and analgesic effects between transversus abdominis plane block and rectus sheath block. Reg Anesth Pain Med 2015; 40(5): 568-71.
- 127. Tachibana S, Hayase T, Osuda M, Kazuma S, Yamakage M: Recovery of postoperative cognitive function in elderly patients after a long duration of desflurane anesthesia: a pilot study. J Anesth 2015; 29(4): 627-30.
- 128. Hayase T, Sugino S, Moriya H, Yamakage M: TACR1 gene polymorphism is associated with gender differences in postoperative nausea and vomiting. Anaesthesia 2015; 70(10): 1148-59.
- 129. 児玉 萌, 高田幸昌, 時永泰行, 新谷知久, 山蔭道明: 多発性血管腫により緊急外科的気道確保を要した1症例. 臨床麻酔 2015; 39(10): 1399-1401.
- 130. 君島知彦, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 後藤京子, 喜屋武玲子, 山蔭道明: 妊娠経過中に発症した劇症 1 型糖尿病の 1 例. 日集中 医誌 2015; 22(4): 273-4.
- 131. 玉城敬史, 枝長充隆, 佐藤通子, 岸 真衣, 名和由布子, 山蔭道明:出生直後より呼吸困難をきたした新生児の舌根部・喉頭蓋嚢胞に 対する麻酔経験、日本小児麻酔学会誌 2015; 21(1): 217-9.
- 132. 数馬 聡, 升田好樹, 小林 巌, 望月宏樹, 木村慶信, 今泉 均, 住田臣造, 山蔭道明: プロカルシトニン異常高値を示した劇症型レジオネラ肺炎の一救命例. 日集中医誌 2015; 22(6): 549-50. (Editorialで引用)
- 133. 若杉佳子,新山幸俊,北 飛鳥,其田 一,山蔭道明:McGRATH™はマッキントッシュ型喉頭鏡を用いた気管挿管手技の習得に有用である。麻酔 2015; 64(10): 1091-6.

- 134. Chaki T, Sugino S, Janicki PK, Ishioka Y, Hatakeyama Y, Hayase T, Kaneuchi-Yamashita M, Kohri N, Yamakage M: Efficacy and safety of a lidocaine and ropivacaine mixture for scalp nerve block in patients undergoing awake craniotomy. J Neurosurg Anesthesiol 2016; 28(1): 1-5.
- 135. Koike K, Terui T, Nagasako T, Horiuchi I, Machino T, Kusakabe T, Hirayama Y, Mihara H, Yamakage M, Kato J, Nishisato T, Ishitani K: A new once-a-day fentanyl citrate patch (Fentos® Tape) could be a new treatment option in patients with endo-of-dose failure using a 72-h transdermal fentanyl matrix patch. Support Care Cancer 2016; 24(3): 1053-9.
- 136. Maruyama D, Hirata N, Tokinaga Y, Kawaguchi R, Yamakage M: Nitrite attenuates ischemia-induced ventricular arrhythmias by protecting against connexin 43 dephosphorylation in rats. Anesth Analg 2016; 122(2): 410-7.

- 137. Takahashi K, Niiya T, Takada Y, Narimatsu E, Yamakage M: Severity of myasthenia gravis influences the relationship between TOF ratio and twitch tension, and run-down of rat endplate potentials. Anesthesiology 2016; 124(2): 369-77.
- 138. Namba Y, Yamakage M, Tanaka Y: Satisfactory spinal anesthesia with a total of 1.5 mg of bupivacaine for transurethral resection of bladder tumor in an elderly patient. JA Clin Rep 2016; 2: 4.
- 139. 君島知彦, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 後藤京子, 喜屋武玲子, 吉田真一郎, 名和由布子, 山 直也, 山蔭道明:経皮的気管切開術施行時の腕頭動脈異常走行例の経験. 日集中医誌 2016; 23(2): 179-80.
- 140. 橋詰勇祐,立花俊祐,高田幸昌,枝長充隆,山蔭道明:気管チューブ挿入に難渋したクリッペル・フェール症候群の1症例. 麻酔 2016; 65(4): 373-6.
- 141. 君塚基修,時永泰行,数馬 聡,早瀬 知,水口亜紀,山蔭道明:気道確保にMcGRATH-MAC®が有用であったBlue rubber bleb nevus syndromeの1症例. 臨床麻酔 2016; 40(1): 41-3.
- 142. Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Quadratus lumborum block: analgesic effects and chronological ropivacaine concentrations after laparoscopic surgery. Reg Anesth Pain Med 2016; 41(2): 146-50.
- 143. Koike K, Terui T, Takahashi Y, Hirayama Y, Mizukami N, Yamakage M, Kato J, Ishitani K: Effectiveness of multidisciplinary team conference on decision-making surrounding the application of continuous deep sedation for terminally ill cancer patients. Palliat Support Care 2015; 13(2): 157-64.
- 144. 大野 翔, 新山幸俊, 室内健志, 山蔭道明: 重症肺高血圧症を合併した非心臓手術麻酔管理の経験. 麻酔 2016; 65(5): 526-9.
- 145. Kimijima T, Edanaga M, Yamakage M: Comparison of fluid leakage across endotracheal tube cuffs using a three-dimensional printed model of the human trachea. J Anesth 2016; 30(3): 510-3.
- 146. Hayase T, Tachibana S, Yamakage M: Effect of sevoflurane anesthesia on the comprehensive mRNA expression profile of the mice. Med Gas Res 2016; 6(2): 70-6.
- 147. 澤田敦史,新山幸俊,山蔭道明:経直腸的前立腺生検における超音波ガイド下仙骨硬膜外麻酔の有用性—脊髄くも膜下麻酔との比較— . 麻酔 2016; 65(5): 511-5.
- 148. 名和由布子, 升田好樹, 巽 博臣, 杉山由紀, 後藤京子, 要藤裕孝, 今泉 均, 山蔭道明:急激に発症した代謝性アシドーシスに対し 持続血液浄化療法施行直後から改善がみられた 1 小児例. 日集中医誌 2016; 23(3): 345-6.
- 149. 汲田 翔, 立花俊祐, 早瀬 知, 新谷知久, 山蔭道明:シバリングを契機に発症したと考えられる術後悪性高熱症の1例. 臨床麻酔 2016; 40(4): 583-6.
- 150. 高橋科那子, 升田好樹, 巽 博臣, 吉田真一郎, 数馬 聡, 後藤京子, 今泉 均, 山蔭道明:ICUにおける治療抵抗性体液過剰症例に 対するトルバプタンの有効性に関する検討. ICUとCCU 2016; 40(3): 231-6.
- 151. 太刀川公人, 桧山佳樹, 市原浩司, 高橋 聡, 関根利佳, 山蔭道明, 舛森直哉: 間質性膀胱炎に対する両側仙骨神経根ブロックが著効した1例. 泌尿器外科 2016; 29(2): 173-6.
- 152. Kozuka Y, Kawamata M, Furue H, Ishida T, Tanaka S, Namiki A, Yamakage M: Changes in synaptic transmission of substantia gelatinosa neurons after spinal cord hemisection revealed by analysis using in vivo patch-clamp recording. Mel Pain 2016; 12(8): 1-14.
- 153. Kazuma S, Masuda Y, Tatsumi H, Takahashi K, Yoshida S, Honma M, Imaizumi H, Yamakage M: Almost total airway obstruction due to unidentified massive hemoptosis under extracorporeal membrane oxygenation. Int J Crit Care Emerg Med 2016; 2(1): 021(1-3).
- 154. Ohtaki S, Akiyama Y, Kannno A, Noshiro S, Hayase T, Yamakage M, Mikuni N: The influence of anesthetic depth on motor evoked potential response during awake craniotomy. J Neurosurg 2016; 4(3): 1-6.
- 155. Sawada A, Kamada Y, Hayashi H, Ichinose H, Sumita S, Yamakage M: Effect of intraoperative glucose infusion during remifentanil anesthesia on catabolism of adipose tissue and muscle protein in patients undergoing major surgery: a randomized controlled multicenter trial. Anesth Analg 2016; 123(4): 869-76.
- 156. Namba Y, Yamakage M: Duodenal ulcer accompanied by intractable right chest pain (T6/T7 dermatomal segments). JA Clin Rep 2016; 2: 12.
- 157. Edanaga M, Hoshi T, Azumaguchi R, Yamakage M: A case of hemothorax due to traumatic bleeding managed effectively by Sonoclot®-guided blood transfusion. JA Clin Rep 2016; 2: 16.

- 158. Niiyama Y, Yotsuyanagi T, Yamakage M: Continuous would infiltration with 0.2% ropivacaine versus a single intercostal nerve block with 0.75% ropivacaine for postoperative pain management after reconstructive surgery for microtia. J Plast Reconstr Aesthet Surg 2016; 69(10): 1445-9.
- 159. Hayase T, Tachibana S, Yamakage M: Effect of sevoflurane anesthesia on the comprehensive mRNA expression profile of the mouse hippocampus. Med Gas Res 2016; 6(2): 70-6.
- 160. 君塚基修, 時永泰行, 浦濱 聡, 橘 信子, 宮本奈穂子, 山澤 弦, 山蔭道明: Kniest dysplasiaを合併した帝王切開術の 1 症例. 分娩と麻酔 2016; 98(11): 157-9.
- 161. Murouchi T, Yamakage M: Retrolaminar block: analgesic efficacy and safety evaluation. J Anesth 2016; 30(6): 1003-7.
- 162. Watanabe A, Edanaga M, Ichinose H, Yamakage M: Comparison of the clinical performance of Air-Q® and i-gel® for airway management under general anesthesia with muscle relaxant. J Clin Anesth 2016; 34(11): 223-6.
- 163. 千原伸也, 升田好樹, 巽 博臣, 小川輝之, 島田朋和, 山口真依, 中村勇輝, 室橋高男, 山蔭道明:急性血液浄化療法における血液浄化量の意義 高浄化量CHF/CHDFの可能性. 日本血液浄化技術学会会誌 2016; 24(2): 278-81.

- 164. Chaki T, Nawa Y, Tmashiro K, Mizuno E, Hirata N, Yamakage M: Remifenitanil prevents increases of blood glucose and lactate levels during cardiopulmonary bypass in pediatric surgery. Ann Cardiac Anaesth 2017; 20(1): 33-7.
- 165. Nishikawa K, Yamakage M: Effects of the concurrent use of a reduced dose of Propofol with divided supplemental remifentanil and moderate hyperventilation on duration and morphology of electroconvulsive therapy-induced electroencephalographic seizure activity: A randomized controlled trial. J Clin Anesth 2017; 37(2): 63-6.
- 166. Zhou J, Iwasaki S, Yamakage M: Time- and dose-dependent effects of desflurane in sensitized airways. Anesth Analg 2017; 124(2): 465-71.
- 167. Chihara S, Masuda Y, Yamakage M: Experimental and clinical evaluation of pre-dilution and post-dilution continuous veno-venous hemofiltration on clearance characteristics. ASAIO J 2017; 63(2): 229-34.
- 168. 松岡伸悦, 古瀬晋吾, 大森 惠, 林 里沙, 山蔭道明: 微小血管減圧術におけるABRモニタリング中の警告音の検討. 臨床麻酔 2017; 41(2): 161-3.
- 169. Chihara S, Masuda Y, Tatsumi H, Nakano K, Shimada T, Murohashi T, Yamakage M: Early induction of direct hemoperfusion with a polymyxin-B immobilized column is associated with amelioration of hemodynamic derangement and mortality in patients with septic shock. J Artif Organs 2017; 20(1): 71-5.
- 170. Sasaki H, Yamauchi M, Ninomiya T, Tatsumi H, Yamakage M: Possible utility of contrast-enhanced ultrasonography for detecting spread of local aesthetic in nerve block. J Anesth 2017 31(3): 365-73.
- 171. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Less postoperative sore throat after nasotracheal intubation using a fiberoptic bronchoscope than using a Macintosh laryngoscope: A double-blind, randomized, controlled study. J Clin Anesth 2017; 39(6): 113-7.
- 172. 菊池謙一郎, 数馬 聡, 時永泰行, 室内健志, 山蔭道明: ECMOによる呼吸補助とLiDCO rapid®モニタリング下で行った肺胞蛋白症に対する肺洗浄の麻酔経験. 臨床麻酔 2017; 41(5): 772-3.
- 173. Kunigo T, Murouchi T, Yamamoto S, Yamakage M: Injection volume and anesthetic effect in serratus plane block. Reg Anesth Acute Pain 2017; 42(6): 737-40.
- 174. 石岡慶己, 関根利佳, 高田幸昌, 山蔭道明:複発性帯状疱疹に対して発症早期からの神経ブロックが著効した1症例. 日本ペインクリニック学会誌 2017; 24(2): 130-3.
- 175. 児玉 萌,本間舞子,渋川圭介,鎌田康宏,柳谷晶仁,山蔭道明:右房内に進展した静脈内平滑筋腫症患者の麻酔経験. 麻酔 2017; 66(5): 542-5.
- 176. Akatsuka M, Murouchi T, Arakawa J, Yamakage M: Ultrasound-guided para-umbilical block: a pediatric case. JA Clin Rep 2017; 3(1): 33
- 177. Yoshioka K, Omori K, Iwasaki S, Takahashi K, Sato A, Nakata H, Miyamoto A, Yamakage M: A case of warfarinized renal cancer pa-

- 178. Takada Y, Narimatsu E, Takahashi K, Niiya T, Yamakage M: Elevation and suppression of paraoxon-induced epileptic activity in the rat hippocampus. Sapporo Med J 2017; 85(Suppl.): 121-32.
- 179. Miyashita R, Hirata N, Kawaguchi R, Yoshikawa Y, Yamakage M: Different effects of colloid and crystalloid solutions for fluid resuscitation on hemodynamics and peripheral organ functions in acute hemorrhagic shock rats. Sapporo Med J 2017; 85(Suppl.): 133\_45
- 180. Kawaguchi R, Hirata N, Tokinaga Y, Hayashi S, Inoue S, Watanabe N, Yamakage M: Nitrite administration improves sepsis-induced myocardial and mitochondrial dysfunction by modulating stress signal responses. J Anesth 2017; 31(6): 885-94.
- 181. Sakai W, Yoshikawa Y, Hirata N, Yamakage M: Effect of remifentanil during cardiopulmonary bypass on incidence of acute kidney injury after cardiac surgery. J Anesth 2017; 31(6): 895-902.
- 182. Takahashi K, Sawada A, Iwasaki S, Yama N, Takashima H, Onodera M, Hatakenaka M, Yamakage M: Three cases implantation of a SureScan® system and MRI for investigating causes of pain. J Anesth 2017; 31(6): 915-7.
- 183. 巽 博臣, 升田好樹, 高橋科那子, 本間舞子, 数馬 聡, 片山洋一, 吉田真一郎, 山蔭道明:肺胞出血による呼吸不全, 急性腎障害を合併した重症型顕微鏡的多発血管炎 (MPA) の1救命例. 人工呼吸 2017; 34(2): 191-7.
- 184. Hayase T, Tachibana S, Yamakage M: Determination of the effects of sevoflurane anesthesia in different maturing stages of the mouse hippocampus by transcriptome analysis. J Anesth Clin Res 2017; 8: 5.
- 185. Tachibana S, Igarashi Y, Yamakage M: Usefulness of an infrared earphone-type thermometer for pediatric patients during general anesthesia: a pilot study. J Anesth Surg 2017; 4(2): 150-3.

- 186. Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Azumaguchi R, Kimizuka M, Hayashi S, Yamakage M: Desflurane inhibits endothelium-dependent vasodilation more than sevoflurane with inhibition of endothelial nitric oxide synthase by different mechanisms. Biochem Biophys Res Commun 2018; 495(1): 217-22.
- 187. Yoshitani K, Masui K, Kawaguchi M, Kawamata M, Makinohana M, Kato S, Hasuwa K, Yamakage M, Yoshikawa Y, Nishikawa K, Aoyama T, Inagaki Y, Yamasaki K, Matsumoto M, Ishida K, Yamashita A, Seo K, Kakumoto M, Hayashi H, Tanaka Y, Tanaka S, Ishida T, Uchino H, Kakinuma T, Yamada Y, Mori Y, Izumi S, Nishimura K, Nakai M, Ohnishi Y: Clinical utility of intraoperative motor-evoked potential monitoring to prevent postoperative spinal cord injury in thoracic and thoracoabdominal aneurysm repair: protection in aortic surgery database. Anesth Analg 2018; 126(3): 763-8. (This manuscript was picked up by the editorial; Chung J, Ouzounia M, Lindsay T: Motor evoked potential monitoring during thoracoabdominal aortic surgery: useful or not? Anesth Analg 2018; 126(3): 741-2.)
- 188. Yoshikawa Y, Hirata N, Kawaguchi R, Tokinaga Y, Yamakage M: Dexmedetomidine maintains its direct cardioprotective effect against ischemia/reperfusion injury in hypertensive hypertrophied myocardium. Anesth Analg 2018; 126(2): 443-52.
- 189. Kunigo T, Murouchi T, Yamamoto S, Yamakage M: Spread of injectate in ultrasound-guided serratus plane block: a cadaveric study. J Anesth Clin Rep 2018; 4(1): 10. doi: 10.1007/s00540-018-2487-7.
- 190. 佐藤智恵, 数馬 聡, 田中俊光, 辻口直紀, 土屋滋雄, 山蔭道明:SvO2の異常高値によって肺動脈カテーテルの過挿入が判明した緊急 冠動脈バイパス手術の1症例. 臨床麻酔 2018; 42(5): 758-60.
- 191. Sakai W, Hirata N, Yamakage M: Angiotensin II receptor blocker versus angiotensin-converting enzyme inhibitor for postoperative acute kidney injury after cardiac surgery. J Anesth Clin Res 2018; 9: 5. doi: 10.4172/2155-6148. 1000820
- 192. Kimijima T, Edanaga M, Yamakage M: Superior sealing effect of a three-dimensional printed modified supraglottic airway compared with the i-gel in a three-dimensioal printed airway model. J Anesth 2018; 32(5): 655-62.
- 193. 大槻郁人, 久米田幸弘, 山蔭道明: 喫煙が周術期に与える影響の認知度調査. 日臨麻会誌 2018; 38(5): 611-4.
- 194. 大槻郁人, 升田好樹, 赤塚正幸, 深田穣治, 中林賢一, 久米田幸弘, 山蔭道明:早期の縦隔血腫除去により解除できたBentall術後縦隔血腫による気道狭窄の一例. 日集中医誌 2018; 25(5): 393-4.
- 195. 新田麻子, 荒川穣二, 山蔭道明, 清水恵子:縦隔気腫および急性食道粘膜病変を呈した急性カフェイン中毒の1例. 日本救急医学会雑誌 2018; 29(7): 196-201.

- 196. 戸ノ崎志乃, 卯月みつる, 河内正治, 山蔭道明:全身麻酔を必要とした気道義歯異物摘出術の麻酔経験. 麻酔 2018; 67(8): 825-8.
- 197. Matsumoto T, Chaki T, Hirata N, Yamakage M: The eutectic mixture local anesthetics (EMLA) cream is more effective on venipuncture pain compared with lidocaine tape in the same patients. J Anesth Clin Rep 2018; 4: 73.
- 198. 松岡伸悦, 高桑一登, 河村真衣子, 野呂秀策, 古瀬晋吾, 山蔭道明:微小血管減圧術におけるPONVと当院における対策. 臨床麻酔 2018; 42(8): 1111-5.
- 199. Yoshitani K, Masui K, Kawaguchi M, Kawamata M, Kakinohana M, Kato S, Hasuwa K, Yamakage M, Yoshikawa Y, Nishiwaki S, Aoyama T, Inagaki Y, Yamazaki K, Matsumoto M, Ishida K, Yamashita A, Seo K, Kakumoto S, Hayashi H, Tanaka Y, Tanaka S, Ishida T, Uchino H, Kakinuma T, Yamada Y, Mori Y, Izumi S, Nishimura K, Nakai M, Ohnishi Y: Clinical utility of intraoperative motor-evoked potential monitoring to prevent postoperative spinal cord injury in thoracic aneurysm repair: An audit of the Japanese association of spinal cord protection in aortic surgery database. Anesth Analg 2018; 126: 763-8.
- 200. 松本友美,橋本優希,戸ノ崎志乃,卯月みつる,河内正治,山蔭道明:新しい消毒薬(オラネキシジングルコン酸塩)は手術部位感染の発生を減少させるか.麻酔 2018; 67(10): 1093-6.
- 201. 横山竜也,新山幸俊,吉川裕介,高田幸昌,山蔭道明:経皮的心肺補助下に緊急気管切開術を施行した甲状腺腫瘍の1症例. 麻酔2018;67(11):1213-5.
- 202. 数馬 聡, 時永泰行, 君塚基修, 東口 隆, 濱田耕介, 山蔭道明: セボフルランは酸化ストレスによる血管内皮依存性弛緩反応および グリコカリックスの障害を回復させる. 体液・代謝管理 2018; 34(1): 11-7.
- 203. 東口 隆, 時永泰行, 君塚基修, 数馬 聡, 濱田耕介, 山蔭道明: Hydroxyethyl starch製剤による血液凝固障害のin vivoの検討. 体液・代謝管理 2018; 34(1): 18-22.
- 204. Yoshikawa Y, Takahashi K, Edanaga M, Hirata N, Yamakage M: Dexmedetomidine does not affect platelet function measured with TEG 6S and platelet mapping assay in whole blood. J Cardiothorac Vasc Anesth 2018; 32(6): e9-e11.
- 205. Kosakai M, Sawada A, Kii N, Tokinaga Y, Hirata N, Yamakage M: Epidural anesthesia combined with sedation with dexmedetomidine for appendectomy in a patient with amyotrophic lateral sclerosis: a case report. JA Clin Rep 2018; 4: 82.

- 206. Chihara S, Masuda Y, Tatsumi H, Yamakage M: Evaluation of pre- and post-dilution continuous veno-venous hemofiltration on leukocyte and platelet function in patients with sepsis. Int J Artif Organs 2019; 42(1): 9-16.
- 207. Yoshikawa Y, Hirata N, Nawa Y, Yamakage M: Chronological change in oropharyngeal leak pressure of pediatric i-gel<sup>TM</sup>. Paediatr Anaesth 2019; 29(1): 107-8.
- 208. Suzuki Y, Enatsu R, Kanno A, Yokoyama R, Suzuki H, Tachibana S, Akiyama Y, Mikami T, Ochi S, Yamakage M, Mikuni N: The influence of anesthesia on cortico-cortical evoked potential monitoring network between frontal and temporo-parietal cortices. World Neurosurg 2019; 123(3): e685-92.
- 209. Honma H, Niiyama Y, Sonoda H, Himuro N, Yamakage M: The impact of air transport for acute coronary syndrome patients. Air Med J 2019; 38(2): 73-7.
- 210. Hattori K, Yoshitani K, Kato S, Kawaguchi M, Kawamata M, Kakinohana M, Yamada Y, Yamakage M, Nishiwaki K, Izumi S, Yoshikawa Y, Mori Y, Hasegawa K, Onishi Y: Association between motor-evoked potentials and spinal cord damage diagnosed with magnetic resonance imaging aftger thoracoabdominal and descending aortic aneurysm repair. J Cardiothorac Vasc Anesth 2019; 33(7): 1835-42.
- 211. Kazuma S, Wakasugi K, Hagiwara H, Yamakage M: Comparative study of TOF-Cuff, a new neuromuscular blockade monitor, and TOF-Watch, an acceleromyography. Anesth Analg 2019; e-pub
- 212. Yoshikawa Y, Hirata N, Terada H, Sawashita Y, Yamakage M: Identification of candidate genes and pathways in dexmedetomidine-induced cardioprotection in the rat heart by bioinformatics analysis. Int J Nol Sci 2019; 20(7): 1614. https://doi.org/10.3390/ijm-s20071614
- 213. Kazuma S, Tokinaga Y, Kimizuka M, Azumaguchi R, Hamada K, Yamakage M: Sevoflurane promotes regeneration of the endothelial glycocalyx by upregulating sialyltransferase. J Surg Res 2019; 17(4): 40-7.

- 214. 小梁川愛美, 卯月みつる, 河内正治, 山蔭道明: ヒドロキシエチルデンプン130000投与は脊髄くも膜下麻酔の血圧低下からの回復に 有用か、麻酔 2019: 68(2): 161-5.
- 215. Kumita S, Tachibana S, Ichimiya T, Yamakage M: Continuous rectus sheath block in a patient with a postoperative rectus sheath hematoma: a case report. JA Clin Rep 2019; 5: 16.
- 216. Tachibana S, Chida Y, Yamakage M: Using the Bair Hugger<sup>TM</sup> temperature monitoring system in neck and chest regions: a pilot study. JA Clin Rep 2019; 5: 32.
- 217. Tachibana S, Omote M, Yamakage M: Successful awake craniotomy in an aged patient with severe hearing impairment using a bone conduction voice amplifier a case report. JA Clin Rep 2019; 5: 37.
- 218. 澤田敦史,本間広則,高橋和伸,久保みのり,山蔭道明:超音波ガイド下前頭神経ブロックが前頭洞炎との鑑別に有効であった三叉神経第一枝帯状疱疹の1症例.日本ペインクリニック学会誌 2019; 26(2): 124-5.
- 219. Shindo Y, Iwasaki S, Yamakage M: Efficacy and practicality of opioid therapy in Japanese chronic noncancer pain patients. Pan Mang Nurs 2019; 20(3): 222-31.
- 220. Kondo M, Yoshikawa Y, Terada H, Yamakage M: Anesthetic management of total aortic arch replacement in a myasthenia gravis patient under deep hypothermic circulatory arrest. Case Rep Anesthesiol 2019; https://doi.org/10.1155/2019/3278147.
- 221. 佐藤 慧, 枝長充隆, 山蔭道明:胸腔鏡下肺切除術中の大量出血時に対して, O3®センサによる嚢酸素飽和度の経時的変化が有効であった1症例. 臨床麻酔 2019: 43(7): 997-9.
- 222. 松岡伸悦, 川岸俊也, 大森 惠, 河村真衣子, 野呂秀策, 山蔭道明:微小血管減圧術後の悪心嘔吐に対するデキサメサゾン予防投与の検証. 臨床麻酔 2019; 43(8): 1073-6.
- 223. Omote M, Tachibana S, Tokinaga Y, Yamakage M: A new pharmacokinetic model of propofol for Japanese patients. Open J Anesthesiol 2019; 9: 179-88.
- 224. Ueshima H, Sawada A, Yamakage M, Fujimiya M: Blocking of the saphenous and obturator nerves using a pectineus muscle plane block. J Clin Anesth 2019; 12:(1): 2-3.
- 225. Iwasaki S, Hamada K, Takahashi K, Takahashi M, Mizuno E, Mizukami N, Yamakage M: Epidural analgesia for the treatment of colic attack with retrocaval ureter in late pregnancy complicated with marginal placenta previa: a case report. JA Clin Rep (in press)
- 226. Chaki T, Hirata N, Yoshikawa Y, Tachibana S, Tokunaga Y, Yamakage M: Lipid emulsion, but not propofol, induces skeletal muscle damage and lipid per oxidation. J Anesth (in press)
- 227. Hashimoto Y, Chaki T, Hirata N, Tokinaga Y, Yoshikawa Y, Yamakage M: Video glasses reduce preoperative anxiety compared with portable multimedia player in children: a randomized controlled trial. J Perianesth Nurs (in press)
- 228. 五月女風香, 茶木友浩, 平田直之, 山蔭道明: 気管挿管後, 左主気管支が閉塞した上行弓部大動脈瘤症例の麻酔管理. 麻酔 (in press)
- 229. Sawada A, Sotome S, Kosakai M, Yamakage M: Successful anesthetic management for total mastectomy in a pregnant woman using general anesthesia combined with continuous erector spinal plane block. a case report. JA Clin Rep (in press)

よりいい研究内容を,是非英文雑誌に投稿できるように,今後も指導してい くつもりです。

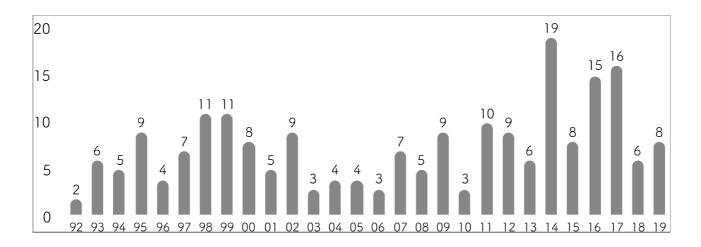
# 【その他】

- 1. 山蔭道明, 石山由紀恵: 「第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2008 in金沢」に参加して. 札幌医誌 2009, 77(1-6): 35-9.
- 2. 本間広則,山蔭道明,君塚基修,山内正憲,並木昭義:機器製品紹介「神経ブロックに特化した携帯型超音波診断装置S-Nerve™」. 臨床麻酔 2009; 33(2): 253-7.
- 3. 山蔭道明:質疑応答「レミフェンタニルの血液成分による代謝」. 臨床麻酔 2009; 33(2): 249-50.
- 4. 木谷友洋,山蔭道明,浦濱 聡,並木昭義:機器紹介「イヤホン型赤外線式持続鼓膜温測定装置MIMI Chan™」. 臨床麻酔 2009; 33(3): 587-90.
- 5. 山蔭道明:新しい局所麻酔薬レボブピバカイン概要.局所麻酔薬と術後疼痛管理.尾崎 眞編.ソフトナイン,大阪.p.2-5,2009.
- 6. 宮下 龍, 山蔭道明:質疑応答「ロクロニウムの血管痛」. 臨床麻酔 2009; 33(8): 1338-9.
- 7. 山蔭道明:講演全文抄録集「バイタルサインからわかること」. 北海道病院薬剤師会誌 2009; 77: 78-84.
- 8. 山蔭道明:総論:痛みのメカニズムを探る. 特集1:最もポピュラーな症状「痛み」の徹底解剖. 医療と介護ナビ2010. 冬・春(1~6月)号. P.7-8.
- 9. 山蔭道明, 飯野靖彦:第10回「オピオイドでの麻酔管理の重要性と管理」. シリーズ「輸液~この病態に出会ったら?」. レジデント ノート 2010; 11(11): 1662-5.
- 10. 山蔭道明:巻頭言「拝啓 厚生労働大臣 さま」. 臨床麻酔 2010; 34(1): 7.
- 11. 山蔭道明: Seminar Report「エスラックス®(ロクロニウム)使用における私のコツ」. 日本麻酔科学会第56会学集会セミナーリポート. 大阪, 福田商店. 2010, p.1-6.
- 12. 山蔭道明:巻頭言「ペインクリニック科?」. ペインクリニック 2010; 31(2): 131-2.
- 13. 山蔭道明,及川慶浩:講演記録集「看護視点で考える手術中の体温管理ー適切な体温管理,適切な測定部位ー」. 月刊ナーシング 2010; 30(3): 93-6.
- 14. 山蔭道明:医局制度と北海道麻酔科ネットワーク「麻酔科医 東から西から」. Anesthesia 21 Century 2010; 12(2): 66-7.
- 15. 山蔭道明:新任教授インタビュー「山蔭道明:麻酔科学講座(35期)」. AMICUS 2009: 40: 3-7.
- Isono S, Yamakage M: Young anesthesiologists, be a frontline respiratory researcher Opening remarks of JA Symposium 2010. J Anesth 2011; 25(1): 144.
   Yamakage M: Cigarette smoking-induced airway hyperreactivity: JA Symposium 2010. J Anesth 2011; 25(1): 145-6.
- 17. 山蔭道明:アポロ:麻酔科医のワークフローを改善する.特集「バトルオンセミナー:麻酔器」.LiSA 2011; 18(5): 498-500.
- 18. 山蔭道明:書評「麻酔科医・集中治療医に必要な血液凝固,抗凝固,線溶系が分かる本」. 臨床麻酔 2011; 35(8): 1303.
- 19. 山蔭道明:監修者序文. PCA:患者自己調節鎮痛法. 山蔭道明監修, 山内正憲編. 克誠堂, 東京, 2011, p. v.
- 20. 山蔭道明: A net Mail: 麻酔科学の魅力と教育. A net 2011; 15(3): 1.
- 21. 山蔭道明:巻頭序文「麻酔科医からみた術後早期回復プロトコール」. 医学のあゆみ2012 240(10): 817-9.
- 22. 山蔭道明:講演記録集「デスフルランの市販後臨床使用の経験から」. 2012, p.1-5.
- 23. 山蔭道明,大内貴志:講演記録集「もう"1度"体温管理.患者さんによりよい術後を」.2012; 1(2): p.1-6.
- 24. 山蔭道明:Recommended article 「イソフルラン,セボフルラン,デスフルラン麻酔時の呼吸抵抗:無作為化臨床研究」. A net 2012: 16(2): 47-54.
- 25. 山蔭道明:印象記「第23回日本臨床モニター学会総会・学術集会」. 臨床麻酔2012; 36(6): 969-70.

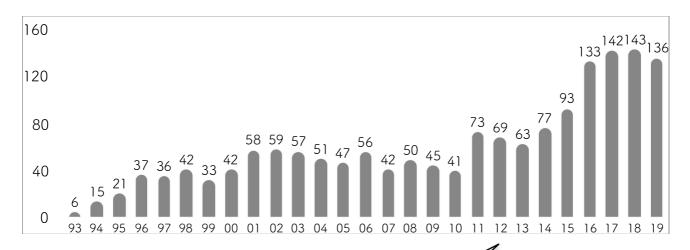
- 26. 平田直之, 山蔭道明:特集=手術とその周辺の話題「全身麻酔の進歩」. Medicament News 2012; 2092: 6-7.
- 27. 山蔭道明, 武冨紹信:消化器外科手術におけるVTE予防の現状と課題. Medicament News 2012; 2095: 14-5.
- 28. 山蔭道明:巻頭序文:はじめに「サーカディアン・リズムー体温と睡眠」. 医学のあゆみ2012 242(11): 843-4.
- 29. 岩崎創史,山蔭道明:コメント「急性頸椎・頚椎損傷」. 特集:緊急手術の適応基準のup to date. 麻酔 2012; 61(9): 960-1.
- 30. 山蔭道明: FORUM: チューインガムで術後回復が促進-ERASにおける位置づけ. 医学の歩み 2012; 243(3): 266-8.
- 31. 宮下 龍,平田直之,茶木友浩,林 俊輔,山蔭道明:印象記 ASA 2012,臨床麻酔 2012; 36(12): 1802-6.
- 32. 山蔭道明:講演記録集「周術期輸液の新戦略」. Live on Nutrition Seminar 2012. (株)大塚製薬工場,鳴門市. 2012, p.1-4.
- 33. 山蔭道明:講演記録集「周術期輸液管理における代用血漿剤の位置づけ」. 日本臨床麻酔学会第32回大会(郡山)講演記録集. フレゼニウス・カービ, 東京. 2013, p.1-4.
- 34. 山蔭道明:祝!McGRATH MAC薬事承認取得. 第9回麻酔科学バトルオンセミナー (後編). LiSA 2013; 20(2): 146-8.
- 35. 山蔭道明:経口補水療法の知識①周術期編. ベストナース 2013; 24(6): 60-1.
- 36. 山蔭道明:巻頭言「周術期の体温管理」. 臨床体温 2012; 30(1): 1.
- 37. 澤田敦史,山蔭道明:質疑応答「レミフェンタニル使用時のシバリング対策について」. 臨床麻酔 2013; 37(6): 949-50.
- 38. 尾﨑 眞,廣瀬宗孝,濱□眞輔,山蔭道明:座談会「日本麻酔科学会第60回学術集会を語る」. 臨床麻酔 2013; 37(7): 1069-85.
- 39. 山蔭道明,後藤隆久:巻頭言:日本臨床麻酔学会第32回大会シンポジウム「吸入麻酔薬」によせて. 日臨麻会誌 2013; 33:(5): 728-9.
- 40. 早瀬 知, 山蔭道明:トピックス「全身麻酔と術後せん妄」. 医学のあゆみ 2013; 247(4): 359-60.
- 41. 佐々木英昭,久米田幸弘,宇野あゆみ,中林賢一,山蔭道明:私のアイディア「顎関節脱臼抑制に頚椎用牽引具を用いた1例:.ICUと CCU 2013; 37(6): 481-3.
- 42. 高田幸昌, 枝長充隆, 山蔭道明:機器製品紹介「頭部後屈制限時におけるビデオ喉頭鏡McGrath MAC®の有用性:マネキンを用いた検討」. 臨床麻酔 2013; 37(12): 1799-801.
- 43. 山蔭道明:印象記「第20回日本静脈麻酔学会」. 臨床麻酔 2013; 37(12): 1817.
- 44. 山蔭道明:巻頭言「天文学の勧め」. 麻酔 2014; 63(4): 373.
- 45. Maruyama D, Edanaga M, Yamakage M: The bronchoscopy model LM-092 has educational benefits. J Anesth 2014; 28: 314.
- 46. Maruyama D, Hirata N, Yamakage M: Dealing with a broken bottle of desflurane. J Anesth 2014; 28: 322.
- 47. 山蔭道明:はじめに. 必携:麻酔科初期研修マニュアル(改訂第3版). 山蔭道明, 枝長充隆編. 真興交易(株)医書出版部, 東京. 2014. p. 3-4.
- 48. 平田直之,山蔭道明:はじめに. 吸入麻酔Inhalation anesthesia For Professional Anesthesiologists. 山蔭道明,平田直之編. 克誠堂 出版,東京. 2014, p. v.
- 49. 澤田敦史, 山蔭道明:質疑応答「レミフェンタニルは腸間膜牽引症候群(mesenteric traction syndrome)を引き起こしやすいか?」. 臨床麻酔 2014; 38(5): 790-1.
- 50. 山蔭道明: 共催セミナーサマリー「術中輸液の最適化—目指していたものはこれだ!」. Edwards, Tokyo, 2014, p.1-2.
- 51. 山蔭道明,平田直之:Case Report「麻酔科医が目指すべき輸液管理の方向性」. Edwards, Tokyo, 2014, p.1-7.
- 52. 山蔭道明:書評「痛みのかんがえかた(丸山一男著,南江堂,東京)」. LiSA 2014; 21(10): 1022.
- 53. 吉川裕介, 山蔭道明:質疑応答「血管誤穿刺の対処」. 臨床麻酔 2014; 38(11): 1584-5.
- 54. Yamakage M: Editorial Can age-related mitochondrial dysfunction affect volatile anesthetic potency? J Anesth 2014; 28(6): 805-6.

- 55. 山蔭道明:書評「麻酔科医のための体液・代謝・体温管理—新戦略に基づく麻酔・周術期医学(廣田和美編.中山書店,東京 2014) | . 麻酔 2015: 64(3): 339.
- 56. Yamakage M: Announcement "Our new journal: JA Clinical Reports" J Anesth 2015; 29(2): 164.
- 57. 数馬 聡, 山蔭道明:質疑応答「ICUの鎮静のスタンダードを教えてください」. 臨床麻酔 2015; 39(5): 769-70.
- 58. Yamakage M: Editorial Celebrating our inaugural edition! JA Clin Rep 2015; 1: 8 (doi:10.1186/s40981-015-0010-9)
- 59. 山蔭道明:麻酔科医に勧めたい本「敗北を抱きしめて(ジョン・ダワー著)」. A net 2015; 19(3): 28.
- 60. 時永泰行,山蔭道明:解説「内皮グリコカリックス」. 医学のあゆみ 2015; 255(4): 299-300.
- 61. 山蔭道明: JA Clinical Reports. 日本麻酔科学会News Letter 2015; 23(4): p. 7.
- 62. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Reply to: performance of the elevated pharmacokinetic model to titrate propofol in an obese Japanese patient population. Eur J Anaesthesiol 2016; 33(1): 59.
- 63. 山蔭道明: 今日もほろ酔い「ワイン通」. A net 2016; 20(1): 14.
- 64. 新山幸俊,山蔭道明:質疑応答「術前検査の項目について」. 臨床麻酔 2016; 40(3): 522-3.
- 65. 長田 理, 山蔭道明, 木山秀哉, 中山英人:麻酔科医としてのキャリアを考える. LiSA 2016; 23(4): 350-4.
- 66. 山蔭道明:印象記「第27回日本臨床モニター学会総会に参加して」. 臨床麻酔 2016; 40(6): 925-6.
- 67. Yamakage M: Editorial Regional block: who first thought of such an approach? J Anesth 2016; 30(4): 551-2.
- 68. 茶木友浩,山蔭道明:質疑応答「開放隅角緑内障の麻酔管理の注意点を教えてください」. 臨床麻酔 2016; 40(8): 1180-2.
- 69. 山蔭道明:リレー随想・趣味・余暇・仲間「ワークアウトとしてのランニング」. 臨床麻酔 2016; 40(11): 1547.
- 70. 山蔭道明:講演抄録集「デスフルラン:今までとこれから」. 日本麻酔科学会第63回学術集会共催セミナー. バクスター株式会社, 東京, 2016, p.1-6.
- 71. 山蔭道明: 1. 英語も日本語もない. 連載「英語のCase reportの書き方」. A net 2016; 20(2): 23. 山蔭道明: 2. どんな構成が適切か. 連載「英語のCase reportの書き方」. A net 2017; 21(1): 11. 山蔭道明: 3. ぐだぐだ書かない, いい表現はいい意味で盗む. 連載「英語のCase reportの書き方」. A net 2017; 21(2): 13.
- 72. Yamakage M: Editorial Several new Japanese guidelines issued. J Anesth 2017; 31(2): 161-2.
- 73. 山蔭道明: 「米国麻酔学会」:特集. はじめての国際学会<前編>どこにエントリーするか. LiSA 2017; 24(6): 578-80.
- 74. Tachibana S, Hayase T, Yamakage M: In reply: Desflurane anesthesia and cognitive function. J Anesth 2017; 31(4): 627.
- 75. 山蔭道明:監修「Fluid Therapy:術中糖質投与の意義」. (株)大塚製薬工場,東京, 2017, p.1-4.
- 76. Sakai W, Yoshikawa Y, Yamakage M: In reply: Why remifentanil? J Anesth 2018; 32(3): 459.
- 77. 立花俊祐, 田中聡一, 田口まゆ, 熱田真穂, 萩原裕也, 佐藤 慧, 茶木友浩, 東口 隆, 君塚基修, 時永泰行, 新山幸俊, 枝長充隆, 山蔭道明: 誌上抄読会「麻酔科医として術後の認知機能障害を俯瞰する」. 臨床麻酔 2018; 42(7): 1003-9.
- 78. 山蔭道明: 「日本から発信しよう,麻酔科学!」. インターネット講演会冊子,MSD株式会社,東京, 2018; p. 1-4.
- 79. 山蔭道明:巻頭言「はじめての臨床研究:立案~データを読み解くまで」によせて. 日臨麻会誌 2019; 39(1): 86.
- 80. 枝長充隆, 山蔭道明: 術後に酸素投与をすべきか否か?「質疑応答」. 臨床麻酔 2019; 43(4): 605-7.

# 英文論文発表数 (編)



# 論文の被引用数(編)



教授就任の2009年以降,論文数の伸びはそれほどでもないが,被引用数が伸びているのはそれだけ教室員の論文が読まれていることを意味する?

優秀賞などは太字

# 国際学会

# 2009

### The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. New Orleans, USA. Oct. 17-21, 2009.

- 1. Yamakage M, Satoh J-I, Kobayashi T, Watanabe H: Desflurane but not sevoflurane can increase lung resistance via tachykinin pathways. Anesthesiology 110: A268, 2009.
- 2. Yamakage M, Satoh J-I: Desflurane induces airway contraction by activating transient receptor potential A1 of sensory C-fibers. Anesthesiology 110: A267, 2009.
- 3. Yamakage M, Takahashi M, Tachibana N, Takahashi K: Usefulness of Endoflex® endotracheal tube for oral and nasal tracheal intubation. Anesthesiology 110: A65, 2009.

# 2010

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. San Diego, USA. Oct. 16-20, 2010.

- 4. Sugimoto R, Nakayama Y, Nawa Y, Orimo K, Yamakage M: Administration of landiolol decreases the incidence of atrial fibrillation after lung lobectomy. Anesthesiology 112: A1141, 2010
- 5. Kii N, Yamauchi M, Yamakage M: Minimum ropivacaine concentration for axillary block with preservation of motor function. Anesthesiology 112: A1260, 2010
- 6. Hayase T, Sugino S, Higuchi M, Kumeta Y, Yamakage M: Haplotypes in human mu-opioid gene associated with
- 7. postoperative nausea and vomiting. Anesthesiology 112: A405, 2010
- 8. Hayase T, Sawada A, Watanabe A, Yamakage M: Differences in related substances of original and generic sevoflurane products in clinical practice. Anesthesiology 112: A419, 2010
- 9. Yoshikawa Y, Sawada A, Yamakage M: Efficacy of glucose infusion for muscle protein and fat tissue breakdown during abdominal surgery. Anesthesiology 112: A421, 2010
- 10. Sawada A, Kii N, Yoshikawa Y, Yamakage M: Epidrum®: a new device to identify the epidural space while performing epidural anesthesia. Anesthesiology 112: A077, 2010
- 11. Zhou J, Iwasaki S, Yamakage M: Synergic bronchodilator effects of PDE3 inhibitors with sevoflurane in asthmatic guinea pigs. Anesthesiology 112: A1707, 2010
- 12. Yamauchi M, Niiya T, Urahama S, Yamakage M: Effects of automated intermittent bolus administration for supraclavicular brachial plexus block. Anesthesiology 112: A1639, 2010
- 13. Urahama S, Yamauchi M, Niiya T, Yamakage M: Effects of ropivacaine concentration and dose on continuous supraclavicular brachial plexus block. Anesthesiology 112: A1257, 2010
- 14. Kiya T, Kawamata T, Yamakage M: Role of L-serine in the dorsal root ganglion in chemotherapy-induced peripheral neuropathy. Anesthesiology 112: A1027, 2010
- 15. Narimatsu E, Niiya T, Kawamata T, Kawamata M, Yamakage M: Effects of atropine and pralidoxime on neuronal actions of paraoxon in rat hippocampal slices. Anesthesiology 112: A1232, 2010

# 2011

# 3rd World Congress of Total Intravenous Anaesthesia & Target Controlled Infusion. Singapore. Mar. 31-Apr. 2, 2011

16. Nakayama Y, Yamakage M: Comparative study of hemodynamic changes during double lumen tube intubation between fentanyl/propofol/rocuronium and remifentanil/propofol/rocuronium anesthesia

# 14th Eurosiva annual scientific meeting. Amsterdam, the Netherlands. Jun. 10, 2011

17. Sugino S, Hayase T, Kimijima T, Higuchi M, Tachibana S, Nakayama Y, Yamauchi M, Kumeta Y, Yamakage M: Involvement of intravenous fentanyl concentration in the incidence of nausea and vomiting in patients that received epidural fentanyl: LC-MS/MS analysis

# Euroanaesthesia 2011 Congress. Amsterdam, the Netherlands. Jun. 11-14, 2011

18. Kimijima T, Sugino S, Miyashita R, Masuda Y, Imaizumi Y, Yamakage M: Changes in motor-evoked potentials do not reflect spinal cord ischemia in thoracoabdominal aortic aneurysm surgery with deep hypothermic circulatory arrest

### 30th Annual ESRA Congress 2011. Dresden, Germany. Sep. 7-10, 2011

19. Gi E-W, Kikuchi C, Shimizu H, Suzuki T, Yamauchi M, Yamakage M: Combination of femoral nerve block and periarticular infiltration analgesia for post-TKA pain: an alternative method to sciatic nerve block?

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. Chicago, USA. Oct. 15-19, 2011

- 20. Miyashita R, Sugino S, Niiyama Y, Mimura M, Yamakage M: Improved noninvasive total hemoglobin measurements after in vivo adjustment (Oral presentation)
- 21. Miyashita R, Sugino S, Tanabe M, Mimura M, Yamakage M: Accuracy of noninvasive total hemoglobin measurement after acute normovolemic hemodilution in urological surgical patient
- 22. Ishioka Y, Hayase T, Sugino S, Takahashi K, Yamakage M: Accuracy of recording auditory evoked potentials from the nose and mandible to monitor awareness
- 23. Hayase T, Sugino S, Tachibana S, Satoh M, Yamakage M: Genetic variation in human TACR1 gene is associated with postoperative nausea and vomiting
- 24. Tachibana S, Sugino S, Ishioka Y, Hayase T, Yamakage M: Performance of a novel portable epoc™ analyzer for arterial blood gas testing
- 25. Tachibana S, Hayase T, Sugino S, Kumeta Y, Yamakage M: Incidence of emesis after epidural infusion of fentanyl/ropivacaine did not depend on the blood concentration measured by using LC-MS/MS analysis
- 26. Takahashi K, Yamauchi M, Kii N, Niiya T, Yamakage M: Minimum lidocaine concentration for axillary nerve block with preservation of motor function
- 27. Kimura Y, Sumita S, Namba H, Yamakage M: The risk factor of pneumonia in patients underwent therapeutic hypothermia after outof-hospital cardiac arrest
- 28. Zhou J, Iwasaki S, Yamauchi M, Yamakage M: Synergic bronchodilator effects of the PDE4 inhibitor rolipram with the volatile anesthetic sevoflurane in guinea pigs
- 29. Zhou J, Iwasaki S, Yamauchi M, Yamakage M: Different volatile anesthetics have different bronchodilator effects in ovalbumin-sensitized guinea pigs
- 30. Takada Y, Yamauchi M, Yamakage M: Effects of patient-controlled regional analgesia of supraclavicular BPB for shoulder surgery
- 31. Narimatsu E, Takahashi K, Takada Y, Niiya T, Yamauchi M, Yamakage M: Influence of cholinesterase inhibition on glutamate-induced neuronal damage in rat hippocampal slices
- 32. Yoshida S, Tatsumi H, Masuda Y, Imaizumi H, Nawa Y, Goto K, Warabi R, Asai Y, Yamakage M: Elevated serum D-lactate is associated with intestinal ischemia in rats
- 33. Sawada A, Miyashita M, Yamauchi M, Yamakage M: Effects of modified ultrafiltration on hemodynamic function and transfusion requirements after cardiopulmonary bypass in adults
- 34. Mizukami N, Yamauchi M, Takahashi M, Watanabe A, Yamakage M: Clinical study on the efficacy of olanzapine for prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting (CINV)
- 35. Takahashi K, Niiya T, Narimatsu E, Yamakage M: Interaction between sugammadex and rocuronium in the septic rat diaphragm

# 2012

# Euroanaesthesia 2012 Congress. Paris, France. Jun. 09-12, 2012

- 36. Mizukami N, Watanabe A, Yamauchi M, Koike N, Yamakage M: Relationships between the incidence of delirium and the initiating factor of palliative medicines in cancer patients
- 37. Yoshida S-I, Imaizumi H, Masuda Y, Kimijima T, Yamakage M: A comparison of the differences in management of massive haemor-rhage in cardiovascular and non-cardiovascular surgery a retrospective study
- 38. Maruyama D, Yamauchi M, Omote Y, Hirata N, Yamakage M: Movement of tracheal tube as a result of head rotation and tube tip fixation: a Thiel-embalmed cadaver study
- 39. Mizuguchi A, Sumikawa H, Abe N, Suzuki Y, Yamauchi M, Yamakage M: Perifix® ONE catheter decreased the ratio of intravenous migration during epidural catheterization in labor analgesia

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. Washington, D.C., USA. Oct. 13-17, 2012

- 40. Sawada A, Niiyama Y, Yamakage M: The migration of bone marrow-derived microglia into the central nucleus of amygdala of neuro-pathic pain model following peripheral nerve injury (Oral presentation)
- 41. Gi E, Yamauchi M, Kikuchi C, Shimizu H, Suzuki T, Yamakage M: What is the ideal location of the femoral catheter? Radiographic and clinical analysis of femoral nerve block for lower leg surgery (Oral presentation)
- 42. Takada M, Edanaga M, Yamakage M: Comparison of the usefulness of Airway Scope®, GlideScope® with conventional Macintosh laryngoscope in lateral positions: a mannequin study
- 43. Akatsuka M, Tokinaga Y, Yamakage M: The effect of desflurane on angiotensin II-induced vasoconstriction
- 44. Tokinaga Y, Akatsuka M, Takada Y, Yamakage M: Polysialic acid is involved in the endothelial dependent vasodilation
- 45. Murouchi T, Yamauchi M, Gi E, Takada Y, Fujimiya M, Yamakage M: Ultrasound-guided subcostal midaxillary transverses abdominis plane block: Thiel human cadaver study for the adequate volume of injectate
- 46. Iwasaki S, Chaki T, Zhou J, Yamauchi M, Yamakage M: Preoperative oral rehydration therapy in gynecological procedure has the effects of metabolic and hemodynamic stability
- 47. Uchiyama Y, Takada Y, Edanaga M, Yamakage M: Comparison between two spiral-wound tracheal tubes in Airway Scope® assisted

- tracheal intubation
- 48. Kimijima T, Masuda Y, Imaizumi H, Tatsumi H, Kyan R, Goto K, Yamakage M: Hypogammaglobulinemia is associated with mortality in patients with severe sepsis and septic shock
- 49. Mizukami N, Watanabe A, Yamauchi M, Koike N, Yamakage M: Relationships between the incidence of delirium and the initiating factor of palliative medicines in cancer patients
- 50. Mizukami N, Watanabe A, Yamauchi M, Koike N, Yamakage M: Multivariate analysis of correlations between incidence of delirium and delirium-initiating factors in advanced cancer patients in a palliative care unit
- 51. Mizukami N, Watanabe A, Yamauchi M, Koike N, Yamakage M: Evaluations of mucositis pain and opioid consumption in head and neck cancer patients receiving chemoradiation therapy
- 52. Miyashita R, Hirata N, Maruyama D, Kawaguchi R, Niiya T, Yamakage M: Lipid emulsion can preserve cardiac function of intact and ischemia-reperfused isolated rat hearts via mitochondrial activation
- 53. Kawashima N, Iwasaki S, Yamauchi M, Yamakage M: Changes in cause of cardiac arrest in operating rooms at university teaching hospital: three decades survey of 124,165 patients
- 54. Hayase T, Sugino S, Tachibana S, Kumeta Y, Yamakage M: Haptotypes in human TACR1 gene are associated with postoperative nausea and vomiting
- 55. Kimura Y, Sumita S, Kimura S, Yamauchi M, Yamakage M: Hypokalemia in patients with aneurysmal subarachnoid hemorrhage in accompanied by elevated serum sodium level
- 56. Ohtsuki I, Sato J-I, Arakawa J, Yamauchi M, Yamakage M: The risk factor for postoperative brain stroke; brain CT imaging study
- 57. Koizumi T, Higuchi M, Kawagishi T, Kimizuka M, Hirata N, Yamakage M: Airway scope<sup>TM</sup> assists insertion of nasogastric tube in anesthetized and intubated patients: a prospective randomized clinical study
- 58. Hirata N, Maruyama D, Miyashita R, Kawaguchi R, Shimizu H, Yamakage M: Heart rate variability during abdominal surgical manipulation under general anesthesia
- 59. Yoshida S-I, Masuda Y, Imaizumi H, Takahashi K, Kimijima T, Tatsumi H, Goto K, Kyan R, Yasui H, Yamakage M: Relationship between outcome and organ failure in patients with a hematological malignancy needing intensive care
- 60. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: A fiberoptic laryngoscope reduces postoperative sore throat: In a double-blinded, randomized, controlled study
- 61. Takahashi K, Yamauchi M, Wada T, Sekine R, Yamakage M: Comparison between brachial plexus block and local infiltration analgesia for postoperative status in elbow arthroscopy
- 62. Takahashi K, Niiya T, Yamauchi M, Narimatsu E, Yamakage M: Comparison of local anesthetic agents for phrenic nerve paralysis: A study in rat phrenic nerve-diaphragm preparation
- 63. Sawada A, Niiyama Y, Omote M, Yamakage M: The efficacy of ultrasound-guided caudal epidural block compared with spinal block for transrectal prostate needle biopsy
- 64. Narimatsu E, Takada Y, Takahashi K, Niiya T, Yamauchi M, Yamakage M: Influence of adenosine on glutamate-induced neuronal damage in rat hippocampal slices
- 65. Iwasaki S, Zhou J, Yamauchi M, Yamakage M: Different effects of desflurane and sevoflurane on airway smooth muscle tension of ovalbumin-sensitized guinea pigs
- 66. Kawaguchi R, Sugino S, Hirata N, Suzuki N, Yamakage M: Predictors of occurrence of postoperative vomiting in children with micro-
- 67. Sasaki H, Yamauchi M, Yamakage M: Comparison of penetration force of various types of needles for central venous catheterization
- 68. Tanabe M, Edanaga M, Miyashita R, Yamakage M: Brachial plexus block under radiographic monitoring speeds execution as compared with ultrasound-guided supraclavicular block
- 69. Chaki T, Edanaga M, Ohsuda M, Tanabe M, Yamakage M: The effect of continuous patient-controlled epidural analgesia by radiographic monitoring on postoperative urinary retention
- 70. Chaki T, Sugino S, Ishioka Y, Yamashita-Kaneuchi M, Yamakage M: Efficacy and safety of mixture of lidocaine and ropivacaine for scalp block in patients undergoing awake surgery
- 71. Maruyama D, Hirata N, Miyashita R, Kawaguchi R, Yamakage M: In vitro ischemia and reperfusion injury can modulate isolated-mito-chondrial oxidative phosphorylation substrates-dependency
- 72. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Incidence of cannot intubate-cannot ventilate (CICV): results of a 2-year retrospective multicenter clinical survey in Japan
- 73. Tachibana S, Hayase T, Sugino S, Sonoda H, Yamakage M: Quality improvement in generic sevoflurane product using gas chromatography
- 74. Hayashi H, Sugino S, Hayase T, Nawa Y, Yamakage M: Involvement of HTR3C gene polymorphism in postoperative pain in lower abdominal surgery
- 75. Hayashi H, Sugino S, Hayase T, Nawa Y, Yamakage M: CHRM3 gene polymorphism is associated with postoperative nausea and vomiting in Japanese population
- 76. Kimizuka M, Koizumi T, Sugimoto R, Kii N, Kawaguchi T, Tsujiguchi N, Yamauchi M, Yamakage M: Minimum ropivacaine concentration for transversus abdominis plane block to treat postoperative pain after inguinal hernia surgery
- 77. Akatsuka M, Yoshida S-I, Imaizumi H, Masuda Y, Yamakage M: Incidence and characteristics of unanticipated admission to intensive care unit from general wards after surgery

# 2013

### The 16th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFOOS). Bangkok, Thailand. Feb. 21-22, 2013

78. Shindo Y, Yamauchi M, Yamakage M: Living with post herpetic neuralgia: Experience of elderly Japanese

# Euroanaesthesia 2013 Congress. Barcelona, Spain. Jun. 01-04, 2013

- 79. Takahashi K, Tokinaga Y, Niiya T, Takahashi M, Kanno M, Yamakage M: Anew method to reduce gas leak during mask ventilation in patients with a gastric tube
- 80. Mizuguchi A, Yamauchi M, Edanaga M, Yamakage M: Ultrasound-guided obturator nerve block: effects and spread of distal interfascial injection

### The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. San Francisco, USA. Oct. 12-16, 2013

- 81. Sawada A, Niiyama Y, Yamakage M: Bone marrow-derived microglia that express IL-1 beta might cause negative emotions induced by neuropathic pain (Poster discussion)
- 82. Kazuma S, Hayase T, Osuda M, Sugino S, Yamakage M: Recovery of postoperative cognitive function in elderly patients after a long duration of desflurane anesthesia (Poster discussion)
- 83. Yoshikawa Y, Nawa Y, Hirata N, Yamakage M: Impact of anesthetic dosage on the duration of postoperative mechanical ventilation after pediatric congenital heart disease surgery (Poster discussion)
- 84. Iwasaki S, Sugime F, Yamakage M: Not only intraperitoneal, but also oral administration of L-serine improved paclitaxel-induced mechanical allodynia/hyperalgesia in a preclinical rat model
- 85. Maruyama D, Chaki T, Omote M, Hirata N, Yamauchi M, Yamakage M: Movements of double-lumen endotracheal tube as results of head rotation, tube fixation and lateral position: A Thiel-embalmed cadaver study.
- 86. Zhou J, Iwasaki S, Yamakage M: Phosphodiesterase 4 inhibitor roflumilast improves the bronchodilative effect of sevoflurane in sensitized airway
- 87. Hirata N, Maruyama D, Chaki T, Yamakage M: What is the appropriate concentration of desflurane for prevention of awareness during anesthesia and reliable recovery from anesthesia in clinical practice?
- 88. Iwasaki S, Chaki T, Sugime F, Jing Z, Yamakage M: End-tidal control anesthesia-adopted minimum fresh gas flow is superior to manual control, 2 liter, low-flow both sevoflurane and desflurane anesthesia in clinical practice
- 89. Chaki T, Hirata N, Maruyama D, Yamakage M: Analysis of hemodynamic changes using LiDCOrapid™ in patients undergoing giant ovarian tumor resection
- 90. Sugino S, Hayase T, Higuchi M, Nawa Y, Kumeta Y, Yamakage M: Oprm1 gene polymorphism reduces DNA methylation at the upstream CpG island in male patients
- 91. Takahashi K, Yamauchi M, Niiya T, Yamakage M: Minimum levobupivacaine required to block axillary nerves while preserving motor function.
- 92. Tachibana N, Niiyama Y, Yamakage M: Evaluation of bias for blood concentrations of propofol during TCI in Japanese obese patients
- 93. Maruyama D, Hirata N, Miyashita R, Kawaguchi R, Yamakage M: Nitrite attenuates ischemia-induced ventricular arrhythmias by reduction to nitric oxide in rats
- 94. Namba Y, Yamakage M: Spinal anesthesia for lower extremity surgery in geriatric patients: minimum dose requirement of 0.2% hypobaric or hyperbaric bupivacaine
- 95. Koizumi T, Hirata N, Maruyama D, Yamakage M: Sugammadex has changed use of rocuronium and criteria in administration of antagonists of neuromuscular blocking agents
- 96. Kawaguchi R, Hirata N, Miyashita R, Maruyama D, Yamakage M: Nitrite attenuates sepsis-induced cardiac dysfunction in acute severe septic rats
- 97. Tachibana N, Yamauchi M, Yamakage M: Relationship between serum carbamazepine concentration and degree of satisfaction in patients with neuropathic pain
- 98. Kunigoh T, Nishikawa K, Tonosaki T, Tsuchiya S, Shimodate Y, Yamakage M: A comparison of the Airtraq® alone for tracheal intubation in surgical patients
- 99. Gi E, Sasaki H, Yamauchi M, Yamakage M: Contrast-enhanced ultrasound with perflubutane microbubble for femoral nerve block human cadaver study-
- 100. Takahashi K, Niiya T, Takada Y, Narimatsu E, Yamakage M: Prospective analysis sugammadex in 9 patients with myasthenia gravis
- 101. Niiyama Y, Yamakage M: The efficacy of new disposable IV-PCA pump with fentanyl for the management after laparoscopic colectomy
- 102. Sasaki H, Yamauchi M, Sugime F, Iwasaki S, Yamakage M: A central venous catheterization needle with lower penetration force facilitates prevention of posterior venous wall puncture
- 103. Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Akatsuka M, Yamakage M: Mechanism of the inhibitory effect of desflurane on angiotensin II-in-duced vasoconstriction

# 2014

# 16th Eurosiva annual scientific meeting. Stockholm, Sweden. May 30, 2014

104. Tachibana N, Niiyama Y, Mimura M, Yamasawa Y, Yamakage M: Evaluation of bias for predicted and measured concentrations of

# Euroanaesthesia 2014 Congress. Stockholm, Sweden. May 31-Jun. 03, 2014

105. Sasaki H, Yamauchi M, Gi E, Niiya T, Yamakage M: Usefulness of contrast-enhanced ultrasonography for peripheral nerve block

# 33rd Annual ESRA Congress 2014. Seville, Spain. Sep. 3-6, 2014

- 106. Murouchi T, Iwasaki S, Fujimiya M, Yamakage M: Compound imaging technology and echogenic needles: A comparison study in pork phantom and Thiel-embalmed cadavers
- 107. Mimura M, Goda Y, Miyamoto N, Asano S, Tachibana N, Yamasawa Y, Hazama K, Oda H, Yamakage M: Inferior mesenteric plexus block for low back pain in patients with retroperitoneal fibrosis: a report of two cases

### The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. New Orleans, USA. Oct. 11-15, 2014

- 108. Sawada A, Niiyama Y, Yamakage M: A CCR2 antagonist suppresses the infiltration of bone marrow-derived microglia into the central nervous system and reverses anxiety-like behavior as well as hypersensitivity induced by chronic neuropathic pain (Special Meetings and Events; Best Abstracts Basic Science)
- 109. Kawaguchi R, Hirata N, Miyashita R, Maruyama D, Yoshikawa Y, Yamakage M: Nitrite protects cardiac mitochondrial function without detrimental effect in septic rats (Oral presentation)
- 110. Sawada A, Niiyama Y, Yamakage M: An IL-1 receptor antagonist improves the anxiety-like behavior induced by neuropathic pain via the blockade of phosphorylation of NMDA receptors on neurons in the amygdala (Poster discussion)
- 111. Akatsuka M, Yamamoto S, Ichinose H, Yamakage M: Investigation of clinical variables in unexpected readmission to the intensive care unit (Poster discussion)
- 112. Yoshikawa Y, Hirata N, Kawaguchi R, Miyashita R, Maruyama D, Yamakage M: Direct cardioprotective effect of dexmedetomidine against global ischemia/reperfusion injury in rat heart (Poster discussion)
- 113. Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Ultrasound-guided rectus sheath block: Thiel-embalmed human cadaveric study for spread of injectate (Poster discussion)
- 114. Namba Y, Yamakage M: Dilution and incremental administration of hypobaric local anesthetic solution reduces the severity of side effects: Spinal anesthesia for lower extremity surgery in geriatric patients
- 115. Sawada A, Kamada Y, Hayashi H, Ichinose H, Sumita S, Yamakage M: The effect of intraoperative glucose infusion on the catabolism of fat tissue and muscle protein during remifentanil anesthesia: a randomized controlled multicenter trial
- 116. Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Yamakage M: Desflurane as well as sevoflurane inhibits endothelium-dependent vasodilation by different mechanism
- 117. Tachibana S, Maruyama D, Hirata N, Yamakage M: Desflurane preserves blood pressure during anesthetic induction compared to sevoflurane due to differential effects on autonomic nervous system evaluated by heart rate variability
- 118. Sugime F, Iwasaki S, Tachibana N, Hayashi S, Watanabe A, Yamakage M: Metabolic and hemodynamic stability during awake craniotomy without opioids: retrospective study in a single center
- 119. Sasaki H, Niiya T, Yamakage M: Comparison of two intraosseous access devices: Successful rate and explanation for failures by novice users
- 120. Kazuma S, Masuda Y, Tatsumi H, Goto K, Takahashi K, Imaizumi H, Yamakage M: Is TRALI not a severe form of acute lung injury? Evaluation of the clinical features of transfusion-related acute lung injury (TRALI) in an intensive care unit
- 121. Kimura Y, Sumita S, Yamakage M: Investigation of the organ types under the two chest compression points in cadaver patients
- 122. Takahashi K, Niiya T, Narimatsu E, Yamakage M: Train of four ratios can not reflect strength in severe myasthenia gravis: An in vitro study in the rat model of experimental autoimmune myasthenia gravis
- 123. Hayase T, Sugino S, Tachibana S-S, Yamakage M: TACR1 gene polymorphism is associated with gender difference in postoperative nausea and vomiting
- 124. Niiya T, Takahashi K, Takada Y, Narimatsu E, Yamakage M: Severity of myasthenia gravis influences the reversal effect of neostigmine on rocuronium-induced muscle relaxation in vitro
- 125. Omote M, Sasaki H, Niiya T, Yamakage M: Simulation study for accidental withdrawal of adult and child central venous catheters
- 126. Watanabe A, Edanaga M, Ichinose H, Yamakage M: Comparison of the usefulness of Air-Q® and the i-gel® for airway management under general anesthesia
- 127. Hirata N, Miyashita R, Maruyama D, Kawaguchi R, Yoshikawa Y, Yamakage M: Lipid emulsion modulates mitochondrial oxidative phosphorylation and reactive oxygen species substrate-dependently: Implications for cardioprotective effect of lipid emulsion
- 128. Maruyama D, Hirata N, Miyashita R, Kawaguchi R, Yoshikawa Y, Yamakage M: Nitrite reduces ischemia-induced ventricular arrhythmias via preservation of connexin 43 protein in rats
- 129. Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Kazuma S, Yamakage M: Effect of propofol on vessel tone after cooling and rewarming and its mechanism
- 130. Hayase T, Sugino S, Tachibana S-S, Yamakage M: Estradiol enhances female pica behavior through TACR1 expression in the caudate putamen
- 131. Niiyama Y, Yamakage M: The efficacy of continuous wound infiltration with 0.2% ropivacaine for postoperative pain management after microtia reconstructive surgery compared with the single intercostal nerve block with 0.75% ropivacaine: a randomized, controlled study
- 132. Sasaki H, Yamauchi M, Ninomiya T, Niiya T, Yamakage M: Usefulness and safety of contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid® for peripheral nerve block
- 133. Zhou J, Iwasaki S, Zhao P, Yamakage M: Effects of desflurane on the cAMP concentration in sensitized airway smooth muscle

# 2015

### 44th Critical Care Congress. Phoenix, USA. Jan. 17-21, 2015

134. Akatsuka M, Yamamoto S, Ichinose H, Yamakage M: Evaluation of severity by five scoring systems in critically ill patients

# IARS 2015 Annual Meeting and International Science Symposium. Honolulu, Hawaii, USA. March 21-24, 2015

135. Tachibana S, Hirata N, Yamakage M: Evaluation of a newly developed monitor of deep body temperature

### Euroanaesthesia 2015 Congress. Berlin, Germany. May 30-Jun. 02, 2015

- 136. Takahashi S, Miyamoto N, Nakayama Y, Mimura M, Mizuguchi A, Yamakage M: Our experience with temporal measurement of changes in cardiac output using a non-invasive cardiac output measurement device during epidural analgesia during labor in a pregnant woman with congenital heart disease: a case report
- 137. Takahashi S, Nakayama Y, Yamasawa Y, Yamakage M: Usefulness of the new model Airway Scope in simulated difficult airway scenarios Comparison with Airtraq and Macintosh laryngoscope –
- 138. Takahashi S, Miyamoto N, Nakayama Y, Mimura M, Mizuguchi A, Yamakage M: Our experience with temporal measurement of changes in cardiac output using a non-invasive cardiac output measurement device during epidural analgesia during labor in a pregnant woman with congenital heart disease: a case report

# The 2<sup>nd</sup> Conference of Asia-Pacific Chapter of Extracorporeal Life Support Organization (APELSO2015). Kyoto, Japan. Jul. 17-19, 2015

139. Kazuma S, Imaizumi H, Masuda Y, Tatsumi H, Takahashi K, Goto K, Murouchi T, Yoshida S, Katayama Y, Yamakage M: A successful case of using extracorporeal membrane oxygenation following percutaneous cardiopulmonary support against cardiopulmonary arrest due to extreme airway obstruction by massive hemoptosis

### 34th Annual ESRA Congress 2015. Ljubljana, Slovenia. Sep. 02-05, 2015

140. Murouchi T, Tanaka T, Igarashi Y, Hirata N, Iwasaki S, Yamakage M: Case report: safe and satisfactory perioperative management of wide resection of proximal humeral tumor with dual continuous peripheral nerve blockades using levobupivacaine

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. San Diego, USA. Oct. 24-28, 2015

- 141. Sawada A, Yamakage M: Infiltration of bone marrow-derived microglia into the spinal cord in neuropathic pain model mice following bone marrow transplantations using busulfan treatments (Oral presentation)
- 142. Nawa Y, Chaki T, Tamashiro K, Yamakage M: Accuracy of portable capnometer in children (Poster discussion)
- 143. Yoshikawa Y, Hirata N, Kawaguchi R, Miyashita R, Maruyama D, Yamakage M: Cardioprotective effect of dexmedetomidine against ischemia/reperfusion injury in hypertensive hypertrophied myocardium (Poster discussion)
- 144. Satoh S, Doi M, Morita K, Takeda J, Sakamoto A, Yamakage M, Suzuki T: Remimazolam a new ultra-short acting anesthetic shows similar efficacy and superior hemodynamic stability vs. propofol in general surgery patients with TIVA: Results of a randomised, non-inferiority, Phase IIb/III trial (Poster Discussion)
- 145. Iwasaki S, Takahashi K, Niiya T, Sugime F, Yamakage M: Five cases of metal-induced artifacts on MRI imaging after switching to the MRI-compatible Medtronic Sure Scan® System and perioperative techniques
- 146. Iwasaki S, Hayashi S, Yamakage M: Do molecularly-targeted agents change practice in palliative care? A 10-year, observational, single-center study
- 147. Chaki T, Hirata N, Nawa Y, Mizuno E, Tamashiro K, Yamakage M: Remifentanil prevents hyperglycemia and hyperlactatemia during cardiopulmonary bypass in children
- 148. Kawamukai Y, Kawaguchi R, Hirata N, Yamakage M: Effects of sugammadex on postoperative bleeding in cardiac surgery with cardiopulmonary bypass
- 149. Sakai W, Yoshikawa Y, Hirata N, Yamakage M: Effect of remifentanil during cardiopulmonary bypass on hemodynamics and postoperative renal function
- 150. Kimijima T, Edanaga M, Yamakage M: Comparison of fluid sealing efficacy of endotracheal tube cuff using three-dimensional printed model of the human trachea
- 151. Igarashi Y, Tachibana S, Yamakage M: Usefulness of the infrared earphone-type thermometer in continuous temperature monitoring for pediatrics during general anesthesia
- 152. Hayashi H, Koizumi T, Sumita S, Yamakage M: Relative clinical heat transfer effectiveness: forced-air warming vs. conductive fabric electric warming
- 153. Takahashi K, Niiya T, Narimatsu E, Yamakage M: Severity of myasthenia gravis influences the relationship between TOF ratio and twitch tension, and run-down of rat endplate potentials
- 154. Kumita S, Tachibana S, Hayase T, Yamakage M: Usefulness of self-genetic testing in malignant hyperthermia patients
- 155. Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Azumaguchi R, Kimidsuka M, Yamakage M: Both desflurane and sevoflurane inhibit endothelium-dependent vasodilation by different mechanisms
- 156. Miyashita R, Hirata N, Kawaguchi R, Yoshikawa Y, Yamakage M: Different effects of colloid and crystalloid solutions for fluid resuscitation on hemodynamics and renal function in acute hemorrhagic shock rats
- 157. Kimizuka M, Takada Y, Tokinaga Y, Hayashi S, Kazuma S, Azumaguchi R, Yamakage M: Effects of propofol and sevoflurane on heating-induced generation of vascular smooth muscle in rats
- 158. Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Azumaguchi R, Kimidsuka M, Yamakage M: Effect of albumin on the attenuation of en-

- dothelium-dependent vasodilation of rat aorta treated by sialidase
- 159. Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Analgesic effects and safety of abdominal compartment block: comparison of quadratus lumborum block, transverse plane block, and rectus sheath block after laparoscopic surgery
- 160. Akatsuka M, Yamamoto S, Ichinose H, Yamakage M: Comparison of scoring systems for predicting mortality in emergency room patients with pulmonary disease
- 161. Azumaguchi R, Satoh S, Saitoh N, Tatsumi H, Masuda Y, Yamakage M: Validation of the new biomarker presepsin for diagnosis of sepsis
- 162. Kumita S, Hirata N, Yamakage M: Pre-anesthetic stroke volume variation correlates to blood pressure variation during anesthetic induction: The efficacy of a non-invasive cardiac output monitor AESCULON mini®
- 163. Hirata N, Kawamukai Y, Uno A, Yamakage M: Effects of sugammadex on anesthetic management in emergent caesarean section under general anesthesia
- 164. Takada Y, Narimatsu E, Takahashi K, Niiya T, Yamakage M: Elevation and suppression of paraoxon-induced epileptic activity in rat hippocampus
- 165. Tanahashi S, Yamamoto A, Edanaga M, Yamakage M: The optimal dose of intravenous dexmedetomidine evaluated by hemodynamics, respiratory rate and sedation degree for sedation under spinal anesthesia
- 166. Niiyama Y, Yamakage M: Efficacy of the programmed intermittent bolus compared with continuous infusion in combination with patient-controlled epidural analgesia for postoperative pain management after pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy
- 167. Kunigoh T, Murouchi T, Niiya T, Ichinose H, Yamamoto S, Yamakage M: Spread of injectate in serratus plane block: a cadaver study
- 168. Murouchi T, Iwasaki S, Yamakage M: Comparison of spread of injectate after ultrasound-guided abdominal compartment blockades: Thiel-embalmed human cadaveric study
- 169. Takada Y, Tokinaga Y, Hayashi S, Kazuma S, Kimizuka M, Azumaguchi R, Yamakage M: Effect of propofol on change of vascular tone during cooling and rewarming and its mechanism in rat
- 170. Namba Y, Yamakage M: Both dose and concentration affect the intrathecal spread of local anesthetics in geriatric patients
- 171. Tachibana S, Hayase T, Yamakage M: Possible mechanism of neuroinflammation in the mouse hippocampus using transcriptome analysis
- 172. Hayase T, Tachibana S, Yamakage M: Prediction of the molecular mechanism of postoperative nausea and vomiting using transcriptome analysis
- 173. Kikuchi K-I, Hirata N, Yamakage M: Assessing the efficacy of inflationary non-invasive blood pressure monitoring during the induction period of general anesthesia

### American Heart Association Scientific Sessions 2015. Orlando, FL, USA. Nov. 07-11, 2015

174. Kawaguchi R, Hirata N, Yoshikawa Y, Chaki T, Yamakage M: Nitrite ameliorates sepsis-induced myocardial dysfunction via mitochondrial protection

# 2016

# 45th Critical Care Congress 2016. Orlando, Florida, USA. Feb. 20-24, 2016

175. Akatsuka M, Yamamoto S, Ichinose H, Yamakage M: Clinical outcomes of extracorporeal membrane oxygenation in patients with severe refractory respiratory failure

# IARS 2016 Annual Meeting and International Science Symposium. San Francisco, USA. May 21-24, 2016

176. Akatsuka M, Yamamoto S, Yamakage M: Management of unexpected cardiopulmonary bypass during video-assisted thoracic surgery due to massive hemorrhage

# Euroanaesthesia 2016 Congress. London, United Kingdom. May 28-30, 2016

177. Ohno S, Yoshikawa Y, Hirata N, Yamakage M: Comparison of cardiac output measurement using LIDCOrapid™ and pulmonary artery catheters in an Asian population

# The 16th World Congress pf Anaesthesiologists (WCA 2016). Hong Kong, China. Aug. 28-Sep. 2, 2016

- 178. Kazuma S, Tokinaga Y, Takada Y, Hayashi S, Yamakage M: Both desflurane and sevoflurane inhibit endothelium-dependent vasoconstriction by different mechanisms
- 179. Kimizuka M, Tokinaga Y, Yamakage M: Effect of sevoflurane and desflurane on ropivacaine-induced contraction of rat aortic smooth muscle

# 16th World Congress on Pain (IAPS 2016). Yokohama, Japan. Sep. 26-30, 2016

- 180. Masuda R, Yamakage M, Tanaka N, Sekiyama H, Gushiken T, Yamaura K, Nakatsuka H: Reporting of adverse events related to pain management: a 3-year survey of the Japan Society of Pain Clinicians Board Certified Training Facilities
- 181. Shindo Y, Iwasaski S, Mimura M, Niiyama Y, Yamakage M: Opioid therapy in Japanese patients with chronic non-cancer pain and its everyday impact

# 44th SNACC annual meeting. Chicago, USA. Oct. 20-21, 2016

182. Sawada A, Illum BE, Jian M, WackerbarthJ, Egawa J, Schilling JM, Marsala M, Patel PM, Head BP, Yamakage M: Neuron-targeted

# caveolin-1 delays onset and extends survival in the hSOD1G93A mouse model of amyotrophic lateral sclerosis (Resident Research Travel Award)

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. Chicago, USA. Oct. 22-26, 2016

- 183. Omote M, Tachibana S, Yamakage M: Blood concentrations of propofol predicted by current major pharmacokinetic models are higher in Japanese patients on constant rate infusions (Oral presentation)
- 184. Kikuchi K-I, Hirata N, Koyanagawa M, Uzduki M, Kawachi S, Yamakage M: Assessing the efficacy of inflationary noninvasive blood pressure technology during the induction period of general anesthesia for patients with arteriosclerosis
- 185. Namba Y, Yamakage M: Intrathecal spread of local anesthetics in higher in the hypobaric local anesthetic group than in the hyperbaric local anesthetic group under lateral position: Spinal anesthesia for lower extremity surgery in geriatric patients
- 186. Chida Y, Tachibana S, Wakasugi K, Yamakage M: Usefulness of a non-invasive core temperature monitoring system Temple Touch Pro<sup>TM</sup> during general anesthesia
- 187. Tanaka T, Hayase T, Chaki T, Tachibana S, Omote M, Yamakage M: Analysis of cause of failure regarding 103 cases of awake craniotomy
- 188. Hashimoto Y, Chaki T, Yoshikawa Y, Tokinaga Y, Hirata N, Yamakage M: Video glass reduces preoperative anxiety compared with DVD player in pediatric anesthesia
- 189. Sawada A, Illum BE, Jian M, WackerbarthJ, Egawa J, Schilling JM, Marsala M, Patel PM, Head BP, Yamakage M: Neuron-targeted caveolin-1 delays onset and extends survival in the hSOD1G93A mouse model of amyotrophic lateral sclerosis
- 190. Hirata N, Chaki T, Yamakage M: Oxygen reserve index provides a safer airway management during awake fiberoptic intubation and rapid sequence intubation: Case Series
- 191. Yoshikawa Y, Hirata N, Nawa Y, Sugai H, Yamakage M: Oropharyngeal leak pressure of i-gel<sup>TM</sup> improves after insertion in pediatric patients
- 192. Nishihara N, Kawaguchi R, Kumita S, Edanaga M, Yamakage M: Point-of-care monitoring Sonoclot® reduced the amount of intraoperative fresh frozen plasma administration in cardiac surgery under cardiopulmonary bypass
- 193. Hoshi T, Edanaga M, Kawaguchi R, Yamakage M: Blood clotting function and platelet function monitoring by Sonoclot® at the operation day after discontinuation of antiplatelet and anticoagulant
- 194. Akatsuka M, Yamamoto S, Yamakage M: Clinical characteristics and outcomes of the patients aged 90 years and over with surgery
- 195. Kimijima T, Edanaga M, Yamakage M: Laryngeal mucosal pressure exerted by i-gel<sup>TM</sup>: an experimental study in Japanese human cadavers
- 196. Kimijima T, Edanaga M, Hayashi S, Yamakage M: Relationship between intracuff pressure of the endotracheal tube and exerted pressure on the inner tracheal wall
- 197. Hirata N, Chaki T, Yamakage M: Pre- and intra-operative adrenergic blockades have less effects on adrenergic responses during surgical manipulation of pheochromocytoma
- 198. Niiyama Y, Yamakage M: Efficacy of continuous paravertebral block with the lamina technique for postoperative pain management after microtia reconstructive surgery with surgery compared with single intercostal nerve block with 0.75% ropivacaine (retraction)
- 199. Iwasaki S, Yamakage M: Comparison of blind intubation through i-gel™ and through air-Q™ with different types of tracheal tube (Parker Flex-Tip™ tracheal tube and standard tube): a manikin study

# 2017

# 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine. Brussels, Belgium. Mar. 21-24, 2017

200. Akatsuka M, Arakawa J, Yamakage M: Clinical manifestations and diagnosis of the patients with cerebral venous thrombosis: retrospective study and literature review

# Euroanaesthesia 2017 Congress. Genova, Switzerland. June 03-05, 2017

- 201. Kimizuka M, Tokinaga Y, Hayashi S, Azumaguchi R, Yamakage M: Influence of Propofol and dexmedetomidine on oxytocin-induced contractions of isolated pregnant rat myometrium
- 202. Omote M, Tachibana S, Hayase T, Yamakage M: Establishment of protocol for measurement of serum concentration of local anesthetic levobupivacaine in patients undergoing awake craniotomy

# The International Society on Thrombosis and Haematosis (ISTHTM) 2017 Congress. Berlin, Germany. July 08-13, 2017

203. Azumaguchi T, Tokinaga Y, Kimizuka M, Kazuma S, Hayashi S, Yamakage M: Validation if hemostatic impairment induced by hydroxyethyl starch in vivo

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. Boston, USA. Oct. 21-25, 2017

- 204. Sawada A, Kumeta Y, Tanaka S, Uzuki M, Yamasawa Y, Kamada Y, Tsujiguchi N, Sumita S, Yamakage M: Association of 6% hydroxyethyl starch 130/0.4 with acute kidney injury in surgical patients in the postoperative period: a multicenter retrospective study (Oral presentation)
- 205. Yoshikawa Y, Hirata N, Kawaguchi R, Tokinaga Y, Chaki T, Yamakage M: Dexmedetomidine maintains its direct cardioprotective effect against ischemia/reperfusion injury in hypertensive hypertrophied myocardium
- 206. Hirata N, Chaki T, Yamakage M: Oxygen reserve index correlates to end-tidal oxygen concentration during oxygenation via a tight-fitted face mask

- 207. Kawaguchi R, Hirata N, Yamakage M: Nitrite ameliorates septic myocardial dysfunction via mitochondrial protection
- 208. Tachibana S, Omote M, Yamakage M (CTS group in Japan): The equivalent performance between CE-Thermo® and CoreTemp® during general anesthesia multicenter observational study in Japan
- 209. Matsumoto T, Osuda M, Edanaga M, Yamamoto A, Ihara S, Tanaka S, Yamakage M: Comparison of Mill Sus™-guided radial artery catheterization with the long-axis ultrasound-guided method
- 210. Kumita S, Murouchi T, Arakawa J, Yamakage M: Ultrasound-guided maxillary and mandibular nerve blocks for analgesia in gnatho-plasty: a case control study
- 211. Tachibana S, Hayase T, Yamakage M: Effect of surgical insult under sevoflurane exposure on the comprehensive mRNA expression profile of the elderly mouse hippocampus
- 212. Sakai W, Hirata N, Yamakage M: Angiotensin II receptor blocker reduces the incidence of acute kidney injury after cardiac surgery
- 213. Hasegawa G, Kawaguchi R, Hirata N, Yamakage M: Differential effects of desflurane and sevoflurane on the amount of fentanyl used during cardiac surgery with cardiopulmonary bypass
- 214. Omote M, Tachibana S, Yamakage M: A new pharmacokinetic model of propofol in Japanese patients on constant rate infusion
- 215. Chaki T, Nawa Y, Tamashiro K, Yamakage M: Pain management after atrial septal defect closure with lateral thoracic approach using continuous retrolaminar block
- 216. Niiyama Y, Yamakage M: Efficacy of continuous paravertebral block with the lamina technique for postoperative pain management after microtia reconstructive surgery with surgery compared with single intercostal nerve block with 0.75% ropivacaine
- 217. Namba Y, Yamakage M, Yama N: CT (computed tomography) myelogram study of the conus medullaris position: comparison with a cadaver study
- 218. Hagiwara H, Kazuma S, Wakasugi K, Kubo M, Yamakage M: Comparison of the TOF-Cuff® neuromuscular transmission monitor and TOF-Watch SX<sup>TM</sup>
- 219. Takahashi K, Hirata N, Yamakage M: Unexpected acute myocardial infarction just after pancreaticoduodenectomy in a patient without preoperative cardiac risk
- 220. Igarashi Y, Kumeta Y, Otsuki I, Kiya T, Nakabayashi K, Yamakage M: Acute progressive and miserable infection of Clostridium perfringens: a case report

# 2018

# Euroanaesthesia 2018 Congress. Copenhagen, Denmark. June 02-04, 2018

- 221. Takahashi K, Yoshikawa Y, Edanaga M, Yamakage M: Analysis of the effect of dexmedetomidine on platelet function with TEG6s® Platelet Mapping® assay in whole blood
- 222. Tanaka S, Tachibana S, Omote M, Chaki T, Tokinaga Y, Yamakage M: Investigation of awake craniotomy cases for elderly patients using dexmedetomidine: Case series
- 223. Kimizuka M, Tokinaga Y, Kazuma S, Azumaguchi R, Hamada K, Yamakage M: Influence of anesthetic agents on contractions of pregnant rat myometrium in vivo
- 224. Tachibana S, Yamakage M: Dexmedetomidine attenuates up-regulation of the Rtn4rl2 gene and restores down-regulation of the Syt1 gene induced by sevoflurane/surgery stress in the hippocampus of elderly mice
- 225. Azumaguchi T, Tokinaga Y, Kimizuka M, Kazuma S, Hamada K, Yamakage M: Usefulness of Sonoclot™ for detection of residual effects of antiplatelet agents: a pilot study

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. San Francisco, USA. Oct. 13-17, 2018

- 226. Chaki T, Hirata N, Tokinaga Y, Yoshikawa Y, Kawaguchi R, Yamakage M: Lipid, a solvent of propofol, induces muscle wasting via oxidative stress
- 227. Nakayama Y, Inagaki Y, Nagato M, Yamasawa Y, Yamakage M: Can a novel double-lumen tube with a movable bronchial cuff reduce the incidence of malposition of the bronchial cuff? evaluation of the clinical usefulness
- 228. Nagato M, Nakayama Y, Yamasawa Y, Yamakage M: Usefulness of a new model Airway Scope for anesthesiologists in simulated difficult airway scenarios Comparison with Airtraq and Macintosh laryngoscope –
- 229. Saito K, Yoshikawa Y, Edanaga M, Sawashita Y, Yamakage M: Effect of preoperative aortic regurgitation and residual aortic regurgitation after transcatheter aortic valve replacement on left ventricular reverse remodeling
- 230. Azumaguchi R, Tokinaga Y, Kimizuka M, Kazuma S, Hamada K, Yamakage M: Validation of hemostatic impairment induced by hydroxyethyl starch in vivo
- 231. Kii N, Hirahata T, Edanaga M, Yamakage M: A randomized trial comparing the incidences of sore throat caused by the LMA Protector<sup>TM</sup> and LMA Supreme<sup>TM</sup>
- 232. Kii N, Sawada A, Yamakage M: Dexmedetomidine attenuates isoflurane-induced cognitive dysfunction in mice subjected traumatic brain injury
- 233. Kimizuka M, Tokinaga Y, Taguchi M, Takahashi K, Yamakage M: The effectiveness of ACCURO (a handheld ultrasound device for epidural anesthesia)
- 234. Kazuma S, Tokinaga Y, Kimizuka M, Azumaguchi R, Hamada K, Yamakage M: Sevoflurane promotes regeneration of endothelial gly-cocalyx damaged by oxidative stress by restoring the sialytransferase, ST6Gal-I
- 235. Omote M, Tachibana S, Chaki T, Honma H, Yamakage M: Anesthetic challenges for deep brain stimulation having low back pain patient using combination of epidural anesthesia, dexmedetomidine sedation and scalp block
- 236. Hirata N, Soutome S, Honma H, Yamakage M: Repeated failed extubation after laparoscopic colectomy in the steep Trendelenburg

- position
- 237. Sawada A, Kusakai M, Kii N, Tokinaga Y, Hirata N, Yamakage M: Epidural anesthesia combined with sedation by dexmedetomidine for appendectomy in a patient with amyotrophic lateral sclerosis
- 238. Kumita S, Tachibana S, Ichimiya T, Yamakage M: Continuous rectus sheath block in a patient with postoperative rectus sheath hematoma: a case report

# 2019

### Euroanaesthesia 2019 Congress. Vienna, Austria. June 01-03, 2019

- 239. Terada H, Hiirata N, Sawashita Y, Yoshikawa Y, Yamakage M: Acute hypobaric hypoxia attenuates myocardial ischemia reperfusion injury in rats
- 240. Kii N, Sawada A, Yoshikawa Y, Yamakage M: Dexmedetomidine ameliorates isoflurane-induced cognitive dysfunction in mice subiected to chronic brain trauma by attenuating microglial activation
- 241. Kimizuka M, Tokinaga Y, Kazuma S, Azumaguchi R, Hamada K, Yamakage M: Mechanisms and influence of anaesthetic agents on contractions of the pregnant rat myometrium in vivo
- 242. Sato S, Kondo M, Edanaga M, Yamakage M: Comparison of the changes in cerebral oxygenation during one-lung ventilation when using propofol with desflurane
- 243. Sawashita Y, Hirata N, Yoshikawa Y, Terada H, Yamakage M: Limb remote ischemic preconditioning protects against cardiac ischemia and reperfusion injury via modulation of the secretion of desacyl ghrelin in rats
- 244. Azumaguchi T, Tokinaga Y, Kimizuka M, Kazuma S, Hamada K, Yamakage M: Validation of hemostatic impairment induced by hydroxyethyl starch (HES) in vivo
- 245. Nakayama Y, Tomoyoshi M, Ino A, Yamakage M: An evaluation of double lumem tube using a rigid video laryngoscope (Airway Scope) in simulated difficult airway scenarios: comparison with Airtraq and Macintosh laryngoscope

# The 17th International Congress of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia. Seoul, Korea. June 06-08, 2019

246. Sawashita Y, Hirata N, Yoshikawa Y, Terada H, Yamakage M: Sevoflurane releases deacyl ghrelin for the cardioprotection from ischemia and reperfusion injury

# The XXVII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH). Melbourne, Australia. July 06-10

247. Azumaguchi R, Tokinaga Y, Kimizuka M, Kazuma S, Hamada K, Yamakage M: Validation of hemostatic impairment induced by hydroxyethyl starch (HES) due to influence on vascular endothelium

### Annual ESRA Congress 2019. Bilval, Spain. Sep. 11-14, 2019

- 248. Sawada A, Sotome S, Kusakai M, Yamakage M: Successful anesthetic management for total mastectomy in a pregrant woman using general anesthesia combined with continuous erector spinae plane block: a case report
- 249. Kumita S, Ueshima H, Otake H, Yamakage M: A cadaveric study of ultrasound-guided inferior alveolar nerve block

# ESICM 32<sup>nd</sup> Annual Congress. Berlin, Germany. Sep. 28-Oct.02, 2019

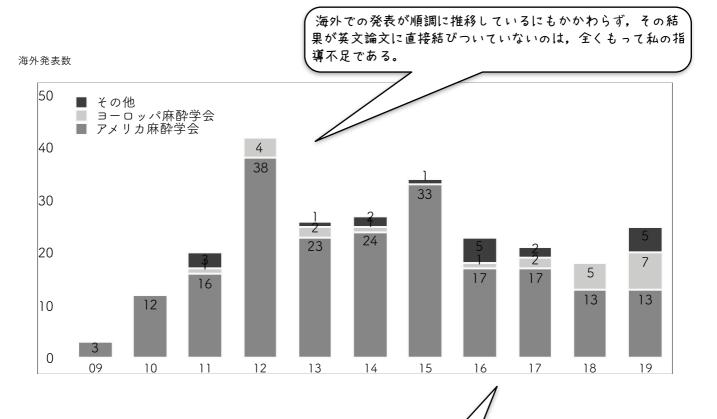
250. Akatsuka M, Masuda Y, Tatsumi H, Yamakage M: Intravenous immunoglobulin therapy is associated with favorable outcome in patients with severe infection having a low level of immunoglobulin G

# The annual meeting of the American Society of Anesthesiologists. Orlando, USA. Oct. 19-23, 2019

- 251. Sawada A, Kii N, Yamakage M: Pregnancy improves neuropathic pain in mice through suppression of microglia in the anterior cingulate cortex (Poster Discussion, Featured abstracts II)
- 252. Hamada K, Tokinaga Y, Sato T, Azumaguchi R, Kimizuka M, Kazuma S, Yamakage M: Goreisan, a herbal medicine, prevents water movement by inhibiting aquaporin 4 of astrocyte
- 253. Hirata N, Ngo D-T, Phan P-H, Ainai A, Phung TTB, Tuan T-A, Dien T-M, Kawachi S, Nakajima N, Hai L-T, Yamakage M: Preliminary study on recombinant human thrombomodulin for severe pneumonia-induced ARDS complicated with DIC in pediatric patients
- 254. Sotome S, Sawada A, Yamakage M: Erector spinae plane block versus retrolaminar block for postoperative analgersia after breast cancer surgery
- 255. Samala KB, Iwasaki S, Takahashi K,, Mizukami N, Yamakage M: Emergency Cesarean section in a patient with multidrug hypersensitivity
- 256. Sato Y, Edanaga M, Yamakage M: Cerebral oxygenation-guided intervention of FIO<sub>2</sub> for a patient with interstitial pneumonia during one-lung ventilation
- 257. Hasegawa G, Yoshikawa Y, Hirata N, Yamakage M: Impaired platelet aggregation in response to ADP in a patient with chronic ITP evaluated by PlateletMapping ADP assay
- 258. Nishihara N, Tachibana S, Sonoda H, Yamakage M: A patient with myotonic dystrophy diagnosed by sudden respiratory failure a case report
- 259. Yamanaka M, Otsuki I, Edanaga M, Yamakage M: A case of the posterior longitudinal ligament ossification diagnosed after general
- 260. Kii N, Kimizuka M, Yamakage M: Perioperative management of peripartum cardiomyopathy
- 261. Kumita S, Ueshima H, Otake H, Yamakage M: One case of unexpected mandibular nerve block after ultrasound-guided maxillary

# nerve block

- 262. Kimizuka M Kii N, Yamakage M: Spinal anesthesia for multiple sclerosis
- 263. Iwasaki S, Hamada K, Takahashi K, Takahashi M, Mizukami N, Mizuno E, Yamakage M: Epidural analgesia for the treatment of colic attack with retrocaval ureter in late pregnancy complicated with marginal placenta previa



アメリカ麻酔学会 (ASA)が世界でも最も大きな学会であったが,近年ではそ、の内容が充実していないこと,各研究領域によっては他学会での発表が評価されること,またヨーロッパ麻酔学会 (ESA)が充実してきていることから,発表の場がシフトしてきている。

# 全国学会

※共同演者して小生の名があるもののみの記載とした。

### 2009

#### 【日本麻酔科学会第56回大会(神戸)】 2009.08.16-18

- 1. 山蔭道明:共催セミナー講演(3)「エスラックス®(ロクロニウム)使用における私のコツ」
- 2. 山蔭道明:シンポジウム(19)「周術期管理チームに関するアンケートー手術室運営の今後の方向性」
- 3. 上田 亮,山下 淳,山蔭道明,並木昭義:術中体温モニターとしてのイヤホン型近赤外線鼓膜温測定の有用性ー小児での検討ー

#### 【第37回日本歯科麻酔学会(名古屋)】 2009.10.08-10

4. 山蔭道明: ランチョン講演 (II) 「周術期体温管理における新しいデバイスー連続測定型耳式体温計CEサーモー」

# 【日本臨床麻酔学会第29回大会(浜松)】 2009.10.29-31

- 5. 山蔭道明:教育講演(1)「吸入麻酔薬の最近の知見」
- 6. 澤田敦史,山蔭道明:硬膜外穿刺におけるEpidrum®の有用性

### 【第23回日本手術看護学会年次大会(幕張)】 2009.11.13

7. 山蔭道明:ランチョン講演(1)「看護視点で考える手術中の体温管理」

# 2010

# 【第21回日本臨床モニター学会総会(札幌)】 2010.04.24

8. 山蔭道明:モーニングセミナー講演「体温管理とそのモニター」

# 【日本麻酔科学会第57回大会(福岡)】 2010.06.03-05

- 9. 山蔭道明,周 静:喫煙・麻酔薬の気管支平滑筋に及ぼす影響.学会企画3学術委員会企画:JAシンポジウム「呼吸治療研究の最前線:麻酔科医の役割」
- 10. 新谷知久,山蔭道明:麻酔と血液凝固線溶系.シンポジウム14「血液凝固・炎症反応の関連と臓器障害」
- 11. 大沼 淳,山内正憲,大沼幸代,新山幸俊,山蔭道明:超音波画像による下位胸部硬膜外穿刺前評価の有用性
- 12. 木井菜摘,山内正憲,山蔭道明:超音波ガイド下腕神経叢ブロックにおける最適なロピバカイン濃度の検討
- 13. 浦濱 聡,山内正憲,水上奈穂美,橘 信子,新谷知久,山蔭道明:持続腕神経叢ブロックにおける薬液濃度・容量が術後鎮痛に及ぼす影響
- 14. 澤田敦史,宮下 龍,青柳みのり,寺田拡文,山蔭道明:前置胎盤合併帝王切開症例におけるinternal/com-mon iliac artery balloon occlusionの術中出血量低減に関する有効性の検討
- 15. 折茂香織,中山禎人,杉本玲緒奈,関根利佳,水野絵里,山蔭道明:塩酸ランジオロールの周術期持続投与は肺葉切除術後の心房細動発生頻度を抑制する
- 16. 松岡伸悦,新山幸俊,折茂香織,山蔭道明:開腹術後疼痛管理におけるフェンタニルまたはモルヒネIV-PCAの有効性の比較
- 17. 吉田真一郎, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 北 飛鳥, 山蔭道明:希釈式自己血採取後の保存方法が血小板凝集能に及ぼす影響

# 【日本ペインクリニック学会第44回大会(京都)】 2010.07.01-03

- 18. 橘 信子, 山内正憲, 水上奈穂美, 新谷知久, 渡邊昭彦, 山蔭道明: 超音波装置における仙尾靱帯同定の有用性
- 19. 水上奈穂美、渡邊昭彦、山内正憲、橘 信子、山蔭道明:頭頸部放射線治療に伴う重症口腔炎に対する痛み治療の満足度の調査

# 【第13回日本病院脳神経外科学会(釧路)】 2010.07.17-18

20. 山蔭道明:教育講演(3)「手術室におけるリスクマネジメント」

# 【第24回日本手術看護学会(京都)】 2010.09.17-18

21. 山蔭道明:ランチョン講演(7)「Healthcarisitとしての体温管理-看護視点にかなった体温測定部位とは?-」

# 【第10回抗加齢医学の実際2010(東京)】 2010.09.19-20

22. 山蔭道明:講演(1) 「体温高めが身体にいい」

# 【第32回日本手術医学会総会(東京)】 2010.10.01-02

23. 滝 麻衣, 古家 仁, 野村 実, 野見山延, 増田純一, 落合亮一, 山蔭道明: 知識・技術の習得が必要な周術期管理項目: 看護師の理解と知識の必要性に関する調査結果より.

### 【日本心臓血管麻酔学会第15回学術大会(東京)】 2010.10.09-10

24. 君島知彦,宮下 龍,杉野繁一,山蔭道明:超低体温循環停止を用いた胸部下行大動脈瘤手術では運動誘発電位の変化は脊髄虚血を反

映しない

25. 宮下 龍、君島知彦、濱田耕介、浦濱 聡、山内正憲、山蔭道明:右心房内を占拠した巨大心臓腫瘍の1症例

### 【第17回日本静脈麻酔学会(弘前)】 2010.10.30

26. 福岡英子, 渋川圭介, 鎌田紀子, 鎌田康宏, 下舘勇樹, 山内正憲, 山蔭道明: プロポフォールと鎖骨上腕神経叢ブロックによる肩関節 鏡手術の麻酔

#### 【日本臨床麻酔学会第30回大会(徳島)】 2010.11.04-06

- 27. 山蔭道明:ランチョン講演「体温管理とそのモニター」
- 28. 数馬 聡, 升田好樹, 今泉 均, 吉田真一郎, 巽 博臣, 後藤京子, 蕨 玲子, 山蔭道明: 重症呼吸不全に対する好中球エラスターゼ 阻害薬は有効か?

# 2011

### 【第23回日本老年麻酔学会(大分)】 2011.02.05-06

29. 山蔭道明:イブニング講演「高齢者におけるβブロッカーの有用性」

# 【日本麻酔科学会第58回大会(神戸)】 2011.06.03-05

- 30. 山蔭道明:シンポジウム (14) 喫煙・禁煙が周術期呼吸器合併症に与える影響「喫煙の麻酔への影響と禁煙の意義」
- 31. 山蔭道明:シンポジウム(7)術中覚醒記憶の原因「麻酔深度と術中覚醒」
- 32. 山蔭道明:ランチョン講演(4)吸入麻酔薬の新たな潮流「Predictable recovery:覚醒の早さと質」
- 33. 石岡慶己, 杉野繁一, 君島知彦, 早瀬 知, 宮下 龍, 山蔭道明:動脈血ガス分析における新しい携帯型分析装置epocの精度
- 34. 石岡慶己, 早瀬 知, 杉野繁一, 君島知彦, 宮下 龍, 山蔭道明: 聴性誘発電位モニターaepEXは鼻部や下顎部でも記録できる(優秀 演題)
- 35. 早瀬 知,杉野繁一,樋口美沙子,久米田幸弘,並木昭義,山蔭道明:フェンタニル硬膜外持続投与時の悪心嘔吐の発症に対する薬物動態学的特性
- 36. 高橋和伸,山内正憲,高橋三佳,新谷知久,木井菜摘,山蔭道明:前腕手術後鎮痛の分離麻酔に必要な局所麻酔薬濃度の検討
- 37. 高橋三佳,山内正憲,橘 信子,水上菜穂美,渡辺昭彦,山蔭道明:非がん慢性疼痛患者でのオピオイドローテーションの検討
- 38. 水野絵里,新谷知久,山内正憲,山蔭道明:婦人科手術後における下肢合併症の検討
- 39. 佐々木英昭,水上奈穂美,水野絵里,新谷知久,松野あずさ,山蔭道明:中心静脈カテーテルの製品の違いによる合併症と満足度の比較
- 40. 吉田 司,山内正憲,高橋三佳,橘 信子,関根利佳,山蔭道明:中心静脈カテーテルの穿刺部位の違いによる安全性・患者満足度の 比較
- 41. 戸ノ崎拓哉,新山幸俊,山蔭道明:ドロペリドールの術後悪心嘔吐(PONV)に対する予防効果とQTc延長についての検討
- 42. 杉本玲緒奈,新山幸俊,松岡伸悦,山蔭道明:開腹術の術後鎮痛法としてのIV-PCAにおける薬液選択の検討(フェンタニルvsモルヒネ)

### 【第32回日本循環制御医学会総会(富山)】 2011.06.10-11

43. 枝長充隆,山口こずえ,東口 隆,木村倫子,茶木友浩,御村光子,山蔭道明:羊水塞栓症の関与が強く示唆された産科危機的出血に対し、異型適合血輸血を含めた処置にて救命できた一症例

# 【日本ペインクリニック学会第45回大会(愛媛)】 2011.07.21-23

- 44. 渡邊昭彦,高橋三佳,山蔭道明:24時間タイプフェンタニル貼付剤(フェントステープ)1 mg半面貼付の臨床的評価
- 45. 新谷知久, 山内正憲, 山蔭道明, 渡邊昭彦, 水口亜紀:神経ブロック直前に薬剤性血小板減少症が疑われた帯状疱疹神経痛の1例

### 【第16回日本緩和医療学会学術大会(札幌)】 2011.08.29-30

- 46. 渡邊昭彦,山蔭道明:ワークショップ.症状マネジメント「症状マネジメントup to date」
- 47. 水上奈穂美,渡邊昭彦,山内正憲,高橋三佳,山蔭道明:頭頸部放射線治療に伴う重症口内炎に対する痛み治療の満足度評価の検討
- 48. 米田 舞, 吉永敏弘, 藤井明美, 高橋三佳, 渡邊昭彦, 山蔭道明, 齋藤利和: 骨髄移植患者のQOL評価
- 49. 高橋三佳,藤井明美,米田 舞,吉永敏弘,渡邊昭彦,山内正憲,山蔭道明:骨転移が疑われた慢性腰下肢痛に対し,集学的アプローチにより骨髄炎との診断・治療に繋がった 1 例

# 【第33回日本手術医学会総会 (鹿児島) 】 2011.10.07-08

50. 山蔭道明:シンポジウム1:麻酔環境の進歩-少しの工夫と管理で患者のoutcomeに貢献する-. 「手術・麻酔手法の未来像」

# 【日本心臓血管麻酔学会第16回学術大会(旭川)】 2011.10.08-09

- 51. 東口 隆、枝長充隆、御村光子、山蔭道明:経食道心エコーによる術中診断が術式決定に役立った冠動脈瘻の麻酔経験
- 52. 大須田倫子, 枝長充隆, 高田幸昌, 丸山大介, 御村光子, 山蔭道明:成人期に診断されたエプスタイン奇形の麻酔経験
- 53. 澤田敦史,宮下 龍,枝長充隆,山蔭道明:成人心臓外科手術におけるModified Ultrafiltrationの有用性

# 【日本臨床麻酔学会第31回大会(沖縄)】 2011.11.03-05

- 54. 山蔭道明:共催セミナー講演「デスフルランの市販後臨床使用の経験から」
- 55. 宮下 龍,山蔭道明:共催セミナー講演「術中血液希釈と連続的ヘモグロビン濃度(SpHb)について」
- 56. 川島如仙,岩崎創史,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明:術中心停止症例の検討-当院における1980年代,1990年代と2000年代の変遷
- 57. 渡邊昭彦,高橋三佳,水口亜紀,山内正憲,山蔭道明:札幌医科大学附属病院緩和ケアチームでのトラマドール使用状況と今後の課題
- 58. 茶木友浩,枝長充隆,御村光子,山蔭道明:手術終了後の抜管直前に,左脚ブロックを呈し急性心筋梗塞が疑われた一症例
- 59. 石岡慶己,杉野繁一,早瀬 知,高橋和伸,古瀬晋吾,山蔭道明:聴性誘発電位モニタリングを用いた意識下開頭手術の麻酔管理
- 60. 君島知彦, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 後藤京子, 喜屋武玲子, 吉田真一郎, 山蔭道明: ALI/ARDSに対するステロイドとシベレス タット併用療法の有効性の検討
- 61. 高橋三佳,渡邊昭彦,水口亜紀,山内正憲,山蔭道明:札幌医科大学附属病院緩和ケアチームにおける近年の活動実績と今後の課題
- 62. 水口亜紀,渡邊昭彦,高橋三佳,山内正憲,山蔭道明:確定診断まで時間を要し疼痛管理に難渋したEwing肉腫の一症例
- 63. 鈴木麻里絵,新山幸俊,名和由布子,山蔭道明:困難気道に対して経鼻エアウェイ併用経鼻ファイバー挿管が有用だったMetatropic Dysplasia患児の麻酔経験
- 64. 木井菜摘、川岸俊也、樋口美沙子、君塚基修、小泉智弥、山蔭道明:スピロノラクトンによる低Na血症で心停止した一例
- 65. 田辺美幸, 杉野繁一, 君島知彦, 宮下 龍, 山蔭道明:持続SpHb測定が有用であった脳死下臓器提供の1症例
- 66. 立花俊祐,山内正憲,岩崎創史,枝長充隆,山蔭道明:腕神経叢ブロックとプロポフォールを用いて管理したMELAS症候群の1症例
- 67. 大沼 淳,太田みゆき,川名 信,山蔭道明:マニュアルジェットベンチレーターで換気中,縦隔気腫を来した一症例
- 68. 宇野あゆみ,新山幸俊,橘 信子,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明:重度の拘束性呼吸障害を合併した脊髄性進行性筋萎縮症患者の麻酔経験
- 69. 玉城敬史,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明:麻酔科医によるテルモ社製CVレガフォースEXの使用感について
- 70. 樋口美沙子,川岸俊也,小泉智弥,木井菜摘,君塚基修,山蔭道明:上肢を体側に沿わせた状態で生じた正中神経麻痺
- 71. 並木正伸, 山内正憲, 山蔭道明: プレガバリン内服治療中に小脳腫瘍が見つかった一例
- 72. 東口 隆, 枝長充隆, 御村光子, 山蔭道明: 超音波装置および×線透視を用いた末梢穿刺中心静脈カテーテルの留置経験
- 73. 桶谷章夫, 山内正憲, 新山幸俊, 山蔭道明, 諸原清香:30秒で予測できる新型電子体温計の有用性

### 【第25回日本手術看護学会年次大会(名古屋)】 2011.11.04-05.

74. 山蔭道明:共催セミナー「低体温はこんなにも悪いー私たちにできる周術期体温管理ー」「体温管理の重要性」(兼司会)

### 【第18回日本静脈麻酔学会(京都)】 2011.11.26

- 75. 182. 早瀬 知, 杉野繁一, 表 雅仁, 中山禎人, 山内正憲, 山蔭道明:セロトニン(5-HT3) 受容体の遺伝子多型はフェンタニルによる術後悪心嘔吐に関与する(JSIVA賞受賞)
- 76. 表 雅仁, 早瀬 知, 新山幸俊, 山内正憲, 山蔭道明: Microsoft Excelによる電子麻薬台帳の紹介

# 2012

# 【第24回日本老年麻酔学会(松山)】 2012.02.04

77. 大須田倫子, 早瀬 知, 山蔭道明:高齢者におけるデスフルランとセボフルランの比較

# 【第39回日本集中治療医学会学術集会(千葉市)】 2012.02.28-03.01

- 78. 赤塚正幸,吉田真一郎,今泉 均,升田好樹,後藤京子,喜屋武玲子,君島知彦,巽 博臣,杉野繁一,山蔭道明:病棟帰室後にICU に緊急入室となった術後症例の検討
- 79. 吉田真一郎, 今泉 均, 升田好樹, 君島知彦, 後藤京子, 喜屋武玲子, 巽 博臣, 山蔭道明:当院における術中大量出血症例と輸血療法の現状

# 【日本医工学治療学会第28回学術大会(札幌)】 2012.03.24-25

80. 山蔭道明:ランチョン講演6「周術期の体温管理~そのピットフォールトと機器の進化~」

# 【日本麻酔科学会第59回大会(神戸)】 2012.06.07-09.

- 81. 山蔭道明:リフレッシャーコースレクチャー(19)「論文の書き方・指導の仕方」
- 82. 山蔭道明:ランチョン講演(10)「周術期と $\beta$ ブロッカー:エビデンスと使用のコツ」
- 83. 枝長充隆,丸山大介,内山結理,山蔭道明:気管支内視鏡トレーニングモデルLM-092™を使用した教育効果の評価
- 84. 田辺美幸,枝長充隆·宮下 龍,御村光子,山蔭道明:鎖骨・上肢手術における X 線透視下腕神経叢ブロックの有用性の検討―超音波ガイド下腕神経叢ブロック鎖骨上法との比較―
- 85. 丸山大介,山内正憲,表 雅仁,平田直之,山蔭道明:頭位変換およびチューブ固定位置による気管チューブの移動:Thiel法固定遺体での研究
- 86. 赤塚正幸、時永泰行、山蔭道明:アンギオテンシン川による血管収縮に及ぼすデスフルランの影響
- 87. 時永泰行,赤塚正幸,山蔭道明:血管内皮依存性弛緩反応における糖鎖の影響
- 88. 魏 慧玲, 菊地智春, 清水斎, 整形外科 鈴木智之, 山内正憲, 山蔭道明:持続大腿神経ブロックの造影所見と鎮痛効果-膝十字靭 帯再建術後における検討
- 89. 関根利佳,山内正憲,高橋和伸,杉野繁一,山蔭道明,和田卓郎:肘関節鏡手術における腕神経叢ブロックと局所浸潤麻酔の術後鎮痛効果の比較

- 90. 大須田倫子,早瀬 知,岩崎創史,山内正憲,山蔭道明:高齢者の高次脳機能維持におけるデスフルランの有用性ーセボフルランとの比較-
- 91. 立花俊祐,早瀬 知,其田 一,山蔭道明:製造法を刷新した後発品セボフルランと先発品セボフルランに含まれる類縁物質の成分比較
- 92. 表 雅仁,澤田敦史,新山幸俊,山蔭道明:経会陰式前立腺生検における脊髄くも膜下麻酔と超音波ガイド下仙骨硬膜外麻酔の比較・ 検討

### 【第17回日本緩和医療学会学術大会(神戸)】 2012.06.22-23

93. 渡邊昭彦,水口亜紀,高橋三佳,水上奈穂子,藤井明美,山内正憲,山蔭道明:緩和ケアチーム介入患者における集中治療室利用症例 の検討

#### 【日本ペインクリニック学会第46回大会(島根)】 2012.07.05-07

- 94. 杉目史行,山内正憲,水口亜紀,新谷知久,渡邊昭彦,大森英哉,山蔭道明:難治性疼痛患者への介入におけるMMPIの有用性
- 95. 水口亜紀、渡邊昭彦、山内正憲、山蔭道明:がん患者の疼痛緩和におけるトラムセットの有用性
- 96. 渡邊昭彦,水口亜紀,山内正憲,山蔭道明:緩和ケアチームが関わった骨髄移植関連症例における鎮痛剤の使用状況
- 97. 橘 信子,山内正憲,渡邊昭彦,高橋三佳,山澤 弦,御村 光子,山蔭道明:カルバマゼピン血中濃度測定に基づく抗てんかん薬のローテーション

### 【日本老年看護学会第17回学術集会(金沢市)】 2012.07.14-15

98. 進藤ゆかり、山内正憲、山蔭道明:帯状疱疹後神経痛を持つ高齢者の慢性疼痛を抱えた生活体験

### 【日本心臓血管麻酔学会第17回学術大会(仙台)】 2012.09.15-16

- 99. 田中 優,川口昌彦,川真田樹人,吉谷健司,野口善令,垣花 学,山蔭道明,内野博之,稲垣喜三,松本美志也,瀬尾勝弘,山田芳嗣:胸部及び胸腹部下行大動脈瘤手術における運動誘発電位モニタリングに関するシステマティックレビュー
- 100. 川口亮一,枝長充隆,水口亜紀,宮下 龍,御村光子,山蔭道明:心臓血管外科手術5症例に対するポータブル血液凝固機能測定装置 CuaguCheck®の使用経験

### 【日本小児麻酔学会第18回大会(宇都宮)】 2012.09.28-29

101. 名和由布子, 安部純子, 大沼 淳, 太田みゆき, 枝長充隆, 山蔭道明: Duchenne型筋ジストロフィーと内臓錯位症候群を合併した患児 に対するGlenn手術の麻酔経験

# 【第19回日本静脈麻酔学会(札幌)】 2012.09.29

- 102. 山内正憲、早瀬 知、山蔭道明:フェンタニルの術前反応による術中呼吸抑制の予測
- 103. 中山禎人, 早瀬 知, 山内正憲, 山蔭道明: ロクロニウムを用いたダブルルーメンチューブの気管挿管時におけるフェンタニル・レミフェンタニル単回投与の侵襲抑制効果の比較検討
- 104. 高橋和伸,新谷知久,山内正憲,成松英智,山蔭道明:当院における重症筋無力症患者でのスガマデクスの使用経験
- 105. 早瀬 知, 杉野繁一, 名和由布子, 山蔭道明: タキキニン受容体遺伝子CpGアイランドのメチル化と術中レミフェンタニルの使用量との関与
- 106. 橘 信子,新山幸俊,御村光子,山蔭道明:Pelorus 1000™にて測定した全静脈麻酔中のプロポフォール実測血中濃度と予測血中濃度
- 107. 高田幸昌, 時永泰行, 山蔭道明: 高温下での血管平滑筋収縮反応に対するプロポフォールの効果の検討
- 108. 葉山洋子,早瀬 知,表 雅仁,山蔭道明:パルスオキシメータのamplitude測定を通じたレミフェンタニルの投与量の最適化(JSIVA 賞受賞)
- 109. 内山結理,岩崎創史,時永泰行,新山幸俊,山蔭道明:局所麻酔薬と筋弛緩薬を含む多剤薬剤過敏症患者に対する緊急帝王切開をigel<sup>OR</sup>を通した気管挿管下全身麻酔で管理した1例
- 110. 吉田那央,川口亮一,杉野繁一,山蔭道明:小耳症手術における全静脈麻酔は術後嘔吐を減少させる

# 【第34回日本手術医学会総会(東京)】 2012.10.19-20

111. 山蔭道明:ランチョン講演(6)「適正な周術期体温管理:その理由と方法」

# 【第23回日本急性血液浄化学会学術集会(大宮)】 2012.10.27-28

112. 千原伸也,澤田理加,中野皓太,山本恭輔,高橋泰仁,菅原康介,橋本佳苗,室橋高男,高橋科那子,後藤京子,坂脇英志,吉田真一郎,巽 博臣,升田好樹,今泉 均,山蔭道明:導入時期からみたPMX-DHPの有効性の検討

### 【日本臨床麻酔学会第32回大会(郡山)】 2012.11.03-5

- 113. 山蔭道明:共催セミナー講演(1)「デスフルラン:やはり覚醒の質は高かった!」
- 114. 山蔭道明:共催セミナー講演(14)「周術期輸液管理における代用血漿剤の位置づけ」
- 115. 澤下泰明, 時永泰行, 山蔭道明: スガマデクスの残存が疑われた慢性腎不全症例

# 【第33回日本アフェレシス学会学術集会(長崎)】 2012.11.08-10

116. 千原伸也, 中野皓太, 山本恭輔, 菅原康介, 高橋泰仁, 澤田理加, 橋本佳苗, 室橋高男, 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均, 山蔭道明, 池田 博, 安井 寛, 林 敏昭, 石田禎夫, 篠村恭久: CD34陽性率からみた同種末梢血幹細胞採取の効率の検討

# 【日本蘇生学会第31回大会(大津)】 2012.11.23-24

- 117. 橘 信子,新山幸俊,山蔭道明: CICV (Cannot intubate cannot ventilate) の発生頻度に関する多施設アンケート調査
- 118. 川島如仙,岩崎創史,山内正憲,山蔭道明:1980年~2010年の党員での術中心停止の変遷と全国麻酔関連偶発症例における心停止の 比較
- 119. 吉田真一郎,升田好樹,吉田実和,今泉 均,萩原正子,坂脇英志,巽 博臣,高橋科那子,山蔭道明:Medical emergency team (MET)は院内急変患者予後を改善するか?-当院における現状

### 【第59回日本臨床検査医学会学術集会(京都)】 2012.11.29-12.02

120. 吉田真一郎, 升田好樹, 今泉 均, 巽 博臣, 山蔭道明: D体乳酸測定キットによる血液試料測定上の問題点

### 【第116回日本産科麻酔学会(大宮)】 2012.12.08-09

121. 水口亜紀, 山内正憲, 林 温子, 枝長充隆, 山蔭道明: 病的肥満妊婦の帝王切開術の麻酔経験

#### 2013

#### 【第25回日本老年麻酔学会(函館)】 2013.02.09-10

- 122. 山蔭道明:ランチョン講演「鎮痛を重視した麻酔管理:高齢者でのポイント」
- 123. 畠山陽介,川口亮一,枝長充隆,山蔭道明:ポータブル血液凝固機能測定装置Coaguchek®は輸血製剤投与の指標になるか?
- 124. 高橋和伸, 時永泰行, 新谷知久, 菅野麻琴, 山蔭道明:経鼻胃管挿入中の高齢患者における気管チューブを用いた換気方法の検討
- 125. 難波芳道, 山蔭道明:高齢者の下肢手術に対する脊髄くも膜下麻酔法:0.2%ブピバカインの最少必要量の決定法
- 126. 辻口直紀, 君島知彦, 君塚基修, 山崎 裕, 山蔭道明: 重度心臓合併症をもつ高齢患者の手術適応に検討を要した 2 例

### 【第24回日本臨床モニター学会(奈良)】 2013.04.19-20

127. 山蔭道明:教育セミナー | 「周術期輸液管理における人工膠質液の位置づけ」

# 【日本麻酔科学会第60回大会(札幌)】 2013.05.23-25.

- 128. 高田幸昌,時永泰行,山蔭道明:高体温下での血管平滑筋収縮反応に対するプロポフォールおよびセボフルランの効果の検討
- 129. 時永泰行, 高田幸昌, 山蔭道明: 低温-復温時の血管収縮反応に対するプロポフォールの効果
- 130. 澤田敦史, 新山幸俊, 山蔭道明:慢性頭痛による不快情動形成における脳内の骨髄由来ミクログリアの検討
- 131. 表 雅仁, 佐々木英昭, 鎌田康宏, 渋川圭介, , 伊藤知哉, 山蔭道明: 固定方法の違いによる中心静脈カテーテル引抜き力の検討
- 132. 畠山陽介, 枝長充隆, 高田幸昌, 山蔭道明:小児における呼吸数モニターRRa(Acoustic Respiration Rate)とカプノメータによる呼吸数との相関
- 133. 数馬 聡,早瀬 知,大須田倫子,杉野繁一,山蔭道明:覚醒が速やかなデスフルラン麻酔は高齢者の術後認知機能を障害しない
- 134. 小泉智弥, 平田直之, 宮下 龍, 丸山大介, 川口亮一, 山蔭道明: スガマデクス発売前後における筋弛緩使用量と筋弛緩拮抗薬投与時期の変遷

# 【第18回日本緩和医療学会学術大会(横浜)】 2013.06.21-22

135. 水口亜紀, 渡邊昭彦, 佐藤明美, 山内正憲, 山蔭道明: 多発性骨髄腫の疼痛管理の問題点

# 【日本ペインクリニック学会第47回大会(大宮)】 2013.07.13-15

- 136. 杉目史行,山内正憲,新谷知久,岩崎創史,水上奈穂美,大森英哉,一宮尚裕,山蔭道明:難治性慢性疼痛患者の満足度に与える因子の検討
- 137. 水上奈穂美,杉目史行,山内正憲,山蔭道明:小児の術後鎮痛における経静脈的自己調節鎮痛法の現状についての後ろ向き調査
- 138. 山崎 裕, 山蔭道明: 当院における超高齢者の緩和ケアについて
- 139. 水口亜紀,渡邊昭彦,山蔭道明:がん性疼痛に対するくも膜下ステロイド投与で異なる経過をたどった2症例
- 140. 橘 信子,御村光子,高橋三佳,山澤 弦,宮本奈穂子,一宮尚裕,山蔭道明:エルスバーグ症候群と考えられた帯状疱疹の1症例
- 141. 関根利佳, 山内正憲, 杉目史行, 佐々木英昭, 山蔭道明, 一宮尚裕: 棘上筋下のガングリオンを超音波ガイド下に穿刺・吸引した 1 症例
- 142. 渡邊昭彦,水口亜紀,山蔭道明:緩和ケアチームに依頼されたがん患者におけるトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合剤の使用動向

# 【日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会(北九州)】 2013.09.27-29

- 143. 丸山大介,平田直之,宮下 龍,川口亮一,山蔭道明:亜硝酸塩はNOSを介してラット心筋虚血後心室性不整脈を抑制する(藤田賞受営)
- 144. 吉川祐介, 名和由布子, 平田直之, 山蔭道明: 小児先天性心疾患手術において術中麻酔薬投与量が術後人工呼吸時間に与える影響
- 145. 澤田敦史,枝長充隆,佐々木夢美,山蔭道明:血圧管理に難渋した重症拡張型心筋症患者の非心臓手術の麻酔経験
- 146. 茶木友浩, 枝長充隆, 川口亮一, 山蔭道明:経食道心エコーによる評価が有効であった巨大冠動脈瘤を伴う先天性冠動脈右室瘻閉鎖術 の麻酔経験
- 147. 坂本幸基,枝長充隆,菅野麻琴,山蔭道明:人工心肺離脱時に右冠動脈空気塞栓が疑われ,経食道心エコーが診断に有効であった一症 例
- 148. 菅野麻琴,水上奈穂美,時永泰行,新山幸俊,丸山大介,高田幸昌,山蔭道明:ヘパリン起因性血小板減少症合併症例において人工心肺下僧帽弁置換術を良好に管理した一例

# 【第41回日本歯科麻酔学会総会・学術集会(横浜)】 2013.10.02-04

149. 照井章文,枝長充隆,山蔭道明:経鼻挿管時における挿管操作の容易度の検討-喉頭鏡とエアウェイスコープ®使用との比較-

#### 【日本臨床麻酔学会第32回大会(郡山)】 2013.11.03-05

- 150. 児玉 萌, 高田幸昌, 高橋和伸, 時永泰行, 山蔭道明: スガマデクスによって筋弛緩を完全に拮抗し得たALS合併患者の 1 症例
- 151. 数馬 聡, 杉野繁一, 早瀬 知, 水口亜紀, 山蔭道明:気道確保にMcGRATHが有用であったBlue rubber bleb nevus syndromeの 1 症 例
- 152. 西原教晃, 高田幸昌, 時永泰行, 山蔭道明: ステロイドミオパチーを合併した患者への全身麻酔管理を行った一例
- 153. 大沼 淳, 田辺美幸, 一瀬廣道, 山蔭道明:遊離した気管内腫瘤による術後無気肺の一例
- 154. 君塚基修,辻口直紀,吉田 司,岡田麻里絵,君島知彦,山蔭道明:Kommerell憩室を伴う右側大動脈弓に対するトータルデブランチ 手術後に両側反回神経麻痺をきたした一症例
- 155. 池島雄太, 数馬 聡, 時永泰行, 今泉 均, 山蔭道明: 横紋筋融解症を呈し, 原因検索に難渋した一症例
- 156. 君島知彦, 辻口直紀, 立花俊祐, 君塚基修, 山蔭道明: Fabry病患者に対する脊椎手術の麻酔経験
- 157. 岡田麻里絵, 新山幸俊, 山蔭道明: ビジレオモニター™を用いて分離肺換気で管理した重症肺高血圧症の麻酔経験
- 158. 池島まりこ, 丸山大介, 平田直之, 岩崎創史, 山蔭道明: デスフルランの容器を破損したときの対処法
- 159. 棚橋振一郎, 枝長充隆, J-SaugeGroup (山蔭道明, 稲田英一, 西脇公俊, 福田和彦, 森松博史, 上村裕一, 尾崎 眞, バクスター(株) メディカルアフェアズ&開発本部):スープレン®製造販売後調査(中間報告)
- 160. 吉田 司,岡田麻里絵,君塚基修,君島知彦,辻□直紀,山蔭道明:冠動脈肺動脈瘻に冠動脈瘤を合併した2症例の麻酔経験
- 161. 田辺美幸,山岸昭夫,小野寺美子,飛世史則,一宮尚裕,山蔭道明:当院の産婦人科手術における術前経口補水療法について一患者及び病棟看護師からのアンケートより一

### 【日本蘇生学会第32回大会(東京)】 2013.11.08-09

- 162. 山蔭道明: ランチョンセミナー1 「体温管理とそのモニター」
- 163. 平田直之, 宮下 龍, 丸山大介, 川口亮一, 吉川裕介, 山蔭道明: 脂肪乳剤が心筋虚血再還流傷害へ及ぼす影響

### 2014

# 【第26回日本老年麻酔学会(東京)】 2014.02.08-09

164. 西原教晃, 川口亮一, 枝長充隆, 山蔭道明:血液凝固・血小板機能測定装置Sonoclot®を用いて輸血製剤投与の指標とした 1 例

# 【第41回日本集中治療医学会学術集会(京都)】 2014.02.27-03.01

- 165. 千原伸也, 中野皓太, 島田朋和, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均, 山蔭道明: シンポジウム (1): ICUの血液浄化療法における臨床工学技士の関わり「集中治療への臨床工学技士のこだわり」
- 166. 吉田真一郎, 千原伸也, 今泉 均, 升田好樹, 巽 博臣, 高橋科那子, 後藤京子, 七戸康夫, 山蔭道明: 敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法で血行動態が改善した症例の後向き検討
- 167. 吉田 司, 鈴木麻里絵, 君塚基修, 君島知彦, 辻口直紀, 山蔭道明:バソプレシン(vasopressin: VP)を用いて管理した尿崩症合併重症急性膵炎の 1 例
- 168. 数馬 聡, 升田好樹, 高橋科那子, 巽 博臣, 後藤京子, 野村和史, 今泉 均, 山蔭道明:集中治療領域における尿中L-FABP迅速簡易 キット (Dip-Test) の有用性に関する検討
- 169. 木村慶信, 住田臣造, 山蔭道明:胸骨圧迫の位置と胸部内臓損傷の検討
- 170. 並木正伸, 鈴木 温, 金野陽高, 山蔭道明: 術直前の内視鏡的減圧により良好な換気と手術視野を得た巨大結腸症の一例
- 171. 数馬 聡, 巽 博臣, 升田好樹, 野村和史, 後藤京子, 高橋科那子, 今泉 均, 山蔭道明:降下性壊死性縦隔炎に対して複数回のVATS による洗浄・ドレナージにより救命し得た1例
- 172. 島田朋和,中野皓太,千原伸也,山田奨人,橋本佳苗,室橋高男,巽 博臣,升田好樹,今泉 均,山蔭道明:血漿交換療法を施行した中毒性表皮壊死症の4例

# 【第25回日本臨床モニター学会総会(山形)】 2014.04.18-19

173. 平田直之, 宮下 龍, 川口亮一, 吉川祐介, 丸山大介, 山蔭道明:SpHb生体内補正(in vivo adjustment)はモニターの正確性を向上させる

# 【日本麻酔科学会第61回大会(横浜)】 2014.05.15-17.

- 174. 山蔭道明:ランチョン講演「術中輸液の最適化-目指していたものはこれだ!」
- 175. 丸山大介,平田直之,山蔭道明:デスフルランはセボフルランよりも麻酔導入時の血圧低下が軽度である一心拍変動による解析ー(ポスターディスカッション)
- 176. 葉山洋子, 早瀬 知, 山蔭道明:パルスオキシメータの波形解析による全身麻酔中の侵害刺激の検出
- 177. 時永泰行,高田幸昌,林 俊輔,山蔭道明:低温-復温時のプロポフォールによる血管収縮反応増強の機序
- 178. 田中清高,表 雅仁,菊池智春,佐藤 紀,山蔭道明:持続大腿神経ブロックのカテーテル造営所見と効果発現麻酔領域の検討

# 【第19回日本緩和医療学会学術集会(神戸)】 2014.06.19-21.

- 179. 水口亜紀,渡邊昭彦,佐藤明美,山蔭道明:メサドンの有効性を得た骨髄腫の一症例
- 180. 渡邊昭彦,水口亜紀,佐藤明美,岩崎創史,山蔭道明:新しい緩下剤ルビプロストンの使用動向と今後の課題

### 【日本ペインクリニック学会第48回大会(東京)】 2014.07.24-26

- 181. 澤田敦史,新山幸俊,山蔭道明: CCR2受容体拮抗薬は、骨髄由来ミクログリアの扁桃体への集積を抑制し、慢性痛による不安行動を 改善する(最優秀演題:基礎部門)
- 182. 新谷知久, 関根利佳, 高橋和伸, 杉目史行, 岩崎創史, 渡邊昭彦, 山蔭道明:第2枝三叉神経痛に対し眼窩下神経高周波熱凝固法が有効であった2症例
- 183. 水口亜紀、渡邊昭彦、山蔭道明:アセトアミノフェン用量拡大前後における当院および緩和ケアチームでの使用動向
- 184. 岩崎創史, 杉目史行, 高橋和伸, 水口亜紀, 関根利佳, 新谷知久, 渡邊昭彦, 山蔭道明: 硬膜外持続鎮痛法で管理した周産期尿路疾患の2症例
- 185. 関根利佳,岩崎創史,高橋和伸,杉目史行,水□亜紀,新谷知久,渡邊昭彦,山蔭道明:人工内耳装用中に後頭神経痛を生じた3症例
- 186. 高橋和伸,岩崎創史,杉目史行,関根利佳,新谷知久,山蔭道明:ペインクリニック外来受診を契機に診断から治療に至った他科関連疾患の4 症例
- 187. 渡邊昭彦, 水口亜紀, 岩崎創史, 山蔭道明:緩和ケアチーム依頼患者におけるオキシコドン注射剤の使用動向
- 188. 杉目史行,新谷知久,岩崎創史,関根利佳,高橋和伸,山蔭道明:ペインクリニック入院中に譫妄を生じたペインクリニック患者3症例の検討

# 【第12回日本Awake craniotomy学会(東京)】 2014.09.11

189. 立花俊祐, 早瀬 知, 山蔭道明:GABRB3遺伝子のミスセンス変異によるプロポフォール入眠濃度の個人差への影響

### 【日本心臓血管麻酔学会第19回学術集会(大阪)】 2014.09.20-22

- 190. 山蔭道明:ランチョンセミナー8講演「周術期と $\beta$ ブロッカーーエビデンスと使用のコツー」
- 191. 汲田 翔, 枝長充隆, 新谷知久, 山蔭道明: 術中の循環管理に難渋した遺伝性QT延長症候群の1症例
- 192. 吉川裕介,平田直之,川口亮一,宮下 龍,丸山大介,山蔭道明:デクスメデトミジンは心筋への直接作用により虚血再灌流障害による心房機能障害を軽減する
- 193. 酒井 渉, 茶木友浩, 其田 一, 枝長充隆, 山蔭道明: 術中にアナフィラキシーショックをきたした腹部大動脈瘤の1症例
- 194. 郭 光徳, 丸山大介, 枝長充隆, 山蔭道明: 術中に心筋虚血を疑うも, 12誘導心電図で左脚ブロックと確定診断した1症例
- 195. 西原教晃, 川口亮一, 吉川裕介, 時永泰行, 山蔭道明: 特発性肺高血圧症を合併した成人の肺静脈還流異常症修復術の麻酔経験
- 196. 平田直之, 宮下 龍, 山蔭道明: 脂肪乳剤はミトコンドリア酸化的リン酸化と活性酸素種を制御する

# 【日本小児麻酔学会第20回大会(札幌)】 2014.09.22-23

- 197. 池島まりこ,枝長充隆,室内健志,山蔭道明:口唇裂手術後にデクスメデトミジンで鎮静したピエール・ロバン症候群の1症例
- 198. 川向洋介, 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明:小児麻酔導入時の換気困難に対して, 気管チューブによる試作経口エアウェイが有効であった1症例

### 【第36回日本手術医学会総会(札幌)】 2014.09.26-27

199. 山蔭道明:共催セミナー7講演「知って得する周術期体温管理の方法」

# 【日本臨床麻酔学会第34回大会(東京)】 2014.11.01-03

- 200. 山蔭道明: ランチョンセミナー13講演「体温管理―エビデンスと実践―」
- 201. 橋詰勇祐,立花俊祐,高田幸昌,枝長充隆,山蔭道明:気管チューブ挿入に難渋したKlippel-Feil症候群の1症例

# 【第21回日本静脈麻酔学会(高松)】 2014.11.29

202. 高田幸昌, 時永泰行, 数馬 聡, 林 俊輔, 山蔭道明:低温—復温刺激による血管張力変化に対するプロポフォールの影響および機序 の検討 (JSIVA賞受賞)

# 【日本蘇生学会第33回大会(浜松)】 2014.12.05-06

- 203. 伊原彩季, 数馬 聡, 山蔭道明:上大静脈浸潤が疑われた肺腫瘍切除術の麻酔にLiDCOrapidモニタリングシステムの使用が有用であった一例
- 204. 今泉 均, 巽 博臣, 升田好樹, 後藤京子, 数馬 聡, 高橋科那子, 山蔭道明: 大量喀血による窒息, 心肺停止に対して, 早期の PCPS, ECMO導入が奏功した1例
- 205. 表 雅仁,西川幸喜,山蔭道明:遊離広背筋皮弁移植術後の発症したヘパリン起因性血小板減少症(heparin-induced thrombocytopenia: HIT)の一例

# 2015

### 【第42回日本集中治療医学会学術集会(東京)】 2015.02.09-02.11

- 206. 吉田真一郎, 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均, 後藤京子, 七戸康夫, 山蔭道明: 出血性ショックおよび腸間膜動脈閉塞モデルにおけるD 乳酸濃度の比較
- 207. 中野皓太, 千原伸也, 島田朋和, 山口真依, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: CHFの希釈法の違いに よるクレアチニン除去特性の検討

# 【第31回日本医工学治療学会(広島)】 2015.03.27-29

208. 千原伸也,升田好樹,山蔭道明:種々の分子量における持続的血液濾過の希釈法とクリアランスの検討

# 【第19回日本神経麻酔集中治療学会(岐阜)】 2015.04.10-11

- 209. 田中俊光, 早瀬 知, 立花俊祐, 山蔭道明: 意識下開頭術における局所麻酔法による局麻使用量の検討
- 210. 数馬 聡, 宮下 龍, 山蔭道明: 当院5年間の胸部・胸腹部大動脈人工血管置換術における脊髄運動誘発電位の評価

#### 【日本区域麻酔学会第2回学術集会(前橋)】 2015.04.24-25

211. 室内健志,岩崎創史,山蔭道明:リアルタイム超音波ガイド式神経ブロック手技による感染リスクのシミュレーション評価

#### 【第26回日本臨床モニター学会(札幌)】 2015.05.15-16

# 212. 五十嵐友美, 立花俊祐, 山蔭道明:小児用イヤホン型体温計の使用経験(優秀演題賞受賞)

- 213. 菊池謙一郎,平田直之,山蔭道明:麻酔導入時における直線加圧測定方式NIBPの有用性の検討
- 214. 宮本奈穂子, 高橋さゆみ, 水口亜紀, 君塚基修, 御村光子, 山澤 弦, 山蔭道明: 非侵襲的心拍出量測定器エスクロンミニを用いた, 先天性心疾患合併妊婦の無痛分娩時における心拍出量測定
- 215. 汲田 翔,川口亮一,西原教晃,枝長充隆,山蔭道明:Sonoclot®を用いた血液凝固管理は人工心肺下開心術中の輸血量を減少させる
- 216. 山本明日香、棚橋振一郎、枝長充隆、山蔭道明:循環動態・呼吸数・鎮静度から評価したデクスメデトミジンの適正濃度の検討
- 217. 西原教晃,辻□直紀,土屋滋雄,田中清高,山蔭道明:INVOS™を用いて大腿-膝窩動脈バイパス術における下肢末梢灌流を評価した 2例

### 【日本麻酔科学会第62回学術集会(神戸)】 2015.05.28-30

- 218. 山蔭道明:共催セミナー講演(8) 「体温管理ーそのエビデンスと実践ー」
- 219. 山蔭道明:共催セミナー講演(20)「レミフェンタニル麻酔の基本を学ぶ」
- 220. 伊原彩季, 数馬 聡, 山蔭道明:ロボット支援前立腺全摘除術(RALP)の導入が麻酔管理に与える影響の後ろ向き研究
- 221. 山崎 裕, 辻口直紀, 山蔭道明: 当院におけるオピオイド使用量と薬剤費の推移
- 222. 五十嵐友美, 早瀬 知, 田中 悟, 山蔭道明:薬剤漏出性ステント留置後のヘパリン起因性血小板減少症を合併した婦人科手術の麻酔 経験

#### 【第20回日本緩和医療学会学術集会(横浜)】 2015.06.18-20

- 223. 渡邊昭彦,水口亜紀,岩崎創史,山蔭道明:新規徐放性オピオイド:他ペンタドールの使用状況と今後の課題
- 224. 水口亜紀,渡邊昭彦,岩崎創史,佐藤明美,山蔭道明:同種骨髄移植の粘膜障害に移植前からのプレガバリン併用が有効と思われた3 症例

# 【日本ペインクリニック学会第49回大会(大阪)】 2015.07.23-25

- 225. 山蔭道明: ランチョン講演(9) 「慢性痛における経皮吸収オピオイド製剤のコツとポイント」
- 226. 水口亜紀,渡邊昭彦,岩崎創史,山蔭道明:治療に難渋した顔面痛に対して治打撲一方が奏功した1症例
- 227. 橘 信子,御村光子,硲 光司,宮本奈穂子,山澤 弦,浅野清香,浦濱 聡,君塚基修,山蔭道明:腸管運動異常による難治性腹痛に対し下腸間膜動脈神経叢ブロックが奏功した3症例
- 228. 渡邊昭彦,水口亜紀,岩崎創史,山蔭道明:緩和ケアチーム依頼患者でのオピオイド導入における使用動向
- 229. 山崎 裕, 山蔭道明:メサドン使用でQT延長を生じた2症例の検討
- 230. 岩崎創史, 新谷知久, 高橋和伸, 杉目史行, 関根利佳, 折茂香織, 水□亜紀, 渡邊昭彦, 山蔭道明:ペインクリニック外来における CEA高値症例の検討
- 231. 杉目史行,岩崎創史,新谷知久,関根利佳,高橋和伸,山蔭道明:非がん性慢性痛患者に対する1日貼り替え型フェンタニルクエン酸塩経皮吸収型製剤の有効性の検討
- 232. 折茂香織, 岩崎創史, 若杉佳子, 高橋和伸, 杉目史行, 水口亜紀, 関根利佳, 新谷知久, 渡邊昭彦, 山蔭道明:1日貼付フェンタニル製 剤で管理したシェーグレン症候群関連下肢痛の1症例

# 【日本小児麻酔学会第21回大会(東京)】 2015.08.29-30

- 233. 大野 翔, 立花俊祐, 枝長充隆, 茶木友浩, 吉川裕介, 山蔭道明: 超低出生体重児の動脈管結紮術2例の経験を通した術中体温管理の 重要性
- 234. 汲田 翔, 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明:ポップコーンを誤嚥した数日後に異物除去術を施行した1症例
- 235. 吉川裕介, 平田直之, 名和由布子, 宮下 龍, 茶木友浩, 山蔭道明:小児におけるi-gel™のリーク圧の経時的変化

# 【第13回Awake Surgery学会(名古屋)】 2015.09.24

236. 茶木友浩,早瀬 知,立花俊祐,山蔭道明:Awake craniotomyにおける術中覚醒の中断因子の検討

# 【第69回国立病院総合医学会(札幌)】 2015.10.03

237. 山蔭道明:ランチョン講演(16)「慢性疼痛領域にオピオイド剤使用の可能性」

# 【日本心臓血管麻酔学会第20回学術大会(福岡)】 2015.10.09-11

- 238. 山蔭道明: ランチョン講演(10)「心臓外科手術におけるロクロニウムとスガマデクス使用のコツ」
- 239. 石岡慶己, 佐々木那央, 田中 悟, 枝長充隆, 山蔭道明: 右総頚動脈まで解離が及ぶStanford A型急性大動脈解離に対し, 経食道心エコーで血流評価を行い安全に管理できた1症例
- 240. 星 友絵、東口 隆、枝長充隆、山蔭道明:胸部外傷による大量出血時に血液凝固・血小板機能測定装置Sonoclot®を用いて有効な止血 が得られた1症例
- 241. 吉川裕介,平田直之,川口亮一,宮下 龍,丸山大介,茶木友浩,山蔭道明:デクスメデトミジンは高血圧性肥大心筋においても直接

心筋保護作用を保持する

242. 佐藤智恵,西原教晃,辻口直紀,土屋滋雄,田中清高,山蔭道明:debranching TEVAR術中に致死的イベントを合併した2例

### 【第25回日本急性血液浄化学会学術集会(東京)】 2015.10.09

243. 千原伸也,小川輝之,島田朋和,山□真依,中村勇輝,室橋高男,片山洋一,数馬 聡,吉田真一郎,巽 博臣,升田好樹,山蔭道明:PMX-DHPの導入時期と臨床効果

#### 【日本臨床麻酔学会第35回大会(横浜)】 2015.10.21-23

- 244. 山蔭道明:シンポジスト(4-4)「研究費はどこにでも転がっている」. シンポジウム(4)「明日からできる臨床研究の上手な進め方!
- 245. 新山幸俊,山蔭道明:ランチョン講演(3-1)「PCEAのバックグラウンド投与を再考する~間欠PCA投与(Programmed Intermittent Bolus: PIB)モードの可能性~|
- 246. 数馬 聡, 升田好樹, 巽 博臣, 吉田真一郎, 片山洋一, 千原伸也, 島田朋和, 山蔭道明: シンポジスト (14-3) 「当院における ECMO管理の現状と問題点」. シンポジウム (14) 「最新のECMO療法」
- 247. 八嶋友美, 枝長充隆, 立花俊祐, 山蔭道明:1歳6か月の先天性膿疱性腺腫様奇形根治術に対し, Arndtブロッカーで分離肺換気が可能 であった麻酔経験
- 248. 橋本優希,茶木友浩,立花俊祐,時永泰行,山蔭道明:FloTracセンサー®とLiDCO®rapid心拍出量モニタリングシステム®を使用し管理した褐色細胞腫摘出術の麻酔経験
- 249. 渡邊昭彦、山蔭道明:トラマドール口腔内崩壊錠の使用によりオピオイド導入が可能となり症状緩和が得られた肺癌の1症例
- 250. 汲田 翔,川口亮一,枝長充隆,山蔭道明:Sonoclot®を用いた血液凝固管理は人工心肺下開心術中の輸血量を減少させる
- 251. 山本明日香、棚橋振一郎、枝長充隆、山蔭道明:循環動態・呼吸数・鎮静度から評価したデクスメデトミジンの適正濃度の検討

### 【日本蘇生学会第34回大会(秋田)】 2015.11.05-06

- 252. 升田好樹, 巽 博臣, 吉田真一郎, 数馬 聡, 高橋科那子, 片山洋一, 山蔭道明:心肺蘇生時に生じたと思われる腹腔内臓器損傷の2 症例
- 253. 高橋科那子, 升田好樹, 高氏修平, 遠藤章生, 巽 博臣, 数馬 聡, 片山洋一, 山蔭道明:経皮的心肺補助 (PCPS) にて救命し得た甲 状腺クリーゼの一例
- 254. 戸ノ崎拓哉, 西川幸喜, 山蔭道明:後天性血友病A患者に対する中心静脈カテーテル挿入の経験

# 【第53回日本人工臓器学会(東京)】 2015.11.19-21

255. 千原伸也, 升田好樹, 山蔭道明: CHFの希釈法・濾過量の違いにおけるサイトカインのクリアランス特性

# 【第119回日本産科麻酔学会学術集会(東京)】 2015.11.28-29

256. 君塚基修,山澤 弦,宮本奈穂子,浦濱 聡,橘 信子,山蔭道明:Kniest dysplasiaを合併した帝王切開術の1症例

# 2016

### 【第28回日本老年麻酔学会(長野)】 2016.02.06-07

- 257. 阿部昌宏, 酒井 渉, 枝長充隆, 菅野麻琴, 杉目史行, 岡崎加代子, 井上 光, 山蔭道明:運動耐容能評価と脊髄くも膜下麻酔による アウトカムの検討
- 258. 吉田奈央,枝長充隆,山蔭道明:開頭血腫除去術の輸血療法にポータブル血液凝固機能測定装置Coagucheck®が有効であった一症例

### 【第43回日本集中治療医学会学術集会(神戸)】 2016.02.11-14

- 259. 汲田 翔,川□亮一,西原教晃,枝長充隆,山蔭道明:Sonoclotを用いた血液凝固管理が人工心肺下開心術の周術期輸血量に及ぼす影響(優秀演題)
- 260. 川口亮一,平田直之,井上茂亮,渡邊伸央,吉川裕介,茶木友浩,宮下 龍,山蔭道明:敗血症性心機能障害に対する亜硝酸塩の保護 作用
- 261. 東口 隆, 高橋科那子, 佐藤昌太, 後藤京子, 木井菜摘, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 敗血症の新しいバイオマーカーとしてのプレセプシンの有用性の検討
- 262. 小川輝之, 千原伸也, 島田朋和, 山口真依, 中村勇輝, 室橋高男, 高橋科那子, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 血液浄化装置TR-55Xでの持続血液濾過モードでの透析回路側への濾液逆流現象の検討
- 263. 菅原康介,島田朋和,橋本佳苗,千原伸也,室橋高男,片山洋一,巽 博臣,升田好樹,山蔭道明,山口大介:搬送経路上でECMOの緊急挿入が予期された小児胚移植症例の長距離患者空輸に従事した経験
- 264. 田中清高,川向洋介,西原教晃,土屋滋雄,辻口直紀,山蔭道明:重症敗血症として治療中に発症した悪性症候群の 1 例
- 265. 千原伸也, 小川輝之, 島田朋和, 山口真依, 中村勇輝, 室橋高男, 数馬 聡, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 敗血症性ショックに対するAN69ST-CHFとPMX+CHFの臨床効果の比較検討
- 266. 片山洋一, 巽 博臣, 堀 司, 菅原康介, 島田朋和, 数馬 聡, 吉田真一郎, 升田好樹, 山蔭道明, 山口大介: 搬送途上のECMO導入 に備えるため, 航空機動衛生隊に搬送を依頼した重症呼吸不全患児の搬送経験

# 【日本区域麻酔学会(弘前)】 2016.04.15-16

267. 室内健志,岩崎創史,山蔭道明:乳がん手術における古典的傍脊椎ブロック法と新しい椎弓板アプローチ法の比較検討(優秀演題:臨床部門)

# 【第27回日本臨床モニター学会(沖縄)】 2016.04.29-30

268. 五十嵐友美, 立花俊祐, 山蔭道明: 小児用赤外線イヤホン型体温計の有用性

#### 【日本麻酔科学会第63回学術集会(福岡)】 2016.05.26-28

- 269. 山蔭道明:共催セミナー講演(3)「デスフルラン 今までとこれから」
- 270. 山蔭道明:共催セミナー講演(20)「周術期体温管理の進歩―体温モニタリングの新たな風」
- 271. 平田直之,茶木友浩,山蔭道明:共催セミナー講演(2-2)「Oxygen Reverse Index:新たな酸素化モニタリングとしての可能性」
- 272. 立花俊祐, 早瀬 知, 山蔭道明:シンポジスト「Neuroscience up to date: postoperative cognitive dysfunction」トランスクリプトーム解析を用いた術後認知機能障害の機序解明
- 273. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 林 俊輔, 山蔭道明: デスフルランとセボフルランは異なる機序で血管内皮依存性弛緩反応を抑制する (優秀演題)

# 274. 田中俊光, 早瀬 知, 茶木友浩, 立花俊祐, 山蔭道明: 意識下開頭術における中断因子の検討(優秀演題)

- 275. 山崎 裕, 辻口直紀, 山蔭道明:メサドン使用患者の周術期管理にケタミンとリドカイン併用が有効であった2症例
- 276. 早瀬 知, 立花俊祐, 山蔭道明: セボフルランによる異なる秀麗のマウス脳の遺伝子発現変動の網羅的解析
- 277. 中山禎人, 山澤 弦, 関根利佳, 水野絵里, 山蔭道明:外付け気管支ファイバースコープを装着した新型エアウェイスコープの困難気道モデルにおける有用性-エアトラック, マッキントッシュ喉頭鏡との比較検討
- 278. 酒井 涉, 吉川裕介,
- 279. 平田直之, 山蔭道明:人工心肺中のレミフェンタニルが心臓手術後急性腎障害の発生に与える影響
- 280. 星 友絵, 枝長充隆, 川口亮一, 山蔭道明:抗血小板薬あるいは抗凝固薬内服患者の薬剤中止後のSonoclotによる精密血液凝固・血小板機能検査
- 281. 菊池謙一郎,平田直之,小梁川愛美,卯月みつる,河内正治,山蔭道明:麻酔導入時における直線加圧測定方式NIBPの有用性の検討

### 【日本ペインクリニック学会第50回大会(横浜)】 2016.07.07-09

- 282. 田中信彦, 山蔭道明, 具志堅隆, 關山裕詩, 中塚秀輝, 益田律子, 山浦 健:痛み診療の現場における2015年1年間の有害事象について-日本ペインクリニック学会安全委員会・有害事象調査報告-「専門医指導者講習会(安全)」
- 283. 杉目史行, 岩崎創史, 新谷知久, 関根利佳, 高田幸昌, 山蔭道明:慢性腰痛患者に認める正確の偏向性
- 284. 関根利佳,折茂香織,水野絵里,高田幸昌,山蔭道明:頸部超音波所見とDual IR法を用いたMRI画像により病変部の特定に至った上肢痛の 1 例

# 【第38回日本呼吸療法医学会学術集会(名古屋)】 2016.07.16-17

- 285. 本間舞子, 升田好樹, 巽 博臣, 片山洋一, 数馬 聡, 高橋科那子, 山蔭道明:自動ウィニングモードSmart Care®/PSとIntellivent®-ASVの比較検討
- 286. 本間舞子, 升田好樹, 巽 博臣, 片山洋一, 数馬 聡, 山蔭道明: 当院における経皮的拡張型気管切開318例の検討
- 287. 山本俊介, 升田好樹, 高橋科那子, 本間舞子, 数馬 聡, 片山洋一, 巽 博臣, 後藤孝治, 北野敬明, 山蔭道明:当院ICUでのネーザルハイフローシステムを用いたHigh Flow Oxygen Therapyの臨床調査

# 【第14回Awake Surgery学会(東京)】 2016.09.08

288. 立花俊祐, 早瀬 知, 表 雅仁, 林 俊輔, 山蔭道明:当院での意識下手術における局所麻酔薬レボブピバカイン血中濃度測定の試み

289. 横山竜也, 早瀬 知, 立花俊祐, 山蔭道明: 意識下開頭術におけるデキサメサゾンの制吐作用に関する検討

# 【日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会(横浜)】 2016.09.16-18

290. 前田眞岐志, 枝長充隆, 茶木友浩, 立花俊祐, 吉川裕介, 山蔭道明: 超高齢者における経カテーテル大動脈弁植え込み術の一症例

# 【日本小児麻酔学会第22回大会(横浜)】 2016.10.08-09

291. 吉田奈央, 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明: 急性硬膜下血腫の術中管理に赤外線酸素モニタ装置NIRO®-200Nが有用だった新生児の麻酔経験

# 【第27回日本急性血液浄化学会学術集会(東京)】 2016.10.28-29

292. 島田朋和, 千原伸也, 小川輝之, 山口真依, 中村勇輝, 室橋高男, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: ヘモフィルターの素材の違いによるクリアランス特性(優秀演題賞)

# 【日本臨床麻酔学会第36回大会(高知)】 2016.11.03-05

- 293. 八嶋友美,枝長充隆,川口亮一,本間舞子,山蔭道明:肺高血圧を合併した成人心房中隔欠損症閉鎖術の麻酔経験
- 295. 星 友絵, 立花俊祐, 平田直之, 山蔭道明: 気管創刊後披裂軟骨脱臼が疑われた症例の後ろ向き調査
- 296. 岡田麻里絵, 高田幸昌, 山蔭道明:透視下でブラッドパッチを行った後に潜在性二分脊椎と判明した後膜穿刺後頭痛の1症例
- 297. 千田雄太郎,立花俊祐,須貝温子,新山幸俊,山蔭道明:i-gelTMを介した気管支ファイバースコープガイド下気管挿管が有用だった高度困難気道の1例
- 298. 前田真岐志, 川口亮一, 君島知彦, 山蔭道明: 気道確保に難渋した乾癬性関節炎患者の麻酔経験

# 【第23回日本静脈麻酔学会(福島)】 2016.11.19

299. 長谷川源,表 雅仁,新山幸俊,山蔭道明: Microsoft Excelによる電子麻薬台帳の運用5年後の状況についての報告

### 【第120回日本産科麻酔学会学術集会(東京)】 2016.11.26

300. 君塚基修, 時永泰行, 山蔭道明: 当院における過去5年間の帝王切開術後のPDPHの発生状況

# 2017

#### 【日本麻酔科学会第64回学術集会(福岡)】 2017.06.08-10

- 301. 山蔭道明:招請講演C07「日本麻酔科学会 学術の進むべき道」
- 302. 山蔭道明:シンポジスト「タバコと周術期呼吸器合併症」. JAシンポジウム「周術期呼吸管理における合併症」
- 303. 山蔭道明:シンポジスト「どうしてまだ吸ってるの?どうして吸わせたまま手術に臨もうとするの?」. ミニシンポジウム l 「禁煙できなかった,延期?:心臓手術」
- 304. 平田直之:シンポジスト「吸入麻酔薬心筋保護作用におけるミトコンドリア由来活性酸素種の役割」. シンポジウム 1 「虚血再潅流」
- 305. 大野 翔, 名和由布子, 山蔭道明: 小児心臓手術では人工心肺中のヘモグロビン高値が術後急性腎傷害と関連する(優秀演題)
- 306. 吉川裕介,平田直之,川口亮一,茶木友浩,山蔭道明:デクスメデトミジンは高血圧性肥大心筋における虚血再潅流障害に対して直接 小筋保護作用を発揮する(優秀演題:最優秀演題賞)
- 307. 諸原清香, 早瀬 知, 山蔭道明: TACR1遺伝子プロモーター領域のメチル化率と術後悪心嘔吐の検討(優秀演題)
- 308. 橋本優希, 卯月みつる, 戸ノ崎志乃, 河内正治, 茶木友浩, 山蔭道明: 小児における全身麻酔導入前の動画視聴による不安軽減効果の 検討-ビデオグラスとポータブルDVDプレーヤーの比較—(ポスターディスカッション)
- 309. 君塚基修,時永泰行,林 俊輔,山蔭道明:オキシトシンによる妊娠ラット子宮筋収縮に対するプロポフォールとデクスメデトミジンの影響(ポスターディスカッション)
- 310. 数馬 聡, 若杉佳子, 久保みのり, 山蔭道明:新規筋弛緩モニターTOFFCuff®の有用性の検討(ポスターディスカッション)
- 311. 大須田倫子,枝長充隆,山蔭道明:全身麻酔下の橈骨動脈カテーテル留置に対する血管可視化装置Mill Suss™と超音波ガイド下法との 比較検討(ポスターディスカッション)
- 312. 松本友美, 茶木友浩, 山蔭道明: リドカイン・プロピトカイン配合クリームとリドカインテープによる静脈留置針穿刺時疼痛軽減効果 についての比較検討(ポスターディスカッション)
- 313. 諸原清香,新山幸俊,山蔭道明:アセトアミノフェン静注液の定期反復投与は婦人科腹腔鏡手術の術後痛を改善する(ポスター)
- 314. 前田眞岐志,新山幸俊,山蔭道明:硬膜外PCAにおけるバックグラウンド投与の検討(持続投与vs間欠的一回投与)(ポスター)

#### 【第22回日本緩和医療学会学術大会(横浜)】 2017.06.23-24

- 315. 當摩紗衣, 米田 舞, 田邑 泉, 田中幸恵, 岩崎創史, 山蔭道明:地域がん診療連携拠点病院におけるがん相談サロンの取り組みと今後の課題
- 316. 米田 舞, 當摩紗衣, 田邑 泉, 田中幸恵, 岩崎創史, 山蔭道明: 当院がん相談サロンにおける「ヨガ教室と茶和会」の活動報告

# 【第28回日本臨床モニター学会(東京)】 2017.06.24-25

- 317. 立花俊祐,表 雅仁,早瀬 知,山蔭道明:覚醒下開頭手術におけるレボブピバカインの血中濃度モニタリング
- 318. 若杉佳子, 数馬 聡, 久保みのり, 山蔭道明:新規筋弛緩モニターTOF-Cuffの有用性の検討

# 【日本ペインクリニック学会第51回大会(岐阜)】 2017.07.20-22

319. 石岡慶己, 関根利佳, 高田幸昌, 山蔭道明: 複発性帯状疱疹に対して発症早期からの神経ブロックが著効した 1 症例

# 【第49回日本医学教育学会大会(札幌)】 2017.08.18-19

320. 山蔭道明: ランチョン講演「漢方医学の修得の難しさ、そして教育の難しさ」

### 【日本心臓血管麻酔学会第22回学術大会(栃木)】 2017.09.16-18

- 321. 長谷川源, 川口亮一, 平田直之, 山蔭道明: デスフルランは開心術後の抜管を早める
- 322. 救仁郷達也,吉田奈央,山本修司,山蔭道明:左肺全摘出後の右気胸に対する胸腔鏡下ブラ切除術のPCPS補助下における麻酔経験
- 323. 千田雄太郎, 立花俊祐, 川向洋介, 菊池謙一郎, 山本修司, 山蔭道明:オフポンプ冠動脈バイパス術における非侵襲的深部温モニタリングシステムTemple Touch Pro™の有用性
- 324. 佐藤 慧,吉川裕一,茶木友浩,枝長充隆,山蔭道明:限局性の下行大動脈解離が生じたバルーン大動脈弁形成術(BAV)の1症例

# 【第15回Awake Surgery学会(東京)】 2017.09.30

- 325. 立花俊祐,表 雅仁,時永泰行,山蔭道明:精神発達遅滞を有した患者に対する覚醒下てんかん手術の麻酔管理
- 326. 表 雅仁, 立花俊祐, 早瀬 知, 山蔭道明:高度難聴高齢患者の覚醒下開頭手術において骨伝導音声増幅器を使用して手術を施行できた1例
- 327. 菅野 彩, 木村友亮, 江夏 怜, 越智さと子, 秋山幸功, 立花俊祐, 山蔭道明, 三國信啓:覚醒下手術中の疼痛に関わる因子について の後方視的研究

# 【第39回日本手術医学会総会(東京)】 2017.10.06-07

- 328. 枝長充隆, 山蔭道明:人工心肺下開心術における凝固線溶系の変化
- 329. 新山幸俊, 山蔭道明:携帯型血液ガス分析装置は医療従事者の負担を軽減する

# 【日本小児麻酔学会第23回大会(福岡)】 2017.10.07-08

- 330. 平畑知輝,木井菜摘,枝長充隆,吉川裕介,山蔭道明:AEC(Ankyloblepharon-ectodermal defects-cleft lip/palate)症候群の麻酔経験
- 331. 茶木友浩, 立花俊祐, 山蔭道明: 特殊疾患 12歳の小児に対する覚醒下脳腫瘍摘出術の麻酔経験

### 【第30回日本サイコオンコロジー学会総会(東京)】 2017.10.14-15

332. 米田 舞, 當摩紗衣, 田中幸恵, 田邑 泉, 岩崎創史, 山蔭道明:当院がん相談サロンにおける「女性のがん交流会」の活動報告

# 【日本臨床麻酔学会第37回大会(東京)】 2017.11.03-05

- 333. 山蔭道明: ランチョン講演(1)「デスフルラン 使いこなそう!」
- 334. 長谷川源、枝長充隆、山蔭道明: SedLine®センサーは、腹臥位手術においても安全に脳波モニタリングが施行できる
- 335. 重松祐輔, 新田麻子, 長谷川源, 山蔭道明: 重症間質性肺炎に併発した気胸に対し, 補助人工心肺下にて胸腔鏡下ブラ切除術を施行した 1 例
- 336. 熱田真穂, 枝長充隆, 新山幸俊, 山蔭道明: 高度肥満患者: 綿密な麻酔計画が良好な麻酔計画を左右する!
- 337. 棚橋振一郎, 枝長充隆, J-Sauge Group (山蔭道明, 稲田英一, 西脇公俊, 福田和彦, 森松博史, 上村裕一, 尾崎 眞, バクスター (株)). スープレン®吸入麻酔液使用成績調査 (中間報告)
- 338. 田口まゆ,濱田耕介,枝長充隆,山蔭道明:Root® with Sedline®を用いてデクスメデトミジンで良好な鎮静を得た高齢者の麻酔管理
- 339. 臼井 彩, 千田雄太郎, 岡田麻里絵, 田中清高, 山蔭道明: 気管分岐部直上まで達する巨大甲状腺腫瘍摘出術の麻酔経験

# 2018

# 【第45回日本集中治療医学会学術集会(幕張)】 2018.02.21-23

- 340. 東口 隆, 時永泰行, 君塚基修, 数馬 聡, 濱田耕介, 山蔭道明:各種hydroxyethyl starch(HES)製剤による血液凝固障害のin vivo の検討
- 341. 五十嵐友美,小林 巌,児玉 萌,棚橋振一郎,大友 元,宮下 龍,飛世史則,四十物摩呼,住田臣造,山蔭道明:婦人科手術後,持続する出血により後天性血友病と診断された症例

#### 【第29回日本臨床モニター学会総会(横浜)】 2018.04.20-21

342. 山蔭道明:教育講演(3)「体温モニター:その方法とピットフォール」

# 【日本麻酔科学会第65回学術集会(横浜)】 2018.05.17-19

343. 山蔭道明:「究極の麻酔薬」. シンポジウム「近未来の全身麻酔方法」

### 344. 西村実夫,平田直之,山蔭道明:麻酔前酸素化におけるOxygen Reserve Indexと呼気酸素濃度の比較(優秀演題)

- 345. 澤田敦史, 久米田幸弘, 山澤 弦, 卯月みつる, 田中 悟, 山蔭道明: 術中の6% HES/0.4/9投与と術後の腎機能障害の発症との関連ー 多施設共同後ろ向き観察研究ー
- 346. 熱田真穂,枝長充隆,山蔭道明:高度BMI(>35)を呈した患者の婦人科手術に対する吸入麻酔薬の覚醒に及ぼす後ろ向き検討
- 347. 君塚基修, 田口まゆ, 高橋可南子, 時永泰行, 山蔭道明: ACCURO (ハンドヘルド型脊椎構造自動解析機能付き超音波装置) の有用性~硬膜外麻酔穿刺における新たな有用性~

# 【第23回日本緩和医療学会学術大会(神戸)】 2018.06.15-17

348. 山蔭道明:ランチョン講演「緩和医療に漢方の力を!」

### 【第22回日本神経麻酔集中治療学会(高崎)】 2018.06.22-23

349. 佐藤 慧, 枝長充隆, 山蔭道明:脳外科手術時の大量出血時におけるO3®による脳酸素飽和度の経時的変化

# 【日本ペインクリニック学会第52回大会(東京)】 2018.07.19-21

- 350. 田中信彦, 山田信一, 關山裕詩, 津田勝哉, 中塚秀輝。益田律子, 山蔭道明: 専門医共通講習(日本ペインクリニック学会専門医指導者講習会「安全」) 痛み診療の現場における2017年1年間の有害事象について一日本ペインクリニック学会安全委員会・調査報告ー
- 351. 益田律子, 山田信一, 關山裕詩, 田中信彦, 津田勝哉, 中塚秀輝, 山蔭道明: 専門医共通講習(日本ペインクリニック学会専門医指導者講習会「安全」)安全委員会有害事象調査6年間の報告事例に学ぶ: 重大な有害事象に関する"詳記"の紹介
- 352. 澤田敦史, 本間敦史, 本間広則, 高橋和伸, 杉目史行, 山蔭道明: ミルタザピンが痛みのコントロールに有効であった身体表現性疼痛 障害の1症例
- 353. 高橋和伸, 岩崎創史, 澤田敦史, 高橋三佳, 山蔭道明: 脳腫瘍に伴う顔面痛と顔面痙攣に五苓散が有効であった一例
- 354. 本間広則,澤田敦史,山蔭道明:硬膜外ブロックを併用した覚醒下脳手術の一症例

# 【日本心臓血管麻酔学会第23回学術大会(東京)】 2018.09.14-16

- 355. 畠山陽介, 枝長充隆, 吉川裕介, 松本友美, 寺田拡文, 木井菜摘, 山蔭道明: Sonoclot®で無輸血手術が可能となった血小板増加症を合併した大動脈弁輪拡張症の1症例
- 356. 澤下泰明,名和由布子,中尾真琴,佐藤智恵,山蔭道明:側開胸による心房中隔欠損閉鎖術中の換気および循環不全で判明した先天性 心膜欠損症の1例

### 【第16回Awake Surgery学会(東京)】 2018.09.08

357. 濱田耕介, 時永泰行, 戸ノ崎拓哉, 茶木友浩, 中山智絵, 千葉遼平, 木村友亮, 秋山幸功, 三國信啓, 山蔭道明: 脳腫瘍に対して覚醒 下腫瘍摘出術および光線力学療法をLED無影灯手術室で施行した1例

#### 【日本臨床麻酔学会第38回大会(小倉)】 2018.11.01-03

- 358. 山蔭道明: ランチョン講演(11)「非侵襲的体温モニター:ここまで進化した!」
- 359. 濱田耕作,時永泰行,山蔭道明:術中の綿密な体温管理によって神経症状の悪化が生じなかったUhtoff徴候を呈する脊髄炎患者の麻酔の一例
- 360. 佐藤優真, 君塚基修, 吉川裕介, 枝永充隆, 山蔭道明: 妊娠高血圧症を合併した多発性硬化症の妊婦に硬膜外麻酔のみで帝王切開を施行した1症例
- 361. 佐藤 慧, 枝長充隆, 山蔭道明: O3TMセンサで脳酸素飽和度の経時的変化を観察した高齢者座位手術の1症例
- 362. 浅野清香,新山幸俊,山蔭道明:フェンタニルPCEAとアセトアミノフェン定期反復投与がTHA翌日のリハビリに与える影響は同等である

#### 【第25回日本静脈麻酔学会(足利)】 2018.12.07-18

363. 山蔭道明:イブニングセミナー講演「未来に求められる麻酔薬:未来に求められる麻酔薬と鎮静薬」

#### 2019

# 【第2回気道管理学会(東京)】 2019.01.19

364. 山蔭道明:講演. 気管挿管の介助「看護師向けセミナー」

#### 【第34回体液・代謝管理研究会年次学術集会】 2019.02.23

365. 山蔭道明:講演1「体温管理:重要だと思うけど」

# 【第46回日本集中治療医学会学術集会(京都)】 2019.03.01-03

- 366. 西原教晃, 萩原裕也, 菊池謙一郎, 郭 光徳, 四釜裕睦, 其田 一, 山蔭道明: 頚髄損傷を契機とした低栄養により重度の低ナトリウム血症をきたした一例
- 367. 五十嵐友美, 小林 巌, 橋詰勇祐, 児玉 萌, 棚橋振一郎, 大友 元, 飛世史則, 四十物摩呼, 住田臣造, 山蔭道明:IgA欠損症患者の 胸部大動脈手術時における周術期輸血経験
- 368. 臼井 彩, 川向洋介, 千田雄太郎, 田中清高, 佐藤智洋, 山本修司, 山蔭道明:治療抵抗性のTAFRO症候群にリツキシマブが著効した 一例
- 369. 田中清高,川向洋介,佐藤智洋,山本修司,山蔭道明:診断に難渋したADH阻害療法のみを施行し救命し得た致死的メタノール中毒の 1症例

# 【第30回日本臨床モニター学会総会(千葉)】 2019.04.12-13

- 370. 山蔭道明:講演(製品発表会1)「体温モニターの管理」
- 371. 枝長充隆,山蔭道明:重症筋無力症合併患者の右手指手術に対し,末梢神経ブロックと鎮静をRRaとPSIで安全に管理できた一症例
- 372. 佐藤帆奈美,枝長充隆,葉山洋子,諸原清香,山蔭道明:Sherlock 3CG使用による末梢挿入型中心静脈カテーテル留置

# 【日本区域麻酔学会第6回学術集会(高知)】 2019.04.18-20

373. 汲田 翔, 時永泰行, 山蔭道明:上顎神経ブロックを併用して管理した内視鏡下副鼻腔手術の1症例

# 【日本麻酔科学会第66回学術集会(神戸)】 2019.05.30-06.01

- 374. 近藤麻美子, 佐藤 慧, 枝長充隆, 山蔭道明:脳酸素飽和度からみた片肺換気中の適切な麻酔薬の検討ープロポフォールとデスフルランの比較ー (優秀演題)
- 375. 救仁郷達也, 酒井 渉, 本間舞子, 大須田倫子, 名和由布子, 山蔭道明:小児の深麻酔下抜管は覚醒時興奮の発生率を減少させる:後 方視的検討
- 376. 佐藤帆奈美,枝長充隆,葉山洋子,諸原清香,山蔭道明:血管内心電図ガイド法を用いたPower PICCの先端位置は,Zone Bより深くなる

# 【日本ペインクリニック学会第53回学術集会(熊本)】 2019.07.18-20

377. 濱田耕介, 時永泰行, 澤田敦史, 山蔭道明:上腕骨近位部骨折に対して持続末梢神経ブロックを施行し, 良好な血糖管理を行えた重症 糖尿病併存手術患者の1例

# 【日本心臓血管麻酔学会第24回学術大会(京都)】 2019.09.20-22

- 378. 澤下泰明,平田直之,吉川裕介,寺田拡文,山蔭道明:セボフルランは心保護作用を持つ非アシル化グレリンの分泌を促進し,虚血再灌流傷害の軽減に関与する(優秀演題賞,藤田賞受賞)
- 379. 臼井 彩, 枝長充隆, 西原教晃, 重元 守, 山蔭道明: 三心房心を合併した成人の大動脈弁置換術
- 380. 畠山陽介, 枝長充隆, 川口亮一, 西原教晃, 佐藤智恵, 山蔭道明: 人工心肺離脱後には, ADP凝集は抑制される
- 381. 長谷川 源,平田直之,山蔭道明:人工心肺使用心臓手術後の高乳酸血症は急性腎障害の予測因子となるか?
- 382. 佐藤優真,佐々木夢見,表 雅仁,小笠原 哲,辻口直紀,山蔭道明:体外式膜型人工肺(ECMO)補助下胸腔鏡手術2症例の麻酔経

# 【第17回Awake Surgery学会(大阪)】 2019.10.12

383. 濱田耕介, 時永泰行, 山中美帆, 早水憲吾, 山蔭道明:肥満患者に対する覚醒下開頭手術の安全性の検討

# 【日本臨床麻酔学会第39回大会(軽井沢)】 2019.11.07-09

384. 汲田 翔, 上嶋浩順, 大嶽 浩, 藤宮峯子, 山蔭道明: Thiel遺体を用いた超音波ガイド下下歯槽神経ブロック後の薬液の広がりの検討

# 【日本小児麻酔学会第25回大会(米子)】 2019.11.16-17

385. 枝長充隆,大須田倫子,山蔭道明:Sonoclotの血液凝固・血小板機能測定にて硬膜外チュービングを施行した一症例

# 【第123回日本産科麻酔学会学術集会(東京)】 2019.11.23-24

386. 中郷あゆみ, 長井 洋, 杉目史行, 中郷賢二郎, 橋本大樹, 山蔭道明:帝王切開時における子宮体内・体外縫合が母体副作用に及ぼす 影響

# 地方会・研究会

# 2009

# 【第16回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2009.01.17

- 1. 高橋三佳,高橋和伸,橘 信子,山蔭道明,並木昭義:エンドフレックスチューブの有用性についての検討
- 2. 高橋和伸,山蔭道明,佐藤順一,高橋三佳,並木昭義:第3世代ソーダライムの特性評価
- 3. 上田 亮,山下 淳,山蔭道明,並木昭義:小児患者に対する連続測定型赤外線体温計の試作と使用経験

### 【鹿児島麻酔セミナー(鹿児島)】 2009.01.31

4. 山蔭道明:招待講演「全身麻酔におけるレミフェンタニルの役割」

#### 【広島麻酔・集中治療フォーラム(広島)】 2009.05.09

5. 山蔭道明:講演「臨床研究の進め方」

# 【第56回北海道薬学大会(札幌)】 2009.05.31

6. 山蔭道明:教育講演「バイタルサインからわかること」

### 【第24回日本臨床体温研究会(札幌)】 2009.08.29

7. 山下 淳,山蔭道明,並木昭義:術中体温モニターとしてのイヤホン型赤外線式持続鼓膜温測定の有用性ー小児での検討

# 【第57回北海道麻酔科学会(札幌)】 2009.09.12

- 8. 澤田敦史,金谷憲明,宮下 龍,山蔭道明:筋弛緩薬を用いずにTIVAで管理した重症筋無力症患者の麻酔経験
- 9. 澤田敦史,川股知之,山本清香,水野絵里,渡辺廣昭,山蔭道明:意識下経鼻ファイバー挿管で気道確保した巨大公害扁桃腫瘍の一症 <sup>例</sup>

### 【道南麻酔科医会講演会(函館)】 2009.10.23

10. 山蔭道明:招待講演「麻酔科の最近のトピックス」

### 【第10回北海道機能神経外科研究会(札幌)】 2009.11.21

11. 山内正憲,橘 信子,水上奈穂子,山蔭道明:運動機能を保持した術後鎮痛のための神経ブロック

### 【第24回急性循環不全研究会(札幌)】 2009.11.28

12. 東口,宮下 龍,山蔭道明:巨大卵巣腫瘍切除の麻酔経験

# 【第22回日本内視鏡外科学会総会(東京)】 2009.12.03-05

13. 及川慶浩,富山光広,矢野智之,山田秀久,山蔭道明:内視鏡外科手術の目的にかなった体温測定部位としての鼓膜温の有用性(コメディカル部門最優秀演題賞)

# 【第23回旭川全身管理研究会(旭川)】 2009.12.19

14. 山蔭道明:特別講演「結構いいぞ!!βブロッカー」

# 2010

# 【第20回秋田疼痛研究会(秋田)】 2010.01.28

15. 山蔭道明:特別講演 || 「麻酔科学領域のトピックス」

# 【第17回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2010.02.06

- 16. 東口 隆,宮下 龍,山内正憲,今泉 均,山蔭道明:巨大卵巣腫瘍切除術の麻酔経験
- 17. 田辺美幸, 吉田真一郎, 升田好樹, 北 飛鳥, 巽 博臣, 山蔭道明: 血管炎による急性呼吸不全を呈した一例
- 18. 浦濱 聡,山内正憲,新谷知久,山蔭道明:持続腕神経叢ブロックのアナペイン濃度と用量の術後鎮痛への影響
- 19. 松岡伸悦,新山幸俊,折茂香織,山蔭道明:肺葉切除術後の心房細動発症に及ぼす塩酸ランジオロールの周術期持続投与の影響
- 20. 吉川裕介,澤田敦史,山内正憲,山蔭道明:1%ブドウ糖加酢酸リンゲル液とアミノ酸製剤による蛋白質・脂肪分解抑制効果への影響
- 21. 杉本玲緒奈, 折茂香織, 中山禎人, 山蔭道明: 肺葉切除術後の心房細動発症に及ぼす塩酸ランジオロールの周術期持続投与の影響

# 【第14回宮城県静脈麻酔・局所麻酔研究会(仙台)】 2010.03.13

22. 山蔭道明:特別講演「レミフェンタニル:その特徴と使い方」

# 【第10回北海道周術期管理研究会(札幌)】 2010.03.20

23. 折茂香織,中山禎人,山蔭道明:ランジオロール塩酸塩の周術期持続投与は肺葉切除術後の心房細動の発症を抑制するか?-170例における検討-

### 【FRACTA Japan 2010 (東京) 】 2010.03.28

24. 山蔭道明:講演「HES and Coagulation」

### 【釧路周術期管理セミナー(釧路)】 2010.04.15

25. 山蔭道明:特別講演「周術期とβブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

### 【平成22年度札幌医科大学外科学第一講座同門会総会(札幌)】 2010.05.08

26. 山蔭道明:特別講演「麻酔科学の最近のトピックス」

#### 【中村記念病院講演会(札幌)】 2010.05.17

27. 山蔭道明:講演「麻酔科学の最近のトピックス」

# 【平成22年度スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 科学講演会 (鹿嶋) 】 2010.06.19

28. 山蔭道明:講演「ここがすごいぞ!麻酔科学」

### 【第7回麻酔科学サマーセミナー(宮古市)】 2010.06.25-27

29. 山蔭道明:講演「Apollo:Dräger Medical Japan」. バトルオンセミナー「麻酔器」

### 【福岡周術期モニタリングセミナー(福岡)】 2010.07.10

30. 山蔭道明:特別講演「周術期における体温モニター」

#### 【あけぼの地区学術講演会(旭川)】 2010.07.29

31. 山蔭道明:講演「看護研究に必要なやさしい統計学」

# 【第1回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 201.07.31

32. 山蔭道明:講演3「手術室で使用するモニター」

# 【第8回周術期体液・代謝・侵襲研究会(東京)】 2010.08.07

- 33. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液管理の新戦略-Enhanced Recovery Fluid Management」
- 34. 吉川裕介,澤田敦史,山内正憲,山蔭道明:レミフェンタニル麻酔における術中糖液の筋蛋白・脂肪異化に対する影響

# 【日本臨床体温研究会第25回学術集会(札幌)】 2010.08.28

- 35. 高玉福美,及川慶浩,石川豊子,本田礼美,牧野由依,岩脇由夏,田村瑤子,山蔭道明:吸湿発熱素材入り外気遮蔽ブランケットが術中体温低下防止に及ぼす効果ー単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術におけるアルミニウム製保温材料との比較ー
- 36. 高橋三佳,渡邊昭彦,水上奈穂美,新谷知久,山内正憲,渡辺廣昭,山蔭道明:癌性および慢性疼痛患者の下肢冷感に対する漢方薬の 有用性

# 【地域医療を支える人づくりプロジェクト事業に係る「高校生メディカル講義」(帯広柏陽高校,帯広)】 2010.08.29

37. 山蔭道明:講演「医療人に求められること」・「外科学の夜明け・麻酔が外科にもたらしたもの」

# 【第20回北海道麻酔薬理談話会(札幌)】 2010.09.04

- 38. 山蔭道明:特別講演「臨床研究の勧め」
- 39. 神崎志乃,宮下 龍,杉野繁一,山蔭道明:多発性硬化症を有する妊婦の緊急帝王切開術に区域麻酔を施行した1症例
- 40. 戸ノ崎拓哉,杉野繁一,佐々木英昭,宮下 龍,山蔭道明:挿管困難であったKlippel-Feil症候群の1症例

# 【岩見沢市立病院内研修会(岩見沢)】 2010.09.06

41. 山蔭道明:講演「周術期と $\beta$ ブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

# 【第58北海道麻酔科学会(札幌)】 2010.09.11

- 42. 宇野あゆみ、中山禎人、佐藤通子、阿部純子、山蔭道明、並木昭義:肺区域切除術における気管支ファイバーを用いた高頻度ジェット 換気による選択的肺区域拡張法の有用性
- 43. 桶谷章夫,新山幸俊,橘 信子,山蔭道明:術後咽頭痛における挿管法の影響
- 44. 鈴木麻里絵, 杉野繁一, 宮下 龍, 足立佳子, 新谷知久, 山蔭道明: スガマデクスを用いて安全にロクロニウムを使用できた重症筋無力症の 1 症例
- 45. 大槻郁人,山内正憲,水上奈穂美,新谷知久,渡邊昭彦,山蔭道明:遷延した術後下肢末梢神経障害の一例
- 46. 吉田 司,新谷知久,山内正憲,成松英智,山蔭道明:外傷性多発骨折に対する緊急手術後に発症した脂肪塞栓症候群の 1 例
- 47. 長谷川宙希,澤田敦史,杉野繁一,桶谷章夫,宮下 龍,山蔭道明:総腸骨動脈内バルーン遮断を用いて帝王切開術を行った癒着胎盤 の2症例

### 【平成22年度札幌歯科医師会救急医療講演会(札幌)】 2010.09.15

48. 山蔭道明:講演「歯科医師のための救急蘇生法」

#### 【2010年度群馬バイタルサインセミナー(郡山)】 2010.09.25

49. 山蔭道明:講演「周術期の体温管理」. 群馬バイタルサインセミナー(郡山) 2010.09.25

### 【2010 Japan Anesthesia Summit (鳴門) 】 2010.11.06-07

50. 山蔭道明:講演「Experience on Clinical Trial in Japan」

### 【帯広地区札幌医大同窓講演会(帯広)】 2010.11.26

51. 山蔭道明:講演「麻酔科学の最近のトピックス」

# 【第26回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2010.11.27

- 52. 高橋三佳,水上奈穂美,橘 信子,水野絵里,新谷知久,関根利佳,山内正憲,渡辺昭彦,渡辺廣昭,山蔭道明:非癌性慢性疼痛患者 におけるフェンタニルパッチへのローテーションの効果と副作用
- 53. 進藤ゆかり、山内正憲、山蔭道明:帯状疱疹後神経痛高齢者の痛みの体験と生活への影響

#### 2011

### 【第7回高知麻酔・集中治療セミナー(高知)】 2011.01.15

54. 山蔭道明:特別講演「最近の輸液療法の考え方」

#### 【第18回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2011.02.12

- 55. 鈴木麻里絵,新山幸俊,名和由布子,山蔭道明:困難気道が予測されたMetatropic Dysplasiaの患児に対する麻酔経験
- 57. 田辺美幸, 杉野繁一, 君島知彦, 宮下 龍, 成松英智, 山蔭道明: 持続SpHb測定が有用であった脳死下臓器提供の1症例
- 58. 伊藤知哉,西川幸喜,土屋滋雄,下舘勇樹,川上賢太郎,土肥修司,山蔭道明:熱中症により,一過性の高度肝障害を呈した1症例
- 59. 長谷川宙希, 宮下 龍, 杉野繁一, 山蔭道明:92 kgの巨大卵巣腫瘍摘出術に対する麻酔経験

### 【北海道温罨法研究会 2011年第1回研修会(札幌)】 2011.06.04

60. 山蔭道明:講演「低体温を予防し、体温のリズムを取り戻すことで、健康な生活を送ろう」

# 【第8回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2011.06.24-26

- 61. 本間舞子,岩崎創史,杉野繁一,山蔭道明:重症 ì 型糖尿病を合併した小児開頭術をレミフェンタニルTIVAで良好に管理し得た ì 例
- 62. 水上奈穂美,山内正憲,渡邊昭彦,中山禎人,山蔭道明:がん終末期患者におけるせん妄の発症とせん妄の誘発因子の関係についての検討
- 63. 高田幸昌,山内正憲,新谷知久,山蔭道明,中山禎人:肩関節術後疼痛に対する腕神経叢ブロックにおけるPCRAの効果(最優秀賞)

# 【第36回心樹内科研修会(札幌)】 2011.06.25

64. 山蔭道明:特別講演1「麻酔科学領域の最近のトピックス」

# 【第2回神奈川ブリディオン研究会(横浜)】 2011.06.29

65. 山蔭道明:特別講演「ロクロニウムとスガマデクス:最高の相棒!」

# 【宮崎周術期管理セミナー2011 (宮崎)】 2011.07.16

66. 山蔭道明:特別講演「周術期と $\beta$ ブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

# 【第2回ナースのための周術期管理セミナー(札幌) 2012.07.28

67. 山蔭道明:講演: 「3. 手術室で使用するモニターと看護に役立つ気道管理」

# 【日本臨床体温研究会第26回学術集会(札幌)】 2011.08.27

68. 諸原清香,新谷知久,山内正憲,山蔭道明:30秒で測定できる新型体温計の小児での使用経験

### 【第9回Awake Craniotomy研究会(横浜)】 2011.09.08

69. 石岡慶己, 杉野繁一, 早瀬 知, 山蔭道明: 聴性誘発電位を用いた意識下開頭手術の麻酔管理

# 【日本麻酔科学会 北海道・東北支部第1回学術集会(盛岡)】 2011.09.10

- 70. 水上奈穂美,山内正憲,渡邊昭彦,小池和彦,山蔭道明:がん緩和医療におけるせん妄の発症とせん妄の誘因因子の関係についての検討(優秀演題)
- 71. 澤田敦史,吉川裕介,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明: 1 %ブドウ糖加酢酸リンゲル液は手術中の脂肪・蛋白異化を抑制する(優秀演 題:第1回北海道・東北支部会賞受賞)

- 72. 本間舞子,岩崎創史,杉野繁一,中山禎人,山蔭道明:重症糖尿病患者に対するレミフェンタニル麻酔管理の有用性
- 73. 宮下 龍,御村光子,田辺美幸,浦濱 聡,浅井建基,山蔭道明:X線透視下での硬膜外カテーテル挿入における施行術者被曝量低減の工夫

#### 【第27回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2011.10.22

- 74. 山内正憲,水口亜紀,岩崎創史,新谷知久,渡邊昭彦,山蔭道明,進藤ゆかり:ペインクリニック患者のSF-36によるQOL評価の取り 組み
- 75. 渡邊昭彦,藤井明美,高橋三佳,水口亜紀,山内正憲,山蔭道明:術後に遷延する腹痛に対して少量のスルピリドが奏功した1例
- 76. 水口亜紀,渡邊昭彦,高橋三佳,山内正憲,山蔭道明:疼痛コントロールに難渋した若年者の骨肉腫の1例

### 【第12回北海道臨床疼痛研究会(札幌)】 2011.10.29

77. 水口亜紀、渡邊昭彦、山内正憲、山蔭道明:若年者の難治性疼痛の一症例

### 2012

### 【第19回麻酔蘇生談話会(ニセコ)】 2012.02.11

- 78. 川島如仙,岩崎創史,山内正憲,渡辺昭彦,山蔭道明:術中心停止症例の検討-当院における1980年代,1990年代,2000年代の変遷-(優秀演題)
- 79. 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明:複雑心奇形を有する18トリソミー児の脊髄髄膜瘤に対する麻酔経験
- 80. 林 温子,水口亜紀,枝長充隆,山蔭道明:病的肥満妊婦に対する帝王切開術の麻酔管理
- 81. 赤塚正幸,枝長充隆,杉野繁一,山蔭道明:除去に難渋したペンシルキャップの気管支異物の1症例
- 82. 茶木友浩,時永泰行,丸山大介,高橋和伸,山蔭道明:観血的動脈圧ライン留置が困難であったSegmental arterial mediolysis患者の麻 酔管理
- 83. 中尾麻琴, 高田幸昌, 後藤京子, 山蔭道明: 感染源の同定が困難だった重症敗血症の一例
- 84. 畠山陽介、早瀬 知、高橋和伸、新谷知久、山蔭道明:比較的多量のロクロニウムを投与したが、通常量のスガマデクスにより拮抗可能であった汎発性腹膜炎の一例
- 85. 鈴木那央,枝長充隆,丸山大介,山蔭道明:アドレナリンの鼻腔内粘膜下注入によりST変化を伴う大きな循環変動をきたした経鼻的 下垂体腫瘍摘出術の 1 例(優秀演題)
- 86. 林 温子, 枝長充隆, 川口亮一, 山蔭道明:慢性肺血栓塞栓性肺高血圧を合併した骨盤内腫瘍手術に対して経食道心エコーとフロートラックセンサーを用いて安全に麻酔管理し得た一症例
- 87. 川島如仙, 山内正憲, 山蔭道明:子宮破裂による危機的出血をきたした一例

### 【テルモ学術講演会-中心静脈カテーテルCVレガフォースEX発売記念講演会-(名古屋)】 2012.03.09

88. 山蔭道明:特別講演「吸入麻酔薬:あなたはセボ派?デス派?」

# 【第17回京滋麻酔科医会学術講演会(京都)】 2012.03.17

89. 山蔭道明:特別講演「HES: Overview」

# 【スープレンウェブセミナー(札幌)】 2012.03.29

90. 山蔭道明:Web講演「デスフルラン:市販後使用の経験から」

# 【周術期輸液・栄養セミナーin長崎(長崎)】 2012.04.20

91. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【周術期輸液ウェブセミナー(札幌)】 2012.05.30

92. 山蔭道明:Web講演「周術期輸液の新戦略」

# 【第5回麻酔科 痛みのメカニズムを語る会(高知)】 2012.06.16-17

93. 澤田敦史,新山幸俊,山蔭道明:神経障害性疼痛における骨髄ミクログリアの関与

# 【第9回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2012.06.29-07.01

- 94. 山蔭道明:講演:バトルオンセミナー「McGRATH® MAC, 実力はいかに!?」
- 95. 高田幸昌,山内正憲,藤宮峯子,山蔭道明:Cadaverを用いた麻酔科学ワークショップ〜臨床手技教育におけるThiel法固定遺体の有用性〜(優秀賞:一般部門)
- 96. 内山結理, 高田幸昌, 枝長充隆, 山蔭道明:エアウェイスコープガイド下気管挿管法 2種類のスパイラルチューブにおける有用性の比較検討 (優秀賞:研修医部門)

# 【仙台周術期セミナー(仙台)】 2012.07.02

97. 山蔭道明:招待講演「吸入麻酔液デスフルランの臨床使用のコツ」

# 【栃木麻酔・集中治療セミナー(宇都宮)】 2012.07.20

98. 山蔭道明:特別講演「あなたはセボ派?デス派?」

### 【第3回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 2012.07.28

99. 山蔭道明:講演: 「3. 知って得する気道管理」

#### 【日本臨床体温研究会第27回学術集会(札幌)】 2012.08.25

100. 佐々木英昭, 山内正憲, 山蔭道明, 山本みえ子: 体温マッサージ療法がアトピー・アレルギー性皮膚炎に与える影響

#### 【静岡県東部周術期体液管理セミナー(静岡県三島市)】 2012.08.25

101. 山蔭道明:周術期輸液の新戦略

### 【2012年度第2回市民公開講座(札幌)】 2012.08.30

102. 山蔭道明:講演「がんの緩和医療ー治療最前線ー」

### 【札幌静脈血栓塞栓症フォーラム(札幌)】 2012.08.31

103. 山蔭道明:講演「術後の静脈血栓塞栓症予防における麻酔管理」

# 【日本麻酔科学会 北海道・東北支部第2回学術集会(札幌)】 2011.09.01

- 104. 澤田敦史, 新山幸俊, 山蔭道明:神経障害性疼痛における骨髄由来ミクログリアの関与(最優秀演題)
- 105. 枝長充隆, 林 温子, 山蔭道明: もやもや病と肥大型心筋症を合併した子宮筋腫手術の麻酔管理上, 経食道心エコーとフロートラックセンサーが有効であった1 症例
- 106. 丸山大介,平田直之,宮下 龍,川口亮一,山蔭道明:単離ミトコンドリアにおける虚血再潅流時の酸化的リン酸化は帰室依存性に変化する
- 107. 平田直之,宮下 龍,丸山大介,川口亮一,山蔭道明:イントラリピッドは心筋ミトコンドリア機能を活性化し心保護作用を示す
- 108. 川口亮一,平田直之,宮下 龍,丸山大介,山蔭道明:ラット重症敗血症モデルにおける亜硝酸塩投与は敗血症性心機能障害を抑制する
- 109. 佐々木英昭, 山内正憲, 新谷知久, 山蔭道明: 術後手術室退室遅延症例の検討
- 110. 早瀬 知, 杉野繁一, 名和由布子, 山蔭道明:ニューロキニン1受容体遺伝子CpGアイランドのメチル化は術後悪心嘔吐を軽減する
- 111. 数馬 聡, 杉野繁一, 山蔭道明:手術室内抜管を試みた重度慢性閉塞性肺疾患患者の後ろ向き検討
- 112. 高橋和伸,新谷知久,高田幸昌,成松英智,山蔭道明:各種局所麻酔薬の横隔神経麻痺に与える影響ーラット横隔膜神経標本を用いた検 討一
- 113. 澤下泰明,時永泰行,山蔭道明:薬剤性横紋筋融解症を合併した統合失調症患者に対しロクロニウムとスガマデクスを用いて修正型電気痙攣療法を行った1症例
- 114. 鈴木那央, 新山幸俊, 時永泰行, 山蔭道明: 頭頸部アスファルト熱傷患者の麻酔経験
- 115. 高田幸昌,時永泰行,山蔭道明:高体温下での血管平滑筋収縮反応に対するプロポフォールの効果の検討
- 116. 郭 光徳, 山本清香, 三澤 学, 須佐泰之, 鳥谷部政樹, 山蔭道明:進行性多巣性白質脳症患者の右大腿骨頚部骨折手術に対する全身 麻酔の症例
- 117. 山崎 裕, 山蔭道明:麻酔科医のキャリアパスとしての緩和ケア

# 【第10回Awake Craniotomy研究会(横浜)】 2012.09.06

118. 茶木友浩, 杉野繁一, 畠山陽介, 石岡慶己, 時永泰行, 枝長充隆, 山蔭道明:意識下開頭術におけるリドカインとロピバカインの混合投与による逃避ブロックの安全性と有用性

# 【第21回日本集中治療医学会北海道地方会(帯広)】 2012.10.13

- 119. 千原伸也,澤田理加,中野皓太,山本恭輔,菅原康介,高橋泰仁,橋本佳苗,室橋高男,高橋科那子,後藤京子,坂脇英志,吉田真一郎,巽 博臣,升田好樹,今泉 均,山蔭道明:敗血症性ショックに対するTapering-volume CHDF治療経験
- 120. 菅原康介, 千原伸也, 澤田理加, 中野皓太, 山本恭輔, 高橋泰仁, 橋本佳苗, 室橋高男, 高橋科那子, 後藤京子, 坂脇英志, 吉田真一郎, 巽 博臣, 升田好樹, 今泉 均, 山蔭道明: ヘモフィルターの種別の違いによる栄養, 電解質除去特性の検討

# 【第28回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2012.10.27

- 121. 山崎 裕,山蔭道明:トラマドール合剤によりオピオイド減量に成功した2例
- 122. 山内正憲, 杉目史行, 岩崎創史, 新谷知久, 関根利佳, 渡邊昭彦, 山蔭道明:慢性関節痛にパルス式高周波術併用末梢神経ブロックが 有効であった一例
- 123. 杉目史行,山内正憲,水□亜紀,岩崎創史,新谷知久,渡邊昭彦,山蔭道明,大森英哉,西澤千春,谷中みゆき:慢性疼痛患者に対する治療方針へのMMPIの有用性
- 124. 橘 信子, 御村光子, 佐藤通子, 浦濱 聡, 高橋三佳, 宮本奈穂子, 山澤 弦, 山内正憲, 山蔭道明: 副咽頭間隙神経鞘腫手術後の嚥 下障害に対して星状神経節ブロック治療が著効した 1 症例

# 【川崎北部麻酔科セミナー(川崎)】 2012.10.26

125. 山蔭道明:特別講演「レミフェンタニルによる鎮痛を重視した麻酔管理」

# 【第3回沖縄周術期管理セミナー(沖縄)】 2012.11.09

126. 山蔭道明:特別講演Ⅱ「周術期とβブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

### 【第1回静岡県中部周術期輸液管理講演会(静岡)】 2012.11.10

127. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

### 【第13回北海道機能神経外科研究会(札幌)】 2012.11.10

128. 橘 信子, 御村光子, 佐藤通子, 浦浜 聡, 高橋三佳, 宮本奈穂子, 山澤 弦, 山内正憲, 山蔭道明: 嚥下障害に対して星状神経節ブロック治療が著効した副咽頭間隙神経鞘腫手術後の1症例

### 【第2回石川麻酔科フォーラム(金沢市)】 2012.11.30

129. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 2013

### 【城西周術期管理フォーラム(東京)】 2013.01.25

130. 山蔭道明:特別講演「周術期と $\beta$ ブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

#### 【第13回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko (ニセコ) 】 2013.02.09-11

- 131. 茶木友浩,平田直之,山蔭道明:LiDCOrapid心拍出量モニタリングシステムを用いた巨大卵巣腫瘍の循環動態に及ぼす影響(最優秀 演題)
- 132. 小泉智弥,平田直之,山蔭道明:腹膜偽粘液腫に対する炭酸水素ナトリウム腹腔内洗浄にて急性の代謝性アルカローシスを呈した一例
- 133. 葉山洋子,川口亮一,平田直之,山蔭道明:輸血関連性肺障害(TRALI)が疑われ体外式膜型人工肺(ECMO)による管理を要した開 心術の1症例

#### 【川崎周術期管理セミナー2013 (川崎) 】 2013.02.13

134. 山蔭道明:特別講演「周術期と $\beta$ ブロッカーーエビデンスと使用のコツー」

# 【第20回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2013.02.23

- 135. 坂本幸基,枝長充隆,水上奈穂美,魏 慧玲,山蔭道明:術中に経食道心エコーで大動脈解離を診断し得た一症例
- 136. 吉田那央, 枝長充隆, 山蔭道明: DVT予防のためにスリーブ各種の装着後の湿潤性に関する検討
- 137. 水口亜紀,杉目史行,岩崎創史,時永泰行,新谷知久,山内正憲,渡邊昭彦,山蔭道明:はじめよう無痛分娩

### 【秋田周術期管理講演会(秋田)】 2013.03.08

138. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【函館スープレンセミナー(函館)】 2013.06.08

139. 山蔭道明:特別講演「デスフルラン麻酔のすすめ:やはり覚醒の質は高かった」

# 【倉敷DesCafe(倉敷)】 2013.06.15

140. 山蔭道明:特別講演「デスフルラン麻酔のすすめ:やはり覚醒の質は高かった」

# 【第10回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2013.06.28-30

- 141. 高田幸昌, 枝長充隆, 山蔭道明: McGrath® MACとMacintosh型喉頭鏡を用いた気管挿管難易度の比較検討
- 142. 児玉 萌, 高田幸昌, 高橋和伸, 時永泰行, 山蔭道明: スガマデクスによって筋弛緩を完全に拮抗し得たALS合併患者の 1 症例
- 143. 西原教晃、高田幸昌、時永泰行、山蔭道明:ステロイドミオパチーを合併した患者の麻酔経験

# 【第2回福井県周術期体液管理研究会(福井)】 2013.07.06

144. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【日本臨床体温研究会第28回学術集会(札幌)】 2013.08.24

145. 佐藤智恵, 枝長充隆, 山蔭道明:深部静脈血栓予防のために使用される間欠的空気圧迫装置のスリーブ性能に関する検討

# 【北海道・東北支部第3回学術集会(仙台)】 2013.09.14

- 146. 早瀬 知, 杉野繁一, 山蔭道明:エストロゲンによる術後悪心嘔吐の機序解明(優秀演題)
- 147. 澤田敦史, 新山幸俊, 山蔭道明:脳内の骨髄由来ミクログリアはIL-1βを介して慢性疼痛による不快情動形成に関与する(優秀演題)
- 148. 若杉佳子,北 飛鳥,其田 一,新山幸俊,山蔭道明:McGRATH™はマッキントッシュ型喉頭鏡を用いた気管挿管手技の習得に有用である
- 149. 佐々木夢見,高田幸昌,枝長充隆,山蔭道明:頚部後屈制限時における新しいビデオ喉頭鏡の有用性の検討
- 150. 川口亮一, 平田直之, 宮下 龍, 丸山大介, 山蔭道明: ラット敗血症性心機能障害に対する亜硝酸塩の保護作用
- 151. 戸ノ崎拓哉, 西川幸喜, 土屋滋雄, 下舘勇樹, 山蔭道明: 小児鼻腔異物に対する麻酔導入法の検討
- 152. 佐々木英昭, 山蔭道明:中心静脈穿刺針の違いによる最大穿刺力の比較
- 153. 鈴木那央, 辻口直紀, 立花俊祐, 君塚基修, 君島知彦, 山蔭道明: 低肺機能患者での腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術における麻酔管理
- 154. 中山禎人,山澤 弦,山内正憲,山蔭道明:頚部後屈制限マネキンに対するKing Vision,AirTraq,Macintosh喉頭鏡を用いたダブル

### ルーメンチューブ挿管の比較検討

- 155. 高田幸昌、時永泰行、数馬 聡、山蔭道明: デスフルランのアンギオテンシン川血管収縮に対する抑制効果の作用機序
- 156. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 山蔭道明: デスフルランはラット大動脈の内皮依存性弛緩反応を抑制する
- 157. 伊藤徹雄, 本間康之, 木村さおり, 山蔭道明: 脊髄小脳変性症患者 4 症例の麻酔経験

# 【第29回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2013.09.21

- 158. 山崎 裕, 辻口直紀, 君島知彦, 君塚基修, 立花俊祐, 吉田那央, 山蔭道明: 新しいオピオイド鎮痛薬メサドンの使用経験
- 159. 杉目史行,新谷知久,岩崎創史,関根利佳,魏 慧玲,高橋和伸,山蔭道明:腰椎椎間板ヘルニアを合併した妊娠後期の患者に対して神経ブロックを行いQOLの改善を得た1症例

# 2014

### 【第20回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2014.01.25

160. 池島まりこ,枝長充隆,山蔭道明:胸腹部大動脈瘤術後の対麻痺に対して,緊急スパイナルドレナージが著効した2症例

# 【第14回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko(ニセコ)】 2014.02.08-11

- 161. 渡邉麻子, 枝長充隆, 山蔭道明:全身麻酔下気道管理における2種の声門上器具の有用性の検討:Air Qsp®とi-gel®との比較
- 162. 池島まりこ,平田直之,山蔭道明:胸腹部大動脈瘤術後の対麻痺に対して,緊急スパイナルドレナージが著効した2症例

### 【第21回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2014.02.15

- 163. 救仁郷達也,下館勇樹,西川幸喜,土屋滋雄,戸ノ崎拓哉,山蔭道明:エアトラック®単独およびエアトラック®と気管支ファイバースコープの併用による気管挿管の比較
- 164. 郭 光德, 高田幸昌, 山蔭道明: 小児マネキンを用いた挿管デバイスの比較
- 165. 山本明日香,室内健志,山蔭道明:高度肥満を合併した脛腓骨骨幹部骨折手術において全身麻酔下に良好に管理しえた1症例
- 166. 西原教晃,川口亮一,枝長充隆,山蔭道明:血液凝固・血小板機能測定装置Sonoclot®を用いて輸血製剤投与の指標とした2例
- 167. 棚橋振一郎,枝長充隆,山蔭道明:想定外の大量出血時に血液凝固・血小板機能測定装置Sonoclot®および簡易血液凝固装置 Coagucheck®が輸血の指標として非常に有効であった婦人科手術の一症例
- 168. 照井章文,枝長充隆,山蔭道明:経鼻挿管時における挿管操作の容易度の検討─―喉頭鏡とエアウェイスコープ™使用との比較─
- 169. 渡邊麻子,枝長充隆,山蔭道明:全身麻酔下気道管理における2種の声門上器具の有用性の検討〜Air Qsp®とi-gel®との比較〜

### 【札幌清田病院新病院落成記念講演会(札幌)】 2014.01.29

170. 山蔭道明:特別講演「体温管理してますか?」

# 【第2回和歌山周術期管理セミナー(和歌山)】 2014.02.07

171. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【2014年和青森県周術期管理セミナー(弘前)】 2014.03.08

172. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【室蘭工業大学第11回蘭岳セミナー(室蘭)】 2014.02.17

173. 山蔭道明:特別講演「手術中の体温管理の重要性と体温モニターの開発」

# 【吸入麻酔薬スープレン講演会(札幌)】 2014.05.28

174. 山蔭道明:講演「マジ覚醒早いぜ!デスフルラン」

# 【これからの周術期輸液療法—HES最前線—in Tokyo(東京)】 2014.06.07

175. 山蔭道明:特別講演1「治験結果から見たボルベンの有用性」

# 【第11回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2014.06.27-29

- 176. 新山幸俊、山蔭道明:モーニングセミナー「術後痛管理におけるmultimodal analgesiaの新たな翼〜アセトアミノフェン静注薬 アセリオ®の可能性〜|
- 177. 立花俊祐, 早瀬 知, 山蔭道明:Awake craniotomy手術中の覚醒を中止せざるを得ない症例の調査
- 178. 酒井 渉, 宇野あゆみ, 立花俊祐, 平田直之, 山蔭道明:筋弛緩薬不使用で麻酔管理を行った腹臥位手術の1症例
- 179. 小梁川愛美, 時永泰行, 立花俊祐, 山蔭道明: 周術期に気胸を発症した乳がん患者の1例
- 180. 大野 翔, 新山幸俊, 室内健志, 山蔭道明: 重症肺高血圧症を合併した非心臓手術麻酔管理の経験
- 181. 汲田 翔, 立花俊祐, 早瀬 知, 新谷知久, 山蔭道明:全静脈麻酔で管理したにもかかわらずシバリングを契機に発症したと思われる 悪性高熱症の1例

# 【これからの周術期輸液療法—HES最前線—in Okinawa(沖縄)】 2014.07.05

182. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略―その中でVoluvenはこう使うべき!」

### 【第8回周術期体液・代謝・侵襲研究会(東京)】 2010.08.07

183. 宮下 龍,平田直之,山蔭道明:ラット出血性ショックにおけるボルベンの効果

### 【麻酔・集中治療セミナーin直島2014 (岡山) 】 2014.08.23-24

184. 山蔭道明:特別講演 | 「まじめにやろう体温管理 |

### 【日本臨床体温研究会第29回学術集会(札幌)】 2014.08.30

185. 高田幸昌, 時永泰行, 山蔭道明: 高体温下における血管平滑筋収縮に対する麻酔薬の影響

### 【道南麻酔科懇話会(函館)】 2014.08.30

186. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略ーその中でVOLUVENはこう使うべきー」

### 【日本麻酔科学会第60回関西支部学術集会(大阪)】 2014.09.06

187. 山蔭道明:共催セミナー | 「デスフルラン:やはり覚醒の質は高かった!」

### 【日本麻酔科学会第4回北海道・東北支部学術集会(札幌)】 2014.09.13

- 188. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 林 俊輔, 山蔭道明: デスフルランはセボフルランと異なる機序で血管内皮依存性弛緩反応を抑制する(優秀演題)
- 189. 丸山大介,平田直之,宮下 龍,川口亮一,吉川裕介,山蔭道明:亜硝酸塩はGap Junctionを保護することで心筋虚血後心室性不整脈を抑制する(優秀演題)
- 190. 平川由佳, 佐々木英昭, 山蔭道明:骨髄穿刺針EZ-IO®を用いた成人の骨髄路確保に関する検討(優秀演題)
- 191. 久保みのり,河村真衣子,杉目史行,岩崎創史,渡邊昭彦,山蔭道明:意識下・非意識下開頭術における麻酔法の血糖・血圧に及ぼす 影響 (優秀演題)
- 192. 高田幸昌, 時永泰行, 林 俊輔, 数馬 聡, 山蔭道明:温度刺激によるラット血管平滑筋収縮反応に対する麻酔薬の効果
- 193. 川口亮一, 平田直之, 宮下 龍, 丸山大介, 吉川裕一, 山蔭道明: 敗血症性ラットに対する亜硝酸塩の心保護作用には一酸化窒素が関 与する
- 194. 吉川裕介,平田直之,川口亮一,宮下 龍,丸山大介,山蔭道明:デクスメデトミジンは高血圧性肥大心筋における虚血再還流傷害に対して直接心筋保護作用をもつ
- 195. 佐々木英昭,山内正憲,山蔭道明:神経ブロックにおける造営超音波検査の可能性
- 196. 久保みのり、棚橋振一郎、枝長充隆、山蔭道明:血液凝固・血小板機能測定装置Sonoclot®と簡易血液凝固装置Coagucheck®を用いて 有効に輸血管理した婦人科大量出血の1症例
- 197. 棚橋振一郎, 早瀬 知, 枝長充隆, 山蔭道明:赤外線酸素モニタ装置NIROにより脳血流分布の変化を捉えた頭蓋内腫瘍摘出術の1例
- 198. 表 雅仁,西川幸喜,伊藤知哉,戸ノ崎拓也,下舘勇樹,山蔭道明:高度肥満患者のアキレス腱縫合術に対して末梢神経ブロックとデクスメデトミジン鎮静を行った1症例
- 199. 伊藤知哉,西川幸喜,戸ノ崎拓也,土屋滋雄,下舘勇樹,山蔭道明:キシロカイン®液が原因と考えられた喉頭蓋腐蝕様変化の1症例
- 200. 木村慶信,住田臣造,山蔭道明:重症外傷患者の来院時フィブリノゲン値は28日生存率に影響する
- 201. 西原教晃, 辻口直紀, 土屋滋雄, 大沼 淳, 山崎 裕, 山蔭道明: 非心臓手術と経皮的冠動脈形成術との優先順位決定に難渋した1例
- 202. 河村真衣子,久保みのり,高田幸昌,平田直之,山蔭道明:修正型電気けいれん療法施行直後に心室頻拍と肺水腫を呈した1症例
- 203. 山崎 裕, 辻口直紀, 山蔭道明:緩和ケア医と麻酔科医のコラボレーションによるオピオイド使用患者の周術期管理
- 204. 菊池謙一郎,枝長充隆,立花俊祐,新谷知久,山蔭道明:ラリンジアルマスクを介して抜管した環軸椎亜脱臼を合併した患者の麻酔経 験
- 205. 大野 翔, 新山幸俊, 室内健志, 山蔭道明:重症肺高血圧症を合併した鼠径ヘルニア手術に対する麻酔管理経験
- 206. 山本明日香,室内健志,時永泰行,新山幸俊,山蔭道明:高度肥満と精神発達遅滞を合併した下腿骨折手術において全身麻酔下に良好 に管理し得た]症例
- 207. 赤塚正幸,新山幸俊,早瀬 知,山蔭道明:エホバの証人の再僧帽弁手術に対して希釈式自己血輸血を施行した麻酔経験
- 208. 河村真衣子, 久保みのり, 山元明日香, 平田直之, 山蔭道明: 術中の危機的出血に対してボルベン®大量輸液と異型輸血により危機を脱した1症例

### 【第30回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2014.09.27

- 209. 杉目史行,高橋和伸,岩崎創史,新谷知久,山蔭道明:持続硬膜外ブロックとリハビリテーションによりADLの改善を得た慢性期 CRPS1型の1症例
- 210. 杉目史行,岩崎創史,高橋和伸,室内健志,新谷知久,渡邊昭彦,山蔭道明:ベタメタゾン吉草酸エステル/ゲンタマイシン硫酸塩ローションが奏功した帯状疱疹後神経痛の1症例
- 211. 新谷知久,岩崎創史,高橋和伸,杉目史行,関根利佳,渡邊昭彦,山蔭道明:従来型からMRI対応脊髄刺激装置への交換を実施した3 症例
- 212. 山崎 裕,山蔭道明:メサドンで遅発性にQT延長をきたした1症例

### 【第6回新都心麻酔科懇話会総会(東京)】 2014.10.18

213. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略:輸液管理-困ってませんか?」

### 【十勝麻酔科談話会(帯広)】 2014.10.22

214. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略-その中でVOLUVENはこう使うべき!-」

### 【道東周術期輸液管理講演会(釧路)】 2014.11.12

215. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略-その中でVOLUVENはこう使うべき!-|

### 【あけぼの地区学術講演会(旭川)】 2014.11.16

216. 山蔭道明:講演「体温管理―そのエビデンスと実践―」

### 【第21回三重麻酔懇話会(津)】 2014.12.06

217. 山蔭道明:講演2「周術期とβブロッカー:エビデンスと使用のコツ」

# 2015

### 【第15回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko(ニセコ)】 2015.02.06-08

- 218. 汲田 翔,平田直之,山蔭道明:非侵襲的心拍出量モニターエスクロンミニ®を用いて測定した術前一回拍出変化量SVVは麻酔導入時血圧変動と相関する(優秀演題)
- 219. 岩崎創史,立花俊祐,高橋和伸,杉目史行,山蔭道明:条件付きMRI対応神経刺激システムSure Scan®の一期的または二期的交換手術の選択〜MRI撮影時に生じるmetal-induced artifactsからの考察(優秀演題)
- 220. 大野 翔, 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明: 超出生体重児の動脈管結紮術に対する麻酔管理
- 221. 菊池謙一郎,数馬 聡,室内健志,山蔭道明:ECMO補助とLiDCOrapidモニタリング下で行った肺胞蛋白症に対する肺洗浄の麻酔経 騒
- 222. 五十嵐友美,澤田敦史,大須田倫子,新山幸俊,山蔭道明:慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対してNO吸入療法が著効した成人緊急手術 の麻酔経験
- 223. 川向洋介、宇野あゆみ、平田直之、山蔭道明:スガマデクスは超緊急帝王切開における全身麻酔管理を変えたか?
- 224. 児玉 萌, 高田幸昌, 数馬 聡, 時永泰行, 山蔭道明: 多発性血管種の手術において緊急外科的気道確保を要した 1 症例
- 225. 数馬 聡, 升田好樹, 巽 博臣,後藤京子,高橋科那子,菊池謙一郎,今泉 均,山蔭道明:輸血関連急性肺障害(TRALI) 11症例の 臨床的検討
- 226. 酒井 渉, 吉川裕介, 時永泰行, 山蔭道明: 先天性グリコシル化異常症の麻酔経験

### 【第450回苫小牧市医師会学術講演会(苫小牧)】 2015.03.27

227. 山蔭道明:特別講演「痛みに対する最新の診断と薬物治療のコツ」

### 【千葉スープレンセミナー(市川)】 2015.06.06

228. 山蔭道明:招聘講演「最新麻酔情報」

# 【第12回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2015.06.26-28

- 229. 高橋さゆみ、中山禎人、山澤 弦、山蔭道明:困難気道モデルにおける新型Airway scopeの有用性-Airtraq、Macintosh型喉頭鏡との 比較検討- (優秀賞)
- 230. 星 友絵, 新山幸俊, 枝長充隆, 山蔭道明:悪性高熱症の既往がある患者の人工股関節置換術の麻酔経験
- 231. 田中俊光, 立花俊祐, 山蔭道明: CHARGE症候群患児の麻酔経験
- 233. 立花俊祐,山蔭道明:前額部深部温モニターSpot on™は前額部以外でも正確に利用できる
- 234. 八嶋友美, 立花俊祐, 枝長充隆, 山蔭道明: Arndtブロッカーで安全な分離肺換気が可能であった先天性嚢胞性腺腫様奇形腫根治術の1 症例

# 【周術期管理セミナーin岡山(岡山)】 2015.09.04

235. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略-その中でVOLUVENはこう使うべき!-|

# 【日本麻酔科学会第5回北海道・東北支部学術集会(弘前)】 2015.09.12

- 236. 君塚基修, 時永泰行, 林 俊輔, 山蔭道明:ロピバカインによる血管平滑筋収縮に対するセボフルランとプロポフォールの影響(優秀 賞)
- 237. 茶木友浩,名和由布子,玉城敬史,平田直之,山蔭道明:小児人工心肺中レミフェンタニル持続投与による高血糖,高乳酸血症予防効果(優秀賞)
- 238. 千田雄太郎,立花俊祐,山蔭道明:前額部深部温モニタリングシステムSpotOn™の他部位での有用性(優秀賞)
- 239. 東口 隆, 時永泰行, 林 俊輔, 君塚基修, 数馬 聡, 山蔭道明:高酸素分圧下でのラット血管平滑筋収縮反応に対する麻酔薬の効果 の検討(優秀賞)
- 240. 菅野麻琴, 井上 光, 岡崎加代子, 酒井 渉, 山蔭道明:複合自己免疫疾患を合併した特発性血小板減少症患者に対する脾摘術の麻酔 経験
- 241. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 林 俊輔, 山蔭道明: デスフルランはセボフルランとは異なる機序で血管内皮依存性弛緩反応を抑制 する
- 242. 平川由佳, 早瀬 知, 山蔭道明: 可動式スタイレット (Parker Flex-ITTM) を用いた気管挿管における優位性の検討
- 243. 本間舞子, 時永泰行, 数馬 聡, 林 俊輔, 山蔭道明: 内皮グリコカリックス障害による血管内皮依存性弛緩作用の抑制に及ぼすセボフルランの影響

- 244. 伊原彩季, 大須田倫子, 新山幸俊, 住田臣造, 山蔭道明: 大動脈弓プラークが原因と考えられる周術期脳梗塞の1症例
- 245. 五十嵐友美,早瀬 知,田中 悟,山蔭道明:薬剤溶出性ステント留置後のヘパリン起因性血小板減少症を合併した婦人科手術の麻酔 経験
- 246. 佐藤智恵, 山本修司, 川岸俊也, 望月宏樹, 一瀬廣道, 山蔭道明: 麻酔導入時に一時心肺停止となった頸部膿瘍の一例

# 【室蘭エリア麻酔科懇話会(室蘭)】 2015.09.25

247. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略-その中でVOLUVENはこう使うべき!-」

# 【第80回日本泌尿器科学会東部総会(東京)】 2015.09.25-27

248. 太刀川公人,桧山佳樹,市原浩司,高橋 聡,関根利佳,山蔭道明,舛森直哉:間質性膀胱炎に対する神経根ブロックが貯鉱した一例

# 【日本集中治療医学会第24回北海道地方会(札幌)】 2015.09.26

- 249. 数馬 聡, 升田好樹, 巽 博臣, 吉田真一郎, 片山洋一, 千原伸也, 小川輝之, 島田朋和, 山蔭道明:急性脳症に対して脳低体温療法 を施行した小児4症例の検討
- 250. 島田朋和, 千原伸也, 中野皓太, 中村勇輝, 山口真依, 小川輝之, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 片山洋一, 数馬 聡, 吉田真一郎, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 当院ICUにおける小児に対する単純血漿交換の施行方法の検討
- 251. 千原伸也,小川輝之,島田朋和,山口真依,中村勇輝,橋本修一,橋本佳苗,室橋高男,片山洋一,数馬 聡,吉田真一郎,巽 博臣,升田好樹,山蔭道明:敗血症に対するAN-69ST膜hemofilterの有効性と安全性

# 【第19回北海道緩和医療研究会(札幌)】 2015.09.26

- 252. 渡邊昭彦,岩崎創史,水口亜紀,山蔭道明,佐藤明美:緩和ケアチーム依頼症例における緩下剤の使用状況に関する検討
- 253. 山崎 裕, 辻口直紀, 立花俊祐, 山蔭道明:メサドン使用患者における周術期オピオイド調整の一工夫
- 254. 高橋和伸,岩崎創史,佐藤明美,米田 舞,吉岡 薫,大森克哉,石井貴男,山蔭道明:がん患者の筋・筋膜性痛に対するキセノン療法の効果

### 【第1回札幌手術室看護セミナー(札幌)】 2015.10.17

255. 山蔭道明:講演「イチから学べるわかりやすい麻酔看護の知識(基礎編)―押さえておきたい5つのポイントー」

### 【第31回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2015.10.18

256. 新山幸俊,高橋和伸,新谷知久,山蔭道明:脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔にて施行した帝王切開術後に馬尾症候群をきたした1症例

### 【日本アフェレーシス学会第35回北海道地方会(札幌)】 2015.10.24

- 257. 島田朋和, 千原伸也, 中野皓太, 中村勇輝, 山口真依, 小川輝之, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 片山洋一, 数馬 聡, 吉田真一郎, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 当院ICUにおける小児単純血漿交換の検討
- 258. 中村勇輝, 千原伸也, 小川輝之, 島田朋和, 山口真依, 橋本修一, 橋本佳苗, 室橋高男, 片山洋一, 数馬 聡, 吉田真一郎, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: ROTEMによる血液凝固能を測定した 1 例
- 259. 千原伸也,小川輝之,島田朋和,山口真依,中村勇輝,橋本修一,橋本佳苗,室橋高男,片山洋一,数馬 聡,吉田真一郎,巽 博臣,升田好樹,山蔭道明:敗血症に対するAN-69ST膜hemofilterの有効性と安全性

# 【神経障害性疼痛セミナー(函館)】 2015.11.04

260. 山蔭道明:講演「痛みに対する最新の診断と薬物治療のコツ」

### 【第17回侵襲制御医学セミナー~術後鎮痛を考える~(名古屋)】 2015.11.20

261. 山蔭道明:特別講演「術後疼痛管理におけるアセトアミノフェンの位置づけ」

# 2016

# 【第16回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko(ニセコ)】 2016.02.05-07

262. 橋本優希, 茶木友浩, 吉川裕介, 平田直之, 山蔭道明: 小児の手術室入室, 麻酔導入におけるビデオグラスの有用性(優秀賞)

- 263. 星 友絵,茶木友浩,山蔭道明:スガマデクス投与後に突然の換気困難と血圧低下を認めた僧帽弁形成術の1例
- 264. 臼井 彩,高田結理,立花俊祐,枝長充隆,山蔭道明:下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎悪性腫瘍術において術中経食道心エコーを用いて右房内に遊離した腫瘍塞栓子を発見し得た1症例(優秀賞)

### 【北海道労災保険指定病院協会滝川支部講演会(滝川)】 2016.02.17

265. 山蔭道明:特別講演「痛みに対する最新の診断と薬物治療のコツ」

### 【周術期学術講演会(名古屋)】 2016.02.20

266. 山蔭道明:特別講演(1)「 $\beta$  ブロッカー:周術期使用のコツとポイント」

# 【第13回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2016.06.24-26

267. 千田雄太郎, 立花俊祐, 表 雅仁, 若杉佳子, 山蔭道明: 非侵襲的深部温モニタリングシステムTemple Touch Pro™の有用性(優秀演題賞)

- 268. 表 雅仁, 白井 彩, 林 俊輔, 立花俊祐, 山蔭道明: プロポフォール持続投与のみで投与した場合の血中濃度は主要な薬物動態モデルでの予測血中濃度よりも低く過小評価される
- 269. 吉田那央、臼井 彩,立花俊祐,枝長充隆,山蔭道明:赤外線酸素モニタ装置NIRO-200NXを使用し,輸液・輸血の指標とした新生児緊急開頭血腫除去術の1例
- 270. 長谷川源, 時永泰行, 表 雅仁, 山蔭道明:同側に平山病を合併した上肢に対する手術麻酔経験
- 271. 横山竜也,新山幸俊,吉川裕介,高田幸昌,高橋和伸,君島知彦,山蔭道明:経皮的心肺補助下に緊急気管切開術を施行した甲状腺腫 寝の1症例
- 272. 前田真岐志,君塚基修,立花俊祐,時永泰行,山蔭道明: Osler-Weber-Rendu病患者に対する両側胸腔鏡下肺部分切除術の麻酔管理

### 【小樽後志周術期懇話会(小樽)】 2016.08.26

273. 山蔭道明:特別講演「周術期輸液の新戦略」

# 【北海道・東北支部第6回学術集会(札幌)】 2016.09.03

- 274. 東口 隆, 時永泰行, 君塚基修, 数馬 聡, 林 俊輔, 山蔭道明: リンゲル液と各種HES製剤を用いた血液希釈における血小板・凝固機能の検討(優秀演題)
- 275. 君塚基修, 時永泰行, 東口 隆, 数馬 聡, 林 俊輔, 山蔭道明:ロピバカインによる血管平滑筋収縮に対するセボフルランとプロポフォールの影響と機序(優秀演題)
- 276. 救仁郷達也,室内健志,山本修司,山蔭道明:Serratus Plane Blockにおけるロピバカインの用量と麻酔域の検討(優秀演題)
- 277. 山崎 裕, 辻口直紀, 山蔭道明:麻酔科医のキャリアパスとしての緩和ケア 第2報
- 278. 茶木友浩,橋本優希,吉川裕介,平田直之,時永泰行,山蔭道明:当院手術室における小児入室時不安軽減方法~ウェアラブルモニ ターを用いた試み
- 279. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 林 俊輔, 山蔭道明: デスフルランはセボフルランとは異なる機序で血管内皮依存性弛緩反応を抑制 オス
- 280. 横山竜也,新山幸俊,吉川裕介,高田幸昌,山蔭道明:経皮的心肺補助下に緊急気管切開術を施行した甲状腺腫瘍の1症例
- 281. 中林賢一,高桑一登,大槻郁人,久米田幸弘,山蔭道明:アデノシンを用いた一時的心拍動抑制下脳動脈瘤クリッピングの麻酔
- 282. 佐々木夢美,鎌田康宏,渋川圭介,佐藤通子,山蔭道明:手術室退室後に予期せぬ不随意運動を来した1例
- 283. 大槻郁人, 久米田幸弘, 五十嵐友美, 木谷友洋, 中林賢一, 山蔭道明: 気管挿管下全身麻酔後に一過性の両上下肢麻痺を生じた 1 症例
- 284. 佐藤智恵, 田中俊光, 辻口直紀, 伊藤友哉, 土屋滋雄, 山蔭道明:緊急CABGにおいて肺動脈カテーテルのSvO2キャリブレーション時にカテーテル留置位置不適切であることが発覚した1例
- 285. 五十嵐友美,中林賢一,大槻郁人,木谷友洋,久米田幸弘,山蔭道明:前十字靭帯骨化症を合併した頸椎症患者の麻酔経験

### 【第32回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2016.09.17

- 286. 高田幸昌, 橘 信子, 杉目史行, 新谷知久, 山蔭道明: フェンタニル貼付剤使用中に薬剤性意識消失から交通事故を起こした1症例 (優条演題賞)
- 287. 須貝温子, 高田幸昌, 橘 信子, 関根利佳, 新谷知久, 山蔭道明:三叉神経第1・2枝領域帯状疱疹に外転神経麻痺を合併した1例
- 288. 折茂香織,関根利佳,水野絵里,高田幸昌,山蔭道明:上肢のCRPSに対しステロイド添加局所静脈内ブロックが奏功した1例
- 289. 石岡慶己, 関根利佳, 須貝温子, 本間広則, 高橋和伸, 高田幸昌, 山蔭道明: 重症複発性帯状疱疹に対して発症早期からの神経ブロックが著効した 1 症例
- 290. 杉目史行, 井上 光, 大沼 淳, 坂本幸基, 山蔭道明:カプサイシン軟膏使用を断念した3症例

# 【第20回北海道緩和医療研究会(札幌)】 2016.09.24

- 291. 吉岡 薫, 大森克哉, 岩崎創史, 高橋和伸, 佐藤明美, 中田浩雅, 山蔭道明, 宮本 篤:メサドン導入前後にPT-INRを測定したワルファリン内服患者の 1 例
- 292. 高橋和伸,岩崎創史,佐藤明美,木川昌康,石井貴男,吉岡 薫,大森克哉,米田 舞,山蔭道明:上口蓋悪性黒色腫に伴う頭痛,顔面への放散痛に対して五苓散が著効した緩和ケアチーム介入患者の1症例

### 【第25回日本集中治療医学会北海道地方会(旭川)】 2016.09.24

- 293. 酒井 渉, 南波 仁, 池島まりこ, 松本 恵, 山岸昭夫, 館岡一芳, 一宮尚裕, 山蔭道明: バルプロ酸ナトリウム中毒に血液透析を 行った一症例
- 294. 山口真依, 千原伸也, 中村勇輝, 島田朋和, 小川輝之, 室橋高男, 高桑一登, 相坂和貴子, 高橋科那子, 巽 博臣, 升田好樹, 山蔭道明: 新型バスキュラーアクセス留置用カテーテルの使用経験

# 【旗の台麻酔セミナー(東京)】 2016.10.15

295. 山蔭道明:特別講演「最新麻酔情報」

# 【日本東洋医学会第33回北海道支部学術大会(札幌)】 2016.10.23

296. 上野裕美, 折茂香織, 山蔭道明, 竹田 眞:原因不明の難治性疼痛に漢方薬が奏功した 1 症例

# 2017

# 【さいたまバイタルサインセミナー(埼玉)】 2017.02.11

297. 山蔭道明:講演Ⅳ「チームでケアする体温管理」

# 【第14回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2017.06.30-07.02

- 298. 松浦 妙,新山幸俊,濱田耕介,山蔭道明:肋間神経移行術の術後鎮痛管理において,椎間板アプローチによる持続傍脊椎ブロックが 有効だった一症例
- 299. 高橋可南子, 枝長充隆, 立花俊祐, 山蔭道明: 抜管後に奇異性呼吸を呈した慢性巨大肺嚢胞切除の1症例
- 300. 笠羽一敏, 吉川裕介, 山蔭道明:肺胞蛋白症に対する全肺洗浄における全身麻酔管理についての検討
- 301. 伊野亜佑美,中山禎人,辻口直紀,山蔭道明:新しいダブルルーメンチューブ用イントロックを用いたAirway scopeによる困難気道モデルに対する気管挿管の検討(優秀演題賞)
- 302. 長門真美,中山禎人,山澤 弦,山蔭道明:困難気道モデルにおける新型Airway scopeの有用性ーAirtraq, Macintosh喉頭鏡との比較 検討ー第2報
- 303. 田中聡一,表 雅仁,立花俊祐,山蔭道明:覚醒下開頭手術の異常興奮予防目的にデクスメデトミジン持続投与した1症例

### 【手術室看護セミナー(東京)】 2017.07.23

304. 山蔭道明:講演「イチから学べるわかりやすい麻酔看護の知識(基礎編)―押さえておきたい5つのポイントー」.

### 【第8回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 2017.08.19

305. 山蔭道明:講演「世界一聞きたい体温管理」

### 【日本麻酔科学会北海道・東北支部第7回学術集会(秋田)】 2017.09.01

- 306. 山蔭道明:共催セミナー(1)「デスフルラン:一度は経験してから評価してみよう」
- 307. 茶木友浩,吉川裕介,川口亮一,平田直之,山蔭道明:プロポフォールの溶媒である脂肪製剤は酸化ストレスを介して横紋筋障害を引き起こす(最優秀演題賞)
- 308. 長谷川源、川口亮一、山蔭道明: Sonoclot®による凝固能・血小板機能評価が有用であった肝切除術の麻酔経験
- 309. 萩原裕也,新山幸俊,田□まゆ,数馬 聡,山蔭道明:全身麻酔下に麻酔科医がMcGRATH™を用いて摘出した咽頭異物の一例
- 310. 大槻郁人,久米田幸弘,中林賢一,山蔭道明:喫煙が周術期に与える影響の認知度調査
- 311. 土谷俊輔, 鳥谷部政樹, 須佐泰之, 山蔭道明: 高容量スガマデクス投与においても筋弛緩回復が著明に遷延した 1 例
- 312. 田中聡一,立花俊祐,表 雅仁,時永泰行,山蔭道明:デクスメデトミジン併用により80歳代でも施行可能だった覚醒下開頭手術の1 症例
- 313. 数馬 聡, 時永泰行, 高田幸昌, 東口 隆, 君塚基修, 林 俊輔, 山蔭道明: デスフルランとセボフルランは異なる機序で血管内皮依存性弛緩反応を抑制する
- 314. 桶谷章夫,西川幸喜,玉城敬史,伊藤知哉,下舘勇樹,山蔭道明:フレイルチェストを含む多発外傷に対し異なる鎮痛法を施行した2 症例
- 315. 数馬 聡, 時永泰行, 東口 隆, 君塚基修, 濱田耕介, 山蔭道明: セボフルランは酸化ストレスによるグリコカリックスの障害および血 管内皮依存性弛緩反応の減弱を回復させる
- 316. 濱田耕介, 時永泰行, 数馬 聡, 東口 隆, 君塚基修 山蔭道明: 血管内皮依存性弛緩反応におけるアクアポリン1の関与の検討

# 【第1回日本集中治療医学会北海道支部学術集会(札幌)】 2017.09.09

317. 東口 隆, 時永泰行, 君塚基修, 数馬 聡, 濱田耕介, 山蔭道明: リンゲル液と各種HES製剤を用いた血液希釈における血小板・凝固機能の検討

# 【第34回日本東洋医学会北海道支部会学術大会(札幌)】 2017.10.22

318. 折茂香織, 上野裕美, 澤田敦史, 高橋和伸, 岩崎創史, 関根利佳, 山蔭道明, 竹田 眞: 低髄圧症候群に苓桂朮甘湯が有効であった 1 症例

# 2018

### 【第33回体液・代謝管理研究会学術集会(札幌)】 2018.02.27

- 319. 東口 隆, 時永泰行, 君塚基修, 数馬 聡, 濱田耕介, 山蔭道明:Hydroxyethyl starch(HES)製剤による血液凝固障害のin vivoの 検討(優秀演題賞)
- 320. 数馬 聡, 時永泰行, 東口 隆, 君塚基修, 濱田耕介, 山蔭道明: セボフルランは酸化ストレスによる血管内皮依存性弛緩反応および グリコカリックスの障害を回復させる(優秀演題賞)
- 321. 伊野亜佑美,辻□直紀,前田真岐志,葉山洋子,伊藤知哉,土屋滋雄,山蔭道明:肝切除術における輸液管理:麻酔科医vs. FloTrac/ Vigileo system
- 322. 熱田真穂,枝長光隆,山蔭道明:FloTrac/Vigileoによる循環動態モニタリングにて安全に麻酔管理が可能となった巨大卵巣腫瘍摘出術の一症例

# 【第15回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2018.06.29-07.01

- 323. 近藤麻美子, 佐藤 慧, 山蔭道明:O3センサーによる片肺換気中の嚢酸素飽和度の推移ープロポフォールとデスフルランでの比較検討ー (最優秀演題賞)
- 324. 草階美佳子,汲田 翔,吉川裕介,山蔭道明:顎骨切り術に対する上顎神経および下歯槽神経ブロックが有効であった一例

### 【旭川赤十字病院救命救急センター設立40周年記念講演会(旭川)】 2018.07.14

325. 山蔭道明:講演1「初めての救急車体験・北海道の災害医療」

### 【第9回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 2018.08.11

326. 山蔭道明:講演「1か月に2度も手術? 体験から語る麻酔管理のあり方」

### 【日本緩和医療学会第1回北海道支部学術集会(旭川)】 2018.08.25

- 327. 岩崎創史,高橋和伸,山蔭道明,大森克哉,和田浩希,佐藤明美:ナルデメジンの胃管投与で症状を緩和した未就学児のオピオイド誘 発性便秘症例
- 328. 大森克哉,和田浩希,岩崎創史,佐藤明美,山蔭道明,宮本 敦:ナルデメジンの使用状況と有用性・安全性の検討
- 329. 岩崎創史,高橋和伸,山蔭道明:咳嗽にチオトロピウム臭化物水和物を投与した7症例

### 【第213回素交会講演会(札幌)】 2018.08.31

330. 山蔭道明:特別講演「慢性痛における経皮吸収オピオイド製剤の応用」

### 【日本麻酔科学会北海道・東北支部第8回学術集会(旭川)】 2018.09.01

- 331. 数馬 聡, 時永泰行, 君塚基修, 東口 隆, 濱田耕介, 山蔭道明: セボフルランは酸化ストレスによるグリコカリックスの障害 および血管内皮依存性弛緩反応の減弱をシアル酸転移酵素ST6Gal-Iの発現増強を介して回復させる(最優秀演題)
- 332. 茶木友浩,橋本優希,吉川裕介,平田直之,時永泰行,山蔭道明:ビデオグラス®(没入型ヘッドマウントディスプレイ)は小児の麻酔 導入時不安を軽減する:無作為ランダム化比較試験(優秀演題)
- 333. 濱田耕介, 時永泰行, 数馬 聡, 東口 隆, 君塚基修, 山蔭道明:アストロサイト培養細胞におけるデキサメサゾン投与によるアクアポリン4タンパク質発現の誘導:脳浮腫の予防に向けて(優秀演題)
- 334. 近藤麻美子,濱田耕介,川口亮一,枝長充隆,山蔭道明:下大静脈浸潤を伴う腎細胞癌摘出術において術中に発症した腫瘍肺塞 栓の診断に経食道心エコーが有用であった一症例
- 335. 木井菜摘,澤田敦史,山蔭道明:デクスメデトミジンによる外傷性脳損傷慢性期の術後認知機能障害抑制効果の検討
- 336. 浅野清香,新山幸俊,山蔭道明:人工股関節全置換術後においてフェンタニルの投与中止とアセトアミノフェン静注液の定期 反復投与は術後経過を改善させる
- 337. 石岡慶己, 立花俊祐, 田口まゆ, 井上 光, 山蔭道明:乳がん術後の遷延性術後痛に対して, 超音波ガイド下長胸神経パルス高周波療 法が有効だった 1 症例
- 338. 佐藤優真, 新山幸俊, 本間舞子, 山蔭道明: 斜角筋間法による腕神経叢ブロックでカテーテルがくも膜下迷入した一例
- 339. 熱田真穂,棚橋振一郎,西村実夫,荒川穣二,山蔭道明:FloTrac™によるモニタリング下にvolume reductionを先行した巨大 卵巣腫瘍の麻酔経験
- 340. 田中清高, 岡田麻里絵, 川向洋介, 佐藤 慧, 山本修司, 山蔭道明: 脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血に対し超緊急帝王切開術 を優先した重症加重型妊娠高血圧腎症合併妊婦の一例
- 341. 田口まゆ,立花俊祐,時永泰行,井上 光,山蔭道明:術中からのデクスメデトミジン持続投与により、良質な覚醒を得た脳梁離断術の麻酔管理:症例報告
- 342. 平畑知輝, 表 雅仁, 新山幸俊, 山蔭道明: デクスメデトミジンによる外傷性脳損傷慢性期の術後認知機能障害抑制効果の検討
- 343. 表 雅仁,立花俊祐,茶木友洋,本間広則,山蔭道明:腰痛のため座位を保持できないパーキンソン病患者に対する覚醒下脳刺激電極埋込術の麻酔経験

### 【日本麻酔科学会九州麻酔科学会第56回大会(沖縄)】 2018.09.08

344. 山蔭道明:共催セミナー(1)「デスフルラン:食わず嫌いをやめてみよう」

# 【第34回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2018.09.22

345. 岩崎創史, 高橋和伸, 山蔭道明: 脊髄刺激装置埋め込み患者への1000Hz無感刺激の有用性

# 【日本集中治療医学会第2回北海道支部学術集会(札幌)】 2018.11.03

346. 臼井 彩,川向洋介,千田雄太郎,田中清高,佐藤智洋,山本修司,山蔭道明:治療抵抗性のTAFRO症候群にリツキシマブが著効した 一例

# 【里塚地区医療連携の会(札幌)】 2018.11.08

347. 山蔭道明:講演3「自分の手術体験からみた麻酔薬の進化」

### 2019

# 【第34回宮城県緩和ケア勉強会(仙台)】 2019.01.18

348. 山蔭道明:特別講演「緩和医療に漢方の力を!|

# 【第25回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2019.01.26

- 349. 五月女風香,吉川裕介,山蔭道明:気管挿管後,右主気管支が閉塞した上行弓部大動脈瘤症例の麻酔管理
- 350. 澤下泰明,平田直之,山蔭道明: Remote ischemic preconditioningを再考する

# 【第19回麻酔科学ウィンターセミナー(富良野)】 2019.02.01-03

- 351. 近藤麻美子,吉川裕介,寺田拡文,山蔭道明:超低体温循環停止下における重症筋無力症患者の弓部大動脈置換術の一例
- 352. 佐藤帆奈美,平田直之,山蔭道明:麻酔中に迷走神経反射による高度徐脈を呈した2症例

353. 森山はるか,平田直之,山蔭道明:褐色細胞腫の術中アドレナリン作動性反応は制御できるか?

# 【第34回体液・代謝管理研究会(大阪)】 2019.02.23

354. 山蔭道明:講演1. 「体温管理~重要だと思うけど~」

# 【Neuromuscular Seminar in Yamaguchi(宇部)】 2019.06.28

355. 山蔭道明:講演「ロクロニウムとスガマデクスのすべて」

# 【第16回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2019.06.28-30

### 356. 及川菜々子,新山幸俊,山蔭道明:当院で施行されたロボット支援直腸切除術の術後管理に対する後ろ向き検証(優秀演題賞)

- 357. 日下部奎仁,本間広則,児玉 萌,吉田奈央,田中 悟,山蔭道明:ヘパリン投与後に活性化凝固時間(ACT)が過度に延長し,気管チューブ抜去後に披裂部血腫が進行し,気管切開を施行した一例
- 358. 長門真美, 児玉 萌, 大槻郁人, 新山幸俊, 中山禎人, 山蔭道明: 多発ブラを有する患者に対する腹腔鏡下手術の麻酔経験

### 【第28回北海道老年病漢方研究会 学術講演会(札幌)】 2019.07.06

359. 山蔭道明:講演 || 「慢性疼痛に役立つ漢方薬の使い方」

### 【周術期体温管理セミナーin福岡(福岡)】 2019.07.26

360. 山蔭道明:講演「しっかりやろう体温管理」

### 【第10回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 2019.07.27

361. 山蔭道明:とってもよく分かる体温管理

# 【日本麻酔科学会北海道東北支部第9回学術集会(仙台)】 2019.09.14

- 362. 澤下泰明,平田直之,吉川裕介,寺田拡文,山蔭道明:Remote ischemic preconditioningは心保護効果を持つ非アシル化グレリンを 分泌させ虚血再灌流傷害を減弱させる(優秀演題)
- 363. 濱田耕介, 時永泰行, 佐藤智恵, 君塚基修, 山蔭道明: セボフルランはデスフルランと異なり, アストロサイト培養細胞の膨化を抑制する (優秀演題)
- 364. 吉仲阿佐美,横山竜也,枝長充隆,山蔭道明:Flo Trac®を用いて非心臓手術を安全に施行できた重症大動脈弁狭窄症の一例
- 365. 中島弘貴, 枝長充隆, 君塚基修, 児玉 萌, 山蔭道明:慢性心不全患者にFlotracを用いて輸液管理を行ったロボット直腸手術の 1 症例
- 366. 佐藤帆奈美,中山禎人,山蔭道明:左低肺機能症例の右肺上葉部分切除術に対して右中下葉の選択的分離肺換気にて麻酔管理を行った 1例
- 367. 水口はるか、枝長充隆、山蔭道明:非遺伝性血管性浮腫患者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の麻酔経験
- 368. 垣本和人,新山幸俊,東口 隆,吉川裕介,山蔭道明:本態性血小板血症患者に対してソノクロット®を用い,安全に硬膜外麻酔を施行できた1例
- 369. 小笠原円花,澤下泰明,寺田拡文,吉川裕介,新山幸俊,山蔭道明:巨大脳腫瘍の二期的腫瘍摘出術に対し,頭皮ブロックを施行し安全に麻酔管理を行った小児の1例
- 370. 五月女風香,澤田敦史,山蔭道明:気道確保困難が予想された病的肥満患者の乳房切除術を区域麻酔で管理した1例
- 371. 重元 守,早水憲吾,枝長充隆,山蔭道明:間質性肺炎合併肺がん患者の分離肺換気に対し,脳酸素飽和度を指標とした吸入酸素濃度 調整をした一症例
- 372. 土谷 妙,鎌田康宏,桶谷章夫,佐藤通子,山蔭道明:口峡部の狭小化を伴い経口挿管が不可能なPierre Robin症候群の麻酔経験
- 373. 坂野知世, 木井菜摘, 枝長充隆, 君塚基修, 山蔭道明: デクスメデトミジンを用いて意識下挿管を行った巨大前縦隔腫瘍摘出術の l 症 例
- 374. 土谷俊輔, 鳥谷部政樹, 須佐泰之, 土屋滋雄, 山蔭道明:低肺機能を有する肺がん患者において, 患側肺への間欠的気道陽圧の施行で 胸腔鏡下肺部分切除術に成功した一例
- 375. 山中美帆, 時永泰行, 山蔭道明:困難気道が予想される高度肥満患者に対して覚醒下脳腫瘍摘出術を施行した1症例
- 376. 佐藤智恵, 時永泰行, 濱田耕介, 数馬 聡, 君塚基修, 山蔭道明:静脈麻酔薬・鎮静薬の内皮グリコカリックスに対する影響
- 377. 小笠原 哲,川口亮一,濱田耕介,枝長充隆,辻口直紀,山蔭道明:NIRO®による脳組織酸素化モニタリングが有用であったアルカプトン尿症を合併した開心術の一症例

# 【宮城バイタルサインセミナー(仙台)】 2019.10.26

378. 山蔭道明:講演IV「2度の手術体験から考える麻酔薬」

# 教育活動

# 学内担当

終了

1. 医学部 臨床実習(CC)小委員会 委員 平成17~20年度 2. 医学部 教育主任 平成13~20年度 3. 医学部 医学概論・医療総論教育企画委員会 委員 平成18~20年度 4. PBLチュートリアル委員会 委員長 平成22~23年度 5. 医学部 第5学年 学年担任 平成24年度 6. 医学部 FD (Faculty Development) 教育セミナー実行委員会 委員 平成14~23年度 7. 医学部 第6学年 学年担任 平成25年度 8. 医学部 医学研究科教務委員会 委員 (専攻長:地域医療人間総合医学) 平成26~27年度

継続

 1. 医学研究科修士課程
 担当教員(臨床研究科学)
 平成20年度~

 2. 医学研究科修士課程
 担当教員(医科学)
 平成22年度~

 3. 医学部
 副医学部長・教務委員長
 平成30年度~

# 参加・研修等

【平成12年度札幌医科大学第2回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2000.11.25

1. 山蔭道明:参加,修了

【札幌医科大学医学部第1回医学教育セミナー(札幌)】 2001.07.19

2. 山蔭道明:参加

【平成13年度札幌医科大学第3回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2001.10.20

3. 山蔭道明:参加,修了

【第34回日本医学教育学会総会・大会(東京)】 2002.07.26-27

4. 山蔭道明:ワークショップ I 「医学教育プログラム評価のサイエンス」,ワークショップ II 「共用試験のOSCE - 医療面接での標準化 ー」参加,修了

【平成14年度札幌医科大学第4回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2002.10.19

5. 山蔭道明:参加,修了[Faculty Development教育セミナー実行委員会委員(タスクフォース)として参加]

【札幌医科大学医学部第3回医学教育セミナー(札幌)】 2003.01.21

6. 山蔭道明:参加「北米における新しい医学教育」Dr. Peter M. Olley(札幌医科大学非常勤教授)

【札幌医科大学医学部第4回医学教育セミナー(札幌)】 2003.03.25

7. 山蔭道明:参加「頼もしい医学生たちーチュートリアル・システムがもたらしたものー」高橋優三(岐阜大学医学部医学教育開発センター、センター長)

【札幌医科大学医学部第5回医学教育セミナー(札幌)】 2003.06.11

8. 山蔭道明:参加「より質の高いCBT問題作成のために」齋藤宣彦(共用試験実施機構CBT医学系試験問題作成分科会会員:聖マリアンナ医科大学代謝・内分泌内科教授)

【札幌医科大学医学部第6回医学教育セミナー(札幌)】 2003.10.03

9. 山蔭道明:参加「医療関係法や保険診療及び保険医に関する講義」中根英幸(厚生労働省北海道社会保険事業局保健課 医療事務指導官)

【平成15年度札幌医科大学第5回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2003.11.15

10. 山蔭道明:参加,修了[タスクフォース(ファントム実習の現状:講演と実習)としても参加]

【平成15年度札幌医科大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会(札幌)】 2004.03.15

11. 山蔭道明:参加

【平成16年度札幌医科大学第6回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2004.11.13

12. 山蔭道明:参加,修了

【平成16年度札幌医科大学保健医療学部FD研修会(札幌)】 2004.12.20

13. 山蔭道明:参加「学生による授業評価の意義・現状・課題」阿部和厚(北海道医療大学心理科学部言語聴覚学科教授)

【札幌医科大学医学部第9回医学教育セミナー(札幌)】 2005.02.07

14. 山蔭道明:参加「卒前臨床実習と卒後臨床実習」津田 司(三重大学医学部医学・医療教育開発推進センター長)

【札幌医科大学医学部第10回医学教育セミナー(札幌)】 2005.11.04

15. 山蔭道明:参加「リスクマネージメントと医療倫理」稲葉一人((株)科学技術文明研究所特別研究員)

【平成17年度札幌医科大学第7回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2006.12.10

16. 山蔭道明:参加〔タスクフォース:基調講演(PBL型少人数教育の現状について講演)として参加〕

【札幌医科大学医学部第11回医学教育セミナー(札幌)】 2005.12.20

- 17. 山蔭道明:参加「面接官として注意すべきこと」浜田美智子(北海道人事委員会事務局任用課長)
- 【札幌医科大学医学部第12回医学教育セミナー(札幌)】 2006.09.13
  - 18. 山蔭道明:参加「学生実習について」松尾 理(近畿大学医学部医学教育研究センター教授)
- 【第3回診療参加型臨床実習導入のためのクリニカル・クラークシップ指導者養成ワークショップ(裾野市)】 2006.11.22-24
  - 19. 山蔭道明:参加,修了(第124号)
- 【札幌医科大学医学部第14回医学教育セミナー(札幌)】 2007.09.11
  - 20. 山蔭道明:参加「模擬患者 (SP) 教育について」藤崎和彦 (国立大学法人岐阜大学医学部医学教育開発研究センター教授)
- 【平成19年度札幌医科大学第9回医学部医学教育ワークショップ(札幌)】 2007.11.03
  - 21. 山蔭道明:参加,修了
- 【平成20年度札幌医科大学医学部FD講習会(札幌)】 2008.04.28
  - 22. 山蔭道明:参加「教員のためのCBT説明会」
- 【平成20年度第1回札幌医科大学附属病院指導医講習会(札幌)】 2008.08.30-31
  - 23. 山蔭道明: 「講師(教育業績評価について)として参加]
- 【札幌医科大学医学部第16回医学教育セミナー(札幌)】 2008.11.26
  - 24. 山蔭道明:参加「個人業績評価の導入方法及び個人評価の活用について」土橋邦生(群馬大学医学部保健学科教授)
- 【平成20年度第2回札幌医科大学附属病院指導医講習会(札幌)】 2009.01.24-25
  - 25. 山蔭道明: 「講師(札幌医科大学附属病院と協力型病院との連携)として参加]
- 【札幌医科大学医学部第17回医学教育セミナー(札幌)】 2009.02.16
  - 26. 山蔭道明: 「基礎系教員のための臨床講義Ⅱ」 [基調講演(臨床模範講義)として参加]
- 【札幌医科大学医学部第18回医学教育セミナー(札幌)】 2009.03.10
  - 27. 山蔭道明:参加「基礎系教員のための臨床講義Ⅲ」樋上哲哉(札幌医科大学医学部第二外科教授)
- 【平成21年度第3回札幌医科大学附属病院指導医講習会(札幌)】 2009.06.06-07
  - 28. 山蔭道明:「講師(大学病院が当面する問題と将来-卒後初期臨床研修の現状と改革の動向)として参加]
- 【平成21年度第4回札幌医科大学附属病院指導医講習会(札幌)】 2009.10.31-11.01
  - 29. 山蔭道明:「講師(大学病院が当面する問題と将来-卒後初期臨床研修の現状と改革の動向)として参加]
- 【平成22年度第5回札幌医科大学附属病院指導医講習会(札幌)】 2010.07.10-11
  - 30. 山蔭道明: 「講師(大学病院が当面する問題と将来-卒後初期臨床研修の現状と改革の動向)として参加]
- 【平成26年度札幌医科大学医学部医学入門セミナー(札幌)】 2014.07.11
  - 31. 山蔭道明:講師「外科侵襲を制御する」
- 【平成26年度札幌医科大学医学部大学院セミナー(札幌)】 2014.11.11
  - 32. 山蔭道明:講師「麻酔の不思議を探る」
- 【平成29年度札幌医科大学FDワークショップ(札幌)】 2017.09.12
  - 33. 山蔭道明:講師「ベストティーチャー賞受賞者による「選ばれる講義」の作り方講座」
- 【平成29年度札幌医科大学FDセミナー(札幌)】 2018.02.27
  - 34. 山蔭道明:司会,参加「診療参加型臨床実習:臨床実習スタートアッププログラム~1・2クールを終えて~.
- 【平成30年度札幌医科大学医学部医学入門セミナー(札幌)】 2018.11.13
  - 35. 山蔭道明:講師「外科侵襲を制御する」

### その他教育活動

1.	平成14年度医学概論4(第5学年)OSCE(平成14年07月09日)	指導教官	平成14年度
2.	平成15年度医学部推薦選抜面接試験(平成15年02月01日)	委員	平成15年度
3.	平成16年度医学部附属病院臨床研修医面接試験(平成15年08月22日)委員	平成15年度	
4.	平成15年度(第3回)CBT問題作成(札幌医科大学医学部)	問題作成委員	平成15年度
5.	平成15年度第31回大学院特別講義(医学研究セミナー)(平成16年01月19日)		
	「気道平滑筋収縮弛緩機構に及ぼす周術期環境変化の影響」	講師	平成15年度
6.	Research Activity of Sapporo Medical University 2001-2004	編集委員	平成16年度
7.	平成16年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成16年04	月28日)講師	平成16年度
8.	平成16年度(第4回)CBT問題作成(札幌医科大学医学部)	問題作成委員	平成16年度
9.	平成16年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(10題)	問題作成委員	平成16年度
10.	平成17年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成16年08月02,10日,12月03	日) 面接委員平成16年度	
11.	平成16年度後期OSCE(第6学年)(平成16年09月16日)	評価委員	平成16年度
12.	平成17年度PBLチュートリアル問題作成(札幌医科大学医学部:麻酔科関連)	問題作成委員(第7シナリオ)	平成17年度
13.	平成17年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成17年04	月04日)講師平成17年度	
14.	平成17年度PBLテュートリアル(平成17年05月30日,06月01,13日)	テュータ	平成17年度
15.	平成17年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(20題)	問題作成委員	平成17年度
16.	平成18年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成16年08月08日,08月31日)	面接委員	平成17年度
17.	平成17年度第6学年卒業試験再試験(平成17年11月15日)	試験監督	平成17年度
18.	平成18年度PBLテュートリアル(平成18年04月17日,21日)	テュータ	平成18年度
19.	平成18年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成18年04	月04日)講師	平成18年度

20.	平成18年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(20題) 問題作成委員	平成18年度
21.	平成19年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成18年07月28日) 面接委員 平成18年度	
22.	平成19年度大学入試センター試験(平成19年01月20日,21日) 試験室長	平成18年度
23.	平成19年度医学部推薦選抜面接試験(平成19年02月03日) 委員	平成18年度
24.	平成19年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成19年04月05日)講師	平成19年度
25.	平成19年度PBLテュートリアル(平成19年05月07日) テュータ	平成19年度
26.	平成19年度CBT問題ブラッシュアップ(平成19年05月21日) ブラッシュアップ委員	平成19年度
27.	平成19年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(30題) 問題作成委員	平成19年度
28.	平成20年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成19年08月24日) 面接委員	平成19年度
29.	平成19年度卒業試験問題ブラッシュアップ(平成19年09月03日) ブラッシュアップ委員	平成19年度
30.	平成20年度札幌医科大学医学部第二次試験(平成19年02月25日) 試験室長	平成20年度
31.	平成20年度医学概論・医学総論 V 安全管理WS「医療機器・チーム医療の安全管理」(平成20年04月03 B	3)
	講師	平成20年度
32.	平成20年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成20年04月04日)講師	平成20年度
33.	2008年度北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2008札幌(平成20年04月13日)説明担当者	平成20年度
34.	平成20年度PBLテュートリアル(平成20年04月14日,18日) テュータ	平成20年度
35.	平成20年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(30題) 問題作成委員	平成20年度
36.	平成21年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成20年08月01日,28日) 面接委員	平成20年度
37.	平成21年度大学入試センター試験(平成21年01月18日) 試験室長	平成20年度
38.	平成21年度医学概論・医学総論 V 安全管理WS「医療機器・チーム医療の安全管理」(平成21年03月31日	3)
	講師	平成21年度
39.	平成21年度札幌医科大学附属病院卒後臨床研修Aプログラムオリエンテーション(平成21年04月06日) 講師	平成21年度
40.	平成21年度CBT問題作成(札幌医科大学医学部) 問題作成委員	平成21年度
41.	平成21年度CBT問題ブラッシュアップ(平成21年05月18日) ブラッシュアップ委員	平成21年度
42.	平成21年度PBLテュートリアル(平成20年06月02日, 05日, 09日) テュータ	平成21年度
43.	平成21年度卒業試験問題作成(札幌医科大学医学部)(30題) 問題作成委員	平成21年度
44.	平成22年度大学附属病院臨床研修医面接試験(平成21年07月24日,31日,09月07日) 面接委員	平成21年度
45.	平成21年度岐阜大学医学部麻酔学講座PBL(平成21年10月13日) 講師	平成21年度
	「麻酔・救急・疼痛学」コース.特別講演「麻酔と体温」	
46.	平成21年度札幌医科大学保健医療学部看護学科(平成21年11月11日,18日) 講師	平成21年度
47.	平成21年度札幌医科大学大学院研究科 研究講義(平成21年12月03日) 講師	平成21年度
48.	平成21年度札幌医科大学保健医療学部看護臨床治療論Ⅱ(10題) 試験問題作成	平成21年度
49.	平成22年度医学部推薦入試 面接試験(平成22年02月01日) 面接委員	平成21年度
50.	平成22年度PBLテュータ説明会(平成22年5月12,13日,09月28,29日) PBL委員長	平成22年度
51.	平成22年度アドバイザー面談(平成22年05月22日,10月25日) アドバイザー	平成22年度
51.	平成22年度第6学年追試・再試試験(平成22年11月10日) 監督	平成22年度
52.	平成22年度札幌医科大学保健医療学部看護学科(平成22年11月17日,25日) 講師	平成22年度
	平成24年度医学部一般入試 面接試験(平成24年02月26日) 面接委員	平成23年度
	平成26年度特別推薦入試(平成25年12月13日) 自己推薦書採点	平成25年度
	平成27年度推薦入試(地域枠)(平成27年02月01日) 面接委員	平成26年度
	平成28年度医学部一般入試 面接試験(平成28年02月26日) 面接委員	平成27年度
57.	平成28年度第6学年卒業試験V 試験監督(平成29年10月02日) 試験官	平成29年度

# 学外の教育活動

1. 国立大学教育研究評価委員会 大学機関別認証評価委員会 高等専門学校機関別認証評価委員会

専門委員 平成27年度~

2. 独立行政法人日本学術振興会

特別研究員等審査会専門委員および国際事業委員会

書面審査員・書面評価員

平成28年08月01日~平成29年07月31日

# 学会・社会活動

# 審議会・委員会等への就任状況(学内)

<終了	?>		
1.	医学部附属病院 ホームページ検討委員会(平成14年度版作成)	委員	平成13~14年度
2.	大学 広報室	委員	平成14~16年度
3.	医学部附属病院 臨床研修委員会ワーキンググループ	構成員	平成15年度
4.	医学部附属病院 広報委員会	連絡員	平成12~15年度
5.	大学附属情報センター運営委員会 研究支援専門部会	委員	平成15~16年度
6.	医学部附属病院 臨床研修実行委員会	委員	平成15~16年度
7.	医学部 大学院医学研究科企画運営委員会 広報・入試小委員会	委員	平成14~18年度
8.	平成16年度リサーチアクティビティ(2001-2004)編集委員会	編集委員	平成16年度
9.	大学 グローバルCOE等検討委員会	委員	平成19年度
10.	附属病院 治験管理室	副室長	平成18年度
	附属病院 治験管理センター	副センター長	平成19~21年度
11.	北海道TR拠点形成推進会議 北海道臨床開発機構 治験管理部	試験計画担当	平成19~21年度
12.	平成20年度リサーチアクティビティ(2004-2008)編集委員会	編集委員	平成20~21年度
13.	附属病院 医療クオリティ審議委員会 調査チーム	構成員	平成18~21年度
14.	附属病院 広報委員会(附属病院ホームページ担当)	委員	平成16~21年度
15.	附属病院 初期・後期臨床研修医確保対策ワーキンググループ	メンバー	平成18~22年度
		リーダー	平成19~21年度
16.	附属病院 臨床研修センター	教員	平成16~23年度
17.	附属病院 腫瘍診療センター がん診療広報室	副室長	平成19~23年度
18.	医学部 救急医学講座 教授選考委員会	委員長	平成23~24年度
19.	産学・地域連携センター運営委員会	委員(知財)	平成22~25年度
20.	医学部 同窓会情報委員会	委員	平成23~25年度
21.	医学部 精神神経医学講座 教授選考委員会	委員	平成25~26年度
22.	大学 広報委員会 病院広報部会	部会員	平成22~27年度
23.	附属病院 医療ガス安全管理委員会	委員	平成21~29年度
24.	附属病院 院内感染防止委員会	委員	平成28~29年度
25.	附属病院 災害医療対策会議	委員	平成28~29年度
26.	附属病院 医療機器安全管理委員会	委員	平成28~29年度
27.	附属病院 医療材料委員会	委員	平成28~29年度
<継続	≒>		

1.	大学 国際交流委員会	委員	平成14年度~
		部会員	平成26年度~
2.	大学 倫理委員会	脳死判定医	平成15年度~
3.	附属病院 手術部管理運営委員会	委員	平成21年度~
4.	医学部 同窓会常任幹事		平成22年度~
	財務委員会	委員長	平成26年度~
5.	大学 倫理委員会 脳死専門部会	部会員	平成22年度~
6.	大学 終末期医療のガイドラインに関する調査委員会	委員	平成23年度~
7.	医学部 スキルスラボ管理運営委員会	委員	平成23年度~
8.	附属病院 薬事委員会	委員	平成24年度~
9.	産学・地域連携センター運営委員会	委員 (産学)	平成26年度~
10.	附属病院臨床倫理委員会 臟器移植専門部会	部会員	平成28年度~
11.	医学部 カリキュラム委員会	委員	平成28年度~
12.	大学 札幌医学雑誌	編集委員	平成28年度~
13.	医学部 副医学部長・教務委員長		平成30年度~
14.	大学 教育研究評議会	委員	平成30年度~
15.	大学 自己点検評価委員会	委員	平成30年度~
16.	医学部三役会議・拡大三役会議	構成員	平成30年度~

# 学会・学術団体への貢献(学外)

# <終了>

- 於 )	<i>2</i>	
1.	日本麻酔科学会事務局:社団法人日本麻酔科学会	
	総務委員会 委員	平成17~18年度
	麻酔に関する看護師についてのワーキンググループ	平成17~18年度
	麻酔科関連領域ワーキンググループ	平成19~20年度
	総務委員会 将来構想検討専門部会 部会員	平成17~18年度
	2009年度北海道・東北支部学術集会(2009年9月12日) 副会長	平成21年度
	学術委員会 エディトリアルボード メンバー	平成16~22年度
	学術集会企画専門部会「麻酔全般」WG メンバー	平成20~21年度
	平成23年度専門医試験 筆記試験問題Dグループ グループ長	平成23年度
	平成22~24年度専門医試験 筆記試験問題作成委員,面接試験委員	平成22~24年度
	第58回日本麻酔科学会学術集会企画専門部会 部会員・第8プログラム(麻酔全般)WG長 平成25年度専門医試験 筆記試験問題作成委員(グループ長),面接試験委員	平成22~25年度 平成25年度
	一成25年度等日医試験 筆記試験問題作成委員 (グループ表) , 回接試験委員 平成26年度専門医試験 筆記試験問題作成委員	平成25年度
	支部理事・常務理事	平成20年度 平成29~30年度
2	北海道臨床体温研究会 事務局:旭川医科大学麻酔・蘇生学講座	1成27 50平皮
۷.	幹事	平成12~15年
	臨床体温研究会	1 % 12 13 1
	事務局長	平成16~17年
3.	New Opioid研究会 事務局:東京女子医科大学麻酔科学講座	1,,,,,,,
	·····································	平成13~18年度
4.	雑誌「臨床体温」 事務局:旭川医科大学麻酔・蘇生学講座	
	平成17年度よりメディカルオンライン(http://www.meteo-intergate.com)に収載	
	事務局	平成09年~17年
5.	北海道周術期管理研究会 事務局:北海道大学医学部麻酔学講座	
	幹事	平成12~21年度
6.	麻酔蘇生談話会事務局:札幌医科大学医学部麻酔学講座	
	世話人	平成12~21年度
7.	日本医療ガス学会第6回学術大会 事務局:札幌医科大学医学部麻酔学講座	
	事務局代表	平成14年度
8.	日本麻酔科学会 医薬品等適正使用推進試行事業~麻酔薬~	
	医薬品等適正使用評価委員会がイドライン作成委員	平成15,16年度
9.	北海道凝固線溶異常研究会 事務局:北海道大学大学院侵襲制御医学講座救急医学分野	T. # 1 / 00 / C
10	幹事	平成16~20年度
10.	麻酔科学サマーセミナー 事務局:東京女子医科大学麻酔学講座 世話人	亚武1/- 22年度
11		平成16~22年度
11.	Neuromuscular Expert研究会 事務局:日本オルガノン メンバー	平成17年度
12	ルー・	十八八十尺
12.	一番音	平成17~18年度
13	日本外科学会事務局:社団法人日本外科学会	1,2017 10112
	試験問題検討委員会 麻酔分野小委員会 委員 平成18年度	
	試験問題検討委員会 麻酔分野小委員会 委員 平成20年度	
14.	Postoperative Pain Service (POPS) 研究会 事務局:ソフトナイン	平成19~21年度
	実務委員	
15.	日本麻酔科学会 医薬品等適正使用推進試行事業~麻酔薬~	
	医薬品等適正使用評価委員会 分担責任者(I. 催眠鎮静薬)+ガイドライン作成委員	平成20年度
	(医薬品ガイドライン改定小委員会)	
16.	特定非営利活動法人 プライマリNPOセンター	
	顧問	平成22~23年度
17.	(株)バイオエコーネット	
	アドバイザー	平成22年度
18.	独立行政法人日本学術振興会	
	科学研究費委員会専門委員(1段 疼痛学 7004)	平成22年度
	科学研究費委員会専門委員(1段 麻酔科学 8307)	平成24年度
	科学研究費委員会専門委員(1段 麻酔科学 8307)	平成26年度
	科学研究費委員会専門委員(1段 麻酔科学 8307)	平成30年度
19.	WFSA (World Federation of Societies of Anaesthesiologists)(世界麻酔学会)	
	Working Party (1) Manpower Task force, Member	平成20~23年度

20. 高血圧治療ガイドライン2014 [JSH2014] 平成24~25年度 杳読委員 21. 麻酔蘇生談話会 事務局:札幌医科大学医学部麻酔学講座(代表世話人:山蔭道明) 平成22~25年度 22. 北海道臨床体温研究会 事務局:札幌医科大学医学部麻酔学講座(代表世話人:岩崎 寛) 日本臨床体温研究会 平成18~26年度 世話人 23. 北海道周術期管理研究会 事務局:北海道大学医学部麻酔学講座(世話人代表:森本裕二) 平成22~26年度 世話人 24. Postoperative Pain Service (POPS) 研究会 事務局:ソフトナイン 平成22~27年度 世話人 25. 日本麻酔科学会 事務局: 社団法人日本麻酔科学会 平成.27~28年度 全国理事 26. 北海道ER・ICU臨床研修セミナー 田辺三菱製薬・ベネシス 平成22~28年度 27. WFSA (World Federation of Societies of Anaesthesiologists) (世界麻酔学会) 平成24~28年度 the WFSA Advisory Group, Member 28. 独立行政法人日本学術振興会卓越研究員候補者選考委員会 書面審査員\* 平成29年度 29. 日本ペインクリニック学会 平成27~30年度 理事 <継続> 事務局:社団法人日本麻酔科学会 1. 日本麻酔科学会 学術委員会 機関誌専門部会 部会員 平成17年度~ 代議員 平成18年度~ 北海道・東北支部 総務委員会 委員 平成21年度~ 2. 日本循環制御医学会 事務局:北里大学医学部麻酔科学教室(理事長:外 須美夫) 平成17年度~ 3. 日本静脈麻酔学会 事務局:京都大学医学部麻酔学講座(代表世話人:福田和彦) 平成17年度~ 評議員 4. 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業 厚生労働省 日本医療安全調査機構 解剖立会臨床医(札幌地区) 平成17年度~ 平成24年度~ 地区青任者 5. 日本老年麻酔学会 事務局:金沢医科大学麻酔学講座(事務局長:土田英昭) 評議員 平成18年度~ 6. 北海道心臓麻酔研究会 事務局:味の素株式会社 顧問 平成22年~ 7. 北海道ペインクリニック学会 常任幹事,評議員 平成22年度~ 8. 日本臨床モニター学会 事務局: 札幌医科大学医学部麻酔科学講座(事務局長:山蔭道明) 評議員 平成23年度~ 理事 平成26年度~ 9. 北海道医学会 事務局:北海道大学医学部 平成23年度~ 評議員 10. 日本集中治療医学会 北海道地方会 平成23年度~ 11. 日本蘇生学会 事務局:山形大学医学部麻酔科(事務局長:川前金幸) 評議員 平成24年度~ 12. 日本区域麻酔学会平成 事務局:高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座(事務局長:横山正尚) 平成25年度~ 評議員 13. 国立大学教育研究評価委員会 大学機関別認証評価委員会 高等専門学校機関別認証評価委員会 平成27年度~ 14. 独立行政法人大学評価・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会 平成27年度~ 専門委員\* 15. 日本ペインクリニック学会 評議員 平成24年度~ 理事 平成27年度~ 安全委員会 委員長 平成27年度~ 日本ペインクリニック学会誌 編集委員会 委員 平成27年度~

16. 日本臨床麻酔学会

# その他の社会貢献

### <テレビ・ラジオ出演>

- 体温の知識の啓蒙1:爽快TV!ビタミンH(北海道、HBC)出演「耳式vs.脇の下、体温計の不思議」 1998.10.14
- 体温の知識の啓蒙2:イチオシ! (北海道, HTB) 出演「頭皮からの熱の放散と防寒」 2003.11.12
- 体温の知識の啓蒙3:イチオシ! (北海道, HTB) 出演「シルク靴下の保温効果」 2004.01.14
- 体温の知識の啓蒙4:世界一受けたい授業(日本テレビ)出演「体温の不思議」 2007.10.27
- 体温の知識の啓蒙5: Hana\*テレビ(北海道, HBC)出演「体温の不思議」 2008.01.17 体温の知識の啓蒙6:けいざいナビ45(北海道, TVH)出演「鼓膜体温計」 2008.08.17
- 体温の知識の啓蒙7:夕焼けナビ≪聞きナビ≫(東海ラジオ)出演「低体温について」 2008.09.15.16
- 8. 低体温についてコメント:スーパーニュース(北海道, UHB)出演「トムラウシ山遭難と低体温症について」 2009.07.17
- 低体温についてコメント:まるごと北海道(北海道、NHK)出演「トムラウシ山遭難と低体温症について」 2009.07.17
- 10. 熱中症の知識の啓蒙:つながる@きたカフェ(北海道, NHK)出演「からだQ&A:熱中症にご用心!」 2010.07.27
- 11. 緩和ケアの知識の啓蒙:スーパーニュース(北海道, UHB)出演「女性のがん:緩和医療」 2011.01.26
- 12. 大学後期研修の紹介:札医大 医の1 BAN(第3回)(北海道,HBC)出演「充実の研修環境. 育て未来の専門医」 2011.05.15
- 13. 熱中症の知識の啓蒙:U型テレビ(北海道, UHB)出演「熱中症」 2011.07.08
- 14. 熱中症の知識の啓蒙: NEWS 1 (北海道, HBC) 出演「熱中症」 2011.07.28
- 15. ペインクリニックの紹介:医の力~札幌医科大学最前線~(FM北海道Air-G)出演「その痛み 我慢しないで!」 2011.11.26
- 15. 緩和医療の紹介:医の力~札幌医科大学最前線~(FM北海道Air-G)出演「がんの痛み 我慢しないで-緩和医療最前線」 2012.05.26
- 16. 熱中症の知識の啓蒙: どさんこワイド(北海道, STV) 出演「熱中症」 2012.06.29
- 17. 熱中症の知識の啓蒙: U型テレビ(北海道, UHB) 出演「熱中症」 2012.07.05
- 18. 保温知識の啓蒙:U型テレビ(北海道, UHB)出演「節電中の冬での室内の保温の方法」 2013.01.10
- 19. 手術・熱中症知識の啓蒙: グッチーの今日ドキッ! (北海道, HBC) 出演「腹腔鏡下手術・熱中症」 2013.07.04
- 20. 熱中症知識の啓蒙: グッチーの今日ドキッ! (北海道, HBC) 出演「熱中症」 2013.07.22
- 21. ペインクリニック知識の啓蒙:グッチーの今日ドキッ! (北海道, HBC) 出演「ペインクリニック」 2013.08.01
- 22. ペインクリニック知識の啓蒙: グッチーの今日ドキッ! (北海道, HBC) 出演「ペインクリニック(総集編)」 2013.12.27

### <医療支援>

- 1. 2000年有珠山噴火に伴う医療支援(洞爺村) 2000.07.12-14
- 2007年脳死ドナー臓器摘出手術麻酔支援(札幌) 2007.02.25

い授業」だけ

# <鑑定書作成>

- 医療訴訟鑑定:仙台地方裁判所平成10年(ワ)第\*\*\*号事件 2001.02.26
- 医療訴訟鑑定: \* \* \* 病院弁護士からの依頼 2011.03.15
- 医療訴訟意見書:大阪地方裁判所平成23年(ワ)第\*\*\*号損害賠償請求事件 2012.05.13
- 医療訴訟意見書:福岡地方裁判所平成23年(ワ)第\*\*\*号損害賠償請求事件 2014.01.10
- 医療訴訟意見書:旭川地方裁判所平成29年(ワ)第\*\*\*\*号損害賠償請求事件 2017.10.10

# <記事(ネット記事を含む)>

- 1. City shares anaesthetic expertise with Japan. The Cairns Post, Saturday, August 7, 1999, p. 7 オーストラリアケアンズ市内の病院でラリンジアルマスクを研修した際の記事
- 2. 北海道医療新聞(2003年)「吸入麻酔薬弛緩作用-COPDモデルで解明-山蔭札医大講師」 日本医師会医学研究助成受賞に関しての記事
- 3. 山蔭道明: 私のブックマーク「雪国に住む大学勤務医にとっての便利な航空会社サイト」【三共株式会社ホームページ】 2005.04 http://www.sankyo.co.jp/medical/guidance/bookmark/index.html

http://www.sankyo.co.jp/medical/guidance/bookmark/IB94.html

- 4. 山蔭道明:35℃台は「低体温」って、知ってた?【EXCITE健康ホームページ】 2008.04 http://www.excite.co.jp/health/topics/rid 1639/
- 5. 山蔭道明監:低体温がもたらす体の不調を解消しよう. 暮らしと健康 2008; 8月号, p. 26-9.
- 6. 山蔭道明:単なる"冷え"だけでは片づけられないカラダの危険信号. 女性の低体温が危ない!Oggi 2008年17巻8号(綴じ込み付録 号), p. 10.

テレビ出演で謝金が出たのは,「世界一受けた

- 7. 山蔭道明:監修. 夏冷えの原因は低体温にあり!. NonNo 2008年38巻15号, p. 92-3.
- 8. 北海道医療新聞社. ベストナース(2008年8月号)「看護研究. これで安心!うまくいく!超入門らくらく使えるはじめての統計 学ーすぐに使えるアプリケーションCDらくらく統計ナース付き. 山蔭道明監修, 及川慶浩編著. メディカ出版」出版に際してのコメント記事掲載.
- 9. 山蔭道明:毎日新聞でコメント「低体温症で死亡ー中高年,寒さ感知遅れ」,2009.07.18
- 10. 村川雅洋,山蔭道明:学会報告「2009年度日本麻酔科学会北海道・東北支部学術集会を終えて」. 社団法人日本麻酔科学会NEWS LETTER 2009; 17(4): 2.
- 11. 山蔭道明:寄稿文「同門」. 土肥修司教授退任記念誌. 岐阜大学麻酔・疼痛制御学教室同門会編. 2010, p.47.
- 12. 山蔭道明:監修・執筆「薬理学ノート」. 麻酔の基礎:麻酔領域:学術情報. アストラゼネカホームページ(連載計10回). 2010 http://med.astrazeneca.co.jp/disease/anesthetizing/masui/index.html
- 13. 山蔭道明:講演5「HES and Coagulation」. FRACTA JAPAN 2010講演記録集
- 14. 山蔭道明: 扉言葉「症例検討: 麻酔歴に問題がある患者のインフォームドコンセント3」, LiSA 2010; 17: 983.
- 15. 山蔭道明:記事「熱中症の対処法・予防法」. 北海道新聞 2011.07.06朝刊掲載号(生活・くらし)p.14.
- 16. 山蔭道明:記事「今夏の熱中症の傾向」. 北海道新聞 2011.07.06朝刊掲載号(第1社会)p.31.
- 17. 山蔭道明:記事「周術期禁煙の有効性周知に学会レベルでの取り組みを-第58回日本麻酔科学会」. Medical Tribune 2011年08月 18日号 p.26-7.
- 18. 山蔭道明:銀の知恵. ペインクリニック最前線. 地域新聞フリッパー札幌南版 No.58, p.10 (2011.11.1発行)
- 19. 山蔭道明:紹介記事「外科, 麻酔の進歩で手術医療が向上-第33回日本手術医学会」. Medical Tribune 2011; 44(49): 22.
- 20. 山蔭道明:紹介記事「脊髄刺激療法で慢性的痛み緩和」. 北海道新聞(朝刊全道, 生活・くらし) 2012, p.24.
- 21. 山蔭道明:紹介記事「熱中症の対策」. 北海道新聞(朝刊全道, 札幌圏)2013.08.01, p.25.
- 22. 山蔭道明:紹介記事「ひと2013:緩和医療学」. 北海道新聞(朝刊全道,全道遅版,総合)2013,08.04,p.2.
- 23. 山蔭道明:紹介記事「講演会(がん治療緩和)紹介」, 北海道新聞(朝刊全道, 胆振圏) 2013.11.26
- 24. 山蔭道明:紹介記事「講演会(がん緩和医療)紹介」. 北海道新聞(室蘭民放)2013.11.27
- 25. 山蔭道明:紹介記事「JA Clinical Reports創刊」. 日本麻酔科学会ニューズレター 2015, 23(1): p.2.
- 26. 山蔭道明:紹介記事「安全なペインクリニック診療に向けて-有害事象報告,ガイドラインの活用を- (日本ペインクリニック学会第50回大会). Medical Tribune 2016; 49(37): p.14.

### <学生支援>

1. 札幌医科大学POPS研究会顧問2008.04~2. 第57回札幌医科大学医大祭 - 医学展世界一受けたい授業② 講演「ここがすごいよ!麻酔科学」2008.06.223. 札幌医科大学スケート部顧問2011.04~

# その他:座長,司会,モデレータなど

### 【日本麻酔科学会第56回大会(神戸)】 2009.08.16-18

1. 山蔭道明:優秀ポスター審査委員. 一般演題「薬理学・鎮静薬」

### 【第23回日本手術看護学会年次大会(幕張)】 2009.11.13

2. 山蔭道明:司会. ランチョン講演(1)「看護視点で考える手術中の体温管理」(演者:及川慶浩)

# 【第1回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2009.11.27

3. 山蔭道明:座長. 講演「BISモニター:はじめの一歩」 (演者:小板橋俊哉)

### 【第16回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2010.01.30

4. 山蔭道明:座長、講演1「心臓カテーテル治療の昔と今」(演者:土橋和文)

# 【第17回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2010.02.06

5. 山蔭道明:司会.特別講演「POPSから周術期管理チームへ ~術後通管理からの発展~」(演者:中塚秀輝)

### 【第10回麻酔科学ウィンターセミナー(トマム)】 2010.02.11-13

6. 山蔭道明:座長、モーニングセミナー2「心臓手術におけるレミフェンタニルの使用法」(演者:大西佳彦),「レミフェンタニル麻酔のスキル」(演者:内田 整)

### 【第2回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2010.02.26

7. 山蔭道明:座長、講演「ロクロニウムと筋弛緩モニター」(演者:鈴木孝浩)

# 【第10回北海道周術期管理研究会(札幌)】 2010.03.20

8. 山蔭道明:司会. 一般演題

### 【Neuromuscular Meeting in Sapporo(札幌)】 2010.05.29

9. 山蔭道明:座長. 講演1「筋弛緩を行う意義・症例報告」(演者:笹川智貴)

# 【日本麻酔科学会第57回学術大会(福岡)】 2010.06.03-05

10. 山蔭道明:座長. □演発表「その他のモニタリング」

# 【第7回麻酔科学サマーセミナー(沖縄・宮古島)】 2010.06.25-06.27

11. 山蔭道明:司会. セミナー2「スガマデクス」

### 【第24回日本手術看護学会(京都)】 2010.09.17-18

12. 山蔭道明:司会. ランチョン講演「手術中の体温管理」

# 【日本臨床麻酔学会第30回大会(徳島)】 2010.11.04-06

- 13. 山蔭道明:座長、パネルディスカッション「昔の麻酔、今の麻酔ー麻酔の将来を見据えてー」
- 14. 山蔭道明:司会. 一般演題ポスター「施設の取り組み」

### 【第26回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2010.11.27

15. 山蔭道明:司会. 特別講演「日本ペインクリニック学会ペインクリニック治療指針」(演者:奥田泰久,獨協医科大学越谷病院麻酔 科)

# 【第17回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2011.01.29

16. 山蔭道明:司会、講演「小児の心臓カテーテル治療ー当センターの現状-」(演者:横澤正人、北海道立子ども総合医療・療育センター循環器病センター)

# 【第11回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko(ニセコ)】 2011.02.10-12

17. 山蔭道明:司会、イブニングセミナー「postoperative pulmonary complicationsの予防」(演者:小竹良文,東邦大学医療センター大橋病院周術期管理センター)

# 【第18回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2011.02.12

18. 山蔭道明:座長,特別講演「麻酔における高次機能(人間らしさ)の保護を考える」(演者:祖父江和哉,名古屋市立大学医学部麻酔 科)

# [Anesthesia Asia-Pacific Academy (Hong Kong)] 2011.05.13

19. Yamakage M: Commentator. Results of Japanese clinical study and current Japanese anesthesia practice

# 【日本麻酔科学会第58回学術集会(神戸)】 2011.05.19-21

20. 山蔭道明:座長. 企業共催セミナー(39)「パルスオキシメータの可能性-経皮的連続ヘモグロビン測定-」(演者:坂本篤裕, 日本 医科大学麻酔科学講座)

# [IARS 2011 Annual Meeting (Vancouver, Canada) ] 2011.05.21-24

21. Yamakage M: Moderator. Poster session #PR-03-02 Challenging Case Reports - 7

# 【Neuromuscular Meeting in Sapporo(札幌)】 2011.06.18

22. 山蔭道明:座長. 講演1「当院におけるスガマデクスの使用経験」(演者:内田洋介,北海道大学医学部麻酔科)

### 【日本ペインクリニック学会第45回大会(愛媛)】 2011.07.21-23

23. 山蔭道明:座長、共催セミナー4「新しい局所麻酔薬でみえる末梢神経ブロックの未来」(演者:齋藤洋司,島根大学医学部麻酔科学)

### 【第1回札幌オピオイド鎮痛薬懇話会(札幌)】 2011.08.26

24. 山蔭道明:座長. 特別講演「術中鎮痛におけるレミフェンタニルと硬膜外麻酔」(演者:稲垣喜三,鳥取大学医学部麻酔・集中医療医 学分野)

### 【第7回北海道ER・ICU臨床研修セミナー(札幌)】 2011.09.10

25. 山蔭道明:座長. 特別講演 II 「埼玉県における救急医療の"蘇生"への道〜"救急医療体制"の蘇生のABC〜」(演者:堤 晴彦,埼玉医 科大学総合医療センター高度救命救急センターセンター長)

### 【日本心臓血管麻酔学会第16回学術大会(旭川)】 2011.10.08-09

26. 山蔭道明:座長. 招待講演3「心臓手術最前線(2)」(演者:高橋政夫,平塚共済病院心臓センター部長)

### 【日本臨床麻酔学会第31回大会(沖縄)】 2011.11.03-5

27. 山蔭道明:司会:シンポジウム「ERAS:周術期管理でここまで変わる」

# 【第25回日本手術看護学会年次大会(名古屋)】 2011.11.04-05

28. 山蔭道明:司会:共催セミナー「体温管理の重要性」(講演も)

### 【第18回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2012.01.28

29. 山蔭道明:司会. 講演「人工補助心臓の麻酔管理と心移植術の麻酔管理」(演者:入嵩西 毅,大阪大学医学部麻酔・集中治療医学講座)

# 【FRACTA JAPAN 2012(東京)】 2012.02.18

30. 山蔭道明:座長、講演1「HESとVolume therapy」(演者:宮尾秀樹,埼玉医科大学総合医療センター麻酔科)

# 【第12回北海道周術期管理研究会(札幌)】 2012.03.03

31. 山蔭道明:司会、特別講演1「急性肺障害~早期診断とその治療~」(演者:竹田晋浩、日本医科大学附属病院集中治療室)

# 【第1回札幌産科麻酔(無痛分娩)セミナー(札幌)】 2012.03.10

32. 山蔭道明:座長. 講演 1 「大学病院における無痛分娩の試み」(演者:水□亜紀, 札幌医科大学医学部麻酔科学講座), 講演 2 「天使病院における子馬学位無痛分娩の実績報告」(演者:藤井ひとみ, 天使病院麻酔科), 特別講演「無痛分娩で安全で快適な分娩を」 (演者:角倉弘行, 国立成育医療センター麻酔科)

# [IARS 2012 Annual Meeting (Boston, USA) ] 2012.05.18-21

33. Yamakage M: Moderator. Moderated Poster Discussion #PR-03-02 Challenging Case Reports - 7

# 【バイタルサインセミナーin札幌(札幌)】 2012.05.26

34. 山蔭道明:総合司会

# 【日本麻酔科学会第59回学術集会(神戸)】 2012.06.07-09

- 35. 山蔭道明:座長、シンポジウム(2)「災害から学ぶ麻酔科医の急性・亜急性対応」(共同座長:福田和彦,京都大学医学部麻酔科)
- 36. 山蔭道明:司会.企業共催セミナー(19)「ERASに準拠した術中輸液管理」(演者:小竹良文,東邦大学大橋病院麻酔科)

# 【漢方研究会(札幌)】 2012.06.15

37. 山蔭道明:座長、特別講演1「痛み治療と緩和ケアにおける漢方薬の役割とその上手な使い方」(演者:細川豊史,京都府立大学附属 病院疼痛緩和医療部部長)

### 【第9回札幌麻酔科学トピックス講演会:札幌周術期輸液・栄養管理セミナー(札幌)】 2012.06.22

38. 山蔭道明:座長. 特別講演「周術期の効率化と標準化」(演者:鈴木利保, 東海大学医学部医学科外科学系・診療部麻酔科)

### 【第2回札幌へモダイナミックセミナー・第10回札幌麻酔科学トピックス研究会(札幌)】 2012.07.27

39. 山蔭道明:司会「全身麻酔中の覚醒と夢」(演者:西川光一,和歌山県立医科大学麻酔科)

### 【The 3rd International Symposium for Cardiac Anesthesia (仙台) 】 2012.09.14

40. Michiaki Yamakage: Chairperson [Poster presentation 3]

### 【日本心臓血管麻酔学会第17回学術大会(仙台)】 2012.09.15-16

41. 山蔭道明:座長、ランチョンセミナー(3)「呼吸数モニタRRa™は術後の呼吸数のモニタとして信頼できるかー臨床スタッフの測定した呼吸数との比較—」(演者:深田智子,東京女子医科大学麻酔科学講座)

### 【第10回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2012.09.21

42. 山蔭道明:座長. 特別講演「大動脈弁疾患に対する麻酔管理〜超高齢者から新生児まで〜」(演者:岡本浩嗣, 北里大学医学部麻酔 科)

### 【第16回北海道緩和医療研究会(札幌)】 2012.09.22

43. 山蔭道明:司会.特別講演「古くて新しい鎮痛薬 トラマドール」(演者:住谷昌彦,東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター)

### 【第19回日本静脈麻酔学会(札幌)】 2012.09.29

44. 山蔭道明:座長. ランチョン講演「TCI: Target-controlled infusion or Totally confused infusion?-数式に困惑されないTCI-」(演者:木山秀哉,東京慈恵会医科大学麻酔科学講座)

### 【第19回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2013.02.02

45. 山蔭道明:司会,特別講演①「動脈瘤に対するステントグラフト治療について」(演者:大谷則史,製鉄記念室蘭病院)

### 【第13回麻酔科学ウィンターセミナーin Niseko (ニセコ) 】 2013.02.09-11

46. 山蔭道明:座長. アーリーバードセミナー(1)「小児から高齢者まで,見えてきたi-gelの使い方」(演者:北村祐司先生,千葉大学 医学部麻酔科

# 【Neuromuscular Meeting in Sapporo 2013(札幌)】 2013.02.23

47. 山蔭道明:座長、研究報告1~3「神経筋疾患合併患者に対する当院での麻酔管理にスガマデクスが与えた影響-もう残存筋弛緩は怖くない!?(干野晃嗣:北海道大学医学部麻酔科),吸入麻酔薬デスフルランとスガマデクスによる筋弛緩拮抗(大友重明:旭川医科大学麻酔・蘇生学講座),スガマデクス発売前後における筋弛緩薬使用量と筋弛緩拮抗薬投与時期の変遷(平田直之:札幌医科大学医学部麻酔科学講座)」

### 【第20回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2013.02.23

48. 山蔭道明:座長. 特別講演「小児麻酔:過去・現在・未来(上園晶一:東京慈恵会医科大学麻酔科学講座)」

# 【Edwards Critical Care Forum 2013 (東京) 】 2013.04.14

49. 山蔭道明:座長. パネルディスカッション「本邦における血行動態最適化の臨床への応用」(森松博史:岡山大学麻酔科,川口昌彦: 奈良医大麻酔科,藤野裕士:大阪大学麻酔科)

# 【日本麻酔科学会第60回学術大会(札幌)】 2013.05.23-25

- 50. 山蔭道明:座長、招請講演「論文の正しい書き方と研究の進め方-R. LillerとD. Lubersky氏からの提言-」(廣田和美:弘前大麻酔 科, Ronald D. Miler:USSF, David A. Lubersky:University of Miami Health System)
- 51. 山蔭道明:座長.共催セミナーL36「周術期における漢方薬の役割-術後回復強化も含めて-」(西村元一:金沢赤十字病院外科)

### 【第10回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2013.06.07

52. 山蔭道明:座長.講演「硬膜外麻酔再考-周術期管理の効率化と安全の立場から」(鈴木利保:東海大学医学部麻酔科)

# 【日本ペインクリニック学会第47回大会(大宮)】 2013.07.13-15

53. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー(15)「骨粗鬆症による腰背部痛への対峙の仕方ー自立した健康寿命社会のためにー」(千葉純司:東京女子医科大学東医療センター整形外科・リウマチ科)

### 【日本臨床体温研究会第28回学術集会(札幌)】 2013.08.24

54. 山蔭道明:座長. 特別講演「熱中症に関する最新の話題」(三宅康史:昭和大学医学部救急医学)

# 【第3回札幌オピオイド鎮痛薬懇話会(札幌)】 2013.08.30

55. 山蔭道明:座長. 講演「これからの麻酔科・ペインクリニックにおける薬物療法を考える〜整形外科領域でのペインマネジメントから 考える〜」(川井康嗣:ヤンセンファーマ),特別講演「麻酔臨床は巣学の言葉で書かれているか?物理や化学の目で見直す麻酔科 学〜」(木山秀哉:東京慈恵会医科大学麻酔科)

# 【第11回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2013.09.20

56. 山蔭道明:座長,一般講演「心臓手術周術期におけるオノアクト®の効果」(橘 一俊:札幌医大医学部心臓血管外科),特別講演

# 【第29回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2013.09.21

57. 山蔭道明:座長、イブニングセミナー「痛みと比べて理解する"がん関連掻痒"の分類とそのメカニズム」(関山裕詩:東京大学医学部 附属病院麻酔科・痛みセンター)

### 【スープレン発売 2 周年記念 北海道セミナー(札幌)】 2013.10.19

58. 山蔭道明:座長、特別講演「デスフルラン時代の周術期管理」(森松博史:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座)

# 【日本臨床麻酔学会第33回大会(金沢)】 2013.11.01-03

- 59. 山蔭道明:座長. シンポジウム(8)「デスフルラン麻酔」
- 60. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー(15)「デクスメデトミジンの新たな展望と可能性」(稲垣喜三:鳥取大学医学部器官制御外科 学講座麻酔・集中治療医学分野)

### 【第12回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2013.11.11

61. 山蔭道明:座長、症例報告「脊髄くも膜下麻酔施行後の鎮静にプレセデックスは適切か?—数例の使用経験を基に一」(棚橋振一郎:札幌医大医学部麻酔科)、「ICU移送時・術後管理におけるプレセデックスの有用性—その適応・投与法についての検討—」(吉川祐介:札幌医大医学部麻酔科)、特別講演「PADガイドラインとプレセデックスによる新しい人工呼吸鎮静法」(今泉 均:札幌医大医学部集中治療医学)

# 【第20回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2014.01.25

62. 山蔭道明:司会,特別講演②「Robot vs Human da Vinci心臓手術の麻酔管理」(演者:坪川恒久,金沢大学医学部麻酔・蘇生学講座)

### 【第26回日本老年麻酔学会(東京)】 2014.02.08-09

63. 山蔭道明:座長. シンポジウム 1 「老年患者のPK・PD」 (萩平 哲, ほか)

### 【第21回麻酔蘇生談話会(札幌)】 2014.02.15

64. 山蔭道明:座長. 特別講演「日本発の創薬と局所麻酔の展開」(演者:齋藤 繁, 群馬大学大学院医学系研究科 麻酔神経科学分野)

# 【第41回日本集中治療医学会学術集会(京都)】 2014.02.27-03.01

65. 山蔭道明:Chair. Free paper「AKI」:International Session

# 【第25回日本臨床モニター学会総会(山形)】 2014.04.18-19

66. 山蔭道明:座長. 教育講演Ⅲモニタリングアドバンストコース「酸素飽和度モニターの解釈を極める」(演者:稲田英一,順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

# [IARS 2014 Annual Meeting (Montréal, Canada) ] 2014.05.17-20

67. Yamakage M: Moderator. Moderated Poster Discussion #PR-03-44 Airway management 3

# 【日本心臓血管麻酔学会第20回経食道心エコー講習会(札幌)】 2014.07.19-20

68. 山蔭道明:ランチョン講演「血行動態モニタリング~Flotrac™とPreSep™でいろいろわかる~」(演者:笹川智貴,旭川医科大学麻酔科・蘇生科)

# 【第13回札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2014.08.01

69. 山蔭道明:司会. 講演「論文を書こう」 (演者:浅井 隆,獨協医科大学越谷病院麻酔科)

# 【第4回札幌オピオイド鎮痛薬懇話会(札幌)】 2014.08.29

70. 山蔭道明:座長. 特別講演 I 「疼痛とレミフェンタニルの奇妙な関係〜基礎医学の観点から〜」(演者:紙谷義孝, 新潟大学医学部麻酔科, 表 圭一, 禎心会病院副院長)

# 【北海道・東北周術期講演会(札幌)】 2014.09.12

71. 山蔭道明:座長. 特別講演「希釈式自己血輸血(HAT)の推進」(演者:廣田和美, 弘前大学医学部麻酔科)

### 【日本麻酔科学会第4回北海道・東北支部学術集会(札幌)】 2014.09.13

72. 山蔭道明:司会. 特別講演「より安全な麻酔管理を目指して」(演者:岩崎 寛, 旭川医科大学麻酔科・蘇生科)

# 【第1回北海道ケーブルレス超音波麻酔科研究会(札幌)】 2014.09.27

73. 山蔭道明:座長. 一般演題「未定」(室内健志, 札幌医科大学医学部麻酔科), 特別講演「未定」(演者:佐倉伸一, 島根大学医学部 手術部)

### 【日本臨床麻酔学会第34回大会(東京)】 2014.11.01-03

74. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー(3)「心臓大血管手術中のパルスCOオキシメータによるトータルヘモグロビン濃度連続測定の有用性の検討」(演者:大西佳彦、国立循環器研究センター手術部麻酔科)、「RRaモニターの有用性」(演者:山内正憲、東北大学医

### 学部麻酔科)

- 75. 山蔭道明:座長、特別講演3「麻酔科医らしからぬ研究による麻酔科—研究室維持の実例—」(演者:Tomoki Hashimoto, Department of Anesthesia and Perioperative Care, UCSF)
- 76. 山蔭道明:座長. 一般演題「筋弛緩薬」

# 【日本蘇生学会第33回大会(浜松)】 2014.12.05-06

77. 山蔭道明:座長、救急・蘇生基礎セミナー3「心停止患者の見いだし方と現場での対応方法」(演者:望月利明,静岡市立静岡病院麻 酔科)

# 【第15回北海道周術期管理研究会(札幌)】 2015.02.14

78. 山蔭道明:司会. 「当院における心臓手術症例の周術期管理-研究と症例経験に基づいて-」(演者:濱□真輔, 獨協医科大学麻酔 科)

### 【Masimo Advisory Board Meeting in Tokyo(東京)】 2015.02.27

79. 山蔭道明:司会進行「Masimo新製品-フリーディスカッション」

### 【IARS 2015 Annual Meeting(Honolulu, USA)】 2015.05.18-21

- 80. Yamakage M: Moderator. Moderated Poster Discussion #MCC01-03 Medically Challenging Cases 3
- 81. Yamakage M: Moderator. Moderated Poster Discussion #MCC02-14 Medically Challenging Cases 14

# 【日本区域麻酔学会第2回学術集会(高崎)】 2015.04.24-25

82. 山蔭道明:座長. 「Continuous peripheral nerve blocks」(Lecturer: William F. Urmey, The Hospital for Special Surgery, New York, NY. USA)

### 【第26回日本臨床モニター学会総会(札幌)】 2015.05.15-16

83. 山蔭道明:座長.奥秋賞受賞講演「SpHbのin vivo adjustmentについて」(演者:宮下 龍,札幌医科大学医学部麻酔科学講座)

### 【バイタルサインセミナーin札幌(札幌)】 2015.05.16

84. 山蔭道明:企画・総合司会

# 【日本麻酔科学会第62回学術集会(神戸)】 2015.05.28-30

85. 山蔭道明:座長. 招請講演 (12) 「麻酔科学関連研究を推進するための秘策はあるか?」 (演者:廣田和美,弘前大学大学院医学研究 科麻酔科学講座)

# 【日本ペインクリニック学会第49回大会(大阪)】 2015.07.23-25

- 86. 山蔭道明:座長.教育講演(1)「うつと痛み」.(演者:西原真理,愛知医科大学学際的痛みセンター)
- 87. 山蔭道明:座長. 一般演題(20)「非がん性痛でのオピオイド1」

# 【日本麻酔科学会第5回北海道・東北支部学術集会(弘前)】 2015.09.12

88. 山蔭道明:座長,特別講演(1)「What's new in opioids?」,(演者:David Lambert,Leicester University)

# 【第1回北海道オピオイド疼痛緩和セミナー(札幌)】 2015.09.19

89. 山蔭道明:座長,講演川「慢性痛治療の臨床と基礎」, (演者:濱口真輔,獨協医科大学麻酔科学講座)

# 【第13回日本Awake Surgery学会(名古屋)】 2015.09.24

90. 山蔭道明:座長. 一般演題 (ポスター)

# 【Sapporo Practical Anesthesia Seminar(札幌)】 2015.10.16

91. 山蔭道明:座長.特別講演「筋弛緩モニタリングの意義と使用法の実際」.(演者:小竹良文,東邦大大橋病院麻酔科)

# 【Special invited lecture in Sapporo(札幌)】 2015.10.19

92. 山蔭道明:Chair.「Perioperative management of pheochromocytoma patients」. (Prof. Harald-Thomas Groeben, Kliniken Essen-Mitte, Department of Anesthesiology, Critical Care Medicine, and Pain Therapy)

# 【日本臨床麻酔学会第35回大会(横浜)】 2015.10.21-23

93. 山蔭道明:座長、シンポジウム(4)「明日からできる臨床研究の上手な進め方」

94. 山蔭道明:座長.シンポジウム(8)「麻酔科医のサブスペシャリティーをどう活かすか?」

# 【第2回北海道疼痛研究会(札幌)】 2015.10.31

95. 山蔭道明:座長. 特別講演「遷延性術後痛のtherapeutic window」(演者:飯田宏樹,岐阜大医学部麻酔科)

# 【日本蘇生学会第34回大会(秋田)】 2015.11.05-06

96. 山蔭道明:座長,教育講演(6)「大量出血による急性止血凝固障害に対する最適輸血療法とは」(演者:宮田茂樹,国立循環器病研

### 【札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2015.11.06

97. 山蔭道明:座長. 特別講演「βブロッカーと周術期管理」(演者:髙橋伸二,筑波大医学部麻酔科)

### 【第119回日本産科麻酔学会学術集会(東京)】 2015.11.28

98. 山蔭道明:座長、共催セミナー(2)「明日から始めよう!Multimodal postcesarean analgesia」(演者:田辺瀬良美,東京都立多摩総合医療センター麻酔科)

# 【第31回体液・代謝管理研究会年次学術集会(東京)】 2016.01.23

99. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー「輸液療法の考え方~micro & macro circulation approach~」(演者:鵜澤康二, 杏林大学医学部麻酔科学教室)

### 【Pain Forum in Sapporo(札幌)】 2016.01.29

100. 山蔭道明:座長. 基調講演「緩和医療における抗うつ薬の使用症例」(演者:岩崎創史, 札幌医科大学医学部麻酔科学講座), 特別講演「筋骨格系疼痛における多面的な評価とその診療」(演者:住谷昌彦, 東京大学医学部附属病院緩和ケア部部長, 麻酔科講師)

# 【第16回麻酔科学ウィンターセミナー(ニセコ)】 2016.02.05-07

101. 山蔭道明:座長. アーリーバードセミナー (3) 「TIVA Q&A + α」 (演者:内田 整, 千葉県ことも病院麻酔科)

# 【日本区域麻酔学会第3回学術集会(弘前)】 2016.04.15-16

102. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー2「知って得するオピオイド製剤の医療経済性~病院経営と患者満足そして医療費削減に貢献する~」児玉佳之(児玉在宅内科緩和ケアクリニック 院長)

### 【第27回日本臨床モニター学会総会(沖縄)】 2016.04.29-30

103. 山蔭道明:座長, 招請講演「小児脳に対する麻酔薬の影響ならびに脳波の相違」(長坂安子, 聖路加国際病院麻酔科)

### [IARS 2016 Annual Meeting (San Francisco, USA) ] 2016.05.21-24

104. Yamakage M: Moderator. Moderated Poster Discussion #5-4 Airway management - 1

# 【日本麻酔科学会第63回学術集会(福岡)】 2016.05.26-28

105. 山蔭道明:座長. 学会賞記念講演「山村記念賞, 若手賞」

### 【日本ペインクリニック学会第50回大会(横浜)】 2016.07.07-09

- 107. 山蔭道明:座長. 専門医指導者講習会「安全」(木村壮介, 日本医療安全調査機構;田中信彦ら, 潤和会記念病院ペインクリニック 科)

# 【北海道術後痛研究会(札幌)】 2016.08.20

108. 山蔭道明:座長. 特別講演「最近の術後痛の考え方」(井上莊一郎、聖マリアンナ医科大学麻酔科)

# 【日本麻酔科学会北海道・東北支部第6回学術集会(札幌)】 2016.09.03

109. 山蔭道明:座長. 共催セミナー「麻酔科医が守る高齢者の高次脳機能」(祖父江和哉, 名古屋市立大学麻酔科)

# 【日本心臓血管麻酔学会第21回学術大会(横浜)】 2016.09.16-18

110. 山蔭道明:座長. 共催セミナー(2)「血管可視化装置による安全なAライン確保」(枝長充隆, 札幌医科大学麻酔科;金澤伴幸, 岡山大学麻酔科)

# 【第32回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2016.09.17

111. 山蔭道明:座長. イブニングセミナー「非がん性痛に対する最近のインターベンション治療」(表 圭一, 札幌禎心会病院ペインクリニック外科)

### 【第20回北海道緩和医療研究会(札幌)】 2016.09.24

112. 山蔭道明:座長、ランチョンセミナー「アドバンス・ケア・プランニング いのちの終わりについて話し合いを始める」(木澤義之,神戸大学内科系講座先端緩和医療学分野)

# 【第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会(札幌)】 2016.10.29-30

113. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー(1)「鎮静下手術時の呼吸ならびに鎮静度モニター」(枝長充隆, 札幌医科大学医学部麻酔科学講座)

# 【第3回北海道疼痛研究会(札幌)】 2016.10.29

114. 山蔭道明:座長. 講演「難治性疼痛に対する脊髄刺激療法〜新しいMRI対応型装置の臨床成績〜」(岩崎創史, 札幌医科大学医学部麻酔科学講座)

### 【日本臨床麻酔学会第36回大会(高知)】 2016.11.03-05

115. 山蔭道明:座長、教育講演(11)「代用血漿の現在と未来」(小竹良文,東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)

### 【スープレン発売5周年記念講演会in札幌(札幌)】 2016.12.10

116. 山蔭道明:座長. 特別講演「手術室の効率化と安全性」(鈴木利保, 東海大学医学部麻酔科)

### 【第32回体液・代謝管理研究会年次学術集会(宇都宮)】 2017.01.14

117. 山蔭道明:座長. 一般演題

### 【鎮静に関する研究会in札幌(札幌)】 2017.01.28

118. 山蔭道明:座長、特別講演「心臓血管外科手術におけるデクスメデトミジンは善か悪か?―近年のエビデンスから見えることー」(安田英人、亀田総合病院集中治療科)

### 【日本麻酔科学会第64回学術集会(神戸)】 2017.06.08-10

- 119. 山蔭道明:座長, 学会賞記念講演「山村記念賞, 青洲賞, 松木賞, 社会賞, 若手賞」
- 120. 山蔭道明:座長、共催セミナー13「多項目モニタRoot®の進化−SpO₂+酸素化予備能指標(ORi™)の有用性−」(垣花 学,琉球大麻酔科;外山裕章(東北大麻酔科)
- 121. 山蔭道明:座長. JAシンポジウム「周術期呼吸器合併症」

### [The 2<sup>nd</sup> Sapporo Conference for Palliative and Supportive Care in Cancer 2017]

122. Yamakage M: Chair [Opioid-induced hyperalgesia and opioid combinations] (Mellar P. Davis; the Director of Palliative Care, Geisinger Medical Center, the US)

# 【第28回日本臨床モニター学会総会(東京)】 2017.06.24-25

123. 山蔭道明:座長. 教育講演①「外耳道圧と右心機能評価」(寺田伸幸, 東洋大学理工学部生体医工学科)

# 【第1回日本集中治療医学会北海道支部学術集会(札幌)】 2017.09.09

124. 山蔭道明:座長.優秀賞・奨励賞候補演題

### 【日本心臓血管麻酔学会第22回学術大会(宇都宮)】 2017.09.16-18

- 125. 山蔭道明:座長. 教育講演15「心臓手術における血行動態モニタリング」(末廣浩一, 大阪市大麻酔科)
- 126. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー11「心臓血管麻酔におけるβ遮断薬の役割」(一ノ宮大雅, 長崎大医学部麻酔科)

### 【第39回日本手術医学会(東京)】 2017/10.06-07

- 127. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー)「輸液・シリンジポンプを知ろう!―エラーやトラブル対応に強くなる一」(吉岡 淳, 山形 大学)
- 128. 山蔭道明:座長. スイーツセミナー5「1. 手術室空調システムとエネルギー供給システムの融合」(相馬一貴, セオコーポレーション)「2. 手術室ビデオシステム「V-Station」の機能と有用性」(福重秀文, インフォコム株式会社)

# 【札幌麻酔科学トピックス講演会(札幌)】 2017.10.27

129. 山蔭道明:座長. 一般演題「くも膜下出血におけるβブロッカーの有用性」(高桑一登,中村記念病院麻酔科). 特別講演「周術期におけるβブロッカーの有用性」(原 哲也,長崎大麻酔科)

# 【日本臨床麻酔学会第37回大会(東京)】2017.11.03-05

- 130. 山蔭道明:座長. 臨床研究セッション
- 131. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー(10)「筋弛緩で更なる安心と安全を提供するために」(岩崎 肇, 旭川医大麻酔科;北島 治, 日大麻酔科)

# 【第1回気道管理学会(東京)】 2017.11.05

132. 山蔭道明:座長. シンポジウム「気道管理の新時代」(青山和義,北九州総合病院麻酔科;北村祐司,千葉大医学部附属病院麻酔科; 久我修二,大分大医学部小児科;山村冬彦,昭和大学病院内視鏡センター;高橋耕平,横浜南共済病院救急科;森山尚治,松江市消防 本部)

### 【ナルサス錠・ナルラピド錠新発売記念講演会(札幌)】 2017.11.13

133. 山蔭道明:座長、特別講演「オピオイド鎮痛薬の新たなる選択肢~ヒドロモルフォンを知る~」(齋藤洋司、島根大医学部麻酔科)

### 【札幌医科大学附属病院慢性疼痛センター開設記念講演会】 2018.01.06

134. 山蔭道明:座長. 講演1「岡山大学病院運動器疼痛性疾患治療研究センターの取り組み」(鉄永倫子, 岡山大学病院運動器疼痛性疾患 治療センター)

# 【第33回体液・代謝管理研究会年次学術集会(札幌)】 2018.01.27

135. 山蔭道明:座長. ランチョン講演「重症患者における栄養療法の限界~その壁は越えられるか?」(巽 博臣, 札幌医科大学医学部集中治療医学)

### 【第18回麻酔科学ウィンターセミナー(札幌)】 2018.02.09-11

136. 山蔭道明:座長. 教育講演 II 「海外ボランティアのすすめ〜獨協医科大学病院の試み〜」(川又 均,獨協医科大学歯科口腔外科;寺島哲二,獨協医科大学麻酔科)

# 【第11回非侵襲モニタリング臨床使用検討会(東京)】 2018.03.02

137. 山蔭道明: Closing remarks

### 【Interactive Lecture: Sapporo Cancer Pain Specialists (札幌) 】 2018.03.14

138. 山蔭道明:座長、特別講演「Cancer Pain Management~Role of Opioid Analgesics & Review of Tapentadol~」(Tony O'Brien, Marymount University Hospital ,Ireland)

### 【痛みと漢方セミナー(札幌)】 2018.03.16

139. 山蔭道明:座長「一般演題①②」(岩崎創史,澤田敦史;札幌医科大学医学部麻酔科学講座),特別講演「痛みに対する漢方治療」(岩 下成人,滋賀医科大学麻酔学講座)

# 【Hokkaido Cancer Pain Expert Meeting(札幌)】 2018.04.14

140. 山蔭道明:座長. 特別講演「タペンタドールが変えるがん性疼痛治療」(林 章敏, 聖路加国際病院緩和ケア科)

### 【日本麻酔科学会第65回学術大会(横浜)】2018.05.17-19

141. 山蔭道明:座長. ピッチコンテスト

142. 山蔭道明:座長. ランチョン講演「麻酔科医の先生方と共有しておきたい最新の整形外科手術部位感染対策」(山田浩司,関東労災病院整形外科)

### 【Cancer Pain Management Seminar(札幌)】 2018.05.21

143. 山蔭道明:座長、特別講演「熊本大学緩和ケアセンターの取り組みと最近の麻薬系鎮痛薬の使い方」(山本達郎、熊本大学医学部麻酔科)

### 【第15回麻酔科学サマーセミナー(沖縄)】 2018.06.29-07.01

144. 山蔭道明:座長. セミナー「高画質医療映像記憶配信システムについて・手術空調システムとエネルギー供給システムの融合」(福重秀文, インフォコム株式会社; 相馬一貴, 株式会社セオコーポレーション)

# 【第1回北海道非侵襲モニタリング臨床使用検討会(札幌)】 2018.07.07

145. 山蔭道明:座長. 特別講演「脳機能モニターを活用した周術期管理」(小原伸樹, 福島県立医科大学医学部麻酔科学講座)

# 【日本ペインクリニック学会第52回大会(東京)】 2018.07.19-21

146. 山蔭道明:座長、スポンサードシンポジウム 漢方セミナー「ペイン・緩和領域の漢方処方とその使い方」(上園保仁、国立がん研究センター;中西美保、滋賀医科大学麻酔科;間宮敬子、信州大学がんセンター)

# 【日本麻酔科学会北海道・東北支部第8回学術集会(旭川)】 2018.09.01

147. 山蔭道明:座長、専門医共通講習「手術室における安全管理」(平田 哲,旭川医科大学病院)

# 【第5回北海道疼痛研究会(札幌)】 2018.10.27

148. 山蔭道明:座長. 特別講演「神経障害性疼痛へのアプローチ~課題から戦略へ~」(齋藤洋司, 島根大麻酔科)

### 【日本臨床麻酔学会第38回大会(小倉)】 2018.11.01-03

149. 山蔭道明:座長. 教育講演(2)「市中病院で行う臨床研究とpublicationのあり方」(原 正彦, 日本臨床研究学会)

### 【Cancer Pain Management Seminar (札幌) 】 2018.11.19

150. 山蔭道明:座長、特別講演2「オピオイドにおけるヒドロモルフォンの位置づけ」(小板橋俊哉,東京歯科大学)

# [Perioperative Clinical Care Principles 2018 (PERICLIP 2018) (Kuala Lumpur, Malaysia) ] 2018.12.02

151. Yamakage M: Moderator 「Perioperative Clinical Pathways: Appraise, Adopt, and Advocate」 (Prof. Girish P. Jopshi)

### 【北海道麻酔セミナー(札幌)】 2018.12.15

152. 山蔭道明:座長. 研究報告, 特別講演「適正な筋弛緩管理~より安全な手術を目指して~」(濱田耕介, 高橋和伸, 札幌医科大学医学 部麻酔科学講座;中塚秀輝, 川崎医科大学麻酔・集中治療医学1教室)

# 【第2回気道管理学会学術集会(東京)】 2019.01.19

153. 山蔭道明:座長. 特別講演「The Value of Single Use Bronchoscopy」(Mr. Anders Mœrkedahl, Ambu)

### 【第25回北海道心臓麻酔研究会(札幌)】 2019.01.26

154. 山蔭道明:座長,特別講演「小開胸僧帽弁形成術における合併症とその対策」(山口裕己,昭和大学江東豊洲病院)

### 【第19回麻酔科学ウィンターセミナー(富良野)】 2019.02.01-03

155. 山蔭道明:座長. 招請講演「持続可能性の視点で医学の発展を考える。~ハゲワシの薬害を事例に~」(鈴江恵子, バードライフインターナショナル東京)

### 【第31回日本老年麻酔学会(東京)】 2019.02.01-02

156. 山蔭道明:座長、共催セミナー4「今後の新たな局面を見据えて、麻酔を考える」(境 倫宏;三重大学医学部附属病院臨床麻酔部、 横山正尚;高知大学医学部麻酔科)

### 【日本区域麻酔学会第6回学術集会(高知)】 2019.04.18-20

157. 山蔭道明:座長、共催セミナー10「帝王切開のための脊髄幹麻酔:Up to date」(角倉弘行;順天堂大学麻酔科ペインクリニック講 座)

### 【タリージェ新発売講演会(札幌)】 2019.05.21

158. 山蔭道明:座長、特別講演1「神経障害性疼痛治療のアンメットニーズ」(飯田宏樹;岐阜大医学部麻酔・疼痛制御学)

### 【日本麻酔科学会第66回学術集会(神戸)】 2019.05.30-06.01

- 159. 山蔭道明:座長. 専門医共通講習(2)「What can Journals do to combat scientific misconduct and data fabrication?」(Andrew A. Klein, Royal Papworth Hospital, University of Cambridge)
- 160. 山蔭道明:座長. 共催セミナー(4) 「新時代の酸素化モニタリング」(上嶋浩順;昭和大麻酔科,清水直樹;聖マリアンナ医大小児科)

### 【第10回ナースのための周術期管理セミナー(札幌)】 2019.07.27

161. 山蔭道明:座長,特別講演「看護師特定行為研修制度を知ろうーこれまでとこれからの働きー」(北川裕利;滋賀医科大学麻酔科)

### 【第5回急性期輸液管理研究会(東京)】 2019.08.03

162. 山蔭道明:座長. 特別講演「AIと麻酔」(増井健一, 昭和大学医学部麻酔科)

### 【日本麻酔科学会第9回学術集会(仙台)】 2019.09.14

163. 山蔭道明:座長. 一般演題(ポスター)モニタリング

### 【日本心臓血管麻酔学会第24回学術大会(京都)】 2019.09.20-22

164. 山蔭道明:座長. 大会長企画4「サバイバル, アメリカ麻酔」(橋本友紀, 田中健一, 酒井哲郎)

165. 山蔭道明:座長. ランチョンセミナー11「心臓血管外科手術のさらなる発展のために~麻酔科医と外科医が共に目指すもの~」(阿部恒平;聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科)

# 【第41回日本手術医学会総会(東京)】 2019.09.27-28

166. 山蔭道明:司会、イブニングセミナー1「周術期の安全性向上を目指して一定量的筋弛緩モニタリングの活用」(中塚秀輝;川崎医科大学麻酔科)

### 【第35回北海道ペインクリニック学会(札幌)】 2019.09.28

167. 山蔭道明:座長、ランチョン講演「痛み治療におけるデュロキセチン~その位置づけと最近の知見~」(髙雄由美子;兵庫医科大学病院ペインクリニック部)

### 【がん緩和支持療法セミナー(札幌)】 2019.10.04

168. 山蔭道明:座長. 講演 I 「緩和ケアの精神症状に対する漢方治療」(上村恵一;北海道医療センター精神科). 講演 II 「がん緩和支持療法と漢方医学」(川原玲子;がん研究会有明病院緩和治療診療科)

# 【2019年度麻酔科学講座国際交流講演会(札幌)】 20109.10.11

169. 山蔭道明:司会. 「Memorial Lecture regarding Palliative Medicine」(Reino Pöyhiä,University of Helsinki, Finland)

### 【北海道麻酔セミナー(札幌)】 2019.10.25

170. 山蔭道明:座長. 「筋弛緩薬と術後早期および30日以内の合併症」(廣瀬宗孝;兵庫医科大学麻酔科)

# 【Cancer Pain Management Seminar(札幌)】 2019.11.25

171. 山蔭道明:座長. 「緩和治療薬の最近の気になるエビデンス」(森田達也;聖隷三方原病院副院長)

# 【令和元年度市民公開講座 最新のがん治療(札幌)】 2019.11.30

172. 山蔭道明:座長. 講演1「気持ちのつらさの対処法」(岩崎創史;札幌医科大学医学部麻酔科),講演2「放射線治療と上手く付き合うために」(北川未央;札幌医科大学医学部放射線科),講演3「がんゲノム医療って何?」(高田弘一;札幌医科大学医学部腫瘍内科)

# 【論文の査読】

和文論文の査読は省略

Review

Am J Physiol: 2 articles J Anesth: 172 articles Eur J Anaesthesiol: 1 article J Clin Monit Comp: 1 article J Clin Anesth: 7 articles Thromb Res: 1 article Life Sci: 2 articles Anesthesiology: 111 articles Tohoku J Exp Med: 1 article Heart Lun: 4 articles Br J Anaesth: 6 articles Respiration: 1 article J Orthopaedr Sci: 1 article

Editorial Management

JA Clin Rep: 55 articles EiC review (only in 2017)

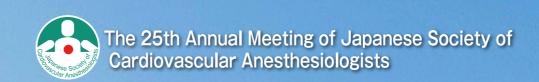
J Anesth: 1,680 articles EiC review (2018~)

※JA Clin Repの編集長,J Anesthの編集長をし始めた2017年からは,業務負担増のため,Review業務そのものは全てお断りしています。

現在の目標は、JAnesth誌のIFを2点台にすることです。

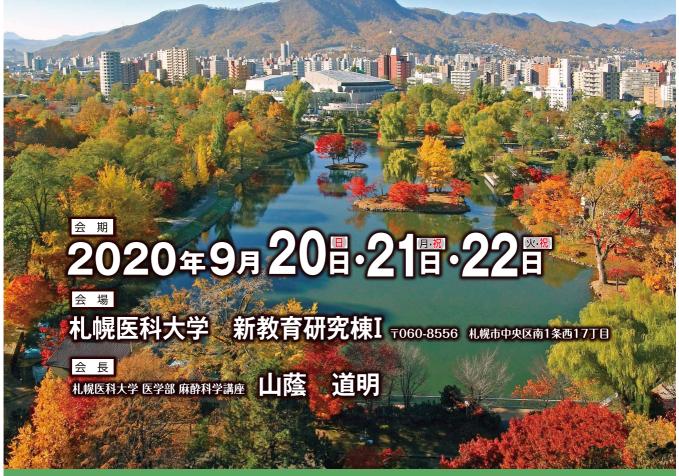
最後に小生が教授就任してからの身の回りの出来事と教室員や同門で教授になられた先生方を紹介します。また,来年再来年と大きな学会を続けて主催します。関係者のさらなるご指導とご鞭撻をいただきたく,ポスターを掲示するとともに,10周年記念誌を閲覧いただいたことに深く感謝いたします。

							松本真希	川真田樹人(信州大麻酔科)	<b>当科関連教授</b> (現在続けていら	7	新入教室	教授就任	2009	
						아		強人	連教		倒回	麻酔学講座から麻酔科学講座に改名		
					藤	宮部雅幸	(文教大学看護学科)		域	18	(人数)	同大緩和医療学寄付講座教授 兼務	2010	
						l (iii	大学看	大学	現在		数	第201北海道ペインクリニック学会 主催	10	
					台	土	護学	帮型	続け			バンクーバー冬季五輪		
					旭川	未	类		7	9			2011	
					(旭川医大救急医学)	(三重大臨床麻酔部)			らっし			東日本大震災	_	
					急医				ф 8V	9		同大集中治療医学教授 兼務	2(	
				熨	<b>W</b>				δ·,			第7回麻酔科学ウィンターセミナー開催	2012	
				成松英智					9#			第9回日本静脈麻酔学会・主催		
			_						こ は 表	=		Journal of Anesthesia, Editorial Board	2013	
				1.幌医					が考			第2回北海道ペインクリニック学会 主催	13	
			酬用	大数					女授忠			富士山 世界遺産		
			(東北	(札幌医大救急医学)					だ任 ょ	13		日麻第4回北海道東北支部学術集会・主催	2014	
	川殿	今泉	大麻	<b>学</b> )					八路(			日味66年回化事首長とちが学師集会 自選人 御嶽山 噴火	4	
	川股知之(	乜	山内正憲(東北大麻酔科)						たは私が教授就任以降に就任,	Ŋ		日本麻醉科学会理事 就任日本臨床麻醉科学会理事 就任	2015	
	<b>抬</b> 戮	<del>順</del>   沙							敬希			日本ペインクリニック学会理事 就任	15	
	(和歌山医大麻酔科)	(東京医大集中治療科							敬称略)			日本心臓血管麻酔学会学会常任理事 就任		
	本學	中温								4		feind-ni-rotib3, strogeA IsoinilO AL	2016	
	料)	療科										トランプ氏 米大統領に就任	6	
												第2回北海道緩和医療研究会 主催		
半										18		Jeind-in-iotiba, Editor-in-Chief	2017	
升田好樹(札幌医大集中治療医学)												第 20 6 本液・代謝管理研究会(主催)		
(										9			2018	
風光												平成から令桁へ	<u></u>	
無中												ラグビー2杯 日本開催教授就任12周年		
海										18		女委先在〇目目	2019	
医学)												夏季オリンピック 東京開催	0	
_												日麻第10回北海道東北支部学術集会主催第20日本心臓血管麻酔学会主律		
新山													2020	
幸俊(秋												第2回日本神経麻酔集中治療学会(主催第2回Demy学会(主催)		
新山幸俊(秋田大麻酔科)												日本臨床麻酔学会第4回学術大会 主催	2021	
型数														
											1		l	I



# 日本心臓血管麻酔学会第25回学術大会

- 心臓血管麻酔を極める-



### 大会事務局

札幌医科大学医学部 麻酔科学講座 〒060-8556 札幌市中央区南1条西16丁目291番地 Email:jscva2020@sapmed.ac.jp

### 運営事務局

株式会社イー・シー・プロ 〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目8-3 北口ヨシヤビル5F TEL:011-299-5910 FAX:011-299-5911 Email:jscva2020@ec-pro.co.jp

http://www.jscva.org/AnnualMeeting/2020/

